

令和元年度

地域での活動と健康に関する調査 報告書

一般財団法人 長寿社会開発センター
国際長寿センター

地域での活動と健康に関する調査報告書
刊行にあたって

国際長寿センター（日本）：International Longevity Center・Japan（ILC・Japan）は、1990年に日本とアメリカの2国で設立されました。それ以来、フランス、英国、ドミニカ共和国、インド、南アフリカ、アルゼンチン、オランダ、イスラエル、シンガポール、チェコ共和国、ブラジル、中国、カナダ、オーストラリアの各国にセンターが誕生し、現在では16ヶ国に達しています。

国際長寿センターは創設以来、高齢者を社会の中の重要な役割を果たす存在として位置づけるポジティブな高齢者観に基づき「プロダクティブ・エイジング」を目指しています。高齢社会を迎えている各国においてこの考え方は広く国際的に定着し、我が国においても高齢者が活躍する地域が全国各所に見られます。

本年度の「地域での活動と健康に関する調査 報告書」では、横浜市の協力を得て2013年より2年毎に4回にわたって実施した縦断調査「地域での活動と健康に関する調査」の分析を行い、プロダクティブ・エイジングを志向する政策の介護予防効果を検証しました。

併せて、ボランティア受け入れ施設や住民自主活動参加者、ボランティア本人等に対して聞き取り調査を行い、質的に深く掘り下げた分析も行っています。

また、資料編では、調査票、単純集計表、調査協力者への結果速報 No.1~6、インタビュー調査一覧に加え、2019年11月に行われた本調査担当者による港北区生活支援コーディネーター向けボランティアポイント研修における講演資料を収録しております。

この調査・研究の過程では横浜市および市内のさまざまな行政組織、ボランティア受け入れ団体、住民自主活動組織、ボランティアの方々、市民の皆様のご協力をいただきました。

また、全国生活協同組合連合会および中央共同募金会からは調査にあたっての助成金を賜りました。

本研究にあたってご尽力いただいた調査研究委員の方々および調査にご協力くださった皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和2年（2020）年5月

一般財団法人 長寿社会開発センター 理事長
国際長寿センター（日本） 代表
高井 康行

目 次

1. プロダクティブ・エイジングと健康増進のための国内調査の概要	
—第4波調査の概要、調査設計と回収状況—	4
渡邊大輔（成蹊大学文学部現代社会学科准教授）	
2. プロダクティブ・エイジングと健康増進のための国内調査の分析	
—第4波調査における回答者の属性と、6年間の健康への縦断的影響の分析—	15
渡邊大輔（成蹊大学文学部現代社会学科准教授）	
3. 横浜インタビュー調査からみえてきたこと①	
—ボランティアなどのプロダクティブな活動と健康の関連—	26
澤岡詩野（ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員）	
4. 横浜インタビュー調査からみえてきたこと②	
—行政や専門職、ボランティア受け入れ施設に求められる視点—	34
澤岡詩野（ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員）	
5. 高齢者のソーシャルサポートの特徴	
—地域での活動と健康に関する調査（第3波）を用いて—	41
中島民恵子（日本福祉大学福祉経営学部准教授）	
6. 横浜市の取り組みについて（インタビュー）	
—よこはまシニアボランティアポイント事業の現状と今後の課題・展望—	48
7. 資料編	
(1) 「地域での活動と健康に関する調査」 調査票	56
(2) 「地域での活動と健康に関する調査」 単純集計表	70
(3) 「地域での活動と健康に関する調査」 おたより No.1~No.6	96
(4) 港北区生活支援コーディネーター向けボランティアポイント研修 における講演	121
(5) インタビュー調査一覧 2012~2019	145

1. プロダクティブ・エイジングと健康増進のための国内調査の概要

第4波調査の概要、調査設計と回収状況

成蹊大学文学部現代社会学科准教授

渡邊大輔

1. 調査の概要

最初に調査の概要を箇条書きで紹介する。詳細は2. にて詳しく述べる。

(1) 調査名

日本名：地域での活動と健康に関する調査

英語名：Yokohama Longitudinal Study of Productive Aging; Wave 4

(略記：YLSP Wave4)

(2) 調査実施者、調査協力者

調査実施者：一般財団法人 長寿社会開発センター 国際長寿センター

調査協力者：横浜市健康福祉局

公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会

(3) 調査デザイン

前向きコーホート調査。2019年度の第4波調査は、2013年のベースライン調査対象者に対して、2015年度の第2波調査、2017年度の第3波調査につづく、3回目のフォローアップ調査となる。

(4) 調査対象および母集団、計画標本、抽出方法

調査はベースライン調査への回答者のうち、有効回答をしたもので、2019年8月時点において介護保険データにおいて「死亡」「転居」ではない3,548人とした。なお、調査票発送前の9月下旬に対象者1名から調査回答辞退の申し出があり、この1名は上記の数に含めていない。

ベースライン調査は以下の3つの集団を対象としていた。①よこはまシニアボランティアポイント事業（新名称。2013年のベースライン調査時は、いきいきボランティアポイント事業（正式名称は「横浜市介護支援ボランティアポイント事業」））登録者のうち2012年度に年間10時間以上活動実績がある人、②元気づくりステーション事業（神奈川区、港南区、港北区、緑区および栄区の5区、22か所）に参加している人、③横浜市神奈川区、港南区、港北区、緑区および栄区の5区に居住する65歳以上の高齢者のうち介護認定を受けていない人（以下、「一般」と略す）、の3つの集団である。

第4波調査の対象者（発送数）はそれぞれ①1,606人、②256人、③1,686人であった。

(5) 調査期間および回収率

すべての調査対象に対して、郵送調査を2019年10月17日（木）発送～11月末日に行った。返送期限は10月31日（木）とし、督促状を1回、10月24日（木）に発送した。

第4波調査の各調査の有効回収数および有効回収率は、よこはまシニアボランティアポイント事業が1,463人、87.92%、元気づくりステーション事業が223人、84.39%、一般が1,394人、79.23%であった。

(6) 謝礼

しおりルーペを1枚、調査票に同封して先渡しとした。これは、縦14センチ、横6センチ、厚さ3ミリほどのコンパクトな形状をしている。厚紙のしおりの中央部にルーペを象った模様が描かれ、中央部にアクリル製のレンズが埋め込まれているものであった。

(7) 他のデータとの結合

調査票による回答だけでなく、すべての対象について介護保険データ（2011~2019年8月時点の情報）の提供を受け、結合をおこなった。また、よこはまシニアボランティアポイント事業については介護ボランティアとしての活動量の指標となるポイント付与回数（2011年~2013年の3年分）を得て、結合している。

(8) 倫理的配慮

調査にあたって、財団法人長寿社会開発センター研究倫理審査委員会の倫理審査を2013年9月、2016年7月、および、2019年8月に受け、以下の5項目について倫理上の配慮を順守することを明確にし、調査を認可されている。また、とくに(B)、(C)については、2013年11月に国際長寿センター、横浜市健康福祉局、かながわ福祉サービス振興会の三者による「覚書」を締結し、個人情報の保護のためのルールや役割分担を明確にした。

(A) 研究の対象となる個人に理解を求め、了承を得る方法

調査対象者の協力は調査のどの段階でも対象者の自由意志であること、調査対象者の匿名性、プライバシーは厳重に守られることを伝えた。具体的には、調査票に同封した案内書(A4、1頁、表面のみ)にて、「お答えになりたくない事柄や失礼とお感じになる質問について、無理にご回答いただく必要はありません」と明記し、回答は任意であることを明示した。

(B) 研究の対象となる個人の人権と個人情報保護の方法

調査は、①よこはまシニアボランティアポイント事業参加者、②元気づくりステーション事業参加者、③一般の人々を対象とするが、国際長寿センターおよび研究者が個人情報を扱うことはせず、縦断調査におけるIDの管理、介護保険データを含む個人情報は、いずれも、横浜市健康福祉局、かながわ福祉サービス振興会のみが管理することとした。これにともない、調査票や督促状等の発送作業は、かながわ福祉サービス振興会が担うこととして、調査の一環において個人情報が漏れないようにしている。

同様に、アンケート調査だけでなく、回答者の介護保険情報や、ヨコハマいきいきポイント事業における年間活動回数などについても横浜市が回答者のIDをもとに結合して国際長寿センターに提供することとしている。

また、アンケート調査に加えて、補足的な情報をえるためのインタビュー調査も行うが、これについても①個人情報の特定につながる情報を記載しないこと、②インタビューの録音にあたってはインフォーマントに趣旨および録音について説明した上で、インフォーマントからの了承があった場合のみ録音すること、③録音データは個人情報の特定につながる情報を削除したトランスクリプトを作成した後はデータを消去すること、とした。

(C) 研究によって生ずるリスクと科学的な成果の総合的判断

本調査は、心理的な苦痛の伴わない内容の無記名のアンケート調査であること、協力団体（横浜市、かながわ福祉サービス振興会）から国際長寿センターにアンケート結果が伝達される際にすでに情報は匿名化されていること、例外的かつ偶発的に個人情報を知り得た場合でも、「国際長寿センター個人情報管理手順書」により個人情報管理は厳格に行われることから、リスクが発生しないと考えている。

以上の倫理的配慮とともに、調査協力者へは年間1回程度、簡易な調査結果の報告を2014年3月、2015年1月、2016年3月、2017年8月、2019年9月に便りを発送し、調査への協力の謝意とその知見をフィードバックし、調査に協力することの意義を明示化する措置をとった。今後も調査結果の送付を行う予定である。

2. 調査の目的

この調査の第一の目的は、プロダクティブ・エイジングを推進する事業の介護予防効果の検証である。

現在、日本では急速な高齢化に直面しているが、これは、単に高齢者の人口割合が増えただけでなく、現時点では団塊の世代が前期高齢期にあたることもあり、元気な高齢者の急増という側面がある¹⁾。同時に、この総体的に多世代に比べて人口ボリュームの大きい層が、10年以内に健康リスクの大きくなる後期高齢期に入ることとなり、医療・介護ニーズの急速な増大が見込まれている。この状況に対して、高齢当事者の活用とともに、医療・介護ニーズの増大を予防するための介護予防が重要となっている。

そこで本調査では、横浜市におけるよこはまシニアボランティアポイント事業と、地域づくり型の介護予防事業である元気づくりステーション事業への参加者と、それ以外の一般高齢者を比較することで、プロダクティブ・エイジングを志向する政策の介護予防効果を検証する。また、この効果検証には一時点の横断的調査では因果関係の解明ができないことから、2年に1回の質問紙調査と、毎年の介護認定状況をもちいた前向きコーホートデザインによる縦断調査とすることで、介護ボランティアや元気づくりステーションへの参加の有無が介護予防効果にどのように影響するかを検証する。

さらに調査の第二の目的として、プロダクティブな高齢期を過ごす人々の社会学的、社会老年学的分析である。どのような人々が、プロダクティブな高齢期を過ごし、そして、そのような活動を継続することができるのか。この点を、社会経済的地位、社会関係資本、サポートネットワークの有無、健康への意識などのデータを収集し、何が活動継続要因となるかを分析する。

3. 調査対象について

調査目的から、プロダクティブ・エイジングの推進を政策的に図る事業として、横浜市のよこはまシニアボランティアポイント事業と、地域づくり型の介護予防事業である元気づくりステーション事業を対象とする。

よこはまシニアボランティアポイント事業は、厚生労働省が高齢者の介護予防の取り組みとして市町村が実施することを認可した有償ボランティア制度である。この制度は、介護保険制度の枠組みにおいて行われているものであり、介護支援にかかわるボランティア活動を行った高齢者に対して、実績に応じて換金可能なポイントを付与する制度である²⁾。横浜市でも2009年より同事業を行っており、2017年で7年が経過している。横浜市では、1回30分以上の活動で200ポイントが付与され、ポイントの付与回数の上限はないが年間8,000ポ

イントまでが換金対象となっている。介護ボランティアの受け入れ施設は、特別養護老人ホーム、グループホームなどの介護施設だけでなく、地域ケアプラザ、病院、子育て支援拠点、障害者支援分野受入施設など様々な対象に広がっている。同事業は『第6期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画』（計画期間：平成27~29年）において地域社会で活躍・貢献できる場や機会づくりとマッチング支援の推進の中心的事業として位置付けられており²⁾、2014年度の登録者数10,556人（実績見込み数）を2017年度末には14,456人にすることが目標とされている。登録者はこの目標をはるかに超えて増加しており、2016年度末には15,000人の登録を超え、受け入れ機関は492か所となっている。2018年2月に報告された『第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画』（計画期間：平成30~32年）の原案においても、ニーズ・ライフスタイルに合わせた社会参加・シニアの生きがい創出としてこの事業の拡充が規定されている⁴⁾。

元気づくりステーション事業は、『第5期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画』（計画期間：平成24~26年）において、介護予防事業を従来の個別支援重視型から地域づくり型へと施策転換したことにともない、策定された事業である⁵⁾。元気づくりステーションは地域ごとに高齢者を中心とした概ね10人以上の自主グループであり、行政や地域包括支援センターと実施内容や役割、責任、経費分担などを規定した「協定書」を結ぶことで協働して活動を実施、継続することを目標としている。元気づくりステーション事業の活動内容は、介護予防に関連するものであるが、体操やウォーキング、料理、コーラス、ゲームなどグループごとに異なり幅広い。また活動頻度も週1回以上を目標としているが、月1回のステーションも多い。『第6期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画』（計画期間：平成27~29年）において同事業は、介護予防取組の推進の中心的事業として位置づけられ、2014年度170グループ（実績見込み数）から2017年度末には378グループまで増やすことが目指された³⁾。実績値は2017年度の見込みで279グループとなっている。2018年2月に報告された『第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画』（計画期間：平成30~32年）の原案において、元気づくりステーション事業は自立を支援するための介護予防ケアマネジメントの推進の施策として拡充が規定され、2020年度末で400グループへと増やすことが規定されている⁴⁾。

この2つの事業は、いずれも高齢者自身による政策的な介護予防支援策である。そこで、この両事業のそれぞれに参加する人と、それ以外の一般の方とを比較することで、この両事業が介護予防効果を持つかを検証する。具体的には、以下を調査対象とした。①よこはまシニアボランティアポイント事業登録者（2012年度時点では、いきいきボランティアポイント事業）のうち2012年度に年間10時間以上活動実績がある人、②元気づくりステーション事業（神奈川区、港南区、港北区、緑区および栄区の5区、22か所）に参加している人、③横浜市神奈川区、港南区、港北区、緑区および栄区の5区に居住する65歳以上の高齢者のうち介護認定を受けていない人から住民基本台帳をもちいて無作為抽出、の3つの集団にたいして2013年10~11月にベースライン調査を行った。

そのフォローアップ調査となる第4波調査では、ベースライン調査において有効回答をした3,945人のうち、2019年8月時点で転居、死亡ではない3,548人を対象とした。なお、第2波調査、第3波調査に回答していないものも対象となっている。

表1 調査の種類と母集団、計画標本

調査の種類	母集団	Wave4 発送数	Wave3 発送数	Wave2 発送数	Wave1 計画標本 ^(**)
①よこはまシニアボランティアポイント (以下、ボラP)	よこはまシニアボランティアポイント事業登録者のうち2012年度に年間10回以上の活動実績がある人	1,606人	1,680人	1,728人	1,900人
②元気づくりステーション (以下、元気S)	横浜市5区 ^(*) で行われている元気づくりステーション事業に参加する65歳以上の高齢者	256人	269人	275人	309人
③一般	横浜市5区に居住する65歳以上の高齢者のうち要介護認定を受けていない人	1,686人	1,815人 ^(***)	1,885人	2,800人
合計		3,548人	3,764人	3,888人	5,000人

(*) 神奈川区、港南区、港北区、緑区、栄区 (***) 元気づくりステーション事業のベースライン調査は集合調査のため総配布数を記載 (***) 事前の調査拒否者1名は除外している

4. 調査票の設計と調査の実施

よこはまシニアボランティアポイント事業、元気づくりステーション事業を暴露群とし、一般を対照群として三者を縦断調査によって比較することが本調査の基本的なデザインとなる。ただし、よこはまシニアボランティアポイント事業、元気づくりステーション事業についてはそれぞれの活動内容や認知経路、および、今後の活動意欲について把握する必要がある。また、対照群となる一般についても、よこはまシニアボランティアポイント事業や元気づくりステーション事業自体の認知や今後の参加意欲などを把握する必要がある。そこで、調査票は3種類作成し、上記の設問を問う1ページ以外を同一の設問とした。

介護予防効果を測定するという目的から、従属変数は健康状態となる。調査票では、健康状態を健康度自己評価、厚生労働省の基本チェックリスト、および高齢期うつ病評価尺度の短縮版(GDS)をもちいた。

独立変数として、第一に活動状況を設定し、よこはまシニアボランティアポイント事業や元気づくりステーション事業での活動、また、それ以外のプロダクティブ・エイジングにかかわる活動について、町内会や老人クラブ、シルバー人材センター、ボランティア組織など11種類の組織での活動頻度、5年以内の組織参加、お祭りへの参加度地域での活動状況を設定した。第3波調査からの新設項目としては、高齢期になっても新しい活動にチャレンジしたいと考えているかを把握するために、内閣府が行っている「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」を参考に、今後の活動参加希望を追加した⁵⁾。

第二に、基本的な独立変数として、社会経済的地位、社会関係資本、ネットワーク、健康への態度を設定し、それぞれ表2にある項目をもちいた。なお、健康への態度としてSOC3-UTHSをもちいたが、これは、健康保持・ストレス対処能力であるSOC(Sense of Coherence)の3項目短縮版である⁷⁾。また、第3波調査からは他者や制度から援助を受けることについての意識として被援助志向性尺度を追加している。なお同尺度は明確に確立されたものがないことと紙幅が限られていることから、高橋らの研究を参考にして指標を設定した^{8,9)}。

このほかに、統制変数として、性別、学歴、配偶者の有無、既往歴、生活習慣、居住年数を設定し、また横浜市との共同研究であることから、横浜市が行っている高齢者に深く関連する施策の利用、認知状況についても調査した。

第4波調査の設問については、第3波調査から変更しておらず同一の設問となる。

表2 調査内容と調査項目

調査の内容	調査項目	第3,4波調査設問 No	第2波調査設問 No
[従属変数] 健康状態	健康度自己評価、基本チェックリスト、GDS 主観的幸福感 ^(*)	問13~14、問21~ 25、問41、問34	問13~14、問21~ 25、問38、問33
[独立変数1] 活動状況	<ボラP>：シニアボランティアでの活動状況、活動場所 ^(*) 、 魅力 ^(*) 、現在は活動していない要因 ^(*) 、活動意欲 <元気S>：元気づくりステーションでの活動状況、かかわ り方 ^(**) 、現在活動していない要因 ^(*) 、活動意欲 すべての調査：各種組織参加と活動頻度、2年以内の組織参 加、今後の活動参加希望 ^(**) 、地域での活動状況および地域 への意識	問6~12 問6~12 問31~33、問2~3	問6~12 問6~12 問31、問32、問2~ 3
[独立変数2] 社会経済的地位 社会関係資本	現職の従業上の地位および仕事、世帯年収 一般的信頼、寛容性、SOC3-UTHS、被援助指向性尺度 ^(**)	問47~50、問46 問36、問37、問35、 問38	問45~50、問44 問35、問36、問34
ネットワーク 健康への態度等	手段的サポート（授受）、情緒的サポート（授受） 飲酒、喫煙、機器利用 ^(*)	問27~30 問18~20、問4	問27~30 問18~20、問4
[統制変数]	性別、生年 ^(**) 、婚姻状況、同居者数・同居子数、この住む場 所、健診受診、既往歴、持ち家の有無	問39、問40、問42、 問43~44、問15、問 16~17、問45	問37、問40~42、問 15、問16~17、問43
[その他]	自治体の施策認知、ロコモティブシンドローム認知 ^(*)	問5、問26	問5、問26
[参考1] 介護保険データ	要介護度、ポイント付与量を結合	横浜市から提供	横浜市から提供
[参考2] 第2波調査 で削除した項目	近所の範囲、年齢、居住年数	—	—
[参考3] 第3波調査で変更 した項目	新設：生年（Wave1より復活） ^(**) 、被援助指向性尺度 ^(**) 削除：学歴、最長職 内容変更：自治体施策認知（一部削除）	問40、問38 問5	問39、問46、47

(*) 第2波調査で新設した項目、(**) 第3波調査で新設・復活した項目

調査票はベースライン調査、第2波調査、第3波調査と同様に、厚紙をもちい、視認性を高くするために濃い黒の印刷を行った。また、めくりやすいように調査票を意図的にずらした製本をした。目立つようにうすい青色の封筒をもちい、謝礼として薄型でしおりとしてももちいることのできるルーペ1つを前渡しとして調査票に同封して郵送した。なお、第3波調査までと同様に送信用に記念切手をもちい、回答者に気づいてもらいやすい工夫を行っている。

配布・回収方法は、郵送調査（郵送による送付、郵送による回収）であり、はがきによる督促状を1回送付した。事前に予告は行っていない。第3波調査とベースライン調査、第2波調査の発送日および回収締切り、最終表到着日を表3にまとめた。

表3 調査スケジュール、および、過去の調査スケジュール

	Wave4 調査 (2019年)		Wave3 調査 (2017年)*		Wave2 調査 (2015年)		Wave1 調査 (2013年)	
調査票発送日	10月17日(木)	0日	10月19日(木)	0日	10月20日(火)	0日	10月17日(木)	0日
督促状発送日	10月24日(木)	7日	10月26日(木)	7日	10月23日(金)	3日	10月24日(木)	7日
回収締切り	10月31日(木)	14日	10月31日(火)	10日	10月27日(火)	7日	10月27日(火)	10日
最終票到着日	11月29日(金)	43日	12月18日(月)	60日	12月22日(火)	62日	11月29日(金)	43日

*Wave3 ボラPについては、調査票にミスがあったため、いずれも1週間遅れ（調査票：10月26日、督促状11月2日、回収切11月7日）

5. 回収状況と有効回収率、脱落率

回収状況と有効回収率を表4に示した。なお、図表では各調査群をボラP、元気S、一般と略記している。パネル調査形式の第4波調査であるため回収率は高くなる傾向にあるが、もっとも回収率の低い一般で有効回収率は72.47%であり、お便りを調査2カ月前に実施していることから事前通知があるとはいえ、郵送調査であることを考慮すると、非常に高い回収率となった。よこはまシニアボランティアポイント事業については、ベースライン調査の前年に10時間以上活動しているというかなりアクティブな層を対象にしているという点を踏まえても、81.35%（参考：第2波調査91.43%、第3波調査87.92%）の有効回収率という数字は前回に引き続き高い数値となったが、加齢による影響などもあり、回収率は漸減している。これは回答者の平均年齢が79歳前後となり80歳を超えている人が半数近くとなったことによる影響と考えられる。ベースライン時からの計画標本1,900人からみても有効回収率が68.49%となっている。

元気づくりステーション事業参加者についても有効回収率は83.21%（参考：第2波調査は86.18%、第3波調査は83.21%）と高く、計画標本からみても有効回収率が75.78%となっている。このように、第3波調査の回収率は、高齢者を対象とした2回目以降の訪問面接調査と同様かそれ以上の数値となっており、回収率という面においては高い信頼性を確保しているものとする。

有効回収率の推移は図1, 2にまとめた。全体として緩やかな逓減傾向にあったことがわかる。なお第4波調査の特徴として、図3にあるように、本人以外による回答が61票となり、発送数が減ったにもかかわらずその数は増えている。調査別に本人以外による回答と回答拒否（白紙での返送）の合計が発送数に占める比率の推移をみると（図3）、比率は小さいものの緩やかに上昇しており、加齢による影響が明らかとなる。なお、本人以外による回答理由では「認知症」と自由記述欄に書かれたものが多く、加齢だけでなく認知症などの疾患によって質問紙調査への回答が困難になっている人がいることも明らかとなっている。

この高い回収率の要因は、ベースライン調査や第2波調査、第3波調査で想定した以下の要因と同じであると考えている。第一に、高齢期の活動への関心が高く、当事者の問題関心と調査内容が合致したと考えられる。第二に、調査票を読みやすくし、封筒の色などハード面の工夫を凝らすことで、手に取りやすく回答しやすくした点が指摘できる。また謝礼として同封したホイッスル付ライトボールペンについては、調査票末尾の自由記入欄などにおいて、ペンへの感謝の言及が散見され、対象となる高齢者にとって興味を引く謝礼であったようである。第三に、国際長寿センターと横浜市、かながわ福祉サービス振興会の共同調査であり、行政も参加している調査であることから不信感が緩和されたと考えている。加えて、第四に、ベースライン調査で一度回答した人を対象とした3回目の追跡調査となる第4波調査であり、さらに、ベースライン調査後も定期的にお便り等で結果を知らせることで協力しやすい状況となっている調査であることも高い回収率をもたらしたものである。

第4波調査をもって調査票による調査は終了を予定しているが、本追跡調査は一貫して高い回収率を維持することができ、配布、回収という側面においては適切な調査実施ができていると評価できよう。

表4：第4波調査（2019年）における調査票ごとの回収状況および有効回収率

	発送数	回収総数	本人による有効回答	除外票(*)	本人以外回答	回答拒否	住所不明	死亡(発送済)	回収率	有効回収率(**)	ベースライン調査計画標本からの有効回収率
①ボラP	1,606	1,328	1,300	4	22	1	8	0	82.69%	81.35%	68.49%
②元気S	256	200	194	1	5	0	0	0	78.13%	75.78%	62.78%
③一般	1,686	1,257	1,216	4	33	4	8	0	74.56%	72.47%	43.52%
総数	3,548	2,785	2,710	9	61	5	16	0	78.49%	76.73%	54.19%

(*) 本人による回答としているものの、性別、生年などが調査対象と一致しないため、本人以外による回答とみなして有効票から除外した票
 (**) 有効回収率は、除外票を含まない本人による有効回答を計画標本から住所不明数および死亡を引いた数で除して計算した

表5：＜参考＞ベースライン調査（2013年）における調査票ごとの回収状況および有効回収率

	計画標本(*)	回収総数	本人による有効回答	除外票(**)	本人以外回答	回答拒否	住所不明	有効回収率(***)
①ボラP	1,900	1,763	1,745	9	7	2	2	91.94%
②元気S	309	285	267	18	0	0	0	86.41%
③一般	2,800	1,991	1,933	20	30	8	6	69.18%
総数	5,009	4,039	3,945	47	37	10	8	78.88%

(*) 元気づくりステーション事業については集合調査のため総配布数を記載
 (**) 本人による回答としているものの、性別、生年が調査対象と一致しないため、本人以外による回答とみなして有効票から除外した票、または、他の調査との重複から除外した票の総数
 (***) 有効回収率は、除外票を含まない本人による有効回答を計画標本から住所不明数を引いた数で除して計算した

表6：＜参考＞第2波調査（2015年）における調査票ごとの回収状況および有効回収率

	発送数	回収総数	本人による有効回答	除外票(*)	本人以外回答	回答拒否	住所不明	死亡(発送済)	回収率	有効回収率(**)	ベースライン調査計画標本からの有効回収率
①ボラP	1,728	1,601	1,578	14	8	1	1	1	92.65%	91.43%	83.18%
②元気S	275	250	237	10	3	0	0	0	90.91%	86.18%	76.70%
③一般	1,885	1,576	1,537	10	24	5	1	0	83.61%	81.58%	55.03%
総数	3,888	3,427	3,352	34	35	6	2	1	88.14%	86.26%	67.05%

(*) 本人による回答としているものの、性別などが調査対象と一致しないため、本人以外による回答とみなして有効票から除外した票
 (**) 有効回収率は、除外票を含まない本人による有効回答を計画標本から住所不明数および死亡を引いた数で除して計算した

表7：＜参考＞第3波調査（2017年）における調査票ごとの回収状況および有効回収率

	発送数	回収総数	本人による有効回答	除外票(*)	本人以外回答	回答拒否	住所不明	死亡(発送済)	回収率	有効回収率(**)	ベースライン調査計画標本からの有効回収率
①ボラP	1,680	1,486	1,463	7	11	5	13	3	88.45%	87.92%	77.61%
②元気S	269	227	223	1	3	0	1	0	84.39%	83.21%	72.40%
③一般	1,815	1,438	1,394	5	35	4	23	1	79.23%	77.83%	50.31%
総数	3,764	3,151	3,080	13	49	9	37	4	83.71%	82.64%	62.05%

(*) 本人による回答としているものの、性別、生年などが調査対象と一致しないため、本人以外による回答とみなして有効票から除外した票
 (**) 有効回収率は、除外票を含まない本人による有効回答を計画標本から住所不明数および死亡を引いた数で除して計算した

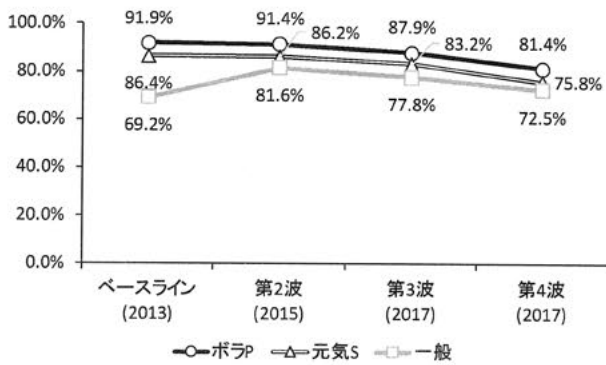


図1 有効回収率の推移

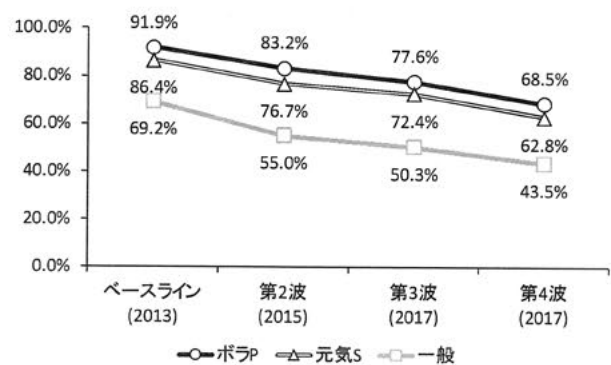


図2 ベースライン調査計画標本からの有効回収率の推移

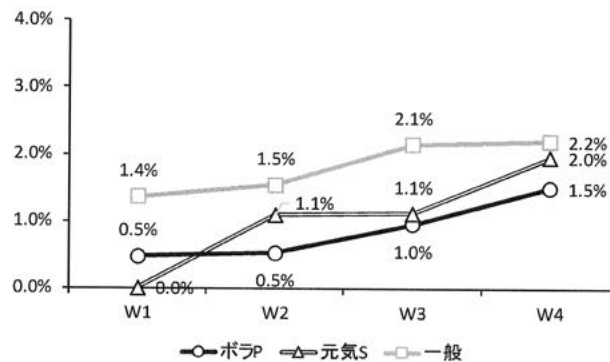


図3 本人以外による回答と回答拒否の合計が発送数に占める比率の推移

パネル調査の第2回以降の調査において、データの信頼性をもたらす重要な指標は脱落率である。第4波調査は、第2波調査、第3波調査への回答の有無にかかわらず、ベースライン調査で有効回答であったもののうち死亡、転居等を除いた人を対象としている。そのうえで、死亡、転居等を含めた脱落率をまとめたものが表7、図4となる。

広義の脱落は表7の「一度でも脱落あり」に示されており、①よこはまシニアボランティアポイント事業がもっとも低く32.7%、②元気づくりステーション事業が39.6%、③一般が40.3%であった。この数値は前述の通り死亡、転居などによる脱落を含んだものである。ただし、死亡数などは介護保険データより把握できており、死亡数については各群ともに2~3%にとどまっていることから、調査への非協力による脱落が要因となっている。

なお、第3波調査時点での「一度でも脱落あり」は①よこはまシニアボランティアポイント事業がもっとも低く20.9%、②元気づくりステーション事業が25.4%、③一般が35.3%であり、いずれの群も大きく脱落が起きている。第3波調査の自由記述欄では、80歳を超えたので今後は辞退したい旨の記述も多く、加齢と80歳を一区切りと考える年齢規範を踏まえての自発的な離脱が起きていることを反映した数値である可能性がある。

表7：ベースライン調査、第2波、第3波調査における調査票ごとの脱落率

	①ボラP		②元気S		③一般		総数	
1-4波すべて回答	1,177	67.3%	169	60.4%	1,022	52.8%	2,368	59.7%
1-3波のみ回答	206	11.8%	40	14.3%	230	11.9%	476	12.0%
1,2波のみ回答	128	7.3%	23	8.2%	229	11.8%	355	9.0%
1波のみ回答	89	5.1%	19	6.8%	208	10.7%	341	8.6%
1,2,4波のみ回答	67	3.8%	10	3.6%	87	4.5%	153	3.9%
1,2,3波のみ回答	52	3.0%	9	3.2%	77	4.0%	149	3.8%
1,3波のみ回答	26	1.5%	6	2.1%	53	2.7%	83	2.1%
1,4波のみ回答	4	0.2%	4	1.4%	30	1.5%	40	1.0%
一度でも脱落あり(*)	572	32.7%	111	39.6%	914	47.2%	1,597	40.3%
全体	1,749		280		1,936		3,965	

(*) 「1-4波すべて回答」以外の合計値。なお、脱落理由には、死亡、転居、回答拒否（白紙での返送）、住所不明を含む

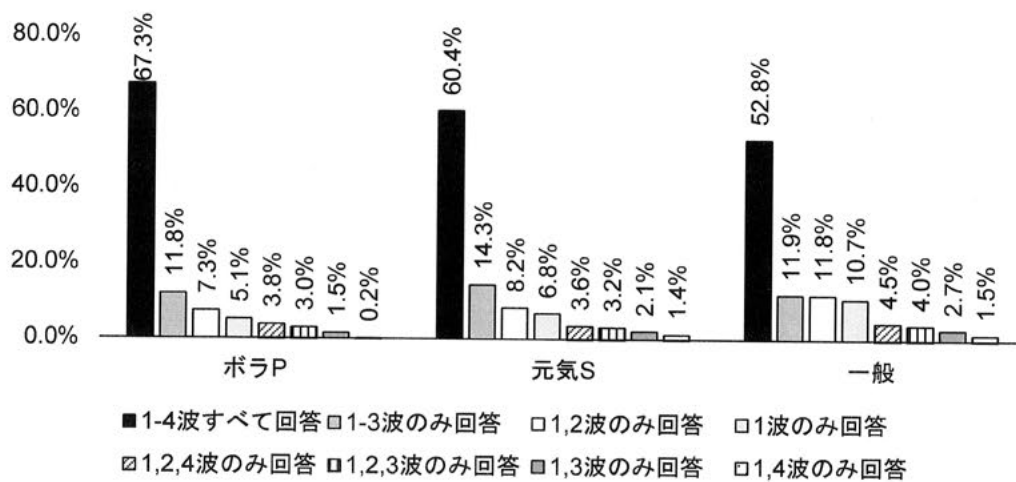


図4：ベースライン調査、第2波、第3波調査、第4波調査における回答状況

6. 分析方針、今後の調査計画

2. で述べたように、この調査の最大の目的は、プロダクティブ・エイジングを推進する事業の介護予防効果の検証にある。そこで、第4波調査（2019年調査）では、パネル調査データの知見を活かし、以下2つの分析を主におこなう。

- A) プロダクティブな活動の有無と、ベースライン調査からの健康状態の変化の分析
- B) プロダクティブな活動にかかわる人の継続・離脱要因の分析

後述するように、ベースライン調査から第4波調査の6年間では、健康指標の変化はある程度起きているもののそれほど大きくない。そのため、今後は横浜市の協力が得られるようであれば、継続的に介護保険情報をマージすることでも長期的な影響の分析を行うことが望ましいといえよう。

【参考文献】

- 1) 鈴木孝雄 (2011) 超高齢社会の基礎知識, 講談社.
- 2) 横浜市 (2013) 平成 23 年度 「ヨコハマいきいきポイント」 実施報告書.
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/kourei/kyoutuu/syokai/volunteer/borapo/volunteer/23zisshihoukokusyo.pdf> (2018/2/27)
- 3) 横浜市 (2015) 第 6 期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画.
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/kourei/kyoutuu/jourei/jigyokeikaku/dai6ki-keikaku/6kikeikakusyo.pdf> (2018/2/27)
- 4) 横浜市 (2018) 第 7 期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画.
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/kourei/kyoutuu/jourei/jigyokeikaku/dai7ki-keikaku/7ki-keikakugenan.pdf> (2018/2/27)
- 5) 横浜市 (2012) 第 5 期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画.
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/kourei/kyoutuu/jourei/jigyokeikaku/dai5ki-keikaku/5keikakusyo.pdf> (2018/2/27)
- 6) 内閣府政策統括官 (共生社会政策担当) (2014) 平成 25 年度 高齢者の地域社会への参加に関する意識調査結果 (全体版) . <http://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h25/sougou/zentai/index.html> (2018/2/27)
- 7) 戸ヶ里泰典 (2008) 大規模多目的一般住民調査向け東大健康社会学版 SOC3 項目スケール, 東京大学社会科学研究所 パネル調査プロジェクトディスカッションペーパーシリーズ, 4.
- 8) 高橋知也・小池高史・安藤孝敏 (2015) 独居高齢者は誰に援助を求めるか: 高齢者における被援助志向性と援助要請を行う対象との関連の検討から, 技術マネジメント研究, 14:23-31.
- 9) 高橋知也・安藤孝敏・小池高史(2015) 改訂版被援助志向性尺度の作成とその検討—独居高齢者に対する質問紙調査から, 日本社会心理学会第 79 回大会報告要旨,
<http://www.myschedule.jp/jpa2015/img/figure/91052.pdf> (2018/2/27)

2. プロダクティブ・エイジングと健康増進のための国内調査の分析

ー第4波調査における回答者の属性と、6年間の健康への縦断的影響の分析ー

成蹊大学文学部現代社会学科准教授

渡邊大輔

1. 本稿の目的

本稿の目的は、プロダクティブな活動に介護予防効果があるかを検証することにある。そこで、2013年、2015年、2017年、2019年の4回にわたって行われたパネル調査である「地域での活動と健康に関する調査」(YLSP)の個票データをもちいて、プロダクティブな活動への参加の有無と健康状態にいかなる関連があるかを6年間の変化から縦断的に分析する。プロダクティブな活動全般を扱うことは難しいため、本年度に調査を行ったよこはまシニアボランティアポイント事業におけるボランティアと元気づくりステーション事業での活動をプロダクティブな活動として操作的に設定して論じる。

もちいる調査データの概要については、前章で説明したので割愛する。この調査の特徴は、①よこはまシニアボランティアポイント(よこはまシニアボランティアポイント事業)登録者のうち2012年度に年間10回以上活動実績がある人、②元気づくりステーション事業(神奈川区、港南区、港北区、緑区および栄区の5区、22か所)に参加している人、③横浜市神奈川区、港南区、港北区、緑区および栄区の5区に居住する65歳以上の高齢者のうち介護認定を受けていない人、の3つの集団を対象とし、①、②を暴露群、③を統制群としていることにある。この後は、三調査をそれぞれ、「ボラP」、「元気S」、「一般」と略記し、この三調査のデータをもちいた分析を行う。

第2波調査、第3波調査における報告書において、ベースライン調査となる2013年の調査から2年間の影響を報告しているが^{1,2)}、本稿はこの調査報告を踏まえ、さらに2年間を経た変化について報告するものとなる。

2. 三調査の有効回答者の属性

三調査は、いずれも異なる対象を調査対象としているため、有効回答者の属性は大きく異なっている。ベースライン調査(以下、BL調査と略記)時点では、ボラP、元気Sいずれも女性が77.6%、81.1%と8割前後であり、一般は52.8%であった。また、年齢についても元気Sの平均値がボラP、一般に比べて高かった。この傾向が6年を経た第4波調査でも変わっていないかを把握するために、第4波調査までの性別の構成比の推移を表1に示した。表1からは、性別の構成比がすべての調査でほとんど変化していないことがわかる。とくにボラPについては、BL調査時と同様に、2013年12月末時点での横浜市の調査と数値がほぼ一致(同調査では、男性23.6%、女性76.4%)しており³⁾、現在のボランティアとして活動している人々の構成比を十分反映しているといえる。

さらに、BL調査から第3波調査の各調査における性別別年齢階級別の回答者数を図1、2に示した。また、一般については、本調査の中心的な対象に近い2020年1月時点での横浜市の70歳以上人口は709,355人、男性が305,180人(43.0%)、女性が404,175人(57.0%)であり、性別構成比はおおむね一致していた。

次に、年齢構成比とそれぞれの平均年齢(各調査年の年齢)を図1~4、表1に示した。この図からは、ボラP、元気S、一般のいずれにおいても、調査ごとに加齢しているが性別構成にはそこまで大きな変化がないことがわかる。第4波調査ではボラP、元気Sの男性の有

効回答者の平均年齢は80歳を超え、女性も79歳代である。ボラP、元気Sいずれも一般に比べて男性は2歳程度、女性も1歳程度年齢が高くなっている。

表1からわかるように、BL調査から第2波調査にかけては、各平均年齢がおおよそ2歳弱増え、標準偏差も大きく変化していないのに対して、第2波調査と第3波調査ではその上昇は1歳弱、標準偏差もやや小さくなっていった。第4波調査では第3波調査からの平均年齢の上昇が2歳程度となっており、BL調査からは5歳程度上昇している。

これらの知見から、BL調査時点での代表制に大きな問題はなく、さらにBL調査から第3波調査への変化において、性別構成には大きな変化は起きておらず、性別に起因した脱落が起きていないことが明らかとなった。

表1 調査年度別調査別性別の構成比

	BL調査(2013年)			第2波調査(2015年)			第3波調査(2017年)			第4波調査(2019年)		
	ボラP	元気S	一般	ボラP	元気S	一般	ボラP	元気S	一般	ボラP	元気S	一般
男性	22.3%	18.9%	47.2%	22.4%	19.0%	48.0%	21.4%	18.4%	46.5%	21.4%	18.4%	46.5%
女性	77.7%	81.1%	52.8%	77.6%	81.0%	52.0%	78.6%	81.6%	53.5%	78.6%	81.6%	53.5%

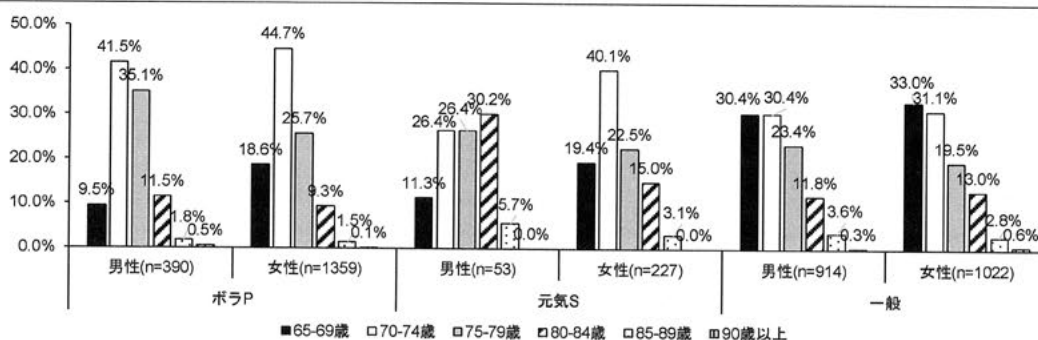


図1 BL調査時点(2013年)での性別別の年齢階級構成比

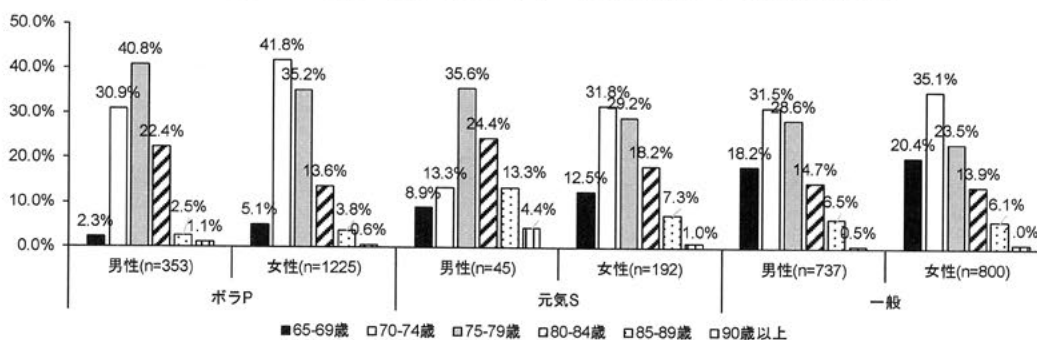


図2 第2波調査時点(2015年)での性別別の年齢階級構成比

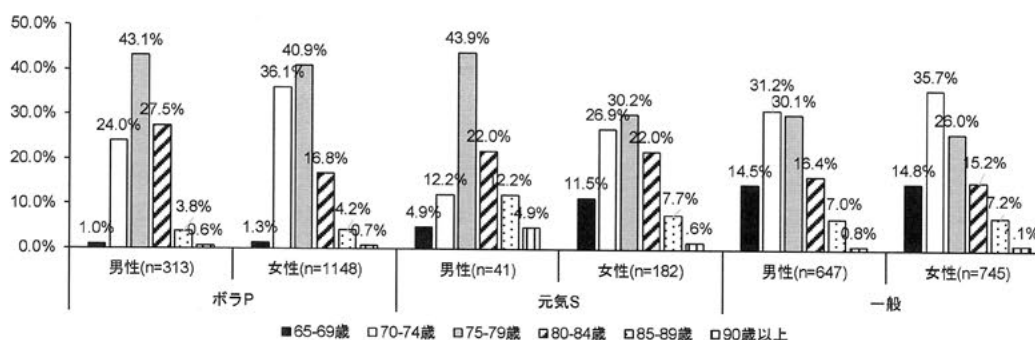


図3 第3波調査時点（2017年）での性別別の年齢階級構成比

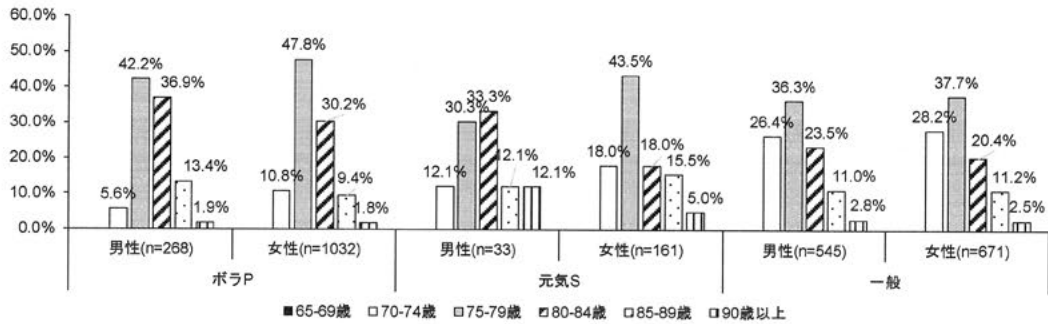


図4 第4波調査時点（2019年）での性別別の年齢階級構成比

表2 調査年別、調査別、性別別の年齢の記述統計

		BL 調査 (2013年)			第2波調査 (2015年)			第3波調査 (2017年)			第4波調査 (2019年)		
		Mean	SD	n	Mean	SD	n	Mean	SD	n	Mean	SD	n
ボラ	男性	74.9	4.4	391	76.7	4.2	353	77.4	4.1	313	80.2	4.1	268
P	女性	73.6	4.5	1358	75.6	4.4	1225	76.4	4.3	1148	79.2	4.1	1032
元気	男性	76.6	5.7	53	78.4	5.9	45	79.1	5.5	41	81.2	5.7	33
S	女性	73.9	5.5	227	75.9	5.5	192	76.8	5.5	182	79.3	5.5	161
一般	男性	73.2	5.8	914	75.2	5.6	737	75.8	5.4	647	78.4	5.2	545
	女性	73.1	5.9	1022	74.8	5.7	800	75.4	5.5	745	78.2	5.3	671

Mean は平均値、SD は標準偏差

3. プロダクティブな活動を行うことの介護予防効果の可能性

本節では、プロダクティブな活動への参加から6年間を経た結果、健康にかかわる指標についてどのような変化が起きたかを検証し、プロダクティブな活動への参加がいかなる介護予防効果を持つのかを分析する。

BL 調査時点では対照群である一般は介護認定を受けていない人々であり、身体的にも精神的にも著しい問題を抱えてはいない状態であり、そこでボラP群、元気S群も本稿では、健康について以下の3つの指標から検証する。

- A). <健康全般> 健康度自己評価
- B). <精神的健康> 老年期抑うつ尺度 GDS

まず、BL 調査から第4波調査までの間にどのような変化が起きたかをそれぞれ記述統計レベルで分析する。いずれも、2変数間ないし3変数間のみの分析となる。

健康度自己評価については、「あなたの、現在の健康状態は、いかがですか」という設問に「とてもよい」「ややよい」「あまりよくない」「よくない」への回答を1-4点でへと換算した。精神的健康をはかる老年期抑うつ尺度 GDS（以下、GDS スコア）については、15の設問の合計点（反転項目含む）を計算し、0-15点の得点とした。15点ほどうつ傾向にあり、値が小

さいほど精神的健康がよい。

全般的健康として健康度自己評価、精神的健康として GDS スコア、の各変数について、3 時点での平均値および 95%信頼区間を示したものが図 5、6 である。GDS スコアにはカットオフポイントがあるが、ここでは経年変化を示すために連続量として扱っている。

図 5 からは、健康度自己評価（とてもよいを 4 点、よくないを 1 点とした）の平均値は、3 時点でボラ P と元気 S が一般に比べて高いこと、加齢にともなって緩やかに健康度が低下しているがボラ P、元気 S は信頼区間も重なっており大きな違いは見られないことがわかる。ただし図からわかるように、ボラ P、元気 S と一般の差は縮小傾向にあり、とくに回答者数の小さい元気 S と一般は誤差バーを見る限り、大きな差があるとは言えない状況となっている。そのため一般は低いレベルで維持していると表現することもでき、加齢に伴って一般に近づいているともいえる。この点は、後述するように年齢を統制した分析を行うことで、ボラ P や元気 S への参加に介護予防効果があるか明らかにする必要がある。

図 6 は、GDS スコア（15 点満点、点数が高いほうが抑うつ度が高い）の変化を示している。健康度自己評価と同様にボラ P と元気 S が一般に比べて GDS スコアが低く精神的健康がよいこと、また、元気 S が BL 調査時点に比べて 2 年後にあたる第 2 波調査時には有意に GDS スコアが低くなっており、現在でも平均値としては 6 年前よりも GDS スコアが低い状況にあることがわかる。ボラ P の GDS スコアはやや上昇傾向にあり、誤差を含め BL 調査から第 2、3 波調査では差があるとは言えないが、第 4 波調査では記述統計レベルではやや悪化の傾向にあった。それでも一般よりは明確に精神的健康がよく、記述統計レベルではボラ P や元気 S に BL 調査時に参加していた群の健康度が高いこと示唆されている。

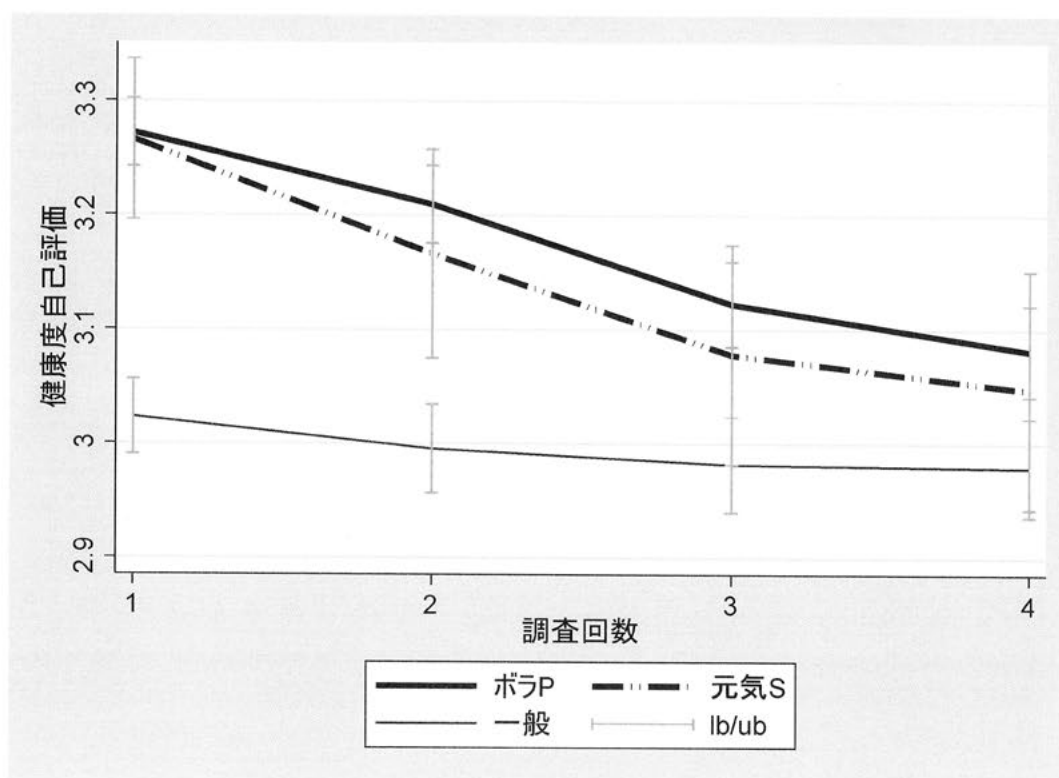


図 5 健康度自己評価（4 点満点、高いほうが健康がよい）の変化

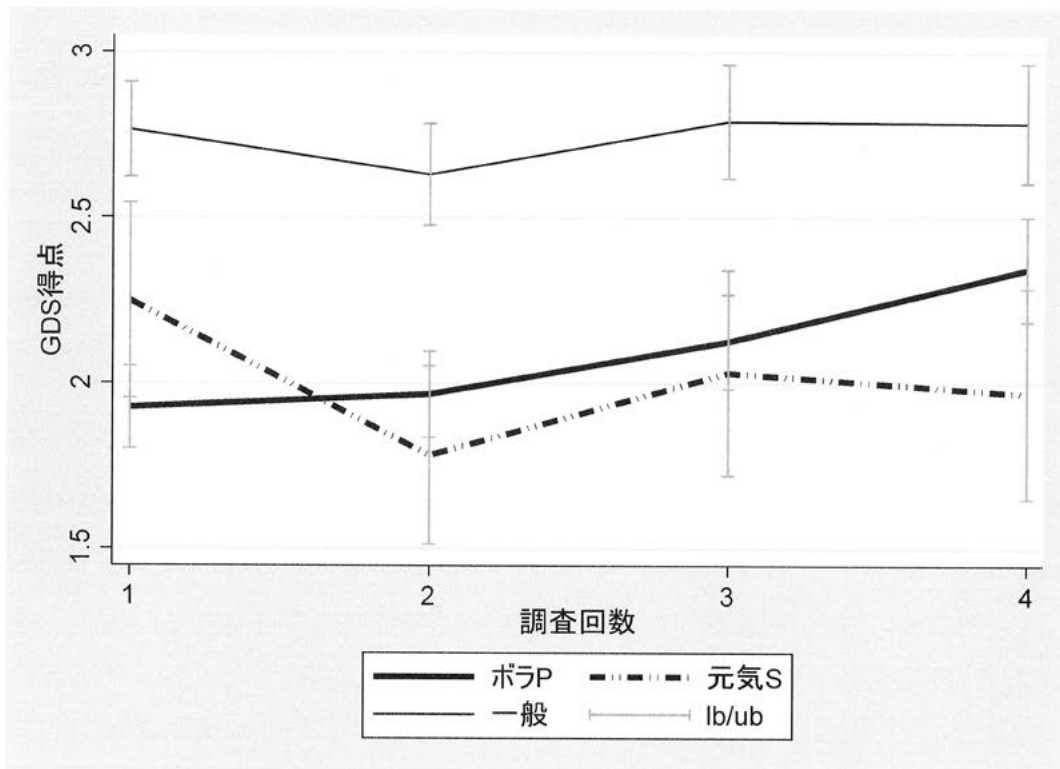


図6 GDSスコア（15点満点、高いほうが鬱度が高い）の変化

以上より、記述統計レベルでは、ボラ P、元気 S いずれも、2 つの健康指標について一般に比べて高い値を維持していることがわかる。しかしこれらはあくまでも 2 時点間の比較にすぎない。そこで、一般を参照カテゴリとしてボラ P、元気 S を独立変数とし、性別、年齢、配偶者の有無を統制変数として投入したシンプルなパネルデータ分析を行う。

ここでは、健康度自己評価と GDS スコアを従属変数として分析し、プーリング回帰モデル (Pooling OLS)、固定効果モデル (Fixed Effect OLS)、ランダム効果モデル (Random Effect GLS)、および、時間に不変の変数が固定効果モデルで排除されるという点を踏まえ、アリソンのハイブリッドモデル (Hybrid Model) ⁴⁾ をもちいた。

健康度自己評価を従属変数とした分析結果が表 3 である。モデル選択として、まず、変量効果モデルとプーリング回帰モデル間での検定である Breusch and Pagan 検定をもちいてモデル比較を行ったところ有意であり変量効果モデルが採択された ($\text{Chi}^2(\text{d.f.}=1) = 2150.91, p > .000$)。続いて、固定効果モデルと変量効果モデル間の検定である Hausman 検定をもちいてモデルの比較を行ったところ有意であり、固定効果モデルが採択された ($\text{Chi}^2(\text{d.f.}=4) = 52.81; p > .000$)。ここから、固定効果モデルが採択され、解釈の補助としてハイブリッドモデルをもちいることとなった。

表3 健康度自己評価を従属変数としたパネルデータ分析の結果

従属変数：健康度自己評価

変数	参照 カテゴリ	Pooling OLS		Fixed Effect OLS		Random Effect OLS		Hybrid Model			
		Coef.	Robust Std. Err.	Coef.	Robust Std. Err.	Coef.	Robust Std. Err.	between		within	
								Coef.	Robust Std. Err.	Coef.	Robust Std. Err.
ボラP	一般	.080 ***	.017			.119 ***	.024	.049 †	.027		
元気S	一般	.096 ***	.028			.138 ***	.039	.103 *	.039		
男性	女性	-.019	.016			-.022	.023	-.021	.023		
年齢		-.015 ***	.001	-.030 ***	.003	-.016 ***	.002	-.015 ***	.002		
有配偶	無配偶	-.011	.016	.027	.035	.005	.021	-.029	.025	.034	.360
等価所得		.268 ***	.031	.016	.050	.170 ***	.036	.350 ***	.050	.050	.779
他のボランティアしていない		.181 ***	.017	.084 ***	.020	.129 ***	.018	.261 ***	.031	.020 ***	.000
Wave2	Wave1	-.006	.018	.008	.013	-.011	.015	-.019	.015		
Wave3	Wave1	-.036 †	.019	-.008	.013	-.048 *	.017	-.058 ***	.017		
Wave4	Wave1	-.023	.021	(omitted)		-.054 *	.020	-.067 ***	.020		
切片		3.534 ***	.131	5.289 ***	.256	3.841 ***	.177	3.372 ***	.200		
N. of Observation		10,524		10,524		10,524		10,524			
N. of groups				3,566		3,566		3,566			
Adjusted R-Square		.048									
within R square				.029		.026		.029			
between R square				.025		.061		.068			
overall R square				.024		.046		.054			
sigma_u				.594		.467		.466			
sigma_c				.523		.523		.523			
rho				.563		.443		.442			
Wald Chi square						374.940 (df=10)		436.050 (df=13)			

† p<.10, * p<.05, ** p<.01, *** p<.001

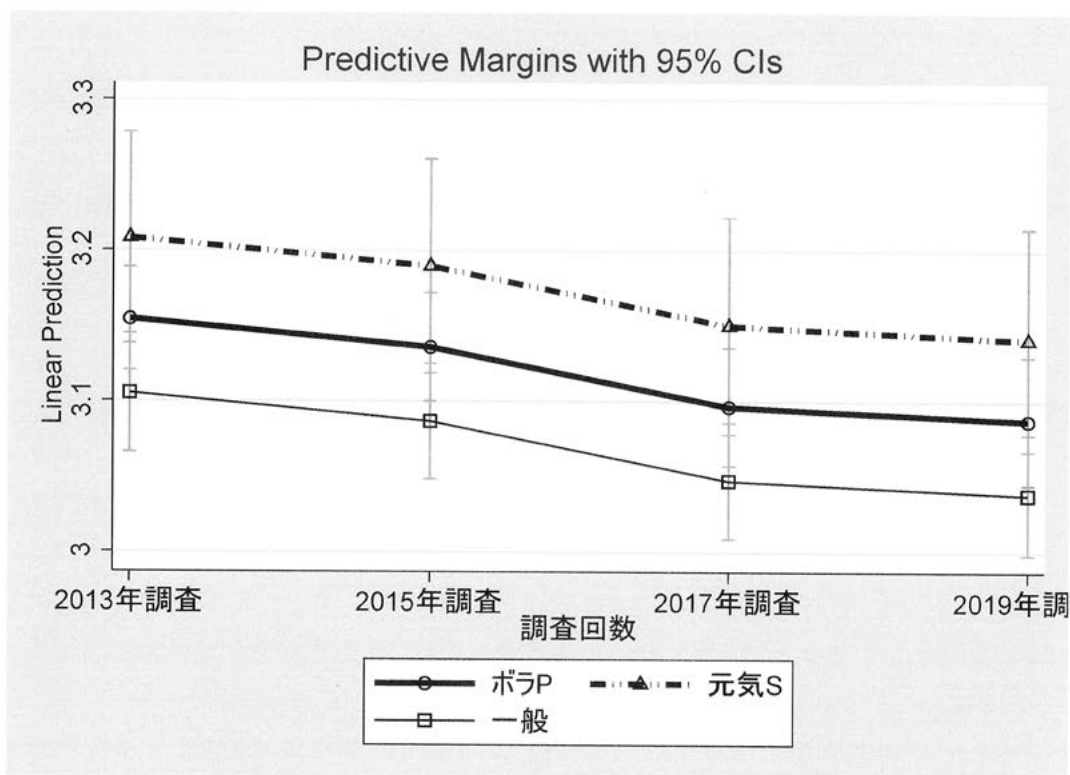


図7 ハイブリッドモデルにおける各調査による健康度自己評価の推測値

表3からは、以下の点が見える。第1に、一般に比べてボラP、元気Sの係数が有意に高く、性別や年齢、配偶者の有無等をコントロールしてもなお、一般の人に比べてBL調査時点でよはまシニアボランティアポイント制度に参加していた人、元気づくりステーション

事業に参加していた人は有意に健康が高かった。これはボラ P や元気 S への参加を統制してなお有意であった。第 3 に、時間の経過は他の変数をコントロールしてなお、有意に健康度を下げていた。また、性別や配偶者の有無は有意ではなかった。

これらの効果の程度を可視化するために、図 7 にはハイブリッドモデルにおける各調査の経過を横軸にプロットし、その健康度への推測値を示した。ボラ P と元気 S の健康度に対する効果は類似しており、いずれもが健康度自己評価に対して肯定的な効果を持つことが示されており、この効果は 6 年たっても継続している。

次に、GDS スコアを従属変数とした分析結果が表 4 である。モデル選択として、まず、変量効果モデルとプーリング回帰モデル間での検定である Breusch and Pagan 検定をもちいてモデル比較を行ったところ有意であり変量効果モデルが採択された (Chi2 (d.f.=1) = 2150.91; $p > .000$)。続いて、固定効果モデルと変量効果モデル間の検定である Hausman 検定をもちいてモデルの比較を行ったところ有意であり、固定効果モデルが採択された (Chi2 (d.f.=4) = 52.81; $p > .000$)。ここから、健康度自己評価を従属変数としたモデルと同様に、GDS スコアを従属変数としたモデルにおいても固定効果モデルが採択され、解釈の補助としてハイブリッドモデルをもちいることとなった。

表 4 GDS スコアを従属変数としたパネルデータ分析の結果

従属変数：老年期抑うつ尺度 (GDSスコア)

変数	参照 カテゴリ	Pooling OLS		Fixed Effected OLS		Random Effected OLS		Hybrid Model			
		Coef.	Robust Std. Err.	Coef.	Robust Std. Err.	Coef.	Robust Std. Err.	between		within	
								Coef.	Robust Std. Err.	Coef.	Robust Std. Err.
ボラP	一般	-.411 ***	.069			-.562 ***	.094	-.260 *	.110		
元気S	一般	-.535 ***	.111			-.626 ***	.140	-.459 ***	.139		
男性	女性	-.005	.060			.048	.094	.065	.097		
年齢		.006	.006	.054 ***	.010	.011	.008	.005	.008		
有配偶	無配偶	-.150 *	.063	-.237 †	.132	-.232 **	.090	-.154	.114	.128 †	.074
等価所得		-2.183 ***	.120	-.741 ***	.185	-1.415 ***	.144	-2.682 ***	.219	.183 ***	.000
他のボランティア していない		-.562 ***	.066	-.187 **	.072	-.316 ***	.063	-.900 ***	.124	.071 *	.007
Wave2	Wave1	-.187 **	.072	-.138 ***	.040	-.101 *	.050	-.065	.051		
Wave3	Wave1	-.054	.076	-.089 *	.041	.028	.060	.083	.062		
Wave4	Wave1	.003	.082	(omitted)		.171 *	.073	.247 ***	.076		
切片		7.664 ***	.511	.325	.933	5.490 ***	.723	8.935 ***	.848		
N. of Observation		10,524		10,524		10,524		10,524			
N. of groups				3,566		3,566		3,566			
Adjusted R-Square		.048									
within R square				.019		.017		.019			
between R square				.024		.073		.085			
overall R square				.022		.056		.068			
sigma_u				2.433		2.089		2.086			
sigma_c				1.621		1.621		1.621			
rho				.693		.624		.623			
Wald Chi square						267.330 (df=10)		364.200 (df=13)			

† $p < .10$, * $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

表 4 からは、以下の点が見える。第 1 に、健康度自己評価と同様に一般に比べてボラ P、元気 S の係数が有意に負である、すなわち、抑うつ度が低く、性別や年齢、配偶者の有無等をコントロールしてもなお、一般の人に比べてよこはまシニアボランティアポイント制度に参加していること、元気づくりステーション事業に参加している人は有意に精神的健康が高かった。第 2 に、時間の効果として調査年ごとのダミーを投入した結果、第 4 波 (Wave4) が BL 調査時 (Wave1) に比べて正に有意であり、精神的健康はある程度の時間を経て悪化していることが示された。第 3 に配偶者の有無による精神的健康への効果は配偶者がいるほう

が精神的健康がよい（抑うつ度が低い）効果が見られた。ただしハイブリッドでは within 効果において 10%水準であるが正に有意であり、個人内において配偶状況が変化したときには精神的健康が悪化することが示唆されている。また等価所得、他のボランティアの実施はいずれも負に有意であり、経済状況がよいことが、他のボランティアなどに参加することそうでない人に比べて精神的健康がよかった。なお、これらの変数についてもハイブリッドモデルの within 効果において正に有意であり、これらの個人内での変動によって、その個人の精神的健康が悪化していた。

第2波調査時には時間の効果が見られず、第3波調査では緩やかに精神的健康が悪化する傾向にあったが、図8に示されている通り、いずれの群も緩やかに時間の経過とともに精神的健康が悪化する傾向にあった。

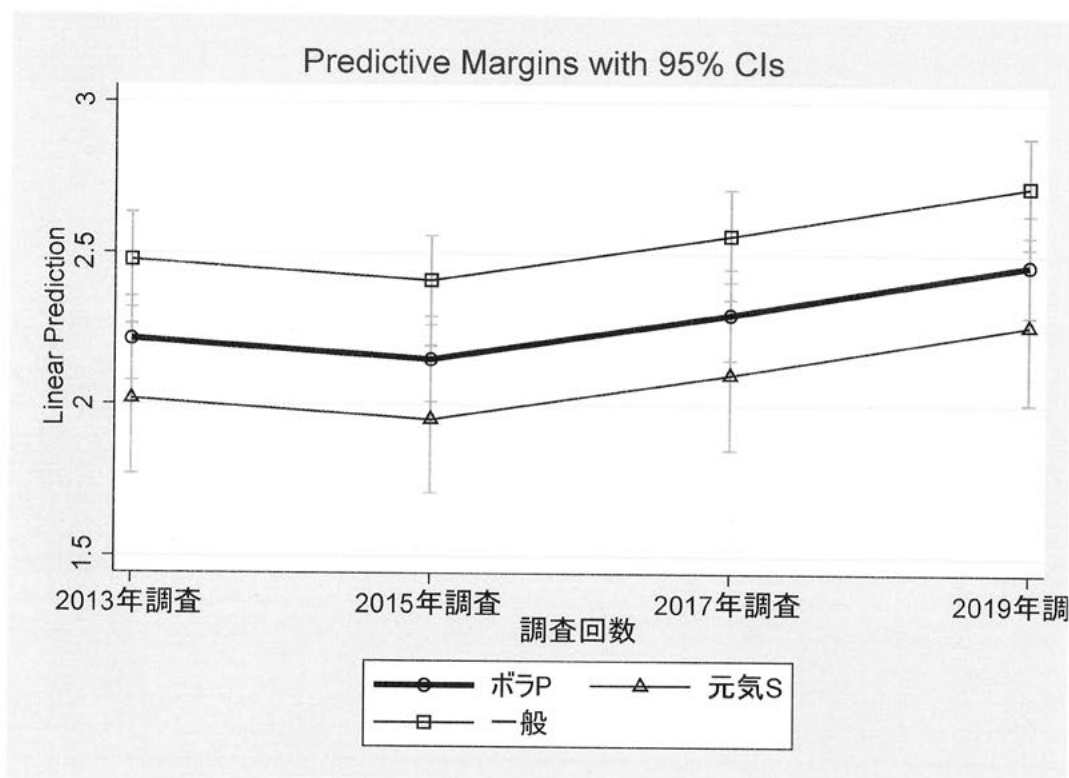


図8 ハイブリッドモデルにおける各調査による GDS スコアの推測値

以上、2つの分析の結果、BL 調査時のプロダクティブな活動が、健康に対して有意に肯定的な効果をもっていることが明らかとなった。

4. 活動継続の効果分析

前項の分析は調査設計時点でボラ P、元気 S それぞれに活動実績がある、あるいは、活動していた人のその 6 年後の効果分析をパネルデータ分析の手法をもちいておこなったものである。しかしながら、ボラ P、元気 S とともに活動をやめることもありえるだろう。施策として活動継続重視することから、活動継続がもたらす効果についても分析をおこなった。

図9にはボラ P への活動状況について「現在参加していない」と回答した人を活動中止、活動している人を活動継続として調査年ごとに参加している人の比率を示した。ボラ P については、2013 年 10 月の調査時点では 96.6%の人がボラ P に参加していたが 6 年後の 2019 年

には回答者の 71.2%まで低下している。なおこの数値は、死亡や回答拒否などを含まない。6 年間一貫して低下しており、加齢や家族のケア等で活動継続が難しい人が増えている実態が示された。

また図 10、11 にはこの活動を継続している人と、調査時に活動をやめていた人での健康状態について調べたところ、健康度自己評価、GDS スコアいずれも活動を継続している人のほうが健康度がよかった。なお、これは因果関係が逆であり、健康でなくなったから活動を中止している可能性もあり、より詳細な検討が今後必要となる。

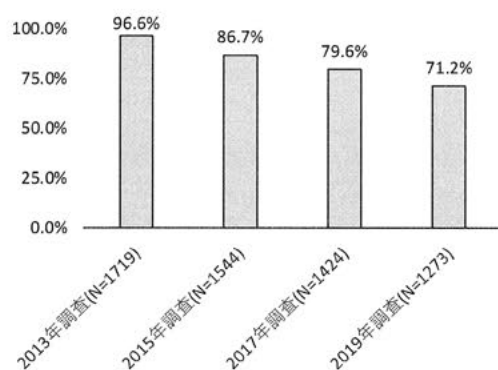


図 9 各調査におけるボラ P 活動参加継続率の推移

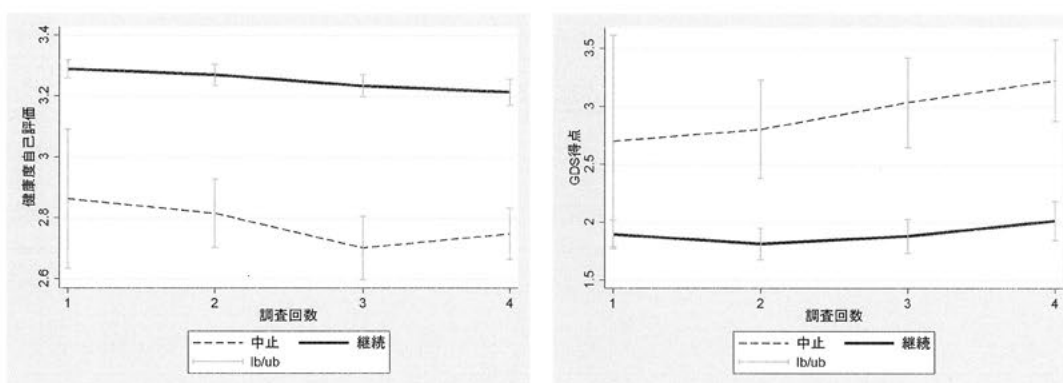


図 10,11 各調査におけるボラ P 活動参加継続、中止別の健康度自己評価、および、GDS スコアの推移

同様に、図 12 には元気 S への活動状況について「現在参加していない」と回答した人を活動中止、活動している人を活動継続として各調査年ごとに参加している人の比率を示した。元気 S はもともと 2013 年の計画標本策定時点での集合調査（調査活動場所で配布後郵送で返送）ではじまっており、2013 年 10 月の調査時点ではほぼ全員にあたる 99.3%の人が元気 S に参加していたが 6 年後の 2019 年には回答者の 82.9%まで低下している。なおこの数値は、死亡や回答拒否などを含まない。ボラ P に比べると 10 ポイント以上高い継続率を誇っているが、やはり 6 年間一貫して低下しており、加齢や家族のケア等で活動継続が難しい人が増えている実態が示された。また、BL 調査から第 2 波調査に移行する時点で 10 ポイント以上減少しているが、2013 年は活動開始時期であり、2 年以内に活動をやめた人が多いということは、元気 S 活動との相性が定着をもたらしているかもしれないことが示唆されている

だろう。そのためある程度継続した場合、第 3, 4 波調査ではボラ P に比べて減少していないことが示唆的である。

また図 13, 14 にはこの活動を継続している人と、調査時に活動をやめていた人での健康状態について調べた。その結果、健康度自己評価では、活動を継続して人が一貫して安定した健康度を保ち、中止した人は下がっていく傾向にあった。これに対して精神的健康については、活動を継続、中止に違いはみられなかった。健康度自己評価は健康全般についての包括的な健康指標であり、元気 S への活動の継続が健康全般に肯定的な効果をもたらしていたことが分かる。これに対して GDS スコアによって測定される精神的健康は具体的な体調ではなく抑うつ傾向などの精神的な健康を測定しており、活動の継続/中止とは異なる要因によって精神的健康が規定されていたことが分かる。元気 S への参加者は自治会加入率が高く、地域活動への参加率なども高いことから、元気 S への参加継続できなくとも、地域との関係が密であることから精神的健康を維持していた可能性がある。

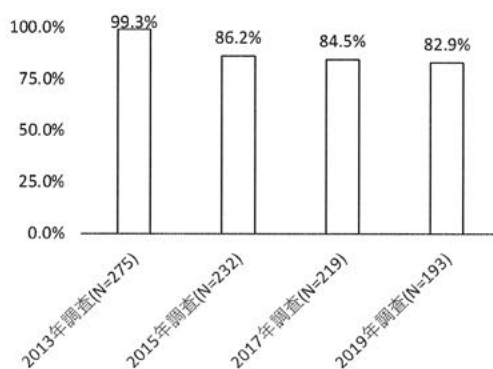


図 12 各調査における元気 S 参加継続率の推移

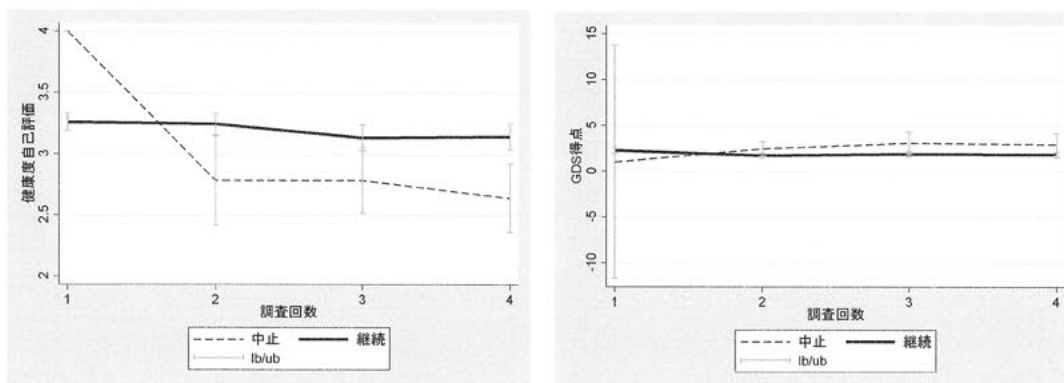


図 13,14 各調査における元気 S 参加継続、中止別の健康度自己評価 (左)、および、GDS スコア (右) の推移

前項と同様に健康度自己評価と GDS スコアを従属変数として分析し、ボラ P への参加継続か否か、元気 S への参加継続か否かの効果を分析するために、調査対象間の観測されない異質性を統制できる固定効果モデル (Fixed Effect OLS) をもちいた分析もおこなっている。

詳細は割愛するが、この結果からも、ボラPの活動継続は配偶者の有無や等価所得、他のボランティアへの参加、さらに健康度自己評価を統制してもなお、健康度自己評価とGDSスコアに健康に肯定的な影響がみられた。また元気Sについては、活動継続が健康度自己評価には有意に肯定的な影響をおよぼしていたが、精神的健康については有意な効果は見られなかった。元気づくりステーション事業は体操や交流をおこなうが、中止した人は健康面については悪化するが、精神面については前述の通り地域的な要因などによって維持しているのかもしれない。

5. 今後のプロダクティブ・エイジングの推進と介護予防に向けて

3節の分析において、よこはまシニアボランティアポイント事業と元気づくりステーション事業は異なるターゲットに対して介護予防効果をもつ可能性が強く示唆された。とくに固定効果モデルで有意な結果が得られたことから、個人レベルの観察されない異質性を統制してもなお、両事業への参加は健康度自己評価や抑うつに肯定的な影響をもっていた。なお、以前に分析したように、両事業は異なる対象が参加しているものであることから⁵⁾、これらの事業は多様な異なる高齢者に対して効果的な介護予防施策となっているといえよう。

また、ボラPや元気Sへの参加年齢が上昇していることを踏まえ、参加継続、中止のもたらす影響について分析した結果、ボラPは参加継続が全般的な健康および精神的健康の双方に肯定的な効果をもたらしていた。これに対して、元気Sでは全般的な健康については肯定的であったが、精神的健康については肯定的ではなかった。

第4波調査は、ベースライン調査から6年後であり、回答者の平均年齢も80歳前後になっているが、ボラP、元気S、双方について多くの参加者が活動を継続していた。また2013年時点でこれらに参加していない一般に比べて健康に肯定的な影響がみられたことから、横浜市の介護予防施策は一定の成果を収めているといえるだろう。ただし2018年度の報告書で分析したように⁶⁾、必ずしも要介護認定の抑制につながっているとは限らない。この点について、より詳細な分析を今後継続的に行っていく必要があるだろう。

また本分析は、実査直後に行っている分析となる。今後、より詳細かつ精緻なモデル選択などを含めた詳細な検討が今後の課題となる。

【参考文献】

- 1) 渡邊大輔 (2016) プロダクティブ・エイジングと健康増進のための国内調査の分析—回答者の属性と健康への縦断的影響の分析. 国際長寿センター編, 地域のインフォーマルセクターによる高齢者の生活支援、認知症高齢者支援に関する国際比較報告書. 84-91.
- 2) 渡邊大輔 (2018) プロダクティブ・エイジングと健康増進のための国内調査の分析—第3波調査における回答者の属性と、4年間の健康への縦断的影響の分析. 国際長寿センター編, 先進各国における高齢者の介護予防に資する自助又は互助も含めたサービスの仕組みに関する調査研究報告書. 189-98.
- 3) 横浜市：平成25年度「ヨコハマいきいきポイント」実施報告書
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/kourei/kyoutuu/syoukai/volunteer/25zishihoukokusyo.pdf> (2016/3/1)
- 4) Allison, P. D., (2009) Fixed Effects Regression Models, Thousand Oaks: Sage.
- 5) 渡邊大輔 (2014) プロダクティブ・エイジングと健康増進のための国内調査の分析—だれがプロダクティブな活動にかかわっているのか. 国際長寿センター編, プロダクティブエイジング (生涯現役社会) の実現に向けた取り組みにかんする国際比較報告書. 53-62.
- 6) 渡邊大輔 (2019) プロダクティブ・エイジングと健康増進のための国内調査の分析—要介護認定及び死亡率の5年間フォローアップ分析. 国際長寿センター編, 多様な主体による高齢者支援のための連携実態と地域住民の参画を促すための公的支援に関する国際比較調査研究報告書, 別冊 5-13.

3. 横浜インタビュー調査から見えてきたこと①

ーボランティアなどのプロダクティブな活動と健康の関連

(公財)ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員

澤岡詩野

1. はじめに

国際長寿センターでは 2016 年から、全国に先駆けて地域づくりを意識した介護予防事業に取り組んできた神奈川県横浜市の 2 つの取り組み「よこはまシニアボランティアポイント事業」と「元気づくりステーション事業」を対象に、「プロダクティブ・エイジング(生涯現役社会)」の実現に向けた取り組みに関する調査を継続してきた。本章では、最初に両事業の概要を説明したうえで、高齢当事者にとって「ボランティアや自主グループの運営といったプロダクティブな活動に関わる意味」をこれまでのインタビュー調査の結果から整理していく。続く次章「4. 横浜インタビュー調査からみえてきたこと②」では、これらのプロダクティブな活動を支える行政や専門職、ボランティア受け入れ施設、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどに求められる視点を整理する。

2. 「よこはまシニアボランティアポイント」と「元気づくりステーション」事業の特徴

(1) 「よこはまシニアボランティアポイント」とは？

厚生労働省は 2007 年 5 月から、介護予防の取り組みとして「介護支援ボランティアポイント事業」を各自治体に拡げている。横浜市では 2009 年 10 月から、介護保険施設等でボランティアを行った場合に「ポイント」が得られ、たまった「ポイント」に応じて換金できる仕組みとして、政令指定都市で初めて開始している。

高齢者本人の健康増進や介護予防、社会参加や地域貢献を通じた生きがいをテーマとしており、市内のボランティアポイント受け入れ施設でボランティア活動を行うことで地域の新たな課題に気づき、その担い手として新たな活動を展開するきっかけとなることが期待されている。活動内容は施設により異なるものの、利用者の話し相手、レクリエーションや行事の指導・補助、食事介助や整髪補助など、原則的には施設職員の業務の補助的な内容に限定されている。登録者数は 1 万 9,000 人を超え、年々増加傾向にある。

ポイントは、1 回 30 分以上の活動で 200 ポイントが付与され、1 日 200 ポイントまで、年間 8000 ポイントを上限に 1 ポイントにつき 1 円として換金できる。お金の換える以外にも、市の指定する福祉関連施設への寄付も可能となっている。2009 年の事業開始前からボランティアとして活動していた人の登録については、当事者の判断に任せられており、同じ活動内容でもポイントをもらう人とそうでない人が混在している。

65 歳以上の横浜市民であれば誰でも活動できるが、始めるにあたっては各区の公会堂などで開催される 3 時間程度の研修会を受講することと、介護保険証を提示したうえでの登録が義務付けられている。研修会では、当該事業の概要、ボランティアとして活躍するための心得の説明に加え、受講者が住んでいる区内にある受け入れ施設の具体的な紹介が行われる。参加者は登録後に、興味のある施設に連絡を取り、訪問したうえで活動先を決定する。

事業開始から 10 年が経過するなかで名称や制度そのものの改革が行われている。特に大きな改革であり、横浜市の特徴ともいえるのが以下の 2 点である。

ボランティアポイントの受け入れ施設の拡大

: 厚生労働省が各自治体に上げた介護支援ボランティアポイント事業では、活動先が介護保険関連施設に限定されていた。横浜市では、特別養護老人ホームや有料老人ホーム、デイサービス、ケアプラザ（横浜市の地域包括支援センター）などに加えて、病院、地域の子育て支援拠点、精神障害者生活支援センターや障害者地域活動ホーム、元気づくりステーションなど、地域福祉に関連する施設全般に拡大しつつある。

ボランティア研修の実施団体を拡大

: 介護支援ボランティアポイント事業に取り組む多くの自治体では、自治体や自治体が委託した事業者が登録研修を行っている。横浜市でも事業開始当初は市が委託した団体が、各区で公会堂などの100人～200人規模の研修を年1回程度行っていた。これでは登録の機会が限定され過ぎるとの市民からの要望を受け、登録研修講師の養成を始めている。近年では、講師の資格を取得した福祉事業者やケアプラザが、自前の研修を行っている。

(2) 「元気づくりステーション」とは？

地域内のつながりを醸成することで互助・共助を引き出し、介護予防を行政と市民・地域の協働で進めることを目指し、2012年より事業が本格的にスタートした。同事業は、横浜市の介護予防事業が従来の個別支援重視型から地域のつながりづくりなどを目的とした地域づくり型へと施策転換したなかで、「元気づくりステーション事業」は中心的な取り組みみに位置付けられている（図1）。

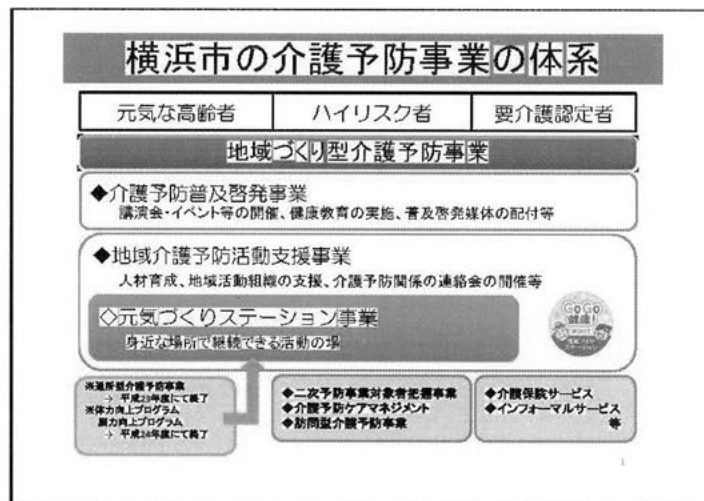


図1 横浜市の介護予防事業の体系

事業目的に賛同して登録した65歳以上で構成される10人以上のグループに対し、自治体が運営のサポートを行っている。具体的には、保健師や看護師などが活動に関わり、講師派遣や教材の提供、モチベーション維持のための体力測定、自主化に向けたリーダー育成などを行っている。活動内容は、元気に歩ける身体づくりを目指すトレーニング「ハマトレ」を基本にしつつも、プログラムや運営の仕方は各グループに任せている。

多くのグループは、保健師による区主催の健康づくりや認知症予防講座参加者への自主グループ化への働きかけから始まっている。自主グループとして活動開始後は、メンバーが話し合いでプログラムを決定し、ハマトレ以外の体操や脳トレ、コグニサイズ、盆踊りなどを実施、メンバーが講師となった趣味の講座、ウォーキングを兼ねた工場見学など、多様なプ

プログラムを展開している。運営の仕方もグループ内の話し合いで決定しており、会費を徴収して多様な活動を展開するグループもあれば、自分たちでできる体操のみに活動をとどめ、必要最低限の経費以外は会費を徴収しないグループまで存在する。

多くの自治体で行われている健康づくりを目的とした事業、厚生労働省が推進する従来の「通いの場」と大きく異なる点、特徴として挙げられるのが以下の2点である。

「主体的な参加」を促す

：「通いの場」と呼ばれる多くの場では、高齢当事者を参加者、お客さんと位置づけることが少なくない。元気づくりステーションでは、運営は原則的に世話人が担いつつも、会場の鍵の開け閉めや準備と片付け、受付、会計、活動のPRや新規メンバーの勧誘などの役割を分担し、当番制にすることで、全員参加を目指すグループが多くみられる。活動開始時に市から派遣される「ハマトレ」などの体操指導者についても、保健師がメンバーに指導者養成講座の受講を促すことで、最終的にはメンバーが指導者として活躍するグループも少なくない。

専門職の継続した関わり

：グループ活動や通いの場を立ち上げる際には、地域福祉に関わる専門職が支援者として関わる事例が多い。元気づくりステーションでは、自治体の保健師とケアプラザの看護師や保健師などが立ち上げに大きな役割を果たした後も、つかず離れずの伴走者として継続して関わっている。これにより、メンバーの身体状況や認知機能の変化に早期に気付くだけでなく、虚弱化するメンバーの主体的な参加を促したり、弱体化するグループの自主運営を支え続けることを可能にしている。

3. 高齢者にとって「プロダクティブ」な活動に関わる意味

上述した様に、本調査の対象となる2つの介護予防事業は身体を動かす事や体操を行うといった直接的な健康づくりだけではなく、当事者のできる範囲で「主体的」「プロダクティブ」な活動を行うことで介護予防につなげていくことを目標にした取り組みといえる。ここからは、プロダクティブな活動に関わる経緯から関わる当事者の感じる効果について、「よこはまシニアボランティアポイント」登録者と「元気づくりステーション」の世話役らの語りから分析していく。

(1) 「よこはまシニアボランティアポイント」に関わる意味とは？

【今の活動に関わる経緯】

シニアボランティアポイントの登録者には、〇〇のためにといった明確なミッションを持って活動を始めた人よりは、定年退職や介護を終えたのをきっかけに、「自らの健康づくり」に加え、「なんとなくできる事を求めて」という人が多くみられた。

障害施設ボラ「活動を始めれば体動かせるかなと思って、それが最初だった。」

高齢施設ボラ「ずっと専業主婦で、大勢の人の中って生まれて初めてなんですけれども。

夫が亡くなって、ここでしたら、奉仕できるんじゃないかという軽い気持ちで入りました。11年間、よく続いたなと思って。」

高齢施設ボラ「定年退職して、何かしたいなと思って、近所の方がここで職員をしていて、

何かありませんかと聞いたらどうぞということで6年間。」

障害施設ボラ「退職後に社会福祉協議会に行って、いろんなところを紹介されたんですけど、たまたま、ほんじゃ、ここへ来てみようって、面談に行って決めたんです。」

子育て支援ボラ「ボランティアだ何だっていうよりも、縫い物が好きだっていうことで、私は入りました。だからもう、入ったら本当に楽しくて楽しくて。」

また活動を選んだ理由として、自分のやれそうなことに加え、活動する場所が「徒歩圏・自転車圏」であることを重要視する人も少なくなかった。

高齢者施設ボラ「生活に近い所、今まで経験したことができること、これが一致した。」

子育て支援ボラ「ちょっと遠いと10年は続けられなかったと思いますね。」

関わる活動を決める際には、施設から提示されたものの中から、新たにチャレンジするというよりも、今までの経験から「自分にできそうなもの」を選んでいた。

高齢施設ボラ「手が荒れるのはダメで、要介護の父のお散歩はしていたので、車いすでのお散歩をしたいと決めた。」

高齢施設ボラ「できることで、やはり家庭生活と密着してるってところで。子どもはダメ、かわいいけど追いかけれないもん。」

障害施設「毎日、1万2千歩歩いているから、散歩(利用者と1対1で散歩)ならと思って。あと夏は、小さいころ、川で泳いだりしていたから、去年はプール(入所者のプール)も手伝ったり。」

【活動への関わり方】

ほとんどのボランティアは曜日を固定して、月に数回、多くて週2回程度、1回に2~3時間程度の活動を行っていた。日常生活、「他の活動に影響のない範囲」で、「身体の状態に併せて柔軟に調整」している人が多く存在した。

子育て支援ボラ「第1第3の金曜日に2~3時間程度、集まって作業するの。でも出来上がらないんですよ。結構宿題も多いですが、夜の楽しみです。」

高齢施設ボラ「やはり年ですから、ちょっとお昼で息抜きしたいって気持ちがありまして。朝の忙しい時間に半日だけ。」

障害施設ボラ「1週間に1回じゃ、物足んなかったんですよ。で、施設の人に別の何かありますかって言ったら、通所をやってくださいって言われた。」

「自分にできそうなもの」を選んで活動をしていても、初めての施設でどのように自身のスタイルを見出していったのかを尋ねた結果、決められた研修プログラムを用意している施設は少なく、最初の数回は施設の職員と一緒に活動しながらレクチャーをし、あとはその都度聞きながら慣れていったという声が多く聞かれた。活動開始時から今に至るまで、全員に共通した守るべき事柄は「施設から言われたこと以外には手を出さない」ことであった。何か気になったり、気付いた際は、その都度、職員に確認することで対応していた。

障害施設ボラ「最初はどうしていいのかさっぱり分かんなくて。とにかく2回ぐらい職員の人に一緒に歩いてもらって、ああ、こんなふうにしていけばいいんだなってことが分かったんですけどね。」

障害施設ボラ「その都度、その場合、帰ってきてから、どうなのとか、持って行っていいのとかって、そういう話はときどき(職員に)聞いたりですね。」

【活動から感じる自身への効果】

ほぼすべての人から自身の「健康づくり」につながっていることが語られた。活動そのものではなく、「活動を続けるために健康に留意するようになった」という声が多く聞かれた。

高齢施設ボラ「体は鍛えないと、活動も続かない。そのために、他の日に体操やジムに通

っているし、活動を始めて風邪をひかない。」

障害施設職員「80いくつで、もう、なんか何十年、ボランティアやってらっしゃるっていう方で、これがあるから私、頑張るのみにたいに。結構、皆さん、ご自分のためっていうのが、すごくあります。」

また「今まで見えないことが見えてきた」といった「自らの生き方への学び」が、活動を通じて得られたこととして語られた。

高齢施設ボラ「同じ同世代の方（入所者）から、逆に私共が勉強になりましてね。皆さんしっかりしていて、自分が成長した様な気がします。」

障害施設ボラ「身体障害者の方と一緒に歩くようになって、最近道路で、おばあちゃんやおじいちゃんがオタオタしていると、ちょっと手を出すようになったんですね。今まで、そういうことは、全然なかったんです。」

障害施設ボラ「あの、自分の気持ちがね、優しさっていうのを考える、僕の気持ちがこう育てられたような気が、本当そうしますね。」

さらに、単にボランティア活動をするのではなく、シニアボランティアポイント制度に登録して活動することの意味として、「励みになる」「生活のペースづくりにつながる」「活動量が可視化される」といった、「お金以外の効果」も語られた。

障害施設ボラ「お金ではなく、なんか励みになるというか。」

子育て支援ボラ「もう最近来たらば、(ポイントを記録するカードを)ピッてやるのが入場、っていう風になっちゃって。何かもう、習慣になっちゃって。」

高齢者施設ボラ「会社と違って何かやっても役に立てたのかわからない、ポイントをみると、これだけのことをやったんだなと感じることができる。」

(2) 「元気づくりステーション」に関わる意味とは？

【今の活動に関わる経緯】

本調査がグループの世話役を対象にしていたために、活動が自主グループとして立ち上げられた当時から参加している人が多くを占めていた。このため、活動に関わるきっかけとして多くの人から語られたのは、介護予防や健康に関する10回ほどの連続講座であった。講座は、主にはケアプラザ（地域包括支援センター）と区役所の高齢者施策課が連携して行われるものが多かった。自身の介護予防への興味から講座を受講した人から、民生委員や健康づくりの活動にかかわっていた関係で講座主催者から世話役の候補として声をかけられた人まで存在していた。

世話役「それほど大きな出発点じゃないんですけど、磯子区の地区センターで半年位のハマトレ講習会を3年前にやっていたんですね。~中略~ そこに参加したメンバーが中心になっています。」

「最初のきっかけになったのは、定年退職した頃に地域包括支援センターからお手紙いただいたんです。で、その手紙持ってここの窓口へ来たら、今度こういうもの(体操教室)を立ち上げるので参加してくださいっていう。」

「1番最初はですね、民生委員を中心に高齢者の人に食事会をやっていて、そこに役所から身体を動かす活動にも入れませんかということで声をかけられて、講座に参加して、今は食事会と体操を合わせた活動をしています」

講座終了後には、区役所の保健師やケアプラザの専門職が「このまま終わってしまうのでは勿体ない」という雰囲気を醸成し、自主化に向けての働きかけを行っていた。同時に保健

師は、世話人になりそうな人（民生委員経験者、元教師、町内会・自治会での活動者など）を見定め、その人物を中心に、「何度も時間をかけて」今後の役割分担や運営の在り方、プログラムを話し合う場を設けていた。

世話役「ただこれ（健康づくり講座）が終わった時に、役所から自主事業をなささいという
ことで始まったような感じ。」

「一昨年、こちらが主導じゃなくて、自分達でやりなさいっていうふうになって、私達が考えて、で、自分達でいろいろやること、皆で、グループで役割分担とかを相談して、で、やるようになった。」

「講座の途中くらいから、グループがもし立ち上がったら、最初だけ代表をやって欲しいと何度か（区の保健師に）声をかけられて、名前だけなら1度くらいと引き受けた。」

保健師「基本的にはどんなことしたいですかっていうのを必ず投げながら、講座終了後に話し合いをして。ステーションを立ち上げて行きたいという意思決定ができた。」

「みんなでやろうという気持ちになるまで、何度もじっくりと話し合った時間があったから今がある」

【みんなが主体的に関わる場にしていくための仕掛け】

今回の調査対象となったグループの多くは、世話役を一人に固定せず、受付や掃除などの実際の運営も輪番制で、「メンバー全員が負担感のない範囲の主体的な参加」を促していた。さらには、メンバーが、それぞれの持つ「得意技や関心事を活かし」、講師役を務めるグループも存在した。

世話人「役員もその時（年に1回の総会）、大体基本的には改選するような感じでやります。」

「受付や準備や掃除なんかについては代わりばんこで、毎週2名ずつの輪番制でやってますね。」

「交代で受付をやって釣り銭を間違えたりいろいろあるんですよ。ちょっと半ボケもいてるから、だからそういう人たちの会話がいいんかなと、参加意識がね。」

「手話や絵画など、お得意の技をみんなに披露してもらって、ちょっと楽しめるような場として使ってもらおう。」

「与えられるもん、ただそれだけじゃ、やっぱり長続きしないし。もう少しそれぞれが主演として参加する舞台を持ったほうがいいんじゃないかということが自然発生的にね。」

【健康づくりから仲間づくり、仲間づくりから地域づくりへ】

いずれの世話役からも、「月2回でも続けることに意味がある」「ここがあるから体操を続けられる」という自身への効果が語られた。メンバーの健康について尋ねると、ジムや体操サークル、太極拳などに通うのが大変になった人、身体を動かすのが嫌いな人がたくさん通ってきていて、何年も続けているという話が聞かれた。

世話役「家の前で転んで骨折したのだけれど、すぐに治って、先生が驚いていた。多分、4年間、ずっとここで身体動かしてきたからだと思うのよね」

「体操以外に、色々な情報を聞けるから、今まで気にしてなかった口の運動とかも気にするようになった。」

「自分もそうだけど、メンバーもご近所にちょっと気になる人がいると誘っている。この間は太極拳がやりきれないとボヤク近所に声をかけたらお友達と二人で入っ

て、今は元気に体操している」

通ってきている理由として、少しくらい大変な体操も「笑い合いながら頑張れる仲間の存在」を挙げていた。グループのなかには、立ち上げた当初は体操だけ2時間していたが、メンバーの高齢化が進む今はお茶会など、お互いに知り合える時間を敢えて設けているという話も聞かれた。

世話役「うちのグループの良さは、先生がけっこう難しい体操をやるんだけど、90歳の人は90なりに、できなかつたらみんなでゲラゲラ笑い合えるところ」

「体操だけやりたいという人が多かったけど、それだけだと少し落ちてくるとでこなくなっちゃう。お茶会やったら、お茶会にだけ来る人もでてきて、それも外に出て誰かとつながることになるからいいのかなって思う。」

「みんながもう少し知り合った方が良くかなと思って、この間は初めてお花見に出かけた。最近は活動が終わっても集会所の外で立ち話する人が出てきたり、近所で知り合えるのも大事。」

町内会や自治会などが運営に深く関わるグループでは、健康には関心があっても地域の活動に関わってこなかった人にリーチできたという話が聞かれた。

世話役「自治会やこれまでの同好会には入らないんですよ。ところが健康づくりのこれには来るんですよ、新しい人が。(元気づくりステーションの)世話役としてではなく町会の役員として嬉しいよね。」

「今はこの場に来てもらってますけども、1番大事なのはそこで顔見知りになってね。そういう人が例えばこういうところに出て来れなくなっても会いに行ける道ができるんですね。」

4. まとめ

介護予防を目的とした横浜市の2つの事業「シニアボランティアポイント事業」と「元気づくりステーション事業」を対象にしたインタビュー調査から、「主体的」「プロダクティブ」な活動にかかわることが高齢当事者の健康だけではなく、地元での仲間づくりや、地域コミュニティを元気にしていく可能性が示された。

ここで重要なのは、知識や経験、活動へのモチベーションが異なり、心身や生活の状態も常に変化する高齢者のプロダクティブを考えるうえでの「できることをできる範囲で」という視点である。代表的なプロダクティブ・エイジングな活動として挙げられるのがボランティア活動や地域貢献活動であるが、他者のために自分の生活を犠牲にして、生活に余裕のある健康な人が取り組むものという認識が強かった。しかし、よこはまシニアボランティアポイントに登録して活動する高齢者の多くは、やりたいことや課題意識が明確なわけでもなく、「できることをできる範囲」でという漠然とした想いから活動を開始していた。活動も月数回から週1回、数時間程度ではあるが、身体に不具合を感じながらも10年以上も活動を継続している人も少なくなく、細く、長く、ゆるやかに活動を行い、それが活動者自身の健康づくりや楽しみ、自己の成長につながっていた。また、活動する様になって初めて、地域にあいさつする人ができたという人や、自分が将来的にお世話になるかもしれない地元の施設やサービスを知ることができたという人も少なくなく、意図せずに地域につながりをもつことを促す効果も認められている。

いわゆるボランティアとは異なるが、元気づくりステーションでも「できることをできる範囲」でプロダクティブな活動が行われていた。具体的には、世話役や役職を引き受けるこ

とから、趣味を活かしてプチレクチャーをしたり、月に数回程度でも片付けを自発的に手伝ったり、虚弱化してお当番が担えなくても近所の孤立化している人を活動に誘うなどが挙げられた。それらの活動を近場に住む仲間と時には間違いを笑いながらも続けることは、場に通い続ける理由ともなっていた。これを読み取れるのが、デイサービスに馴染めずにいたところに、ケアプラザから地元の元気づくりステーションを紹介されて通うようになった介護度1の80代の女性の語りである。

「デイサービスに通うほどに受け身になって、自信がなくなっていった。でも、ここ（元気づくりステーション）は皆でやろうという雰囲気があり、やりたい、やらなければと頑張れる」

近年、地域という場で繰り返されるのが「同じ人しか出て来ない」という活動者の減少を危惧するあきらめにも似たつぶやきである。これはボランティア活動でも、介護予防に関する活動でも、地域づくりの活動でも共通する課題といえる。一方で増加しているのは、「ボランティアは大変そうで苦手」「介護予防なんてまだ自分には関係ない」「地域と関わるのは億劫だし、関わる必要も感じない」など、従来場に拒否感を示す高齢者の存在といえる。この状況に対する一つの答えが、本調査で取り上げたプロダクティブでもあり、介護予防でもあり、地域づくりでもある「よこはまシニアボランティアポイント」と「元気づくりステーション」事業である。今後求められるのは、これらの事業を新たに興すことではない。既に地域にある場が得意を活かしながら、プロダクティブ・エイジング、介護予防、地域づくりの要素を高年齢当事者に「できることをできる範囲で」いかに提供していけるかを考えることではなかろうか。

4. 横浜インタビュー調査から見えてきたこと②

—行政や専門職、ボランティア受け入れ施設に求められる視点

(公財)ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員

澤岡詩野

1. はじめに

国際長寿センターでは 2016 年から、全国に先駆けて健康だけではなく地域づくりまでを意識した介護予防事業に取り組んできた神奈川県横浜市の 2 つの取り組み「元気づくりステーション事業」と「よこはまシニアボランティアポイント事業」を対象に、「プロダクティブ・エイジング(生涯現役社会)」の実現に向けた取り組みに関する調査を行ってきた。3 章では、ボランティアや自主グループの運営といったプロダクティブな活動に関わることが、高齢当事者の健康だけではなく、地元での仲間づくりや、地域コミュニティを活性化していることを明らかにした。

本章では、これらのプロダクティブな活動に関わる行政や専門職、ボランティア受け入れ施設、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどに求められる支援の在り方を、2016 年から行ってきたインタビュー結果から明らかにする。具体的には、本人が望む限り通い続けられる場づくりを目指す元気づくりステーション事業からは「継続をコーディネートする」支援の在り方を、これまで地域につながりのなかった高齢者を巻き込むことを目指すよこはまシニアボランティアポイント事業からは「連携して地域のすそ野を拡げる」支援の在り方を検討していく。

なお、2 つの事業の概要と特徴については、3 章にまとめて記載している。

2. 「継続をコーディネートする」ために求められること

(1) 継続を阻む 2 つの壁

元気づくりステーションが高齢当事者にとって健康の維持・増進の場だけではなく、「主体的」「プロダクティブ」に運営に関わることで生きがいづくりの場ともなっていることは 3 章で述べてきた。しかし活動年数が長くなるにともなって、これらの場に来ることが難しい高齢者が増えていく傾向がみられている。インタビューの対象者となった 70 代半ばから 80 代までの後期高齢者には、数年前に比べて体力が落ちたこと、今までできていた体操についていけないことなどの「体力・身体的な壁」に直面する人が多く存在した。この壁に併せて聞かれたのが、活動についていけない申し訳なさ、グループ内の役割分担への負担感、迷惑をかけたくないといった遠慮などの「心理的な壁」であった。

馴染んだ場に可能な限り通い続けたいという気持ちを持ちながらやめていく人も少なくないなかで、調査対象となったいくつかのグループでは、ちょっとした専門職からの働きかけや仲間からの声かけで、痛い足を引きずって通ってきたり、可能な範囲で体操に参加し続ける人も存在していた。また、一部の対象者からは、手術や大きな病気、夫との死別などで活動を休まざるを得ない時期があったことが語られた。その際に、一緒に活動をしている仲間や活動での役割が、閉じこもらず、再び活動に戻ってくる動機となっていた。その具体的な例をいくつか紹介する。

【体力・身体的な壁を取り除く工夫や声かけ】

平均年齢が 80 代に近づきつつある元気づくりステーションの世話役：

「最近は体操についてこれられない人もでてきているが、大事なのは週に 1 回通ってきて、仲間と一緒に身体を動かそうという気持ちだと思っている。座ってできるところだけやってくればよいと本人に話しているし、あなたが来てくれることが我々に力をくれているとみんなの前で伝えている。」

元気づくりステーションで体操指導を行うリーダー：

「ジョークなどを交えて、できなくても大丈夫、ここまでできれば良いなどと、体操中に合いの手を入れている。体操のレベルも少し難しいものをやるようにしていて、みんなの間違えたり、できなくて笑い合えることが大事。楽しく、マイペースでよいといつもみんなに伝えている。」

体操以外の軽度のプログラムも行い始めた元気づくりステーションの世話役：

「活動を立ち上げた当初と同じようなプログラム（室内での体操）だけではついていけないと欠席する人も出てきている。なので、座学だけの日や近くの公園を散歩する日も設けている。」

ウォーキングを中心に行っている元気づくりステーションの世話役：

「最初はみんなと同じコースを歩いていたが、今は参加者の体力の幅が開きつつある。複数のコースを用意しておいて、スタートとゴールは同じにして、最初と最後は交流する様にしている。体力の落ちてきている人に合わせるとそうでない人がつまらなくなり、新たな人も入ってこない、合わせられた人も申し訳ない気持ちになってしまうから。」

【心理的な壁を取り除く工夫や声かけ】

休みがちの人も活動を続けている元気づくりステーションの世話役：

「病気で休みがちな人が出てきているが、思い出したように参加してくれている。たぶん、会費を（まとめてではなく）毎回徴収することで、ご自身の事情に合わせて来ても来なくても良いという気軽さが生まれているのだと思う。」

長期間来なくなっている人が戻ってくる元気づくりステーションの世話役：

「しばらく顔を見せない人が出てきた時には、お茶会なんかでお菓子を出した日に、それを理由にして訪ねて行く。電話とかしちゃうと重いし、負担になるし、ちょっと声掛けするくらいでよい。」

夫を看取って閉じこもりがちな女性が戻ってきた元気づくりステーションの世話役：

「今日は外に出られると思った時に思い浮かんだのがここだったといって、（夫の介護で休会していた女性が）1 年ぶりに現れた。ずっと介護でお休みしていたけど、その時も道で会えば元気？とみんなが声をかけていたのがよかった。」

ほとんどの活動開始時のメンバーが参加し続ける元気づくりステーションの世話役：

「お当番をお願いするとそれを負担に思ったり、できなくて申し訳ないと感じる人が増えてきた。今は世話役と会計以外は役割を特に決めず、やれることをやれる形でやってもらえればよいというふうになっている。でも、掃除や準備は自然に皆さん、自主的にやっている。」

メンバーが得意なことで先生役を担う元気づくりステーションの世話役：

「最初の頃はメンバーそれぞれに特技を提案してもらって、先生役をやってもらって

た。でも準備から教えるのまで一人でやるは大変という人も増えていて、それが重荷になって意見も出なくなってしまう。なので、提案してくれたことを必要に応じて、できる人で分担する様にしている。」

認知症を発症したメンバーが出始めている元気づくりステーションの世話役：

「当番制でやっている受付、(認知症の人は) やらなくていいですよと言ったら、その人は来にくくなってしまうと思う。なので、やりますと言ってくれる限りは、名簿をつけるとか大変なことはお手伝いして、笑顔であいさつしたりなんかのできることをやってもらっている。」

(2) 継続を支える「専門職」の役割

メンバー同士のゆるやかなつながりや気遣いが、前項であげた体力・身体的な壁や心理的な壁を乗り越えるためのチカラになっていた。この裏には、活動立ち上げから今に至るまで継続して支援を行う自治体の保健師や、ケアプラザ（横浜市の地域包括支援センター）の看護師や保健師などの専門職の存在が大きい。一方で、当該事業のスタート時点から活動を始めたグループが7年目を迎えるなかで、人数が減り、当番などを皆で分担することも難しくなりつつあるといったマイナスの側面だけを見て、「自主運営」や「主体的な関わり」ができていないと否定的に評価する専門職も少なくない。活動年数が長くなるにともない、グループの弱体化やメンバーの虚弱化が進むのは避けられないことと考えた時に、専門職はどの様に「自主運営」や「主体的な関わり」を促していけばよいのだろうか？ここからは、活動年数の長いグループを支援する専門職へのインタビューから、これらを検討する。

【専門職の直面する悩み】

専門職のなかには、平均年齢が今より5歳以上若く、知り合いを誘うことで人数も増え、みなで当番を担うという立ち上げた頃のグループの姿を追い求めるあまりに支援のあり方に悩む人も少なからず存在していた。それが顕著に現れたのが以下の事例といえる。

事例 活動開始から6年が経過する元気づくりステーション

立ち上げ時の姿

- ・ 介護予防教室に集まった平均74～5歳の人達を中心に20名弱でスタート
- ・ 体操を中心に活動し、皆で受付や会計などを分担
- ・ メンバーが知り合いを積極的に誘い、口コミで新たなメンバーを勧誘

現在の姿

- ・ 病気や施設入所などで人数が減っていき、現在は80代後半の虚弱化しつつあるメンバー数名で活動している
 - ・ 体操を中心にした活動が難しくなり、おしゃべりで終わることも多々
 - ・ 受付や会計などを分担することが難しく役割が固定化するのとともに、メンバーから新たな世話役を募ることが難しい状況
 - ・ 80代になると誘える知り合いは減っていく一方で口コミは困難
 - ・ メンバー同士の親密さが新規のメンバーを増やすことの壁にもなっている
- ➡専門職の評価「現在のままでは、自主運営や主体的な参加とはとても言えず、ボランティア経験のある若い人（70代位の地域活動でリーダーの経験をもつ人）を外から引っ張ってきて、会を継続していく方向を模索しないといけない」

この事例について、他のグループを支援する専門職にも評価を尋ねた結果、「人数も減っているし、リーダーに依存することが増えてきちゃうのはダメ」というように、ネガティブな答えが多く聞かれた。この様な答えをする専門職が支援するグループでは、専門職の考えが目に見えない形で影響したのか、世話役やメンバーも活動に自信を失っていることが少なくなかった。この一方で、以下に示すようにポジティブな評価をする専門職も少なくなかった。

「メンバー同士の気付き合いができていて、支え合っている。これが身体を動かすことが大変になっても通い続ける動機になっていて、それを大事に支援を考えていかないといけない」

「立ち上げ当初よりは、活動も縮小していっている。でも、できる範囲で、皆で支え合って、今の等身大の運営を行っていることが自主運営と捉えてよいと思う」

「杖で来る人の為に玄関に椅子を置いておく。これも立派な主体的な参加。会のメンバーがみんなで頑張ってもどうしてもできないことは、ちょっとそれを支援すれば活動を維持できるのであれば、専門職が手伝う事も自立を促すことだと思っている」

「おしゃべりは単なるおしゃべりではなく、デイで教わった脳トレを披露したり、薬局で仕入れた情報を教え合ったり、それも健康づくりと捉えると、素晴らしい」

さらに多くの専門職から聞かれたのが「答えは一つではない」「そのグループがどうありたいかが大事」「今の段階でできていることを引き出し、どんな自主運営が可能なのかを考えられるきっかけをつくるのが専門職の役割」など、個々の状況に応じた自立の姿を見つけ出し、促すという視点であった。なかには、今後の継続のあり方について「会のメンバーがどんな姿を求めるとかが大事。課題を皆で出し合って、共有しても、会のメンバーが変わろうと感ぜないで、活動が終わってしまうのも、(支援してきた立場からは悲しいが) それもありだと思っている」という言葉も聞かれた。

3. 「連携して地域のすそ野を拡げる」ために求められること

3章では、よこはまシニアボランティアポイント制度に登録して活動した結果として、高齢者が健康づくりや楽しみ、自己の成長、地域との接点をもつきっかけを得ていることを明らかにした。インタビューを行った高齢者にはボランティア意識や地域福祉への強い課題意識をもつ人に加え、子育てや介護が一段落したり、定年退職をキッカケに「何かやりたい」という漠然とした気持ちで始めた人が多く存在していた。後者からは「ボランティアどころか地域活動すらしたことがない。広報で登録研修のお知らせをみて、いいことだし、研修くらいなら行ってみようかなという気持ちで始めた」という話が聞かれた。ここから、いきなり活動開始ではなく、登録でもなく、「ボランティアを学ぶ研修に参加する」というハードルの低さが、背中を押す動機づけになっていることが考えられた。併せて、「得意なことなんてないし、福祉のこともわからない。でも、いつもの散歩の延長ならいいかなって(障がい者施設の散歩補助)始めた」「好きな手芸が役立つならと(子育て支援施設のおもちやづくり)友だちと始めた」といった登録から活動へ至る動機が語られた。ここから、気軽に好きなことを活かせる多種多様な活動があることも、登録から実際の活動への後押しになっていることが想像された。さらに、これらの活動を通じて「いつも活動が一緒になる人がご近所で、地元知り合いができた」や「(ケアプラザの) デイサービスで利用者のお話し相手をしていたら、(同じ施設内でやっている) 子どもの読み聞かせが気になって、今はそっちも手伝っている」など、地域とつながるきっかけにもなっていることが示された。

今後は、高齢当事者にとって健康から地域とのつながりづくりまで、ポジティブな効果の得られるきっかけとして、よこはまシニアボランティアポイント制度登録者のすそ野を拡げていくことが求められている。横浜市では、このために「ボランティアポイントの受け入れ施設の拡充」と「登録研修会を行う主体の拡大」に取り組んでいる。ここからは、新たに受け入れ施設となった施設と登録研修の講師を養成する研修を受けて自前で登録研修会を行うケアプラザの担当者へのインタビューから、拡充と拡大、地域の広い対象に展開していく際に有用な工夫を明らかにしていく。

【ボランティアポイントの受け入れ施設の拡充】

これまで横浜市では、従来は介護保険関連施設に限定されてきたシニアボランティアの受け入れ施設を、病院や地域の子育て支援拠点、精神障害者生活支援センターや障害者地域活動ホームなど、地域福祉全体に拡大してきた。この流れのなかで、事業開始時に受け入れ施設となったのは、それまで地域住民を積極的にボランティアとして受け入れてきた、比較的に規模の大きな施設であった。このため、専任のボランティア担当職員がいて、必要に応じてアドバイスをしたり、ボランティア同士の研修会を開催したり、受け入れ態勢も充実した施設が多くを占めていた。

しかし近年では、小規模施設や、ボランティアに活動してもらった経験のない施設も受け入れ施設となっている。このため、受け入れ施設となるために受講が義務付けられている研修では、「ボランティアにどこまでやってもらって良いのか？キッチンの手が足りないので、調理を補助してもらっていいのか？」という質問も聞かれた。職員にしかできないこととボランティアだからできることの線引きがないままの施設も少なくないことが考えられ、今後はシニアボランティアの活動環境を守る仕組みをつくることが求められている。

併せて、チェーンで展開する福祉施設では、親会社がシニアボランティア受け入れ施設となることを決めたものの、実際に現場では1年たってもひとりのボランティアも活動していないという状況もみられた。ボランティア担当を兼務する施設長からは「ある日、上から通達が来たけれど、実際にどうすればよいのかという説明がない。」や「(ボランティアが来るのを) 待っているけれど来ない。どこかに登録する必要があるのか？」との言葉が聞かれ、現場に丸投げしたまたアクションにつながらない現状が垣間見えた。

一方で、地域連携の手段としてよこはまシニアボランティアポイント制度を捉え、積極的にボランティアを活用する施設も増え始めている。インタビューを行った高齢者入所施設の取り組みを以下に紹介する。

お茶出しやアクティビティ補助などでシニアボランティアが活躍する高齢者入所施設 A :

- 施設は地域の一部なので、地域ともっと連携しなければいけないと考えていた
- 夏祭りや認知症カフェを施設で開いて、地域の人と顔の見える関係をつくってきた
- 施設を知ってもらうことで地域に応援してくれる人も増えると考え、社会福祉協議会のコミュニティカフェの交流会に顔を出したり、地域の様々な場に積極的に出た
- 地域の人にもっと深く知ってもらう、関わってもらうための方法を模索していた時にシニアボランティアポイント制度を知り、受け入れ施設になった
- 初めてのボランティア受け入れなので、最初に活動してもらう人がシンボルになると考えて、認知症カフェに来てくださっていた気心知れた女性 A さんに声をかけた
- シニアボランティアポイントの登録研修を施設で行えるようにして、A さんにポイント制度に登録してもらった

- ・ A さんには主にお茶出しと利用者さんの話し相手、アクティビティ（書道）の補助をお願いしているが、特にこれをやってはいけないという指示はしていない
- ・ 困った時にはいつでも職員に聞ける体制を整えているが、A さんからは困りごとの相談よりも職員の目の届かないことを教えてもらっている
- ・ 丁寧に高齢者の目線で利用者さんに接してくれる A さんは、職員にはできないサービスを提供してくれて、若い職員のお手本にもなっている
- ・ A さんの存在がお手本になり、他のボランティアさんも同じ様に動くようになり、職員もボランティアの役割を自然に学んでいる

施設長の語りから、「地域連携の手段」「職員にはできないことができる存在」「利用者に近い高齢者だからできるサービス」という言葉が聞かれ、高齢のボランティアが施設運営になくはならない存在になっていることが明らかになった。また、ボランティアを導入する際には、ボランティアにルールを課したり、内容を定めた研修を行うよりも、「お手本になるボランティアを見つけ出す」ことが、次に活動をはじめるとボランティアにも、一緒に働く職員への教育としても有用であることが見えてきた。この A さんの様な存在を見つけ出すためには、ボランティア募集の張り紙をして待つのではなく、社会福祉協議会や町内会・自治会などの「様々な地域の場にこまめに顔を出し、地域にネットワークを拡げる」のが近道であることも示された。

【シニアボランティアへの登録研修先の拡大】

これまでシニアボランティアポイント制度に登録するには、市の事業委託先の事業者が行う研修会を受講する必要があった。研修会は各区の公会堂などで年に 1 回行われ、半日程度のレクチャーがあり、その場で登録も行われている。しかし、「何かやりたい」位の動機の高齢者のなかには、開催時期とスケジュールが合わずにそのままモチベーションが低下してしまったり、同じ区内とはいえバスなどで出かけていかなければいけない公会堂での研修を億劫に感じる人も少なくない。また、大きな公会堂では、活動の場の紹介は冊子を配布することに留まるため、活動に結びつかない例も少なくない。登録者からは、親身に行えることを考え、住んでいる地元で活動できる場所と一緒に探してくれる機会が欲しいという声も増えていた。これを受け、近年では、圏域に住む高齢者を対象にした小規模な研修会を開催するケアプラザが増えている。

ケアプラザが研修を行う場合、区のある公会堂などで行う場合に比べて狭いエリアに住む人が集まりやすいために身近な活動の場を紹介しやすいという利点がある。また、登録の際は活動につなげられなくても、「何かやりたくなったら、いつでも相談に来てね」と声掛けをしたり、活動の情報を定期的にお知らせすることで、半年後や 1 年後の活動開始につなげることも可能にしている。研修を主催するケアプラザ職員から「シニアボランティア制度で活動してくれなくてもよい、他の活動を地元でやってみようと思ってくればよい」や「自分が将来的にお世話になるかもしれないケアプラザという場を知ってもらっただけでもいい」という声も聞かれた。この様に事業の枠組みに捕らわれない柔軟な声が聞かれる理由として、ケアプラザに常駐する 2 種類の専門職「生活支援コーディネーター」と「地域活動交流コーディネーター（住民の課題解決にむけて地域活動をつなげたり、活動を興したり、交流を促進するための働きかけを行う）」の存在が挙げられる。

インタビューで訪れた全てのケアプラザで、介護予防の専門職と地域づくりの専門職が連

携して登録研修会を行っていた。登録研修会の内容を考える際にも、横浜市から支給されるテキストを基に、地域の課題や研修を受けてもらいたいターゲットに併せた構成を、2 職種がアイデアを出し合いながらつくり上げていた。この事で、介護予防に特化した取り組みではなく、地域に関わる人のすそ野を広げることを目的とした仕掛けへと展開していた。すそ野を広げるために、ケアプラザによっては、区内のケアプラザと社会福祉協議会が合同で研修会を開催する動きもみられた。また、民間の有料老人ホームや子育て拠点と連携し、施設は場所を提供し、ケアプラザは講師役や登録業務を請け負い、ケアプラザを会場とした際には囲い込めない新たなターゲットを獲得している例も見られた。この連携を可能にしているのは、ケアプラザにとっても、地域福祉に関わる人のすそ野を広げたい、自分の施設でボランティアをしてくれる人を増やしたいという社会福祉協議会や施設管理者にとっても「ウィンウィン」の構図が描けていることといえる。

4. まとめ

介護予防を目的とした横浜市の 2 つの事業「よこはまシニアボランティアポイント事業」と「元気づくりステーション事業」に関わる専門職を対象にしたインタビュー調査から、「継続をコーディネートする」支援の在り方と、「連携して地域のすそ野を広げる」支援の在り方を考えるうえでのヒントが得られた。

同時にいくつかの課題もみられ、元気づくりステーションについては、活動年数が長くなったグループの「成熟した自主運営や主体的な参加の姿を描けない」ことが挙げられる。高齢化が進み、メンバーが減少し、今までできていたことができないグループを、支援する専門職が否定的に評価した結果、グループのメンバーもやる気を失うという負のスパイラルに陥る例が見られた。専門職には、できていることを見つけだし、成熟した姿をグループと一緒に考え、足りないことを補う方法を探す伴走者としての役割が求められている。グループ活動が自主化した後に専門職が継続して関わる必要はないとする自治体も少なくないが、加齢や虚弱化が顕著になるであろう数年先こそ、伴奏者の存在が必要不可欠といえる。

また、よこはまシニアボランティアポイント制度については、課題として「多様化するボランティアのバックグラウンドを捉えていない」ことが挙げられる。よこはまシニアボランティアポイント制度の登録者のすそ野が広がるなかで、活動経験が豊富、任せてもひとりで活動できる前述の A さんの様なボランティアではなく、経験のない人も増えつつある。せっかくボランティアに来て、A さんをイメージして任せたままでは、何をしたいのかわからない不安からやめてしまう人、勝手に判断して暴走してしまう人などが出てきてしまい、双方にとって不幸な結果を招いてしまいかねない。その人の活動経験を見定めながら、丁寧にサポートをしていくことが求められている。

さらに、両事業に共通する課題として挙げられるのが、「介護予防をゴールとしてしまうことで生まれる限界」である。元気づくりステーションを担当する保健師から「最終的な目的は、自分たちが健康になることではなく、住んでいる地域にどう健康のタネをまけるか」という言葉や、シニアボランティアポイント制度を担当するコーディネーターから「安心して暮らせる地域をつくるために、この制度をどう活かすかを考えている」という言葉が聞かれるように、介護予防事業を地域づくりの手段として考える専門職が少しずつ増え始めている。今後、地域の抱える課題はますます複雑になり、地域のチカラが試されることが増えていく。介護予防に関わる行政職、専門職に求められるのは、介護予防を目的に事業を展開するのではなく、地域づくりの手段の一つとして介護予防をとらえる視点ではなかるうか。

5. 高齢者のソーシャルサポートの特徴

—地域での活動と健康に関する調査（第3波）を用いて—

日本福祉大学 福祉経営学部准教授 中島民恵子

1. はじめに

2018年度「地域での活動と健康に関する調査報告」（国際長寿センター）では、一人暮らし高齢者に焦点をあて、ソーシャルサポートの特徴を示した。本稿では同じデータセットを用いて、一人暮らし高齢者以外の高齢者に焦点をあて、ソーシャルサポートの特徴について明らかにしたい。

周知の事実であるが、わが国では急速に高齢化率が高まり、2018年10月の高齢化率は28.1%である。75歳以上人口の割合は14.2%となり、65～74歳人口（13.9%）を始めて上回った。2017年における65歳以上の者のいる世帯について見ると、世帯数は全世帯の47.2%

（2,378万7千世帯）を占めている。65歳以上の者のいる世帯の内訳としては、夫婦のみの世帯（32.5%）が一番多く約次いで、単独世帯（26.4%）、親と未婚の子のみの世帯（19.9%）、三世帯世帯（11.0%）となっている（内閣府 2019）。

2000年に発表された「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会」報告書において、社会的援護を要する人々の新たな福祉課題として、「つながりの再構築」が提起され、「社会的孤立」や「孤独」の問題が言及されている。同居高齢者においても、高齢者の孤立の問題は顕在化しており（斉藤ほか 2010 小池ほか 2014）高齢者の「社会的孤立」への関心は今後一層高まるものと考えられる。

2018年度の報告書でも言及したが、「社会的孤立」をどのように定義するかについては、様々な見解があるものの（斉藤 2009）、「社会的なネットワークから切断されている状況」を意味するという点で、概ね共通している。このことは、社会的な支援を提供するようなネットワーク（ソーシャルサポートネットワーク）からの切断も意味し、特に支援が重視される社会福祉の領域において、ソーシャルサポートネットワークをいかに構築するかという視点をもつ必要性が指摘されている（後藤 2010）。本稿は、一人暮らし高齢者との比較も1つの目的であることから、一人暮らし高齢者の分析方法と同様とし、一人暮らし以外の高齢者が持つソーシャルサポートの特徴を婚姻歴、ボランティア参加の有無に注目して明らかにする。

2. 分析方法

分析には、「地域での活動と健康に関する調査」（YLSP）の第3波の個票データを用いる^{注1}。分析対象者はYLSPの第3波調査に回答があった①よこはまシニアボランティアポイント（よこはまシニアボランティアポイント事業、以下「ボラP」とする）、②横浜市神奈川区、港南区、港北区、緑区および栄区の5区に居住する65歳以上の高齢者のうち要介護認定を受けていない人のうち、一人暮らし高齢者以外の高齢者である。

分析には、情緒的サポートとして、「あなたは、あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか（〇はいくつでも）」、手段的サポートとして、「あなたが病気で数日寝込んだとき、看護や世話をしてくれる人はいますか（〇はいくつでも）」の設問項目を用いた。ソーシャルサポートなどの項目に欠損値がない2,008人を対象に分析を行った。

一人暮らし以外の高齢者がどのようなソーシャルサポートを持つグループに類型化されるかを確認するために、クラスター分析（Ward法）を行った。次に、類型化されたグループ間

において、基本属性（性別、年齢、婚姻歴）およびボラ P 参加状況に差があるかを確認するために、カイ二乗検定を用いた。

3. 分析結果

(1) 男女別情緒的サポート、手段的サポートの分布

分析対象者の性別は、男性 778 人 (38.7%) 女性 1,230 人 (61.3%) であり、平均年齢は 72.8 歳（標準偏差：4.8）であった。婚姻状況は、現在も既婚が 1,693 人 (84.3%)、死別が 279 人 (13.9%)、離別が 26 人 (1.3%)、未婚が 10 人 (0.5%) であった。男女別の情緒的サポートと手段的サポートの該当者の割合は表 1 の通りである。男女構成比でみると両サポートとも男性は配偶者からサポートを得ている割合が高い傾向にある。また、情緒的サポートの受領としては、配偶者 (62.7%)、同居の子ども (23.2%) 別居の子どもや親戚 (38.3%)、きょうだい (33.6%)、近隣の人 (24.9%)、友人 (57.5%)、手段的サポートの受領としては、配偶者 (78.1%)、同居の子ども (32.2%)、別居の子どもや親戚 (34.9%)、きょうだい (17.5%)、近隣の人 (7.0%)、友人 (11.3%) であり、全般的に情緒的サポートよりも手段的サポートを受けている人の割合は少ない。ただし、配偶者、同居の子どもによるサポートに限っては、情緒的サポートよりも手段的サポートを受けている高齢者の数が多い状況であった。

表 1 男女別情緒的サポート、手段的サポートの分布

情緒的サポート						
	配偶者	同居の子ども	別居の子どもや親戚	きょうだい	近隣の人	友人
	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)
男性	646 (51.3)	153 (32.8)	260 (33.8)	165 (24.5)	90 (18.0)	301 (26.1)
女性	614 (48.7)	313 (67.2)	509 (66.2)	509 (75.5)	410 (82.0)	853 (73.9)
合計	1260 (62.7)	466 (23.2)	769 (38.3)	674 (33.6)	500 (24.9)	1154 (57.5)

手段的サポート						
	配偶者	同居の子ども	別居の子どもや親戚	きょうだい	近隣の人	友人
	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)
男性	704 (44.9)	196 (30.3)	206 (29.4)	77 (21.9)	16 (11.3)	32 (14.1)
女性	864 (55.1)	450 (69.7)	495 (70.6)	274 (78.1)	125 (88.7)	195 (85.9)
合計	1,568 (78.1)	646 (32.2)	701 (34.9)	351 (17.5)	141 (7.0)	227 (11.3)

※男女の割合は合計数を分母に算出しており、合計の割合は分析対象 (N=2,008) を分母に算出している。

クラスター分析を行った結果、出力されたデンドログラムから、情緒的サポートは 6 つのグループ (グループ 1【友人・きょうだい中心グループ】、グループ 2【配偶者と別居の子や親戚中心グループ】、グループ 3【配偶者と友人のみグループ】、グループ 4【複数サポートありグループ】、グループ 5【同居の子ども中心グループ】、グループ 6【情緒的サポートなしグループ】) が抽出された。なお、グループ 6【情緒的サポートなしグループ】は分析結果上、グループ 1【友人・きょうだい中心】に含まれていた。しかし、異なる意味を持つため、グループとしての N 数は小さくなるがグループ 6 として独立させた。

また、同様な方法を用いて、手段的サポートは6つのグループ（グループ1【配偶者のみグループ】、グループ2【複数サポートありグループ】、グループ3【家族のみグループ】、グループ4【配偶者と同居の子のみグループ】、グループ5【きょうだい中心グループ】、グループ6【手段的サポートなしグループ】）が抽出された。なお、グループ6【手段的サポートなしグループ】は分析結果上、グループ4【配偶者と同居の子のみグループ】に含まれていた。しかし、異なる意味を持つため、グループとしてのN数は小さくなるがグループ6として独立させた。

(2) 情緒的サポートにおいて抽出されたグループ間における対象者の基本属性の比較

情緒的サポートにおいて抽出されたグループ間における対象者の基本属性について比較したのが表2である。グループ4【複数サポートありグループ】は、女性が463人（83.1%）、ボラP参加が345人（61.9%）と他のグループに比して割合が高かった。一方、グループ3【配偶者と友人のみグループ】は女性が110人（29.6%）と低く、グループ5【同居の子ども中心グループ】はボラP参加が128人（38.9%）と他のグループに比して割合が低い傾向があった。なお、グループ2【配偶者と別居の子や親戚中心グループ】、グループ3【配偶者と友人のみグループ】ともに婚姻状況は既婚が100%であった。グループ6【情緒的サポートなしグループ】は、男女比は大きく違いがなく、既婚が71.3%、死別が20.0%であった。

各グループの情緒的サポートの種類合計について比較した結果、グループ1【友人・きょうだい中心グループ】は平均1.6種類、グループ2【配偶者と別居の子や親戚中心グループ】は平均2.9種類、グループ3【配偶者と友人のみグループ】は平均1.4種類、グループ4【複数サポートありグループ】は平均3.4種類、グループ5【同居の子ども中心グループ】は平均2.9種類、グループ6【情緒的サポートなしグループ】は0種類であった。

表2 情緒的サポート6グループ間における対象者の基本属性等

項目		グループ1 【友人・きょう だい中心】 (n=366)	グループ2 【配偶者と別居の 子や親戚中心】 (n=304)	グループ3 【配偶者と友 人のみ】 (n=372)	グループ4 【複数サポー トあり】 (n=557)	グループ5 【同居の子ど も中心】 (n=329)	グループ6 【情緒的サポ ートなし】 (n=80)		
性別	女性	人数 (%)	271 (74.0)	147 (48.4)	110 (29.6)	463 (83.1)	201 (61.1)	38 (47.5)	***
		調整済み残差	5.6	-5.0	-13.9	1.2	-0.1	-2.6	
年齢		平均	72.9	72.3	72.6	72.5	73.1	74.8	**
		標準偏差	4.5	4.7	4.9	4.5	5.4	5.8	
婚姻 状況	既婚	人数 (%)	286 (78.1)	304 (100)	372 (100)	437 (78.5)	237 (72.0)	57 (71.3)	
		調整済み残差	-3.6	8.2	9.2	-4.5	-6.7	-3.3	
	死別	人数 (%)	69 (18.9)	0 (0)	0 (0)	112 (20.1)	82 (24.9)	16 (20.0)	
		調整済み残差	3.0	-7.6	-8.6	5.0	6.3	1.6	
	離別	人数 (%)	5 (1.4)	0 (0)	0 (0)	7 (1.3)	10 (3.0)	4 (5.0)	***
		調整済み残差	0.1	-2.2	-2.4	-0.1	3.1	3.0	
	未婚	人数 (%)	6 (1.6)	0 (0)	0 (0)	1 (0.2)	0 (0)	3 (3.8)	
		調整済み残差	3.4	-1.3	-1.5	-1.3	-1.4	4.2	
ボラ P	参加	人数 (%)	184 (50.3)	143 (47.0)	150 (40.3)	345 (61.9)	128 (38.9)	33 (41.3)	***
		調整済み残差	0.6	-0.7	-3.7	7.2	-1.4	-1.4	

(3) 手段的サポートにおいて抽出されたグループ間における対象者の基本属性の比較

手段的サポートにおいて抽出されたグループ間における対象者の基本属性について比較したのが表3である。グループ2【複数サポートありグループ】において女性が253人（86.6%）、ボラP参加が199人（68.2%）と高い傾向が見られた。グループ1【配偶者のみグループ】において女性は253人（41.4%）と低い傾向にあった。グループ6【手段的サポートなしグループ】

ブ】は、女性が67.0%と男性よりも多い割合であり、既婚が52.6%、死別が40.2%であった。

各グループの手段的サポートの種類合計について比較した結果、グループ1【配偶者のみグループ】は平均1種類、グループ2【複数サポートありグループ】は平均3.1種類、グループ3【家族のみグループ】は平均2.1種類、グループ4【配偶者と同居の子のみグループ】は平均1.6種類、グループ5【きょうだい中心グループ】は平均2.6種類、グループ6【手段的サポートなしグループ】は0種類であった。

表3 手段的サポート6グループ間における対象者の基本属性等

項目		グループ1 【配偶者のみ】 (n=611)	グループ2 【複数サポートあり】 (n=292)	グループ3 【家族のみ】 (n=435)	グループ4 【配偶者と同居の子のみ】 (n=335)	グループ5 【きょうだい中心】(n=238)	グループ6 【手段的サポートなし】 (n=97)		
性別	女性	人数 (%)	253 (41.4)	253 (86.6)	274 (63.0)	208 (62.1)	177 (74.4)	65 (67.0)	***
		調整済み残差	-12.1	9.6	0.8	0.3	4.4	1.2	
年齢		平均	73.0	72.2	72.1	73.4	72.0	75.1	***
		標準偏差	4.8	4.3	4.8	5.1	4.5	5.8	
婚姻状況	既婚	人数 (%)	610 (99.8)	221 (75.7)	376 (86.4)	231 (69.0)	204 (85.7)	51 (52.6)	***
		調整済み残差	12.6	-4.4	1.4	-8.5	0.6	-8.8	
	死別	人数 (%)	1 (0.2)	60 (20.5)	56 (12.9)	95 (28.4)	28 (11.8)	39 (40.2)	
		調整済み残差	-11.8	3.6	-0.7	8.4	-1.0	7.7	
	離別	人数 (%)	0 (0)	9 (3.1)	3 (0.7)	9 (2.7)	3 (1.3)	2 (2.1)	
		調整済み残差	-3.4	2.9	-1.3	2.5	0	0.7	
	未婚	人数 (%)	0 (0)	2 (0.7)	0 (0.0)	0 (0)	3 (1.3)	5 (5.2)	
		調整済み残差	-2.1	0.5	-1.7	-1.4	1.8	6.7	
ボラ参加P	人数 (%)	245 (40.1)	199 (68.2)	215 (49.4)	144 (43.0)	134 (56.3)	46 (47.4)	***	
	調整済み残差	-5.3	7.1	0.2	-2.4	2.4	-0.3		

(4) 各グループにおける情緒的サポートの種類割合

各グループにおける情緒的サポートの種類割合について示したのが表4である。グループ1【友人・きょうだい中心グループ】は全体の18.2%の回答者で構成されており、情緒的サポートとして友人が70.5%、きょうだいが50.8%である一方、同居の子と近隣が0%であった。グループ2【配偶者と別居の子や親戚中心グループ】は全体の15.1%の回答者で構成されており、情緒的サポートとして配偶者と別居の子どもや親戚をあげている回答者が100%であった。3【配偶者と友人のみグループ】は全体の18.5%の回答者で構成されており、情緒的サポートとして配偶者が100%、友人が41.1%でありそれ以外は0%であった。グループ4【複数サポートありグループ】は全体の27.3%の回答者で構成されており、様々な人からの情緒的サポートを受けている状況が見られるが、特に近隣の人が89.8%、友人が75.6%を占めているのが特徴である。グループ5【同居の子ども中心グループ】は全体の16.4%の回答者で構成されており、情緒的サポートとして同居の子が100%であり、近隣の人が0%であった。グループ5【情緒的サポートなしグループ】は全体の4.0%を占めており、誰からも情緒的サポートを受けていなかった。

表4 情緒的サポートとして選択する人の回答分布

項目		グループ1 【友人・きょうだい中心】 (n=366)	グループ2 【配偶者と別居の子どもや親戚中心】 (n=304)	グループ3 【配偶者と友人のみ】 (n=372)	グループ4 【複数サポートあり】 (n=557)	グループ5 【同居の子ども中心】 (n=329)	グループ6 【情緒的サポートなし】 (n=80)
配偶者	人数 (%)	100 (27.3)	304 (100)	372 (100)	285 (51.2)	199 (60.5)	0 (0)
	調整済み残差	-15.5	14.6	16.5	-6.7	-0.9	-11.8
同居の子ども	人数 (%)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	137 (24.6)	329 (100)	0 (0)
	調整済み残差	-11.6	-10.4	-11.7	0.9	36.1	-5.0
別居の子どもや親戚	人数 (%)	40 (10.9)	304 (100)	0 (0)	292 (52.4)	133 (40.4)	0 (0)
	調整済み残差	-11.9	24.0	-16.8	8.1	-0.9	-7.2
きょうだい	人数 (%)	186 (50.8)	109 (35.9)	0 (0)	262 (47.0)	117 (35.6)	0 (0)
	調整済み残差	7.7	0.9	-15.2	7.9	0.8	-6.5
近隣の人	人数 (%)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	500 (89.8)	0 (0)	0 (0)
	調整済み残差	-12.2	-10.9	-12.3	41.6	-11.4	-5.3
友人	人数 (%)	258 (70.5)	159 (52.3)	153 (41.1)	421 (75.6)	146 (48.3)	0 (0)
	調整済み残差	5.6	-2.0	-7.1	10.2	-3.5	-10.6

(5) 各グループにおける手段的サポートの種類別の割合

各グループにおける手段的サポートの種類別の割合について示したのが表5である。グループ1【配偶者のみグループ】は全体の30.4%の回答者で構成されており、手段的サポートとして配偶者が100%であり、他は0%であった。グループ2【複数サポートありグループ】は全体の14.5%の回答者で構成されており、様々な人からの情緒的サポートを受けている状況が見られるが、特に友人が77.0%と最も高く、次いで配偶者66.4%が高い割合となっている。グループ3【家族のみグループ】は全体の21.7%の回答者で構成されており、手段的サポートとして別居の子どもや親戚が100%であり、次いで配偶者が82.3%、同居の子どもが29.7%、それ以外は0%となっていた。グループ4【配偶者と同居の子のみグループ】は全体の16.7%の回答者で構成されており、手段的サポートとして同居の子どもが100%、配偶者が64.2%であり、それ以外は0%であった。グループ5【きょうだい中心グループ】は全体の11.9%の回答者で構成されており、手段的サポートとしてきょうだいをあげている回答者が100%と最も多く、次いで配偶者が79.8%であり、近隣の人や友人は0%であった。【手段的サポートなしグループ】は全体の4.9%で構成されており、誰からも手段的サポートを受けていなかった。

表5 手段的サポートとして選択する人の回答分布

項目		グループ1 【配偶者のみ】 (n=611)	グループ2 【複数サポートあり】 (n=292)	グループ3 【家族のみ】 (n=435)	グループ4 【配偶者と同居の子のみ】 (n=335)	グループ5 【きょうだい中心】 (n=238)	グループ6 【手段的サポートなし】 (n=97)
配偶者	人数 (%)	611 (100)	194 (66.4)	358 (82.3)	215 (64.2)	190 (79.8)	0 (0)
	調整済み残差	15.7	-5.2	2.4	-6.7	0.7	-19.1
同居の子ども	人数 (%)	0 (0)	103 (35.3)	129 (29.7)	335 (100)	79 (33.2)	0 (0)
	調整済み残差	-20.4	1.2	-1.3	29.1	0.4	-7.0
別居の子どもや親戚	人数 (%)	0 (0)	150 (51.4)	435 (100)	0 (0)	116 (48.7)	0 (0)
	調整済み残差	-21.7	6.4	32.2	-14.7	4.8	-7.4
きょうだい	人数 (%)	0 (0)	113 (38.7)	0 (0)	0 (0)	238 (100)	0 (0)
	調整済み残差	-13.6	10.3	-10.8	-9.2	35.7	-4.6
近隣の人	人数 (%)	0 (0)	141 (48.3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	調整済み残差	-8.1	29.9	-6.5	-5.5	-4.5	-2.8
友人	人数 (%)	0 (0)	227 (77.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	調整済み残差	-10.6	38.8	-8.4	-7.2	-5.9	-3.6

4. 考察

全般的に情緒的サポートよりも手段的サポートを受けづらい状況あることが分かった。これは昨年度の一人暮らし高齢者に対する分析結果を比較すると同様な傾向であるが、一人暮らし以外の高齢者に関しては、配偶者、同居の子どもによるサポートに限って、情緒的サポートよりも手段的サポートを受けている高齢者の数が多い状況であった。一人暮らし高齢者の場合は、同居の子から得られるサポートは無く、配偶者から得られるサポートの割合は両サポートともに低い一方で、近隣の人と友人から得られるサポートの割合は両サポートともに高い状況であった（近隣の人：情緒的サポート：一人暮らし（31.7%）、一人暮らし高齢者以外（24.9%）手段的サポート：一人暮らし（15.2%）、一人暮らし高齢者以外（7.0%）／友人：情緒的サポート：一人暮らし（69.6%）、一人暮らし高齢者以外（57.5%）手段的サポート：一人暮らし（26.3%）、一人暮らし高齢者以外（11.3%））。

全体数における割合としては他のグループと比較すると高くはないが、全く情緒的サポートを受けていないグループは4.0%であった。このグループでは婚姻が71.3%を占めており、婚姻関係があることが情緒的なサポートがある状況では必ずしもないことが見られた。これらのグループは、「社会的孤立」に近いグループとして捉えることができると考えられる。また、【配偶者と友人のみグループ】は18.5%であり、情緒的サポートとして配偶者が100%、友人が41.1%でありそれ以外は0%であった。配偶者との死別や離別によって、情緒的サポートが得られない状況が生まれることも想定される。

加えて、全く手段的サポートを受けていないグループは4.9%であった。一人暮らし高齢者では全く手段的サポートを持たないグループは全体の約2割強であったことと比較すると決して高い割合ではないが、誰かしらと住んでいてもサポートを受けられない状況が生じていた。また、手段的サポートの【配偶者のみグループ】は30.4%であり、配偶者はほぼ同世代であることが想定されることから、配偶者が要介護状態になった場合等は、サポートを得ることが難しくなる可能性も考えられる。また、配偶者との死別や離別によって全く手段的サポートを受けていないグループに移行することを想定でき、「社会的孤立」に陥りやすいリスクがあると考えられた。加えて、【配偶者のみグループ】は他のグループと比較するとボラPへの参加割合は40.1%と最も低い状況で、手段的サポートの種類数の平均数は1種類と最も低い状況であった。一方、【複数サポートありグループ】はボラPへの参加割合は68.2%と最も高い割合であり、手段的サポートの種類数の平均数も3.1と最も高い状況であった。社会や地域活動への参加によってソーシャルサポートの範囲が増えるという因果関係があるかは、データを縦断的に分析しないと明確にはできないが、社会や地域活動への参加等を通して関わりの範囲を広げていける可能性はあると考えられた。

本稿では個々人の情緒的サポートや手段的サポートの数の分布にとどまらず、一人暮らし以外の高齢者がソーシャルサポートをどのような組み合わせで持っているのか、その特徴はどういったものかについて、クラスター分析を用いて明らかにした。昨年度の一人暮らし高齢者のソーシャルサポートの特徴と比較することを通して、それぞれの違いや共通点を見出すことができた。今後はこれらの特徴を踏まえた上で、どのような形でソーシャルサポートを増やしていくことができるのかについても検討していきたい。

注1) 第3波調査の概要等については、渡邊大輔「プロダクティブ・エイジングと健康増進のための国内調査の概要 第3波調査の概要、調査設計と回収状況」国際長寿センター『平成29年度先進各国における高齢者の介護予防に資する自助又は互助も含めたサービスの仕組みに関する調査研究 報告書』pp179-188を参照されたい。

【文献】

- 後藤広史 (2010) 「大都市ひとりぐらし高齢者のソーシャルサポートネットワークの状況：墨田区ひとりぐらし高齢者実態調査結果から(II)」『福祉社会開発研究』3: 53-62
- 小池高史・鈴木宏幸・深谷太郎ほか (2014) 「居住形態別の比較からみた団地居住高齢者の社会的孤立」『老年社会科学』第36巻第3号: 303-312
- 内閣府 (2019) 『令和元年版高齢社会白書』
- 斉藤雅茂 (2009) 「社会福祉調査としての高齢者孤立研究の意義と課題」『日本福祉大学社会福祉論集』第121号: 29-42
- 斉藤雅茂・藤原佳典・小林江里香ほか (2010) 「首都圏ベッドタウンにおける世帯構成別にみた孤立高齢者の発現率と特徴」『日本公衆誌』第57巻第9号: 785-795

6. 横浜市の取り組みについて（インタビュー）

—よこはまシニアボランティアポイント事業の現状と今後の課題・展望

聞き手：ダイヤ高齢社会研究財団 澤岡詩野

国際長寿センター 福原真美子

文責：国際長寿センター

<2019年10月17日>

これまで、2013年から2019年まで量的調査に加えて質的調査としてよこはまシニアボランティアポイント事業の受け入れ施設とそこで活動している高齢者にインタビュー調査を行ってきた。そこから見えてきた課題を整理するとともに、横浜市の横浜シニアボランティアポイント事業担当者にインタビューを行い市としての考え方や今後の展望を聞いた。

■調査から見えてきた課題

1. ボランティア登録したシニアへの働きかけについて

- ・ボランティア登録の裾野が広がっている。初心者がふらっと気軽に登録している。
- ・一方で、自分が何をしたいか、何ができるか、活動のイメージを持っていない人も少なくない。登録後に区のボランティア受け入れ先一覧の冊子をもらっても自ら施設に電話をかけて申し込むのはハードルが高いようだ。
- ・登録の裾野は広がったが、活動につながらずそのままになっている人も多い。

2. ボランティア受け入れ施設について

- ・ボランティアポイントの裾野が広がり、認知度が高まった結果、ボランティアを受け入れた経験がない施設の登録が増加。
- ・しかし、親会社の方針で受け入れ施設登録をしたが、現場としては仕組み自体もあまり頭に入っていないためにどうすればいいのかわからず、登録しただけで終わってしまっているところも存在している。
- ・ボランティア担当職員はお飾りの場合が多く、ボランティアの募集方法や活動内容がわからないという声を聞く。シニアにボランティアを受け入れる意味を理解していない施設も増えている。
- ・一般職員は地域のシニアにボランティアとして活躍してもらう意味を共有できていない。逆に、仕事を取られるのではないかと、何か厄介事を押し付けられるのではないかと感じてしまう。
- ・また、双方とも相談窓口がなく、一般職員がボランティアにネガティブなイメージを持つてしまうと、親会社の方針でなんとなく登録した施設の場合、負の循環が会社全体に広がってしまう危険性もある。
- ・地域との連携手段としてお祭りの際に単発で地域のシニアにボランティアとして施設に入ってもらえば風通しも良くなる。ボランティアポイントは、行事を通して一緒に地域を作る仲間になれる1つの手段だと理解した施設もある。社協などつながり、独自にボランティアを増やすためのカフェを開催したり自前で研修を開いたりなど工夫をこらしている。
- ・以前から地域と連携して専門的、経験豊富なボランティアを受け入れてきた施設では、ボランティア初心者の姿がイメージできない。
- ・施設のボランティア担当者にボランティアポイントが介護予防事業の1つだという認識が

あまりない。

3. 登録研修について

- ・ケアプラザで独自に登録研修を行うところが増加。生活支援コーディネーターと地域交流コーディネーターが組んで実施。介護予防担当者と3者で研修を行っているところもあるが、2名がそれぞれの得意分野をパートで分けて説明している。また、横浜市のテキストを使用しつつも、ツールを地域ベースに作り替え、オリジナルの話をしている。
- ・受講者には、ケアプラザのサークル活動や祭りへの参加経験はあるがボランティアは未経験という人が多い。
- ・有償ボランティアに理解のない自治会長などの意識改革の場としても活用されている。
- ・地域づくりの手段の一つとして介護予防、ボランティアポイントを位置付けている。
- ・ボランティアポイント対象の場で活動しなくても、ケアプラザや地域を知り、地域に関わるきっかけになればよいと捉えている。
- ・コーディネーターが寄り添い、個々のモチベーションやタイミングに応じたサポートをしている。
- ・コーディネーターの負荷が大きく、今後の展開の課題となっている。ケアプラザ単位だけでなく、広域で連携することで負荷を軽減することができるのではないかと。

4. その他

- ・受け入れ施設が独自に研修を行うところも出始めている。ボランティアの活動イメージがはっきりわかる1つのモデルケースだと思っている。ボランティアに登録してもらうことで人が集まり、イベントにも参加してもらい、地域のつながりが出てくる。
- ・施設で自前の研修を行う良さとして、職員への教育ができるという点がある。研修の中でこういうボランティアさんに来てもらいたいというところを職員も見ながら学ぶことができる。そして、施設職員に口で説明しなくても、施設でシニアが活動することによって自然に理解される面もある。
- ・旭区では、ボランティア中断中の登録者にはがきを出していた。1度は中断してしまったが、再開してみようというシニアのモチベーションにもつながっている。こうした定期的な働きかけを市で行うのが難しいならば、強制する形ではなく他区にも紹介することで、はがき1枚で活動してくれる人がいるならやってみようというところが出てくる可能性もある。

■インタビュー

1. ボランティア受け入れ施設への市からの働きかけ

Q: 横浜市からボランティア受け入れ施設にはどのような働きかけをしているのか

A: 横浜市から受け入れ施設に対する働きかけの弱さはあると思う。他の自治体は社協に委託しているケースが非常に多いが、横浜市の場合、開始当初は「有償ボランティア」に市社協が懐疑的な視点があり、協力関係をうまく作ることができなかった。したがって、市としては登録者数を増やす、受け入れを事業者にお願する以上の支援ができていない。

地域ケアプラザ（以下ケアプラ）などは地域の人に参加してもらうことが前提であったために受け入れしやすいが、それ以外の事業者でボランティアポイント制度を使うとなるとハ

ードルは高かった。開始当初はもともとボランティアが既に活動している施設がそのボランティアに報いるといった形でポイント付与が行われていた。現在は、ボランティアを受け入れた経験のない事業者が、登録したがどう募集したらよいかわからないというケースが増えており、そこをどう支援するかという課題がある。

ディープなボランティアを取り込む制度として始めたことにより、ライトな、元気が行き場がないシニアを取り込みにくくなっているのが現状といえよう。

本来、介護予防としてはライトな人をどう取り込んでいくかが重要なのだが、横浜市は大きいので、市が直接研修するとなると、どうしても広く浅く、となってしまう。

Q: ライト寄りの人たちを取り込む研修のあり方としては、区域で行う気軽さがある。参加しても地域のケアプラのスタッフがいるわけでもないし、登録してそのまま帰っても誰にも怒られない。タイミングさえ合えば一番参加しやすい。

なじみのケアプラだと、ボランティアを断ったら他のケアプラのプログラムにも参加しにくくなってしまう。また、ケアプラと連携させて「〇〇区」という単位で行うと、この活動が自分に合わなければこちらというように選択肢の幅が出る。

もう1つ理想を言うと、区域で公会堂を利用して研修をする場合、ライト寄りの人にターゲットを合わせ、その後地域のケアプラにつなげる仕組みができればよいと思う。ただし、そうするとまたケアプラに負担がかかってしまう。

A: 活動しそうな区域の社協などが中間組織となって、そこに行くのと相談できたり、紹介してもらえるとというシステムができると理想的だとは思う。自分が研修に参加したときにボランティア受け入れ施設に直接いきなり電話をかけられるかということ、かけられないとってしてしまう。

ボランティア活動を始めると毎日あるいは一定期間ずっと行かなければいけないというのがハードルを高くしている要因かと思う。まずは1、2回の短期間で終わる活動を体験してもらい、「これならできる」といったいいイメージをもってから長く継続するものにつなげる仕組みが必要だと思う。具体的な施策につなげるのは難しいが、この制度として活動者だけに着目するのであればもっと幅広く市の施策のボランティアを活用するところにつなげていく方が重要であり、うまく広げていけるような仕組みが必要だと思う。

Q: 相鉄線沿線のケアプラではライト寄りの人たちが来ていることを前提に登録研修はあくまで研修として「ボランティアってこんなものですよ、あなたにもできそうですね」と気持ちを持ち上げ、1週間後に初心者ボランティア講座を開いて具体的に行うという2段階にしているところもある。1段階目を区域の公会堂で、2段階目を社協のどこかの講座でという風に今あるものでうまく連携していくと地域のボランティアが増えていくのではないか。

A: 社協と話した時に「ボランティアについて実は向く人・向かない人がいて、1回話をしないと、全員が同じようにはできるとは限らない」という話があり、そこに難しさがあると感じた。ライトなままちょっとずつやっていくのが向く人もいるし、頼まれて生きがいを感じる人もいるので、直接今あるものに放り込むのではなく、やはり中間組織が必要だという気はしている。

Q: 制度を大きく変えるとなると負担になるが、今の講座を組み合わせる等で変えることはできないか。受け入れ施設のテキストを見ると、「ボランティアとは」という話はあってもその中にいろいろなモチベーションの人がおり、何が有用な情報なのか難しい。裾野が広がってきただけに見直しをする時期なのでは。

また、ケアプラという単位はボランティアポイントと相性がいいと感じている。その可能性に気づいたコーディネーターが、介護予防、地域づくりの一環として、研修会の時に話をするなどの働きかけをするだけで輪が大きく広がっていくと思う。

2. 登録しているが活動していない人への対応

次に、登録者のうち活動していない人の割合や特徴、また活動を促すための働きかけについて伺いたい。

A: 登録者は2万人を超えたと謳っているが、その中には退会者や転出者、死亡者も含んだ累計となっているため、実際は1割程度少ない数字となる。そのうち活動している人は約6割で、約4割が登録はしているが実際にポイントの付与はされていない。

活動できていない理由として一番多いのは「きっかけがない」ということであるが、自分の体調面、親族の介護といった理由で時間がないという人も多い。

Q: 「きっかけがない人」に対して、介護が終わったらとか、体調が上向いてきたらまた活動に参加してくださいというような働きかけはしているか。例えば広報でボランティアポイント特集を組むなどはしているのか。

A: 「広報よこはま」にボランティア活動を実際に行っている写真を掲載し、登録を呼びかけている。2017年の4月、2019年の4月に1面に掲載されたときは活動のイメージが具体的に分かったという声が多く、研修会への参加も増加した。これを見て初めてボランティアポイントを知ったという方が結構多かった。

横浜市では、年に2回、登録者全員に「ハマいき通信」という広報誌を送っており、1年間に貯めたポイント数と換金の申請を通知している。今までは団体の紹介や換金の申請書の書き方を載せるにとどまっていたが、昨年からは活動のきっかけがない方のハードルを低くしたいという思いから、具体的にどこの施設でどういう活動をどのくらいの頻度で募集しているかというものを登録者に送っている。また、新規登録した受け入れ施設の情報も年に1回送付している。ただし、具体的な募集内容までは掲載できておらず、今後の課題だ。

Q: 内閣府の調査にも関わっているのだが、ボランティア活動をしない理由で、「きっかけがない」、「体調が悪い」「忙しい」という人にインタビューをしてみると、面白いことが分かる。本当に時間がない、余裕がないという人ももちろんいるが、多くはボランティアに持つイメージが高すぎるのだ。必ず週3日やらなければいけないのではないかと、そこまでの責任は持てない、自信がないという。そういう意味では「ボランティア募集中」というだけではなく、「月1回でもまた新しく始めて見ませんか」など、ゆるっとした感じのメッセージを送ると入りやすくなると思う。

続いて、受け入れ施設について最初は介護予防ということで高齢者施設などに限定されていたと思うが、子育てや病院、障害など対象を広げた経緯やきっかけはどのようなものだったのか。

A： 国の方からは高齢者施設に限らないという通知が出ていたのがきっかけだったと思う。ただ、幅広く受け入れる、活動場所を増やすというときには限界があった。ケアプラ自体が高齢者の介護保険施設ではなく全年齢対象の相談施設であるため、受け入れ施設にするにはそこを拡大しなければならず、対象を広げたというのが最初だった。ケアプラで始まり、施設に連携したときは幅広いサービスに変え障害も受け入れるようになり、配食サービスも入っている。

Q： 対象を広げたことにより活動場所を自分で選択できるというのはシニアがボランティアをやるときに大事だと思う。活動内容をイメージできる場が大事と言っている人も多く、病院ボランティアをやり始めた方も、自分が親の付き添いで病院に来ていて、ここなら自分もお世話になっていたところだからという理由で活動していた。

A： 最初は自分の趣味や日常的にしていることをボランティアとして行う方が継続性もあり、入りやすいだろう。

「話をしなければいけないのが嫌だ」という人は男性に多いが、麻雀や将棋の相手や指導をする人が求められているなどと言うと、「それならできる」という人もいる。

Q： 横浜市では受け入れ体制や、実際に行っているボランティアの活動内容などの実態調査はしているのか

A： 何年か中断していたが、2019年の夏前に実施し、結果を集計中である。ボランティアの月平均活動日数などをアンケート調査で聞いている。全受け入れ登録施設が対象だが、必須ではないのですべてから回答を得ているわけではない。

Q： 実態調査に加えて定期的な情報提供やフォローはしているのか

A： あまりできているとはいえない。今の仕組みの中では情報提供や情報共有の場をどう作るのかということから始めなくてはならず、入所施設からは集まってもらえるのかという懸念もある。住民主体のサービス等でもボランティアの研修に行かせられないとか、施設側も対応できないといったことがあり、どのように伝えていくかが難しい。

Q： ボランティアをパートナーとしてしっかり意識している施設は双方にとっていい効果があることを理解している。しかし、初めてのところはどうしたらいいのだろうと途方に暮れているので、何か情報提供などを内的にできるといいと思う。港北区でも「ケアプラや社協の課題として、受け入れ施設に対しての研修なども考えていかねばならない」と言っていた。

A： 市全体で集めるのは難しいので、実際に活動しているエリアの中で、お互いにケア会議の中などで話ができると良いと思う。

3. 自前登録研修会の実施

Q： 登録研修について、区域以外で登録研修を行えるようになった経緯は？

A： 以前は研修を同時に何か所もできないため、月 2~3 回が限界だった。したがって、高齢者が参加したいと思ったときに受講できるところが近くにないケースが多かった。近場で、いつも行っているケアプラで実施してもらえるとという体制は、ボランティアポイント事業を拡大する上で非常に重要だった。

Q： ケアプラでの研修実施については、各所に情報を流して、あとは手を挙げてくれるところを待っているという感じなのか。最初は意識の高いところに市から声掛けをしたのか。

A： 自前で施設内で研修を行う場合は講師の認定を受ける必要がある。講師認定研修は年に 4 回ほど実施しているが、その案内をメールで送る際に全施設に講師になりませんかという声掛けはしている。そして、「講師になれば、あなたの施設で自分たちで研修を実施できます」ということも伝えている。

最近に住民主体の団体が自前ではできない時に、市から近くのケアプラに協力を頼んだり情報を流したりしている。そういったことの積み重ねによって広がってきたのだと思う。

Q： 自前研修をする際に市への報告義務等はあるのか。

A： ボランティア登録研修は、開催する都度市へ申請書を提出していただく。開催予定日や人数を予め事務局に連絡してもらい、研修終了後に実際の参加者数と登録者情報を記載した申請書を提出してもらおうと人数分のポイントカードを市から送付するという流れになっている。

ボランティア登録研修の内容については、市としてはボランティアポイント制度の仕組みの話以上の部分は特に要望は出していない。とくにケアプラでは自前のボランティア向けにいろいろ工夫してアレンジしているようだ。

ボランティアにはボランティア向けの資料を配布しており、それに沿った話をしてもらうようお願いしている。主催者側から希望があればパワーポイント資料を渡している。

受け入れ施設や社協の職員も講師養成研修を受講すれば講師になれる。ただ、講師養成研修は、研修を行う前にボランティアと一緒に登録研修会に参加していただき、自分がこれからこのような研修をやるのだということを見てもらって、「さあやってください」という感じなので、少しハードルが高いかもしれない。

Q： ケアプラや施設でコーディネーターと一緒に情報共有するなどのやり方は現場に任せているのか

A： 社協も講師になれると申し上げたが、これは港北区から「できないか」という問いかけがあり、市としてもいい提案だからということで変えていった経緯がある。まだ手探り状態ではあるが、要望をよく聞いたうえで、なるべく受け入れられるように制度を少し修正するなどして考えながら進めている。受け入れ施設が広がっているのも、市から投げかけること以上に、最低限守るところは抑えたいうえでどんどんやれるよう仕組みを変えていっている成果だと思う。逐一市が「こうやれ」というよりは、最低基準を定めたいうえで皆さんにうまく使ってほしいというのが保険制度の趣旨に合うのだと思っている。

Q: 横浜市内ではケアプラの自前研修はどのくらい行っているのか

A: 登録者の割合でいうと市の研修と施設内研修というのはほぼ同じくらいになる。正確ではないが、施設内研修のうち半分を超えるくらいはケアプラで行っていると思う。

ただし、ケアプラ全体で140か所くらいあるうちの全てが施設内研修実施しているわけではない。ケアプラ自体人員が潤沢ではないので、なかなかここまで手が伸びていないのは通常としてもあると思っている。

4. 抱える課題と今後の展望

Q: 今後の展望について。ボランティアポイント事業はお金がかかっており、対象人数が増えていくとさらに費用がかさむ。その中で費用対効果などを考えながらの今後の課題や5年後の運営の在り方についてどのように考えているのか。

A: 今の運営形態ではコストの半分がポイントの機械やカード作成といった設備投資にかかっている。これは人が増えるのに比例して経費も増加するので、見直したい。

行政側でもアウトカムを求められるので、運営コストを抑え、実際に活動している高齢者へのコストを増やせるように管理方法を変更していく必要がある。今の運営方法では被保険者全体の割合からすると、活動している高齢者へのコストが少なすぎるので、そこをかけたうえで予防につながっているという実績を取りやすくしていかなければならない。

また、地域活動と言うと、非常にヘビーに関わるか全くやらないかの2択になっていることが多い。しかし、実際は緩く長く外とつながる活動こそが重要だ。横浜市の第1号被保険者が90万人以上いる中でボランティアポイント事業の登録者が2万人、活動者が1万人というのは、要介護者が20%いるとしても低い割合となる。本当の制度の意味と効果を考えると、もっと多くの高齢者に登録してもらい、活動に関われるようなきっかけを作ったりしていくことが必要だ。

仮に元気な高齢者8割の半分の35万人をボランティアポイント事業でカバーすると考えると、今の仕組みでは何十億円とかかってしまう。ボランティアの情報発信やポイントはウォーキングポイント事業並みに軽くなって初めて成立すると思う。5年後は厳しいと思うが、長い目で見るとこの制度はそのような視点の制度としてとらえるべきだろう。

さらに、生きがいがなく心身の健康を損なうのは高齢者だけではないので、90万人の高齢者ではなく370万人の市民全体の仕組みとして社会につなげていく方が本当に意味があると思う。

資料編

(1) 「地域での活動と健康に関する調査」

第4回調査票

(2019年10月17日～10月31日実施)

地域での活動と健康に関する調査

実施主体：一般財団法人 長寿社会開発センター 国際長寿センター
 調査に関するお問い合わせ先： 03-5470-6767
 (月曜日～金曜日 午前 10 時～午後 5 時)
 調査協力：横浜市健康福祉局、公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会

調査管理番号：2019-A01-0001-0001

■ このアンケート調査の目的は？

- 横浜市にお住まいのみなさんが、健康についてどのようなお考えをお持ちで、どのような対策をされているかをうかがいます。横浜市では健康維持・健康増進対策を進めていて、自治会・町内会でもさまざまな取組みが行われています。このアンケートを通して何を行うことが健康維持・健康増進のために効果的なのかを明らかにしたいと考えています。
- 健康対策にあまり関心のない場合や、特に何も対策をされていない方も、大変重要なお意見ですので、ご協力をお願いいたします。

■ 回答の方法は？

- 回答時間は 20 分ほどです。あて名のご本人様がご回答ください。
- 回答は、該当する数字に「○」をつけてください。

例

① ある 2 ない	回答いただけますか →	できる	おそらく できる	できない
		①	2	3

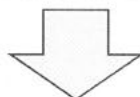
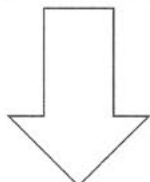
■ 返送の方法は？

- 同封のかながわ福祉サービス振興会行の返信用封筒(切手不要)に入れてお送りください。
- 差出人住所・氏名を記入する必要はありません。

10月31日(木)までにご返送ください

問1 最初にうかがいます。あなたは、封筒のあて名のご本人様ですか (○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------



次のページから
お答えください

問 本人がお答えいただけない理由をお答えください (○は1つ)

1 自宅で療養中	4 本人が回答を拒否
2 入院中	5 その他
3 介護施設に入所中	(具体的に)

→ このままご返送ください

はじめに、ご近所やお住まいの区での人々とのかかわりや生活について、おうかがいします

問2 あなたは、以下の活動をふだんの生活の中でどのくらいしていますか（それぞれ〇は1つ）

	よく している	ときどき している	あまり していない	全く していない	活動がない・ 活動を知らない
1) 近所の方とのあいさつ	1	2	3	4	5
2) 近所の公園・道路の清掃活動	1	2	3	4	5
3) 近所の防犯・防災活動	1	2	3	4	5
4) ごみ出しの監視・ご近所のリサイクル活動	1	2	3	4	5
5) 居住地域でのお祭・行事への参加	1	2	3	4	5
6) 居住地域以外のお祭・行事への参加	1	2	3	4	5
7) 自治会やグループ活動での役職の引き受け	1	2	3	4	5

問3 あなたは、お住まいのご近所について、どのように思いますか（それぞれ〇は1つ）

	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1) 今後もこの場所に住みたい	1	2	3	4
2) 近所のどこにどのような人が住んでいるかよく知っている	1	2	3	4
3) 近所の住民はみな一体感がある	1	2	3	4
4) 近所では、みなが安心して暮らしている	1	2	3	4
5) 近所で困っていることがある	1	2	3	4
6) 近所で心配なことがある	1	2	3	4
7) 災害などの非常時には、近所で助け合える	1	2	3	4
8) ふだんから、お互いに心配事などを共有し、支え合っている	1	2	3	4

問4 あなたは以下のことについて、したり、できますか（それぞれ〇は1つ）

1) 教育、教養番組を視聴していますか	1	する	2	しない
2) 外国のニュースや出来事に関心がありますか	1	ある	2	ない
3) 美術品、映画、音楽を鑑賞することがありますか	1	ある	2	ない
4) 健康に関する情報の信ぴょう性について判断できますか	1	できる	2	できない

問5 横浜市の以下の取り組みについて、参加・利用したことはありますか（それぞれ〇は1つ）

	現在、 参加・利用 している	以前に、 参加・利用した ことがある	知っているが、 参加・利用した ことはない	知らない
1) よこはまウォーキングポイント	1	2	3	4
2) 認知症サポーター養成講座	1	2	3	4
3) 区役所・地域ケアプラザ・地区センター などでの高齢者向け健康講座など	1	2	3	4
4) 元気づくりステーション事業	1	2	3	4

次に、「よこはまシニアボランティアポイント」について、おうかがいします

問6 よこはまシニアボランティアポイントのボランティア活動を、どれくらい行っていますか
(○は1つ)

1 週に4～5日以上	3 週に1日程度	5 月に1日程度	7 現在は、活動して いない
2 週に2～3日	4 月に2日程度	6 年に数回程度	



このページの
問10へ

問7 この事業で活動している施設などでのボランティアをどれくらいの期間、行っていますか。
ポイント事業になる以前を含めての通算期間をお答えください (○は1つ)

1 半年未満	3 1年～2年未満	5 3年～5年未満	7 10年～15年未満
2 半年～1年未満	4 2年～3年未満	6 5年～10年未満	8 15年以上

問8 この2年以内(2017年12月以降)に、どの施設や場所で活動しましたか (○はいくつでも)

1 介護施設(老人ホームなど)	3 病院施設	5 子育て施設
2 地域ケアプラザ	4 障害者施設	6 その他

問9 この事業でのボランティアの魅力はどこにあると思いますか (○はいくつでも)

1 知り合いが増える	4 ポイントが貯まる	7 活動の成果が数字でわかる
2 人と話すことができる	5 元気がもらえる	8 その他(具体的に)
3 人から感謝される	6 老後のイメージがわく	9 いずれもあてはまらない

【問6で「現在は、活動していない」と答えた方】

問10 現在は、この事業でのボランティアをされていないのはなぜですか (○はいくつでも)

1 他の活動が忙しい	4 行くのがおっくう	7 経済的な余裕がなくなった
2 興味が無くなった	5 自分に合わない	8 その他(具体的に)
3 体調が悪い	6 自分の老いを意識した	9 いずれもあてはまらない

【全員に】

問11 あなたは、この事業におけるボランティアに参加したことで、次のような変化はありましたか (○はそれぞれ1つ)

	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1) 健康に気をつかうようになった	1	2	3	4
2) 以前より元気・健康になった	1	2	3	4
3) 日々の生活にメリハリを感じるようになった	1	2	3	4
4) 社会に役に立っていると感じるようになった	1	2	3	4
5) 自分が、介護を必要とするときのことを考えるようになった	1	2	3	4

問12 今後も、このボランティアを続けたいですか (○は1つ)

1 体力の続く限り 続けたい	2 気負わない範囲 で続けたい	3 近いうちに やめると思う	4 よくわからない	5 いずれもあてはまらない
-------------------	--------------------	-------------------	-----------	---------------

次に、「元気づくりステーション」について、おうかがいします

問6 あなたは、この1年、元気づくりステーションにどれくらいの頻度で参加していますか
(〇は1つ)

1 週に2日以上	3 月に2日程度	5 年に数回程度	7 現在は、参加して いない
2 週に1日程度	4 月に1日程度	6 年に1回程度	



このページの
問10へ

問7 あなたは、元気づくりステーションではどのような活動を行っていますか(〇はいくつでも)

1 体操、筋トレ	4 脳トレ	7 交流会、お茶会
2 ウォーキング	5 音楽、絵画、ゲームなど	8 その他 (具体的に)
3 口腔ケア、栄養管理	6 農作業、園芸など	

問8 あなたは、元気づくりステーションにどのようにかかわっていますか(〇はいくつでも)

1 運営にかかわっている	5 困っている参加者への声掛け
2 当日の手伝い(受付や会場設営など)	6 知人や友人を活動に誘う
3 講師(体操やレクリエーションなどの指導)をしている	7 活動にだけ参加している
4 自分で使った椅子や道具の片付け	8 その他(具体的に)

問9 元気づくりステーションの魅力はどこにあると思いますか(〇はいくつでも)

1 健康になる	4 生活にメリハリがつく	7 その他 (具体的に)
2 地域の知り合いが増える	5 気持ちが明るくなる	8 いずれもあてはまらない
3 人と話すことができる	6 居場所ができた	

【問6で「現在は、参加していない」と答えた方】

問10 現在は、元気づくりステーションに参加されていないのはなぜですか(〇はいくつでも)

1 他の活動が忙しい	4 行くのがおっくう	7 経済的な余裕がなくなった
2 興味が無くなった	5 自分に合わない	8 その他(具体的に)
3 体調が悪い	6 自分の老いを意識した	9 いずれもあてはまらない

【全員に】

問11 元気づくりステーションに参加したことで、次のような変化はありましたか(〇はそれぞれ1つ)

	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1) 健康に気をつかうようになった	1	2	3	4
2) 気持ちが前向きになった	1	2	3	4
3) 日々の生活にメリハリを感じるようになった	1	2	3	4
4) 地域の活動にもっと参加したいと思うようになった	1	2	3	4

問12 今後も、元気づくりステーションに参加したいですか(〇は1つ)

1 できる限り 続けたい	2 気負わない範囲 で続けたい	3 近いうちに やめると思う	4 よくわからない	5 いずれもあてはまらない
-----------------	--------------------	-------------------	-----------	---------------

次に、横浜市の取り組みについて、おうかがいします

問6 平成21年から行われている「よこはまシニアボランティアポイント事業」(ヨコハマいきいきポイント。旧：介護支援ボランティアポイント事業)についてご存知ですか(〇は1つ)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 登録している、または、登録したことがある | 3 名前を聞いたことはある |
| 2 聞いたことがあり、内容も知っている | 4 聞いたことはない・知らない |

↓ 1～3に〇をつけた方

↘ このページの問8へ

問7 どこで知りましたか(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 広報よこはまやチラシをみて | 4 友人、ボランティア仲間からの紹介 |
| 2 区役所や地域ケアプラザの職員の紹介 | 5 家族からの紹介 |
| 3 ホームページをみて | 6 その他(具体的に) |

【全員に】

問8 「よこはまシニアボランティアポイント事業」は介護保険施設等でボランティア活動を行った場合に、「ポイント」が得られ、たまった「ポイント」に応じて換金できる仕組みを採用しています。あなたは、この活動に興味はありますか(〇は1つ)

- | | | | |
|-------------|------------------|-----------------|-------------|
| 1 ぜひ参加してみたい | 2 活動内容によっては参加したい | 3 機会があれば参加してもよい | 4 参加する気はない |
| | | | 5 すでに参加している |

問9 あなたは、平成24年から行われている「横浜市元気づくりステーション」についてご存知ですか(〇は1つ)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 参加している、または、参加したことがある | 3 名前を聞いたことはある |
| 2 聞いたことがあり、内容も知っている | 4 聞いたことはない・知らない |

↓ 1～3に〇をつけた方

↘ このページの問11へ

問10 「横浜市元気づくりステーション」をどこで知りましたか(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 広報よこはまやチラシをみて | 5 友人、ボランティア仲間からの紹介 |
| 2 自治会のチラシやポスターをみて | 6 家族からの紹介 |
| 3 ホームページをみて | 7 その他(具体的に) |
| 4 区役所や地域包括支援センターの職員の紹介 | |

【全員に】

問11 「横浜市元気づくりステーション」は介護予防・健康づくりを目的とした活動を、自主的かつ継続的に行うグループ活動です。もしお住まいの近くで活動があれば参加したいと思いますか(〇は1つ)

- | | | | |
|-------------|------------------|-----------------|-------------|
| 1 ぜひ参加してみたい | 2 活動内容によっては参加したい | 3 機会があれば参加してもよい | 4 参加する気はない |
| | | | 5 すでに参加している |

次に、全員のかたに、現在のあなたの様子や健康状態について、おうかがいします

問13 あなたの、現在の健康状態は、いかがですか（〇は1つ）

1 とてもよい	2 ややよい	3 あまりよくない	4 よくない
---------	--------	-----------	--------

問14 あなたの、現在の健康状態は1年前よりも「よくなっている」と思えますか（〇は1つ）

1 よく なっている	2 ややよく なっている	3 だいたい 同じ	4 やや悪く なっている	5 悪く なっている
---------------	-----------------	--------------	-----------------	---------------

問15 あなたは、この2年間のあいだに、職場や医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか（〇は1つ）

1 1年以内に受けた	2 1～2年以内に受けた	3 受けていない
------------	--------------	----------

問16 あなたは、現在、治療を受けていますか（〇は1つ）

1 はい	2 いいえ
------	-------



このページの問18へ

問17 その病名は何ですか（〇はいくつでも）

1 ガン	7 骨粗しょう症
2 心臓病（不整脈を含む）	8 関節症・神経痛
3 脳卒中	9 緑内障・白内障
4 高血圧	10 精神疾患
5 糖尿病（軽症を含む）	11 外傷（転倒・骨折）
6 高脂血症	12 その他（具体的に)

次に、あなたの日常生活について、おうかがいします

問18 あなたは、現在、お酒を飲みますか（〇は1つ）

1 飲む	2 飲んでいたがやめた	3 飲まない
------	-------------	--------



このページの問20へ

問19 どのくらいの頻度で飲みますか（「やめた」方は飲んでいた頃をお答えください）（〇は1つ）

1 毎日飲む	3 週に3～4日	5 月に1～3日
2 週に5～6日	4 週に1～2日	6 月に1日未満

問20 あなたは、ふだん、タバコは吸いますか（〇は1つ）

1 全く吸った ことがない	2 3年以上前にやめ て今は吸わない	3 2年以内にやめて 今は吸わない	4 現在も 喫煙している
------------------	-----------------------	----------------------	-----------------

問21 食事についてうかがいます。「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください

(それぞれ○は1つ)

- 1) この半年間に体重が2～3kg以上減少しましたか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 3) お茶や汁物などでむせることがありますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 4) 口の渇きが気になりますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問22 日常生活についてうかがいます。「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください

(それぞれ○は1つ)

- 1) バスや電車を使って1人で外出できますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 2) 日用品の買い物ができますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 3) 銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 4) 友達の家を訪ねることがありますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 5) 家族や友だちの相談にのることがありますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 6) 15分位続けて歩いていますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 7) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるといわれますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 8) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 9) 今日が何月何日かわからない時がありますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問23 ふだんの外出や日常の行動についてうかがいます。「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください(それぞれ○は1つ)

- 1) 昨年と比べて外出の回数は減っていますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 2) この1年間に転んだことがありますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 3) 転倒に対する不安は大きいですか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 4) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----
- 5) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 →

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問24 あなたが外出する頻度はどのくらいですか(○は1つ)

1 ほぼ毎日	3 週に1日程度	5 年に数回
2 週に2～3日	4 月に1～2日	6 外出していない

問25 あなたのお気持ちについてうかがいます。「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください（それぞれ○は1つ）

- 1) 今の生活に満足していますか。 1 はい 2 いいえ
- 2) 生きていても仕方がないという気持ちになることがありますか。 1 はい 2 いいえ
- 3) 毎日の活動力や世間に対する関心がなくなってきたように思いますか。 1 はい 2 いいえ
- 4) 生きているのがむなしのように感じますか。 1 はい 2 いいえ
- 5) 退屈に思うことがよくありますか。 1 はい 2 いいえ
- 6) 普段は気分がよいですか。 1 はい 2 いいえ
- 7) なにか悪いことが起こりそうな気がしますか。 1 はい 2 いいえ
- 8) 自分は幸せなほうだと思いますか。 1 はい 2 いいえ
- 9) どうしようもないと思うことがよくありますか。 1 はい 2 いいえ
- 10) 外に出かけるよりも家にいることのほうが好きですか。 1 はい 2 いいえ
- 11) ほかに人より物忘れが多いと思いますか。 1 はい 2 いいえ
- 12) こうして生きていることは素晴らしいと思いますか。 1 はい 2 いいえ
- 13) 自分は活力が満ちていると感じますか。 1 はい 2 いいえ
- 14) こんな暮らしでは希望がないと思いますか。 1 はい 2 いいえ
- 15) ほかに人は、自分より裕福だと思いますか。 1 はい 2 いいえ
- 16) 毎日の生活に充実感がないと感じますか。 1 はい 2 いいえ
- 17) これまで楽しんでやれたことが楽しめなくなったと思いますか。 1 はい 2 いいえ
- 18) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられますか。 1 はい 2 いいえ
- 19) 自分が役に立つ人間だと思えないことがありますか。 1 はい 2 いいえ
- 20) わけもなく疲れたような感じがしますか。 1 はい 2 いいえ

問26 「ロコモティブシンドローム」という言葉を聞いたことがありますか（○は1つ）

1 言葉の意味を知っている	2 言葉は聞いたことがあるが、意味は分からない	3 言葉も意味も知らない
---------------	-------------------------	--------------

次に、あなたの交際について、おうかがいします

問27 あなたには、あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか(○はいくつでも)

1 配偶者	4 きょうだい	7 職場・同業の人
2 同居の子ども	5 近隣の人	8 その他(具体的に)
3 別居の子どもや親戚	6 友人	9 そのような人はいない

問28 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか(○はいくつでも)

1 配偶者	4 きょうだい	7 職場・同業の人
2 同居の子ども	5 近隣の人	8 その他(具体的に)
3 別居の子どもや親戚	6 友人	9 そのような人はいない

問29 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか(○はいくつでも)

1 配偶者	4 きょうだい	7 職場・同業の人
2 同居の子ども	5 近隣の人	8 その他(具体的に)
3 別居の子どもや親戚	6 友人	9 そのような人はいない

問30 反対に、病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてあげる人はいますか(○はいくつでも)

1 配偶者	4 きょうだい	7 職場・同業の人
2 同居の子ども	5 近隣の人	8 その他(具体的に)
3 別居の子どもや親戚	6 友人	9 そのような人はいない

問31 あなたが、現在入っていて、ふだん集まりに参加している組織・グループを、教えてください(それぞれ○は1つ)

	ほぼ毎日	週に2~3日	週に1日	月に2~3日	年に数回	参加していない
1) 町内会・自治会 →	1	2	3	4	5	6
2) 老人クラブ →	1	2	3	4	5	6
3) シルバー人材センター →	1	2	3	4	5	6
4) 業界団体・同業者団体 →	1	2	3	4	5	6
5) ボランティア団体や会 (ボランティアポイント制度を除く) →	1	2	3	4	5	6
6) 学習関係のグループ →	1	2	3	4	5	6
7) スポーツ関係のグループ →	1	2	3	4	5	6
8) 趣味関係のグループ →	1	2	3	4	5	6
9) その他の組織・グループ →	1	2	3	4	5	6

問32 以下のうち、あなたがこの2年以内（2017年12月以降）に新しく参加し始めたものがあれば、教えてください（〇はいくつでも）

1 町内会・自治会	5 ボランティア団体や会 (ボランティアポイント制度を除く)	8 趣味関係のグループ
2 老人クラブ	6 学習関係のグループ	9 その他の組織・グループ
3 シルバー人材センター	7 スポーツ関係のグループ	10 いずれも入っていない
4 業界団体・同業者団体		

問33 あなたが、今後新しく始めたい活動があれば、教えてください（〇はいくつでも）

1 仕事（シルバー人材センター等含む）	5 学習、資格取得
2 健康、スポーツ（ウォーキング等含む）	6 地域行事（祭などの催しものの世話等）
3 趣味（俳句、詩吟、陶芸、音楽等）	7 その他（具体的に）
4 ボランティア	8 いずれもあてはまらない

次に、あなたの考え方について、おうかがいします

問34 あなたは、現在幸せですか（〇は1つ）

1 幸せ	2 やや幸せ	3 どちらでもない	4 やや不幸せ	5 不幸せ
------	--------	-----------	---------	-------

問35 あなたの、人生に対する考え方についておうかがいします。それぞれ1～7のうち、あなたの感じ方をもっともよくあらわしている数字に〇を付けてください（それぞれ〇は1つ）

	よくあてはまる ← → まったくあてはまらない						
	1	2	3	4	5	6	7
1) 私は、日常生じる困難や問題の解決策を見つけることができる	→						
2) 私は、人生で生じる困難や問題のいくつかは、向き合い、取り組む価値があると思う	→						
3) 私は、日常生じる困難や問題を理解したり予測したりできる	→						

問36 あなたは、以下のような考え方についてどのように思いますか（それぞれ〇は1つ）

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1) 私は人を信頼するほうである	→ 1	2	3	4
2) ほとんどの人は信頼できる	→ 1	2	3	4
3) ほとんどの人は基本的に善良で親切である	→ 1	2	3	4
4) 同じ町内に住んでいる人たちは信頼できる	→ 1	2	3	4

問37 次の文章について、あなた自身の考えはどれくらいあてはまりますか(それぞれ〇は1つ)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 地域のために活動することは義務である	→ 1	2	3	4
2) 高齢者支援より子育て支援にお金をかけるべきだ	→ 1	2	3	4
3) 自分と意見が違う人とつきあうのが苦にならない	→ 1	2	3	4
4) 他者と意見が違うとき、その人が意見を変えなくてもつきあう	→ 1	2	3	4
5) 自分と意見の違う人がいてもかまわない	→ 1	2	3	4
6) 人生の最期まで、施設や病院でなく自宅で過ごしたい	→ 1	2	3	4

問38 あなたは、次のそれぞれについて、どのくらいあてはまりますか(それぞれ〇は1つ)

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 困っていることを解決するために、自分と一緒に対処してくれる身近な人が欲しい	→ 1	2	3	4	5
2) 困っていることを解決するために、行政からの助言や援助が欲しい	→ 1	2	3	4	5
3) 身近な人からの助言や援助を受けることに、抵抗がある	→ 1	2	3	4	5
4) 公的な機関からの助言や援助を受けることに、抵抗がある	→ 1	2	3	4	5
5) 自分は、よほどのことがない限り、人に相談することがない	→ 1	2	3	4	5

最後に、アンケート結果の整理のために、おうかがいします

問39 あなたの性別を、教えてください(〇は1つ)

1 男	2 女
-----	-----

問40 あなたの生まれた年を、教えてください(〇を1つ、数字を記入してください)

1 大正	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年
2 昭和	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

問41 あなたの身長と体重を教えてください(おおよその数値を記入してください)

a) 身長	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	センチ	b) 体重	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	キロ
-------	----------------------	----------------------	----------------------	-----	-------	----------------------	----------------------	----------------------	----



問42 あなたは、現在、結婚していますか（○は1つ）

1 結婚している	2 死別した	3 離別した	4 一度も結婚していない
----------	--------	--------	--------------

問43 現在のお住まいに同居されているご家族は、あなたを含めて何人ですか。また、子どもの人数は何人ですか（数値を記入してください）

a) 同居の家族
あなたを含めて 人

b) 子どもの人数
同居、別居双方 人

1人以上の方は
問44へ   0人の方は
問45へ

【問43で子どもが1人以上とお答えの方】

問44 うち、もっとも付き合いのある子どものお住まいは、どちらですか（○は1つ）

1 同居、同じ敷地	3 区は違うが横浜市内	5 関東甲信越
2 同じ区内	4 横浜市以外の神奈川県	6 それ以外

問45 あなたの現在のお住まいは、次の中のどれにあたりますか（○は1つ）

1 持ち家の戸建て住宅（親などの持ち家含む）	3 賃貸の戸建て住宅	5 その他（具体的に
2 持ち家の集合住宅（同上）	4 賃貸の集合住宅	に

問46 あなたの世帯（生計をともにしているご家族全員）の収入の合計は、過去1年間でどれくらいですか。税込みの金額で、臨時収入・副収入も含めて、教えてください（○は1つ）

1 100万円未満	4 300～400万円未満	7 800～1,000万円未満
2 100～200万円未満	5 400～600万円未満	8 1,000～1,500万円未満
3 200～300万円未満	6 600～800万円未満	9 1,500万円以上

問47 あなたは、現在、収入をともなう仕事をしていますか（〇は1つ）

1 現在仕事を している	2 休職中	3 過去に仕事をし たことがあり、今は 仕事を探している	4 過去に仕事をし ていたが、今は 引退している	5 仕事をしたこ とは、 <u>人生で</u> <u>一度もない</u>
-----------------	-------	------------------------------------	--------------------------------	--

↓
現在も働いている方は、
問48へ

→ これで終了
となります

【さらに、問47で、「1～2」に〇をした、現在働いている方に】

問48 現在は、週に何日程度働いていますか。近い数字に〇をしてください（〇は1つ）

週に

毎日	5日	4日	3日	2日	1日	それ以下
----	----	----	----	----	----	------

 働いている

問49 現在は、どのように働いていますか（〇は1つ）

1 経営者・役員	4 自営業主・自由業者
2 正社員・公務員	5 その他（具体的に
3 派遣社員・嘱託社員・パート・アルバイト	）

問50 現在は、どのような仕事をしていますか（〇は1つ）

1 農林漁業職（植木職、造園業を含む）
2 技能・労務・作業系の職業（工場労働者、自衛官、警察官、職人、建設作業員、運転手など）
3 販売・サービス系の職業（店主、店員、営業社員、美容師、クリーニング、給仕、接客、清掃、ヘルパーなど）
4 事務的職業（事務員、銀行員、プログラマーなど）
5 管理的職業（課長相当以上の管理職、議員など）
6 専門的職業（医師、弁護士、教員、エンジニア、看護師、介護士、作家、デザイナー、編集者など）
7 その他（具体的に

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れてお送りください

この調査についてご意見・ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。

(2) 「地域での活動と健康に関する調査」

第4回調査 単純集計表

(2019年10月17日～31日実施)

(2) 単純集計表

本人か否か(Q1)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	1088	80.4	97.7	97.7
		いいえ	25	1.9	2.3	100.0
		合計	1093	82.3	100.0	
		欠損値	235	17.7		
		合計	1328	100.0		
元気S	有効	はい	166	83.0	97.1	97.1
		いいえ	5	2.5	2.9	100.0
		合計	171	85.5	100.0	
		欠損値	29	14.5		
		合計	200	100.0		
一般	有効	はい	986	78.5	96.0	96.0
		いいえ	41	3.3	4.0	100.0
		合計	1027	81.8	100.0	
		欠損値	229	18.2		
		合計	1256	100.0		

性別 (Q39)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	男性	268	20.6	20.6	20.6
		女性	1032	79.4	79.4	100.0
		合計	1300	100.0	100.0	
元気S	有効	男性	33	17.0	17.0	17.0
		女性	161	83.0	83.0	100.0
		合計	194	100.0	100.0	
一般	有効	男性	545	44.8	44.8	44.8
		女性	671	55.2	55.2	100.0
		合計	1216	100.0	100.0	

地域活動：近所の方とのあいさつ (Q2-1)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	よくしている	1055	81.2	83.3	83.3
		ときどきしている	173	13.3	13.7	96.9
		あまりしていない	34	2.6	2.7	99.6
		全くしていない	4	0.3	0.3	99.9
		活動がない、知らない	1	0.1	0.1	100.0
欠損値	合計	1267	97.5	100.0		
999	合計	33	2.5			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	有効	よくしている	177	91.2	91.2	91.2
		ときどきしている	13	6.7	6.7	97.9
		あまりしていない	3	1.5	1.5	99.5
		全くしていない	1	0.5	0.5	100.0
		合計	194	100.0	100.0	
一般	有効	よくしている	877	72.1	73.3	73.3
		ときどきしている	254	20.9	21.2	94.6
		あまりしていない	49	4.0	4.1	98.7
		全くしていない	13	1.1	1.1	99.7
		活動がない、知らない	3	0.2	0.3	100.0
欠損値	合計	1196	98.4	100.0		
999	合計	20	1.6			
合計	合計	1216	100.0			

地域活動：清掃活動 (Q2-2)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	よくしている	232	17.8	19.2	19.2
		ときどきしている	394	30.3	32.7	51.9
		あまりしていない	210	16.2	17.4	69.3
		全くしていない	240	18.5	19.9	89.2
		活動がない、知らない	130	10.0	10.8	100.0
欠損値	合計	1206	92.8	100.0		
999	合計	94	7.2			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	有効	よくしている	53	27.3	28.5	28.5
		ときどきしている	70	36.1	37.6	66.1
		あまりしていない	28	14.4	15.1	81.2
		全くしていない	31	16.0	16.7	97.8
		活動がない、知らない	4	2.1	2.2	100.0
欠損値	合計	186	95.9	100.0		
999	合計	8	4.1			
合計	合計	194	100.0			
一般	有効	よくしている	175	14.4	15.1	15.1
		ときどきしている	279	22.9	24.0	39.1
		あまりしていない	201	16.5	17.3	56.4
		全くしていない	360	29.6	31.0	87.3
		活動がない、知らない	147	12.1	12.7	100.0
欠損値	合計	1162	95.6	100.0		
999	合計	54	4.4			
合計	合計	1216	100.0			

地域活動：防犯活動 (Q2-3)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	よくしている	148	11.4	12.7	12.7
		ときどきしている	303	23.3	26.0	38.7
		あまりしていない	344	26.5	29.5	68.2
		全くしていない	267	20.5	22.9	91.2
		活動がない、知らない	103	7.9	8.8	100.0
欠損値	合計	1165	89.6	100.0		
999	合計	135	10.4			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	有効	よくしている	40	20.6	22.1	22.1
		ときどきしている	66	34.0	36.5	58.6
		あまりしていない	33	17.0	18.2	76.8
		全くしていない	37	19.1	20.4	97.2
		活動がない、知らない	5	2.6	2.8	100.0
欠損値	合計	181	93.3	100.0		
999	合計	13	6.7			
合計	合計	194	100.0			
一般	有効	よくしている	99	8.1	8.7	8.7
		ときどきしている	233	19.2	20.4	29.1
		あまりしていない	303	24.9	26.5	55.6
		全くしていない	402	33.1	35.2	90.8
		活動がない、知らない	105	8.6	9.2	100.0
欠損値	合計	1142	93.9	100.0		
999	合計	74	6.1			
合計	合計	1216	100.0			

地域活動：リサイクル活動 (Q2-4)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	よくしている	346	26.6	29.0	29.0
		ときどきしている	334	25.7	28.0	57.0
		あまりしていない	238	18.3	19.9	76.9
		全くしていない	191	14.7	16.0	93.0
		活動がない、知らない	84	6.5	7.0	100.0
欠損値	合計	1193	91.8	100.0		
999	合計	107	8.2			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	有効	よくしている	49	25.3	27.8	27.8
		ときどきしている	56	29.9	33.0	60.8
		あまりしていない	37	19.1	21.0	81.8
		全くしていない	26	13.4	14.8	96.6
		活動がない、知らない	6	3.1	3.4	100.0
欠損値	合計	176	90.7	100.0		
999	合計	18	9.3			
合計	合計	194	100.0			
一般	有効	よくしている	253	20.8	22.1	22.1
		ときどきしている	282	23.2	24.6	46.6
		あまりしていない	227	18.7	19.8	66.4
		全くしていない	302	24.8	26.3	92.8
		活動がない、知らない	83	6.8	7.2	100.0
欠損値	合計	1147	94.3	100.0		
999	合計	69	5.7			
合計	合計	1216	100.0			

地域活動：地域のお祭 (Q2-5)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	よくしている	380	29.2	31.4	31.4
		ときどきしている	355	27.3	29.3	60.7
		あまりしていない	250	19.2	20.7	81.4
		全くしていない	193	14.8	16.0	97.4
		活動がない、知らない	32	2.5	2.6	100.0
欠損値	合計	1210	93.1	100.0		
999	合計	90	6.9			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	有効	よくしている	92	47.4	49.5	49.5
		ときどきしている	57	29.4	30.6	80.1
		あまりしていない	19	9.8	10.2	90.3
		全くしていない	18	9.3	9.7	100.0
		合計	186	95.9	100.0	
欠損値	合計	8	4.1			
999	合計	194	100.0			
一般	有効	よくしている	191	15.7	16.5	16.5
		ときどきしている	303	24.9	26.2	42.7
		あまりしていない	277	22.8	24.0	66.7
		全くしていない	334	27.5	28.9	95.6
		活動がない、知らない	51	4.2	4.4	100.0
欠損値	合計	1156	95.1	100.0		
999	合計	60	4.9			
合計	合計	1216	100.0			

地域活動：地域外のお祭 (Q2-6)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	よくしている	133	10.2	11.1	11.1
		ときどきしている	279	21.5	23.2	34.2
		あまりしていない	320	24.6	26.6	60.8
		全くしていない	397	30.5	33.0	93.8
		活動がない、知らない	74	5.7	6.2	100.0
欠損値	合計	1203	92.5	100.0		
999	合計	97	7.5			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	有効	よくしている	22	11.3	12.1	12.1
		ときどきしている	51	26.3	28.0	40.1
		あまりしていない	52	26.8	28.6	68.7
		全くしていない	50	25.8	27.5	98.2
		活動がない、知らない	7	3.6	3.8	100.0
欠損値	合計	182	93.8	100.0		
999	合計	12	6.2			
合計	合計	194	100.0			
一般	有効	よくしている	57	4.7	4.9	4.9
		ときどきしている	148	12.2	12.8	17.7
		あまりしていない	272	22.4	23.5	41.3
		全くしていない	587	48.3	50.8	92.1
		活動がない、知らない	91	7.5	7.9	100.0
欠損値	合計	1155	95.0	100.0		
999	合計	61	5.0			
合計	合計	1216	100.0			

地域活動:自治会での役割 (Q2-7)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	よくしている	327	25.2	26.9	26.9
		ときどきしている	357	27.5	29.4	56.3
		あまりしていない	228	17.5	18.8	75.1
		全くしていない	275	21.2	22.6	97.7
		活動がない、知らない	28	2.2	2.3	100.0
		合計	1215	93.5	100.0	
欠損値		999	85	6.5		
合計		1300	100.0			
元気S	有効	よくしている	68	35.1	37.0	37.0
		ときどきしている	55	28.4	29.9	66.8
		あまりしていない	18	9.3	9.8	76.6
		全くしていない	43	22.2	23.4	100.0
		合計	184	94.8	100.0	
		欠損値	999	10	5.2	
合計		194	100.0			
一般	有効	よくしている	171	14.1	14.7	14.7
		ときどきしている	311	25.6	26.8	41.5
		あまりしていない	211	17.4	18.2	59.6
		全くしていない	428	35.2	36.8	96.5
		活動がない、知らない	41	3.4	3.5	100.0
		合計	1162	95.6	100.0	
欠損値		999	54	4.4		
合計		1216	100.0			

近所観:今後も住み続けたい (Q3-1)

			度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	そう思う	1058	81.4	84.4	84.4	
		ややそう思う	149	11.5	11.9	96.3	
		あまりそう思わない	31	2.4	2.5	98.8	
		そう思わない	15	1.2	1.2	100.0	
		合計	1253	96.5	100.0		
		欠損値	999	78	6.0		
合計		1300	100.0				
元気S	有効	そう思う	162	83.5	85.3	85.3	
		ややそう思う	23	11.9	12.1	97.4	
		あまりそう思わない	5	2.6	2.6	100.0	
		合計	190	97.9	100.0		
		欠損値	999	4	2.1		
		合計	194	100.0			
一般	有効	そう思う	944	77.6	79.3	79.3	
		ややそう思う	196	16.1	16.5	95.8	
		あまりそう思わない	40	3.3	3.4	99.2	
		そう思わない	10	0.8	0.8	100.0	
		合計	1190	97.9	100.0		
		欠損値	999	26	2.1		
合計		1216	100.0				

近所観:どのような人が住んでいるかよく知っている (Q3-2)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	387	29.8	31.5	31.5
		ややそう思う	585	45.0	47.6	79.2
		あまりそう思わない	212	16.3	17.3	96.4
		そう思わない	44	3.4	3.6	100.0
		合計	1228	94.5	100.0	
		欠損値	999	72	5.5	
合計		1300	100.0			
元気S	有効	そう思う	81	41.8	44.5	44.5
		ややそう思う	73	37.6	40.1	84.6
		あまりそう思わない	25	12.9	13.7	98.4
		そう思わない	3	1.5	1.8	100.0
		合計	182	93.8	100.0	
		欠損値	999	12	6.2	
合計		194	100.0			
一般	有効	そう思う	316	26.0	27.2	27.2
		ややそう思う	501	41.2	43.1	70.3
		あまりそう思わない	270	22.2	23.2	93.5
		そう思わない	75	6.2	6.5	100.0
		合計	1162	95.6	100.0	
		欠損値	999	54	4.4	
合計		1216	100.0			

近所観:みな一体感がある (Q3-3)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	239	18.4	19.4	19.4
		ややそう思う	556	42.8	45.2	64.7
		あまりそう思わない	363	27.9	29.5	94.2
		そう思わない	71	5.5	5.8	100.0
		合計	1229	94.5	100.0	
		欠損値	999	71	5.5	
合計		1300	100.0			
元気S	有効	そう思う	45	23.2	24.3	24.3
		ややそう思う	97	50.0	52.4	76.8
		あまりそう思わない	38	19.6	20.5	97.3
		そう思わない	5	2.6	2.7	100.0
		合計	185	95.4	100.0	
		欠損値	999	9	4.6	
合計		194	100.0			
一般	有効	そう思う	205	16.9	17.7	17.7
		ややそう思う	490	40.3	42.2	59.9
		あまりそう思わない	381	31.3	32.8	92.7
		そう思わない	85	7.0	7.3	100.0
		合計	1161	95.5	100.0	
		欠損値	999	55	4.5	
合計		1216	100.0			

近所観:みな安心して暮らしている (Q3-4)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	519	39.9	42.5	42.5
		ややそう思う	581	44.7	47.5	90.0
		あまりそう思わない	102	7.8	8.3	98.4
		そう思わない	20	1.5	1.6	100.0
		合計	1222	94.0	100.0	
		欠損値	999	78	6.0	
合計		1300	100.0			
元気S	有効	そう思う	97	50.0	51.3	51.3
		ややそう思う	83	42.8	43.9	95.2
		あまりそう思わない	7	3.6	3.7	98.9
		そう思わない	2	1.0	1.1	100.0
		合計	189	97.4	100.0	
		欠損値	999	5	2.6	
合計		194	100.0			
一般	有効	そう思う	480	39.5	41.5	41.5
		ややそう思う	584	48.4	48.7	90.2
		あまりそう思わない	87	7.2	7.5	97.8
		そう思わない	26	2.1	2.2	100.0
		合計	1167	95.9	100.0	
		欠損値	999	59	4.1	
合計		1216	100.0			

近所観:困っていることがある (Q3-5)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	73	5.6	6.1	6.1
		ややそう思う	184	14.2	15.3	21.4
		あまりそう思わない	596	46.0	49.9	71.3
		そう思わない	344	26.5	28.7	100.0
		合計	1199	92.2	100.0	
		欠損値	999	101	7.8	
合計		1300	100.0			
元気S	有効	そう思う	10	5.2	5.5	5.5
		ややそう思う	28	14.4	15.3	20.8
		あまりそう思わない	95	49.0	51.9	72.7
		そう思わない	50	25.8	27.3	100.0
		合計	183	94.3	100.0	
		欠損値	999	11	5.7	
合計		194	100.0			
一般	有効	そう思う	65	5.3	5.6	5.6
		ややそう思う	168	13.8	14.5	20.2
		あまりそう思わない	554	45.6	47.9	68.1
		そう思わない	369	30.3	31.9	100.0
		合計	1156	95.1	100.0	
		欠損値	999	60	4.9	
合計		1216	100.0			

近所観:心配なことがある (Q3-6)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	74	5.7	6.2	6.2
		ややそう思う	180	13.8	15.2	21.4
		あまりそう思わない	575	44.2	48.4	69.8
		そう思わない	359	27.6	30.2	100.0
		合計	1188	91.4	100.0	
		欠損値	999	112	8.6	
合計		1300	100.0			
元気S	有効	そう思う	13	6.7	7.3	7.3
		ややそう思う	26	13.4	14.5	21.8
		あまりそう思わない	86	44.3	48.0	69.8
		そう思わない	54	27.8	30.2	100.0
		合計	179	92.3	100.0	
		欠損値	999	15	7.7	
合計		194	100.0			
一般	有効	そう思う	54	4.4	4.8	4.8
		ややそう思う	141	11.6	12.4	17.2
		あまりそう思わない	530	43.6	46.8	64.0
		そう思わない	408	33.6	36.0	100.0
		合計	1133	93.2	100.0	
		欠損値	999	83	6.8	
合計		1216	100.0			

近所観:非常時には助け合える (Q3-7)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	470	36.2	38.3	38.3
		ややそう思う	555	42.7	45.2	83.5
		あまりそう思わない	165	12.7	13.4	97.0
		そう思わない	37	2.8	3.0	100.0
		合計	1227	94.4	100.0	
		欠損値	999	73	5.6	
合計		1300	100.0			
元気S	有効	そう思う	73	37.6	38.6	38.6
		ややそう思う	95	49.0	50.3	88.9
		あまりそう思わない	20	10.3	10.6	99.5
		そう思わない	1	0.5	0.5	100.0
		合計	189	97.4	100.0	
		欠損値	999	5	2.6	
合計		194	100.0			
一般	有効	そう思う	367	30.2	31.4	31.4
		ややそう思う	549	45.1	47.0	78.4
		あまりそう思わない	201	16.5	17.2	95.6
		そう思わない	51	4.2	4.4	100.0
		合計	1168	96.1	100.0	
		欠損値	999	48	3.9	
合計		1216	100.0			

近所観：心配事を共有している (Q3-8)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	240	18.5	19.5	19.5
		ややそう思う	510	39.2	41.4	60.9
		あまりそう思わない	372	28.6	30.2	91.1
		そう思わない	109	8.4	8.9	100.0
		合計	1231	94.7	100.0	
	欠損値	999	69	5.3		
	合計	1300	100.0			
元気S	有効	そう思う	49	25.3	26.1	26.1
		ややそう思う	93	47.9	49.5	75.5
		あまりそう思わない	35	18.0	18.6	94.1
		そう思わない	11	5.7	5.9	100.0
		合計	188	96.9	100.0	
	欠損値	999	6	3.1		
	合計	194	100.0			
一般	有効	そう思う	162	13.3	13.9	13.9
		ややそう思う	400	32.9	34.3	48.2
		あまりそう思わない	421	34.6	36.1	84.3
		そう思わない	183	15.0	15.7	100.0
		合計	1166	95.9	100.0	
	欠損値	999	50	4.1		
	合計	1216	100.0			

JST機器：教育、教養番組の視聴 (Q4-1)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	する	966	74.3	78.5	78.5
		しない	264	20.3	21.5	100.0
		合計	1230	94.6	100.0	
		欠損値	999	70	5.4	
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	する	150	77.3	81.5	81.5
		しない	34	17.5	18.5	100.0
		合計	184	94.8	100.0	
		欠損値	999	10	5.2	
		合計	194	100.0		
一般	有効	する	860	70.7	73.2	73.2
		しない	315	25.9	26.8	100.0
		合計	1175	96.6	100.0	
		欠損値	999	41	3.4	
		合計	1216	100.0		

JST機器：外国のニュースへの関心 (Q4-2)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	ある	1115	85.8	89.6	89.6
		ない	129	9.9	10.4	100.0
		合計	1244	95.7	100.0	
		欠損値	999	56	4.3	
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	ある	169	87.1	90.4	90.4
		ない	18	9.3	9.6	100.0
		合計	187	96.4	100.0	
		欠損値	999	7	3.6	
		合計	194	100.0		
一般	有効	ある	1097	90.2	92.1	92.1
		ない	94	7.7	7.9	100.0
		合計	1191	97.9	100.0	
		欠損値	999	25	2.1	
		合計	1216	100.0		

JST機器：美術品、映画、音楽の鑑賞 (Q4-3)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	ある	987	75.9	79.5	79.5
		ない	255	19.6	20.5	100.0
		合計	1242	95.5	100.0	
		欠損値	999	58	4.5	
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	ある	154	79.4	82.4	82.4
		ない	33	17.0	17.6	100.0
		合計	187	96.4	100.0	
		欠損値	999	7	3.6	
		合計	194	100.0		
一般	有効	ある	884	71.1	73.3	73.3
		ない	315	25.9	26.7	100.0
		合計	1179	97.0	100.0	
		欠損値	999	37	3.0	
		合計	1216	100.0		

JST機器：健康情報の信ぴょう性判断 (Q4-4)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	できる	1034	79.5	83.3	83.3
		できない	208	16.0	16.7	100.0
		合計	1242	95.5	100.0	
		欠損値	999	58	4.5	
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	できる	158	81.4	84.9	84.9
		できない	28	14.4	15.1	100.0
		合計	186	95.9	100.0	
		欠損値	999	8	4.1	
		合計	194	100.0		
一般	有効	できる	980	80.6	83.8	83.8
		できない	190	15.6	16.2	100.0
		合計	1170	96.2	100.0	
		欠損値	999	46	3.8	
		合計	1216	100.0		

横浜施策：ウォーキングポイント (Q5-1)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	現在、参加・利用している	433	33.3	35.5	35.5
		以前に、参加・利用したことがある	270	20.8	22.1	57.6
		知っているが、参加・利用したことはない	458	35.2	37.5	95.2
		知らない	59	4.5	4.8	100.0
		合計	1220	93.8	100.0	
	欠損値	999	80	6.2		
	合計	1300	100.0			
元気S	有効	現在、参加・利用している	69	35.6	36.9	36.9
		以前に、参加・利用したことがある	41	21.1	21.9	58.8
		知っているが、参加・利用したことはない	64	33.0	34.2	93.0
		知らない	13	6.7	7.0	100.0
		合計	187	96.4	100.0	
	欠損値	999	7	3.6		
	合計	194	100.0			
一般	有効	現在、参加・利用している	158	13.0	13.5	13.5
		以前に、参加・利用したことがある	143	11.8	12.2	25.7
		知っているが、参加・利用したことはない	594	48.8	50.6	76.3
		知らない	278	22.9	23.7	100.0
		合計	1173	96.5	100.0	
	欠損値	999	43	3.5		
	合計	1216	100.0			

横浜施策：認知症サポーター (Q5-2)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	現在、参加・利用している	255	19.6	21.0	21.0
		以前に、参加・利用したことがある	333	25.6	27.4	48.4
		知っているが、参加・利用したことはない	473	36.4	38.9	87.3
		知らない	155	11.9	12.7	100.0
		合計	1216	93.5	100.0	
	欠損値	999	84	6.5		
	合計	1300	100.0			
元気S	有効	現在、参加・利用している	51	26.3	27.9	27.9
		以前に、参加・利用したことがある	48	24.7	26.2	54.1
		知っているが、参加・利用したことはない	61	31.4	33.3	87.4
		知らない	23	11.9	12.6	100.0
		合計	183	94.3	100.0	
	欠損値	999	11	5.7		
	合計	194	100.0			
一般	有効	現在、参加・利用している	39	3.2	3.3	3.3
		以前に、参加・利用したことがある	89	7.3	7.6	10.9
		知っているが、参加・利用したことはない	559	46.0	47.8	58.8
		知らない	482	39.6	41.2	100.0
		合計	1169	96.1	100.0	
	欠損値	999	47	3.9		
	合計	1216	100.0			

横浜施策：健康講座 (Q5-3)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	現在、参加・利用している	458	35.2	36.6	36.6
		以前に、参加・利用したことがある	398	30.6	31.8	68.5
		知っているが、参加・利用したことはない	350	26.9	28.0	96.5
		知らない	44	3.4	3.5	100.0
		合計	1250	96.2	100.0	
	欠損値	999	50	3.8		
	合計	1300	100.0			
元気S	有効	現在、参加・利用している	92	47.4	48.7	48.7
		以前に、参加・利用したことがある	64	33.0	33.9	82.5
		知っているが、参加・利用したことはない	26	13.4	13.8	96.3
		知らない	7	3.6	3.7	100.0
		合計	189	97.4	100.0	
	欠損値	999	5	2.6		
	合計	194	100.0			
一般	有効	現在、参加・利用している	112	9.2	9.4	9.4
		以前に、参加・利用したことがある	178	14.6	14.9	24.3
		知っているが、参加・利用したことはない	666	54.8	55.8	80.1
		知らない	237	19.5	19.9	100.0
		合計	1193	98.1	100.0	
	欠損値	999	23	1.9		
	合計	1216	100.0			

横浜施策：元気づくり (Q5-4A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	現在、参加・利用している	200	15.4	16.5	16.5
		以前に、参加・利用したことがある	191	14.7	15.8	32.3
		知っているが、参加・利用したことはない	488	37.5	40.4	72.7
		知らない	330	25.4	27.3	100.0
		合計	1209	93.0	100.0	
	欠損値	999	91	7.0		
	合計	1300	100.0			
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

横浜施策：いきいきポイント (Q5-4B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	有効	現在、参加・利用している	31	16.0	16.7	16.7
		以前に、参加・利用したことがある	27	13.9	14.5	31.2
		知っているが、参加・利用したことはない	96	49.5	51.6	82.8
		知らない	32	16.5	17.2	100.0
		合計	186	95.9	100.0	
	欠損値	999	8	4.1		
	合計	194	100.0			
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP:活動頻度 (Q8A)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	28	2.2	2.2	2.2
	週に4~5日以上	194	14.9	15.4	17.6
	週に2~3日	431	33.2	34.2	51.7
	週に1日程度	182	14.0	14.4	66.2
	月に2日程度	45	3.5	3.6	69.7
	月に1日程度	16	1.2	1.3	71.0
	年に数回程度	366	28.2	29.0	100.0
	現在は、活動していない	1262	97.1		
	合計	36	2.9		
	欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	194	100.0		
一般	欠損値	1216	100.0		

VP活動期間 (Q7A)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	2	0.2	0.2	0.2
	1	5	0.4	0.6	0.8
	2	7	0.5	0.8	1.6
	3	4	0.3	0.4	2.0
	4	26	2.0	2.9	4.9
	5	219	16.8	24.6	29.6
	6	314	24.2	35.3	64.9
	7	312	24.0	35.1	100.0
	8	889	68.4	100.0	
	合計	18	1.4		
欠損値	393	30.2			
システム欠損値	411	31.6			
合計	1300	100.0			
元気S	欠損値	194	100.0		
一般	欠損値	1216	100.0		

VP活動場所:介護施設 (Q8-1A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	511	39.3	56.8	
	1	388	29.8	43.2	100.0	
	合計	899	69.2			
	欠損値	999	8	0.6		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	401	30.8			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP活動場所:地域ケアプラザ (Q8-2A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	224	17.2	24.9	
	1	675	51.9	75.1	100.0	
	合計	899	69.2			
	欠損値	999	8	0.6		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	401	30.8			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP活動場所:病院施設 (Q8-3A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	876	67.4	97.4	
	1	23	1.8	2.6	100.0	
	合計	899	69.2			
	欠損値	999	8	0.6		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	401	30.8			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP活動場所:障害者施設 (Q8-4A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	830	63.8	92.3	
	1	69	5.3	7.7	100.0	
	合計	899	69.2			
	欠損値	999	8	0.6		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	401	30.8			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP活動場所:子育て施設 (Q8-5A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	873	67.2	97.1	
	1	26	2.0	2.9	100.0	
	合計	899	69.2			
	欠損値	999	8	0.6		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	401	30.8			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP活動場所:いずれでもない (Q8-6A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	882	67.8	98.1	
	1	17	1.3	1.9	100.0	
	合計	899	69.2			
	欠損値	999	8	0.6		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	401	30.8			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP魅力:知り合いが増える (Q9-1A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	358	27.5	39.7	
	1	544	41.8	60.3	100.0	
	合計	902	69.4			
	欠損値	999	5	0.4		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	398	30.6			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP魅力:人と話すことができる (Q9-2A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	260	20.0	28.8	
	1	642	49.4	71.2	100.0	
	合計	902	69.4			
	欠損値	999	5	0.4		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	398	30.6			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP魅力:人から感謝される (Q9-3A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	299	23.0	33.1	
	1	603	46.4	66.9	100.0	
	合計	902	69.4			
	欠損値	999	5	0.4		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	398	30.6			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP魅力:ポイントが貯まる (Q9-4A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	496	38.2	55.0	
	1	406	31.2	45.0	100.0	
	合計	902	69.4			
	欠損値	999	5	0.4		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	398	30.6			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP魅力:元気がもらえる (Q9-5A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	255	19.6	28.3	
	1	647	49.8	71.7	100.0	
	合計	902	69.4			
	欠損値	999	5	0.4		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	398	30.6			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP魅力:老後のイメージがわく (Q9-6A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	504	38.8	55.9	
	1	398	30.6	44.1	100.0	
	合計	902	69.4			
	欠損値	999	5	0.4		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	398	30.6			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP魅力:活動の成果が数字でわかる (Q9-7A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	812	62.5	90.0	
	1	90	6.9	10.0	100.0	
	合計	902	69.4			
	欠損値	999	5	0.4		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	398	30.6			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP魅力:その他 (Q9-8A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	873	67.2	96.8	
	1	29	2.2	3.2	100.0	
	合計	902	69.4			
	欠損値	999	5	0.4		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	398	30.6			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP魅力:いずれもあてはまらない (Q9-9A)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	0	901	69.3	99.9	
	1	1	0.1	0.1	100.0	
	合計	902	69.4			
	欠損値	999	5	0.4		
	システム欠損値	393	30.2			
	合計	398	30.6			
	合計	1300	100.0			
	元気S	欠損値	194	100.0		
	一般	欠損値	1216	100.0		

VP中止:他の活動が忙しい (Q10-1A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	289	22.2	80.7	80.7
		1	69	5.3	19.3	100.0
		合計	358	27.5	100.0	
	欠損値	999	8	0.6		
		システム欠損値	934	71.8		
合計	合計	942	72.5			
元気S	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP中止:興味が無くなった (Q10-2A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	353	27.2	96.6	96.6
		1	5	0.4	1.4	100.0
		合計	358	27.5	100.0	
	欠損値	999	8	0.6		
		システム欠損値	934	71.8		
合計	合計	942	72.5			
元気S	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP中止:体調が悪い (Q10-3A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	201	15.5	56.1	56.1
		1	157	12.1	43.9	100.0
		合計	358	27.5	100.0	
	欠損値	999	8	0.6		
		システム欠損値	934	71.8		
合計	合計	942	72.5			
元気S	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP中止:行くのがおっくう (Q10-4A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	344	26.5	96.1	96.1
		1	14	1.1	3.9	100.0
		合計	358	27.5	100.0	
	欠損値	999	8	0.6		
		システム欠損値	934	71.8		
合計	合計	942	72.5			
元気S	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP中止:自分に合わない (Q10-5A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	348	28.8	97.2	97.2
		1	10	0.8	2.8	100.0
		合計	358	27.5	100.0	
	欠損値	999	8	0.6		
		システム欠損値	934	71.8		
合計	合計	942	72.5			
元気S	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP中止:自分の老いを意識した (Q10-6A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	213	16.4	59.5	59.5
		1	145	11.2	40.5	100.0
		合計	358	27.5	100.0	
	欠損値	999	8	0.6		
		システム欠損値	934	71.8		
合計	合計	942	72.5			
元気S	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP中止:経済的余裕がなくなった (Q10-7A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	353	27.2	98.6	98.6
		1	5	0.4	1.4	100.0
		合計	358	27.5	100.0	
	欠損値	999	8	0.6		
		システム欠損値	934	71.8		
合計	合計	942	72.5			
元気S	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP中止:その他 (Q10-8A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	270	20.8	75.4	75.4
		1	88	6.8	24.6	100.0
		合計	358	27.5	100.0	
	欠損値	999	8	0.6		
		システム欠損値	934	71.8		
合計	合計	942	72.5			
元気S	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP中止:いずれもあてはまらない (Q10-9A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	342	26.3	95.5	95.5
		1	16	1.2	4.5	100.0
		合計	358	27.5	100.0	
	欠損値	999	8	0.6		
		システム欠損値	934	71.8		
合計	合計	942	72.5			
元気S	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP変化:健康に気をつかうようになった (Q11-1A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	830	63.8	70.8	70.8
		ややそう思う	273	21.0	23.3	94.1
		あまりそう思わない	51	3.9	4.4	98.5
	そう思わない	18	1.4	1.5	100.0	
	合計	合計	1172	90.2	100.0	
欠損値	999	128	9.8			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP変化:以前より元気・健康になった (Q11-2A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	390	30.0	34.3	34.3
		ややそう思う	490	37.7	43.1	77.3
		あまりそう思わない	214	16.5	18.8	96.1
	そう思わない	44	3.4	3.9	100.0	
	合計	合計	1138	87.5	100.0	
欠損値	999	162	12.5			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP変化:生活にメリハリを感じるようになった (Q11-3A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	622	47.8	53.3	53.3
		ややそう思う	426	32.8	36.5	89.7
		あまりそう思わない	98	7.5	6.4	98.1
	そう思わない	22	1.7	1.9	100.0	
	合計	合計	1168	89.8	100.0	
欠損値	999	132	10.2			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP変化:社会に役立っていると感じるようになった (Q11-4A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	526	40.5	45.8	45.8
		ややそう思う	464	35.7	40.4	86.2
		あまりそう思わない	131	10.1	11.4	97.6
	そう思わない	28	2.2	2.4	100.0	
	合計	合計	1149	88.4	100.0	
欠損値	999	151	11.6			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP変化:介護を必要とする時を考えるようになった (Q11-5A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	636	48.9	53.6	53.6
		ややそう思う	394	30.3	33.2	86.8
		あまりそう思わない	125	9.6	10.5	97.4
	そう思わない	31	2.4	2.6	100.0	
	合計	合計	1186	91.2	100.0	
欠損値	999	114	8.8			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

VP参加希望 (Q12A)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	体力の続く限り続けたい	589	45.3	49.1	49.1
		気負わない範囲で続けたい	364	28.0	30.4	79.5
		近いうちにやめると思う	43	3.3	3.6	83.1
	よくわからない	71	5.5	5.9	89.0	
	いずれもあてはまらない	132	10.2	11.0	100.0	
合計	合計	1199	92.2	100.0		
欠損値	999	101	7.8			
合計	合計	1300	100.0			
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元気S:活動頻度 (Q6B)

			度数	%	有効%	累積%			
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0					
		元気S	有効	週に2日以上	33	17.0	17.4	17.4	
				週に1日程度	65	33.5	34.2	51.6	
				月に2日程度	41	21.1	21.6	73.2	
				月に1日程度	11	5.7	5.8	78.9	
				年に数回程度	4	2.1	2.1	81.1	
				年に1回程度	3	1.5	1.6	82.6	
				現在は、活動していない	33	17.0	17.4	100.0	
				合計	合計	190	97.9	100.0	
				欠損値	999	4	2.1		
合計	合計	194	100.0						
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0					

元気S活動:体操・筋トレ (Q7-1B)

			度数	%	有効%	累積%	
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0			
		元気S	有効	19	9.8	11.9	11.9
元気S	有効	0	140	72.2	88.1	88.1	
		1	159	82.0	100.0	100.0	
		合計	合計	33	17.0		
		欠損値	999	2	1.0		
		合計	合計	35	18.0		
一般	欠損値	システム欠損値	194	100.0			
	欠損値	システム欠損値	1216	100.0			

元気S活動:ウォーキング・ジョギング (Q7-2B)

			度数	%	有効%	累積%	
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0			
		元気S	有効	104	53.6	65.4	65.4
元気S	有効	0	55	28.4	34.6	34.6	
		1	159	82.0	100.0	100.0	
		合計	合計	33	17.0		
		欠損値	999	2	1.0		
		合計	合計	35	18.0		
一般	欠損値	システム欠損値	194	100.			

元氣S活動：口腔ケア、栄養管理 (Q7-3B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	109	56.2	68.6	68.6
		1	50	25.8	31.4	100.0
		合計	159	82.0	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		2	1.0		
		合計	35	18.0		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S活動：筋トレ (Q7-4B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	80	41.2	50.3	50.3
		1	79	40.7	49.7	100.0
		合計	159	82.0	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		2	1.0		
		合計	35	18.0		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S活動：音楽、絵画、ゲームなど (Q7-5B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	119	61.3	74.8	74.8
		1	40	20.6	25.2	100.0
		合計	159	82.0	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		2	1.0		
		合計	35	18.0		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S活動：農作業、園芸など (Q7-6B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	151	77.8	95.0	95.0
		1	8	4.1	5.0	100.0
		合計	159	82.0	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		2	1.0		
		合計	35	18.0		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S活動：交遊会、お茶会 (Q7-7B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	85	43.8	53.5	53.5
		1	74	38.1	46.5	100.0
		合計	159	82.0	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		2	1.0		
		合計	35	18.0		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S活動：その他 (Q7-8B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	152	78.4	95.6	95.6
		1	7	3.6	4.4	100.0
		合計	159	82.0	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		2	1.0		
		合計	35	18.0		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S関わり：運営 (Q8-1B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	115	59.3	74.2	74.2
		1	40	20.6	25.8	100.0
		合計	155	79.9	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		6	3.1		
		合計	39	20.1		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S関わり：当日の手伝い (Q8-2B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	99	51.0	63.9	63.9
		1	56	28.9	36.1	100.0
		合計	155	79.9	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		6	3.1		
		合計	39	20.1		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S関わり：読書 (Q8-3B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	134	69.1	86.5	86.5
		1	21	10.8	13.5	100.0
		合計	155	79.9	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		6	3.1		
		合計	39	20.1		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S関わり：椅子や道具の片付け (Q8-4B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	40	20.6	25.8	25.8
		1	115	59.3	74.2	100.0
		合計	155	79.9	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		6	3.1		
		合計	39	20.1		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S関わり：参加者への声かけ (Q8-5B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	119	61.3	76.8	76.8
		1	36	18.6	23.2	100.0
		合計	155	79.9	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		6	3.1		
		合計	39	20.1		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S関わり：知人や友人を誘う (Q8-6B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	84	43.3	54.2	54.2
		1	71	36.6	45.8	100.0
		合計	155	79.9	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		6	3.1		
		合計	39	20.1		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S関わり：活動にだけ参加 (Q8-7B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	133	68.6	85.8	85.8
		1	22	11.3	14.2	100.0
		合計	155	79.9	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		6	3.1		
		合計	39	20.1		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S関わり：その他 (Q8-8B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	153	78.9	98.7	98.7
		1	2	1.0	1.3	100.0
		合計	155	79.9	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		6	3.1		
		合計	39	20.1		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S魅力：健康になる (Q9-1B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	33	17.0	20.8	20.8
		1	126	84.9	79.2	100.0
		合計	159	82.0	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		2	1.0		
		合計	35	18.0		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S魅力：地域の知り合いが増える (Q9-2B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	39	20.1	24.5	24.5
		1	120	61.9	75.5	100.0
		合計	159	82.0	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		2	1.0		
		合計	35	18.0		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S魅力：人と話すことができる (Q9-3B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	29	14.9	18.2	18.2
		1	130	67.0	81.8	100.0
		合計	159	82.0	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		2	1.0		
		合計	35	18.0		
合計			194	100.0		
一般	欠損値	システム欠損値	1216	100.0		

元氣S魅力：生活にメリハリがつく (Q9-4B)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0	63	32.5	39.6	39.6
		1	96	49.5	60.4	100.0
		合計	159	82.0	100.0	
	欠損値	システム欠損値	33	17.0		
	999		2	1.0		
		合計	35	18.0		
合計	</					

元氣S魅力:気持ち明るくなる (Q9-5B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	66	34.0	41.5	41.5
	1	93	47.9	58.5	100.0
	合計	159	82.0	100.0	
	欠損値 システム欠損値	33	17.0		
	999	2	1.0		
	合計	35	18.0		
	合計	194	100.0		
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S魅力:居場所ができた (Q9-6B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	115	59.3	72.3	72.3
	1	44	22.7	27.7	100.0
	合計	159	82.0	100.0	
	欠損値 システム欠損値	33	17.0		
	999	2	1.0		
	合計	35	18.0		
	合計	194	100.0		
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S魅力:その他 (Q9-7B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	158	81.4	99.4	99.4
	1	1	0.5	0.8	100.0
	合計	159	82.0	100.0	
	欠損値 システム欠損値	33	17.0		
	999	2	1.0		
	合計	35	18.0		
	合計	194	100.0		
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S魅力:いずれもあてはまらない (Q9-8B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	159	82.0	100.0	100.0
	欠損値 システム欠損値	33	17.0		
	999	2	1.0		
	合計	35	18.0		
合計	194	100.0			
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S中止:他の活動が忙しい (Q10-1B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	19	9.8	59.4	59.4
	1	13	6.7	40.6	100.0
	合計	32	16.5	100.0	
	欠損値 システム欠損値	161	83.0		
	999	1	0.5		
合計	162	83.5			
合計	194	100.0			
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S中止:興味が無くなった (Q10-2B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	31	16.0	96.9	96.9
	1	1	0.5	3.1	100.0
	合計	32	16.5	100.0	
	欠損値 システム欠損値	161	83.0		
	999	1	0.5		
合計	162	83.5			
合計	194	100.0			
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S中止:体調が悪い (Q10-3B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	23	11.9	71.9	71.9
	1	9	4.6	28.1	100.0
	合計	32	16.5	100.0	
	欠損値 システム欠損値	161	83.0		
	999	1	0.5		
合計	162	83.5			
合計	194	100.0			
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S中止:行くのがおっくう (Q10-4B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	27	13.9	84.4	84.4
	1	5	2.6	15.6	100.0
	合計	32	16.5	100.0	
	欠損値 システム欠損値	161	83.0		
	999	1	0.5		
合計	162	83.5			
合計	194	100.0			
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S中止:自分に合わない (Q10-5B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	27	13.9	84.4	84.4
	1	5	2.6	15.6	100.0
	合計	32	16.5	100.0	
	欠損値 システム欠損値	161	83.0		
	999	1	0.5		
合計	162	83.5			
合計	194	100.0			
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S中止:自分の老いを意識した (Q10-6B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	29	14.9	90.6	90.6
	1	3	1.5	9.4	100.0
	合計	32	16.5	100.0	
欠損値 システム欠損値	161	83.0			
	999	1	0.5		
	合計	162	83.5		
	合計	194	100.0		
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S中止:経済的余裕がなくなった (Q10-7B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	32	16.5	100.0	100.0
	欠損値 システム欠損値	161	83.0		
	999	1	0.5		
合計	162	83.5			
合計	194	100.0			
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S中止:その他 (Q10-8B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	28	14.4	87.5	87.5
	1	4	2.1	12.5	100.0
	合計	32	16.5	100.0	
	欠損値 システム欠損値	161	83.0		
	999	1	0.5		
合計	162	83.5			
合計	194	100.0			
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S中止:いずれもあてはまらない (Q10-9B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	27	13.9	84.4	84.4
	1	5	2.6	15.6	100.0
	合計	32	16.5	100.0	
	欠損値 システム欠損値	161	83.0		
	999	1	0.5		
合計	162	83.5			
合計	194	100.0			
一般	欠損値 システム欠損値	1216	100.0		

元氣S変化:健康に気をつかうようになった (Q11-1B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	133	68.6	78.0	78.0
	1	37	19.1	21.1	97.1
	1	3	1.5	1.7	98.9
	1	2	1.0	1.1	100.0
	合計	175	90.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	161	83.0			
	999	19	9.8		
	合計	194	100.0		
	合計	1216	100.0		

元氣S変化:気持ちが前向き (Q11-2B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	103	53.1	61.3	61.3
	1	55	28.4	32.7	94.0
	1	8	4.1	4.8	98.8
	1	2	1.0	1.2	100.0
	合計	168	86.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	161	83.0			
	999	26	13.4		
	合計	194	100.0		
	合計	1216	100.0		

元氣S変化:生活にメリハリを感じるようになった (Q11-3B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	88	45.4	53.0	53.0
	1	58	29.9	34.9	88.0
	1	17	8.8	10.2	98.2
	1	3	1.5	1.8	100.0
	合計	166	85.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	161	83.0			
	999	28	14.4		
	合計	194	100.0		
	合計	1216	100.0		

元氣S変化:地域活動にもっと参加したい (Q11-4B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	56	28.9	35.0	35.0
	1	65	33.5	40.6	75.6
	1	34	17.5	21.3	96.9
	1	5	2.6	3.1	100.0
	合計	160	82.5	100.0	
欠損値 システム欠損値	161	83.0			
	999	34	17.5		
	合計	194	100.0		
	合計	1216	100.0		

元氣S参加希望 (Q12B)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値 システム欠損値	1300	100.0		
元氣S	有効	0			
	1	104	53.6	56.5	56.5
	1	57	29.4	31.0	87.5
	1	1	0.5	0.5	88.0
	1	9	4.6	4.9	92.9
	1	13	6.7	7.1	100.0
合計	184	94.8	100.0		
欠損値 システム欠損値	161	83.0			
	999	10	5.2		
	合計	194	100.0		
	合計	1216	100.0		

VP認知2015 (Q6C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	参加している、または、参加したことがある	45	3.7	3.9	3.9
		聞いたことがあり、内容も知っている	200	18.4	17.2	21.1
		名前を聞いたことはある	583	47.9	50.2	71.3
		聞いたことはない・知らない	333	27.4	28.7	100.0
	合計		1161	95.5	100.0	
	欠損値	999	55	4.5		
	合計		1216	100.0		

VP認知経路:広報よこはまやチラシ (Q7-1C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	109	9.0	19.7	19.7
		1	445	38.6	80.3	100.0
	合計		554	45.6	100.0	
	欠損値	システム欠損値	388	31.9		
	999		274	22.5		
	合計		662	54.4		
	合計		1216	100.0		

VP認知経路:区役所やケアプラザ職員 (Q7-2C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	468	38.5	84.5	84.5
		1	86	7.1	15.5	100.0
	合計		554	45.6	100.0	
	欠損値	システム欠損値	388	31.9		
	999		274	22.5		
	合計		662	54.4		
	合計		1216	100.0		

VP認知経路:ホームページ (Q7-3C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	532	43.8	96.0	96.0
		1	22	1.8	4.0	100.0
	合計		554	45.6	100.0	
	欠損値	システム欠損値	388	31.9		
	999		274	22.5		
	合計		662	54.4		
	合計		1216	100.0		

VP認知経路:友人 (Q7-4C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	463	38.1	83.6	83.6
		1	91	7.5	16.4	100.0
	合計		554	45.6	100.0	
	欠損値	システム欠損値	388	31.9		
	999		274	22.5		
	合計		662	54.4		
	合計		1216	100.0		

VP認知経路:家族 (Q7-5C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	528	43.4	95.3	95.3
		1	26	2.1	4.7	100.0
	合計		554	45.6	100.0	
	欠損値	システム欠損値	388	31.9		
	999		274	22.5		
	合計		662	54.4		
	合計		1216	100.0		

VP認知経路:その他 (Q7-6C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	543	44.7	98.0	98.0
		1	11	0.9	2.0	100.0
	合計		554	45.6	100.0	
	欠損値	システム欠損値	388	31.9		
	999		274	22.5		
	合計		662	54.4		
	合計		1216	100.0		

VP参加意欲 (Q8C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	ぜひ参加してみたい	25	2.1	2.2	2.2
		時間があれば参加したい	146	12.0	12.7	14.9
		機会があれば参加してもよい	472	38.8	41.2	56.1
		参加する気はない	490	40.3	42.8	98.9
		すでに参加している	13	1.1	1.1	100.0
	合計		1148	94.2	100.0	
	欠損値	999	70	5.8		
	合計		1216	100.0		

元気S認知2015 (Q9C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	1	28	2.3	2.5	2.5
		2	80	6.6	7.1	9.5
		3	425	35.0	37.5	47.0
		4	600	49.3	53.0	100.0
	合計		1133	93.2	100.0	
	欠損値	999	83	6.8		
	合計		1216	100.0		

元気S認知経路:広報よこはまやチラシ (Q10-1C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	85	7.0	24.0	24.0
		1	269	22.1	76.0	100.0
	合計		354	29.1	100.0	
	欠損値	システム欠損値	683	56.2		
	999		179	14.7		
	合計		862	70.9		
	合計		1216	100.0		

元気S認知経路:自治会のチラシ、ポスター (Q10-2C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	264	21.7	74.6	74.6
		1	90	7.4	25.4	100.0
	合計		354	29.1	100.0	
	欠損値	システム欠損値	683	56.2		
	999		179	14.7		
	合計		862	70.9		
	合計		1216	100.0		

元気S認知経路:ホームページ (Q10-3C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	346	28.5	97.7	97.7
		1	8	0.7	2.3	100.0
	合計		354	29.1	100.0	
	欠損値	システム欠損値	683	56.2		
	999		179	14.7		
	合計		862	70.9		
	合計		1216	100.0		

元気S認知経路:区役所や地域包括職員 (Q10-4C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	323	26.6	91.2	91.2
		1	31	2.5	8.8	100.0
	合計		354	29.1	100.0	
	欠損値	システム欠損値	683	56.2		
	999		179	14.7		
	合計		862	70.9		
	合計		1216	100.0		

元気S認知経路:友人 (Q10-5C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	299	24.6	84.5	84.5
		1	55	4.5	15.5	100.0
	合計		354	29.1	100.0	
	欠損値	システム欠損値	683	56.2		
	999		179	14.7		
	合計		862	70.9		
	合計		1216	100.0		

元気S認知経路:家族 (Q10-6C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	344	28.3	97.2	97.2
		1	10	0.8	2.8	100.0
	合計		354	29.1	100.0	
	欠損値	システム欠損値	683	56.2		
	999		179	14.7		
	合計		862	70.9		
	合計		1216	100.0		

元気S認知経路:その他 (Q10-7C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	0	347	28.5	98.0	98.0
		1	7	0.6	2.0	100.0
	合計		354	29.1	100.0	
	欠損値	システム欠損値	683	56.2		
	999		179	14.7		
	合計		862	70.9		
	合計		1216	100.0		

元気S参加意欲 (Q11C)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	欠損値	システム欠損値	1300	100.0		
元気S	欠損値	システム欠損値	194	100.0		
一般	有効	ぜひ参加してみたい	49	4.0	4.3	4.3
		時間があれば参加したい	246	20.2	21.4	25.7
		機会があれば参加してもよい	489	40.2	42.6	68.3
		参加する気はない	356	29.3	31.0	99.3
		すでに参加している	8	0.7	0.7	100.0
	合計		1148	94.4	100.0	
	欠損値	999	68	5.6		
	合計		1216	100.0		

SRH (Q13)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	366	28.2	28.8	28.8
		687	51.3	52.4	81.2
		215	16.5	16.9	98.1
		24	1.8	1.9	100.0
	欠損値	1272	97.8	100.0	
	合計	28	2.2		
元気S	有効	52	26.8	27.1	27.1
		101	52.1	52.6	79.7
		35	18.0	18.2	97.9
		4	2.1	2.1	100.0
	欠損値	192	99.0	100.0	
	合計	2	1.0		
一般	有効	278	22.9	23.6	23.6
		642	52.8	54.5	78.1
		213	17.5	18.1	96.2
		45	3.7	3.8	100.0
	欠損値	1178	96.9	100.0	
	合計	36	3.1		
合計					
		1216	100.0		

SRH(1年前比較) (Q14)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	91	7.0	7.2	7.2
		99	7.6	7.8	14.9
		839	64.5	66.0	80.9
		204	15.7	16.0	96.9
		39	3.0	3.1	100.0
	欠損値	1272	97.8	100.0	
元気S	有効	16	8.2	8.4	8.4
		21	10.8	11.0	19.4
		115	59.3	60.2	79.6
		34	17.5	17.8	97.4
		5	2.6	2.8	100.0
	欠損値	191	98.5	100.0	
一般	有効	66	5.4	5.6	5.6
		85	7.0	7.2	12.8
		754	62.0	63.8	76.6
		233	19.2	19.7	96.3
		44	3.6	3.7	100.0
	欠損値	1182	97.2	100.0	
合計					
		1216	100.0		

健診・人間ドック受診 (Q15)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	857	69.9	67.9	67.9
		197	15.2	15.6	83.5
		209	16.1	16.5	100.0
	欠損値	1263	97.2	100.0	
	合計	37	2.8		
	合計	1300	100.0		
元気S	有効	128	66.0	68.1	68.1
		34	17.5	18.1	86.2
		26	13.4	13.8	100.0
	欠損値	188	96.9	100.0	
	合計	6	3.1		
	合計	194	100.0		
一般	有効	708	58.2	60.6	60.6
		182	15.0	15.6	76.1
		279	22.9	23.9	100.0
	欠損値	1169	96.1	100.0	
	合計	47	3.9		
	合計	1216	100.0		

現在の治療の有無 (Q16)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	1015	78.1	79.5	79.5
		262	20.2	20.5	100.0
	欠損値	1277	98.2	100.0	
	合計	23	1.8		
	合計	1300	100.0		
	合計	1300	100.0		
元気S	有効	153	76.9	81.8	81.8
		34	17.5	18.2	100.0
	欠損値	187	96.4	100.0	
	合計	7	3.6		
	合計	194	100.0		
	合計	194	100.0		
一般	有効	922	75.8	78.8	78.8
		248	20.4	21.2	100.0
	欠損値	1170	96.2	100.0	
	合計	46	3.8		
	合計	1216	100.0		
	合計	1216	100.0		

病名:がん (Q17-1)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	94.1	72.4	93.1
		1	70	5.4	6.9
	合計	1011	77.8	100.0	100.0
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
	合計	289	22.2		
元気S	有効	0	144	74.2	94.7
		1	8	4.1	5.3
	合計	152	78.4	100.0	100.0
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
	合計	42	21.6		
一般	有効	0	836	68.8	91.1
		1	82	6.7	8.9
	合計	918	75.5	100.0	100.0
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
	合計	298	24.5		
合計					
		1216	100.0		

病名:心臓病 (Q17-2)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	878	67.5	86.8
		1	133	10.2	13.2
	合計	1011	77.8	100.0	100.0
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
	合計	289	22.2		
元気S	有効	0	134	69.1	88.2
		1	18	9.3	11.8
	合計	152	78.4	100.0	100.0
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
	合計	42	21.6		
一般	有効	0	795	65.4	86.6
		1	123	10.1	13.4
	合計	918	75.5	100.0	100.0
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
	合計	298	24.5		
合計					
		1216	100.0		

病名:脳卒中 (Q17-3)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	999	76.8	98.8
		1	12	0.9	1.2
	合計	1011	77.8	100.0	100.0
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
	合計	289	22.2		
元気S	有効	0	150	77.3	98.7
		1	2	1.0	1.3
	合計	152	78.4	100.0	100.0
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
	合計	42	21.6		
一般	有効	0	897	73.8	97.7
		1	21	1.7	2.3
	合計	918	75.5	100.0	100.0
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
	合計	298	24.5		
合計					
		1216	100.0		

病名:高血圧 (Q17-4)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	559	43.0	55.3
		1	452	34.8	44.7
	合計	1011	77.8	100.0	100.0
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
	合計	289	22.2		
元気S	有効	0	86	44.3	56.6
		1	66	34.0	43.4
	合計	152	78.4	100.0	100.0
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
	合計	42	21.6		
一般	有効	0	473	38.9	51.5
		1	445	36.6	46.5
	合計	918	75.5	100.0	100.0
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
	合計	298	24.5		
合計					
		1216	100.0		

病名:糖尿病 (Q17-5)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	878	67.5	86.8
	1	133	10.2	13.2	100.0
	合計	1011	77.8	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
合計	289	22.2			
合計	1300	100.0			
元気S	有効	0	124	63.9	81.6
	1	28	14.4	18.4	100.0
	合計	152	78.4	100.0	
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
合計	42	21.6			
合計	194	100.0			
一般	有効	0	762	62.7	83.0
	1	156	12.8	17.0	100.0
	合計	918	75.5	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
合計	298	24.5			
合計	1216	100.0			

病名:高脂血症 (Q17-6)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	819	63.0	81.0
	1	192	14.8	19.0	100.0
	合計	1011	77.8	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
合計	289	22.2			
合計	1300	100.0			
元気S	有効	0	126	64.9	82.9
	1	26	13.4	17.1	100.0
	合計	152	78.4	100.0	
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
合計	42	21.6			
合計	194	100.0			
一般	有効	0	780	64.1	85.0
	1	138	11.3	15.0	100.0
	合計	918	75.5	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
合計	298	24.5			
合計	1216	100.0			

病名:骨粗しょう症 (Q17-7)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	781	60.1	77.3
	1	230	17.7	22.7	100.0
	合計	1011	77.8	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
合計	289	22.2			
合計	1300	100.0			
元気S	有効	0	111	57.2	73.0
	1	41	21.1	27.0	100.0
	合計	152	78.4	100.0	
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
合計	42	21.6			
合計	194	100.0			
一般	有効	0	763	62.7	83.1
	1	155	12.7	16.9	100.0
	合計	918	75.5	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
合計	298	24.5			
合計	1216	100.0			

病名:関節症-神経痛 (Q17-8)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	846	65.1	83.7
	1	165	12.7	16.3	100.0
	合計	1011	77.8	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
合計	289	22.2			
合計	1300	100.0			
元気S	有効	0	123	63.4	80.9
	1	29	14.9	19.1	100.0
	合計	152	78.4	100.0	
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
合計	42	21.6			
合計	194	100.0			
一般	有効	0	786	64.6	85.6
	1	132	10.9	14.4	100.0
	合計	918	75.5	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
合計	298	24.5			
合計	1216	100.0			

病名:緑内障-白内障 (Q17-9)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	787	60.5	77.8
	1	224	17.2	22.2	100.0
	合計	1011	77.8	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
合計	289	22.2			
合計	1300	100.0			
元気S	有効	0	122	62.9	80.3
	1	30	15.5	19.7	100.0
	合計	152	78.4	100.0	
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
合計	42	21.6			
合計	194	100.0			
一般	有効	0	767	63.1	83.6
	1	151	12.4	16.4	100.0
	合計	918	75.5	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
合計	298	24.5			
合計	1216	100.0			

病名:精神疾患 (Q17-10)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	998	76.8	98.7
	1	13	1.0	1.3	100.0
	合計	1011	77.8	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
合計	289	22.2			
合計	1300	100.0			
元気S	有効	0	151	77.8	99.3
	1	1	0.5	0.7	100.0
	合計	152	78.4	100.0	
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
合計	42	21.6			
合計	194	100.0			
一般	有効	0	903	74.3	98.4
	1	15	1.2	1.6	100.0
	合計	918	75.5	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
合計	298	24.5			
合計	1216	100.0			

病名:外傷 (Q17-11)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	976	75.1	96.5
	1	35	2.7	3.5	100.0
	合計	1011	77.8	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
合計	289	22.2			
合計	1300	100.0			
元気S	有効	0	142	73.2	93.4
	1	10	5.2	6.6	100.0
	合計	152	78.4	100.0	
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
合計	42	21.6			
合計	194	100.0			
一般	有効	0	889	73.1	96.8
	1	29	2.4	3.2	100.0
	合計	918	75.5	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
合計	298	24.5			
合計	1216	100.0			

病名:その他 (Q17-12)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	826	63.5	81.7
	1	185	14.2	18.3	100.0
	合計	1011	77.8	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	285	21.9		
合計	289	22.2			
合計	1300	100.0			
元気S	有効	0	126	64.9	82.9
	1	26	13.4	17.1	100.0
	合計	152	78.4	100.0	
	欠損値	999	1	0.5	
	システム欠損値	41	21.1		
合計	42	21.6			
合計	194	100.0			
一般	有効	0	752	61.8	81.9
	1	166	13.7	18.1	100.0
	合計	918	75.5	100.0	
	欠損値	999	4	0.3	
	システム欠損値	294	24.2		
合計	298	24.5			
合計	1216	100.0			

飲酒状況 (Q18)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	379	29.2	29.9	29.9
	飲む	49	3.8	3.9	33.7
	飲んでいたがやめた	841	64.7	66.3	100.0
	飲まない	1269	97.6	100.0	
	合計	1300	100.0		
元気S	有効	54	27.8	28.3	28.3
	飲む	5	2.6	2.6	30.9
	飲んでいたがやめた	132	68.0	69.1	100.0
	飲まない	191	98.5	100.0	
	合計	194	100.0		
一般	有効	476	39.1	40.7	40.7
	飲む	73	6.0	6.2	47.0
	飲んでいたがやめた	620	51.0	53.0	100.0
	飲まない	1169	98.1	100.0	
	合計	1216	100.0		

飲酒頻度 (Q19)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	123	9.5	28.9	28.9	
	毎日飲む	33	2.5	7.8	36.7	
	週に5~6日	68	5.2	16.0	52.7	
	週に3~4日	98	7.5	23.1	75.8	
	週に1~2日	71	5.5	16.7	92.5	
	月に1~3日	32	2.5	7.5	100.0	
	月に1日未満	425	32.7	100.0		
	合計	3	0.2			
	元気S	有効	12	6.2	20.3	20.3
		毎日飲む	6	3.1	10.2	30.5
		週に5~6日	12	6.2	20.3	50.8
		週に3~4日	17	8.8	28.8	79.7
		週に1~2日	6	3.1	10.2	89.8
	一般	有効	218	17.9	40.1	40.1
		毎日飲む	57	4.7	10.5	50.6
週に5~6日		91	7.5	16.7	67.3	
週に3~4日		90	7.4	16.5	83.8	
週に1~2日		69	5.7	12.7	96.5	
欠損値	999	19	1.6	3.5	100.0	
	システム欠損値	544	44.7	100.0		
	合計	667	54.9			
	999	5	0.4			
	システム欠損値	672	55.3			
合計	1216	100.0				

喫煙状況2015 (Q20)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	1038	79.8	82.3	82.3	
	全く吸ったことがない	196	15.1	15.5	97.9	
	3年以上間にやめて今は吸わない	10	0.8	0.8	98.7	
	2年以上間にやめて今は吸わない	17	1.3	1.3	100.0	
	現在も喫煙している	1261	97.0	100.0		
	合計	39	3.0			
	元気S	有効	164	84.5	86.3	86.3
		全く吸ったことがない	22	11.3	11.6	97.9
		3年以上間にやめて今は吸わない	4	2.1	2.1	100.0
		2年以上間にやめて今は吸わない	190	97.9	100.0	
現在も喫煙している		4	2.1			
一般	有効	723	59.5	61.7	61.7	
	全く吸ったことがない	345	28.4	29.4	91.1	
	3年以上間にやめて今は吸わない	17	1.4	1.5	92.6	
	2年以上間にやめて今は吸わない	87	7.2	7.4	100.0	
	現在も喫煙している	1172	96.4	100.0		
欠損値	999	44	3.6			
合計	1216	100.0				

食事困難1(基本C①) (Q21-1)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	191	14.7	15.0	15.0
	はい	1080	83.1	85.0	100.0
	いいえ	1271	97.8	100.0	
	合計	29	2.2		
	欠損値	1300	100.0		
元気S	有効	20	10.3	10.5	10.5
	はい	170	87.6	89.5	100.0
	いいえ	190	97.9	100.0	
	合計	4	2.1		
	欠損値	194	100.0		
一般	有効	192	15.8	16.3	16.3
	はい	987	81.2	83.7	100.0
	いいえ	1179	97.0	100.0	
	合計	37	3.0		
	欠損値	1216	100.0		

食事困難2(基本C②) (Q21-2)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	285	21.9	22.4	22.4
	はい	987	75.9	77.6	100.0
	いいえ	1272	97.6	100.0	
	合計	28	2.2		
	欠損値	1300	100.0		
元気S	有効	38	19.6	19.9	19.9
	はい	153	78.9	80.1	100.0
	いいえ	191	98.5	100.0	
	合計	3	1.5		
	欠損値	194	100.0		
一般	有効	311	25.6	26.4	26.4
	はい	867	71.3	73.6	100.0
	いいえ	1178	96.9	100.0	
	合計	38	3.1		
	欠損値	1216	100.0		

食事困難3(基本C③) (Q21-3)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	308	23.7	24.2	24.2
	はい	965	74.2	75.8	100.0
	いいえ	1273	97.9	100.0	
	合計	27	2.1		
	欠損値	1300	100.0		
元気S	有効	48	24.7	25.1	25.1
	はい	143	73.7	74.9	100.0
	いいえ	191	98.5	100.0	
	合計	3	1.5		
	欠損値	194	100.0		
一般	有効	267	22.0	22.7	22.7
	はい	909	74.8	77.3	100.0
	いいえ	1176	96.7	100.0	
	合計	40	3.3		
	欠損値	194	100.0		

食事困難4(基本C④) (Q21-4)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	348	28.8	27.4	27.4
	はい	923	71.0	72.6	100.0
	いいえ	1271	97.8	100.0	
	合計	29	2.2		
	欠損値	1300	100.0		
元気S	有効	58	29.9	30.4	30.4
	はい	133	68.6	69.6	100.0
	いいえ	191	98.5	100.0	
	合計	3	1.5		
	欠損値	194	100.0		
一般	有効	302	24.8	25.7	25.7
	はい	872	71.7	74.3	100.0
	いいえ	1174	96.5	100.0	
	合計	42	3.5		
	欠損値	1216	100.0		

生活能力1(基本C①、老研手段) (Q22-1)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	1249	96.1	97.8	97.8
	はい	28	2.2	2.2	100.0
	いいえ	1277	98.2	100.0	
	合計	23	1.8		
	欠損値	1300	100.0		
元気S	有効	185	95.4	96.4	96.4
	はい	7	3.6	3.6	100.0
	いいえ	192	99.0	100.0	
	合計	2	1.0		
	欠損値	194	100.0		
一般	有効	1123	92.4	95.0	95.0
	はい	59	4.9	5.0	100.0
	いいえ	1182	97.2	100.0	
	合計	34	2.8		
	欠損値	1216	100.0		

生活能力2(基本C②、老研手段) (Q22-2)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	1261	97.0	98.6	98.6
	はい	18	1.4	1.4	100.0
	いいえ	1279	98.4	100.0	
	合計	21	1.6		
	欠損値	1300	100.0		
元気S	有効	186	95.9	97.9	97.9
	はい	4	2.1	2.1	100.0
	いいえ	190	97.9	100.0	
	合計	4	2.1		
	欠損値	194	100.0		
一般	有効	1151	94.7	97.0	97.0
	はい	36	3.0	3.0	100.0
	いいえ	1187	97.6	100.0	
	合計	29	2.4		
	欠損値	1216	100.0		

生活能力3(基本C③、老研手段) (Q22-3)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	1257	96.7	98.0	98.0
	はい	25	1.9	2.0	100.0
	いいえ	1282	98.6	100.0	
	合計	18	1.4		
	欠損値	1300	100.0		
元気S	有効	187	96.4	97.9	97.9
	はい	4	2.1	2.1	100.0
	いいえ	191	98.5	100.0	
	合計	3	1.5		
	欠損値	194	100.0		
一般	有効	1123	92.4	94.6	94.6
	はい	64	5.3	5.4	100.0
	いいえ	1187	97.6	100.0	
	合計	29	2.4		
	欠損値	1216	100.0		

生活能力4(基本C④、老研役割) (Q22-4)

調査の種類			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	1011	77.8	79.5	79.5
		いいえ	261	20.1	20.5	100.0
		合計	1272	97.8	100.0	
	欠損値	999	28	2.2		
		合計	1300	100.0		
元氣S	有効	はい	155	79.9	81.2	81.2
		いいえ	36	18.6	18.8	100.0
		合計	191	98.5	100.0	
	欠損値	999	3	1.5		
		合計	194	100.0		
一般	有効	はい	758	62.3	64.3	64.3
		いいえ	420	34.5	35.7	100.0
		合計	1178	96.9	100.0	
	欠損値	999	38	3.1		
		合計	1216	100.0		

生活能力5(基本C⑤、老研役割) (Q22-5)

調査の種類			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	1094	84.2	86.5	86.5
		いいえ	171	13.2	13.5	100.0
		合計	1265	97.3	100.0	
	欠損値	999	35	2.7		
		合計	1300	100.0		
元氣S	有効	はい	160	82.5	84.7	84.7
		いいえ	29	14.9	15.3	100.0
		合計	189	97.4	100.0	
	欠損値	999	5	2.6		
		合計	194	100.0		
一般	有効	はい	976	80.3	82.8	82.8
		いいえ	203	16.7	17.2	100.0
		合計	1179	97.0	100.0	
	欠損値	999	37	3.0		
		合計	1216	100.0		

生活能力6(基本C⑥) (Q22-6)

調査の種類			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	1197	92.1	94.0	94.0
		いいえ	77	5.9	6.0	100.0
		合計	1274	98.0	100.0	
	欠損値	999	26	2.0		
		合計	1300	100.0		
元氣S	有効	はい	174	89.7	90.6	90.6
		いいえ	18	9.3	9.4	100.0
		合計	192	99.0	100.0	
	欠損値	999	2	1.0		
		合計	194	100.0		
一般	有効	はい	1047	86.1	88.7	88.7
		いいえ	134	11.0	11.3	100.0
		合計	1181	97.1	100.0	
	欠損値	999	35	2.9		
		合計	1216	100.0		

生活能力7(基本C⑦) (Q22-7)

調査の種類			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	118	9.1	9.2	9.2
		いいえ	1158	89.1	90.8	100.0
		合計	1276	98.2	100.0	
	欠損値	999	24	1.8		
		合計	1300	100.0		
元氣S	有効	はい	11	5.7	5.8	5.8
		いいえ	178	91.8	94.2	100.0
		合計	189	97.4	100.0	
	欠損値	999	5	2.6		
		合計	194	100.0		
一般	有効	はい	87	7.2	7.4	7.4
		いいえ	1093	89.9	92.6	100.0
		合計	1180	97.0	100.0	
	欠損値	999	36	3.0		
		合計	1216	100.0		

生活能力8(基本C⑧) (Q22-8)

調査の種類			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	1205	92.7	94.4	94.4
		いいえ	72	5.5	5.6	100.0
		合計	1277	98.2	100.0	
	欠損値	999	23	1.8		
		合計	1300	100.0		
元氣S	有効	はい	175	90.2	91.6	91.6
		いいえ	16	8.2	8.4	100.0
		合計	191	98.5	100.0	
	欠損値	999	3	1.5		
		合計	194	100.0		
一般	有効	はい	1096	90.1	92.6	92.6
		いいえ	87	7.2	7.4	100.0
		合計	1183	97.3	100.0	
	欠損値	999	33	2.7		
		合計	1216	100.0		

生活能力9(基本C⑨) (Q22-9)

調査の種類			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	263	20.2	20.7	20.7
		いいえ	1010	77.7	79.3	100.0
		合計	1273	97.9	100.0	
	欠損値	999	27	2.1		
		合計	1300	100.0		
元氣S	有効	はい	43	22.2	22.5	22.5
		いいえ	148	76.3	77.5	100.0
		合計	191	98.5	100.0	
	欠損値	999	3	1.5		
		合計	194	100.0		
一般	有効	はい	240	19.7	20.4	20.4
		いいえ	937	77.1	78.6	100.0
		合計	1177	96.8	100.0	
	欠損値	999	39	3.2		
		合計	1216	100.0		

外出・移動1(基本C⑩)(Q23-1)

調査の種類			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	349	26.8	27.3	27.3
		いいえ	928	71.4	72.7	100.0
		合計	1277	98.2	100.0	
	欠損値	999	23	1.8		
		合計	1300	100.0		
元氣S	有効	はい	47	24.2	24.5	24.5
		いいえ	145	74.7	75.5	100.0
		合計	192	99.0	100.0	
	欠損値	999	2	1.0		
		合計	194	100.0		
一般	有効	はい	344	28.3	29.2	29.2
		いいえ	834	68.6	70.8	100.0
		合計	1178	96.9	100.0	
	欠損値	999	38	3.1		
		合計	1216	100.0		

外出・移動2(基本C⑪)(Q23-2)

調査の種類			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	237	18.2	18.5	18.5
		いいえ	1043	80.2	81.5	100.0
		合計	1280	98.5	100.0	
	欠損値	999	20	1.5		
		合計	1300	100.0		
元氣S	有効	はい	34	17.5	17.8	17.8
		いいえ	157	80.9	82.2	100.0
		合計	191	98.5	100.0	
	欠損値	999	3	1.5		
		合計	194	100.0		
一般	有効	はい	201	16.5	16.9	16.9
		いいえ	985	81.0	83.1	100.0
		合計	1186	97.5	100.0	
	欠損値	999	30	2.5		
		合計	1216	100.0		

外出・移動3(基本C⑫)(Q23-3)

調査の種類			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	702	54.0	55.1	55.1
		いいえ	573	44.1	44.9	100.0
		合計	1275	98.1	100.0	
	欠損値	999	25	1.9		
		合計	1300	100.0		
元氣S	有効	はい	103	53.1	54.2	54.2
		いいえ	87	44.8	45.8	100.0
		合計	190	97.9	100.0	
	欠損値	999	4	2.1		
		合計	194	100.0		
一般	有効	はい	538	44.2	45.6	45.6
		いいえ	641	52.7	54.4	100.0
		合計	1179	97.0	100.0	
	欠損値	999	37	3.0		
		合計	1216	100.0		

外出・移動4(基本C⑬)(Q23-4)

調査の種類			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	666	51.2	52.2	52.2
		いいえ	610	46.9	47.8	100.0
		合計	1276	98.2	100.0	
	欠損値	999	24	1.8		
		合計	1300	100.0		
元氣S	有効	はい	97	50.0	51.1	51.1
		いいえ	93	47.9	48.9	100.0
		合計	190	97.9	100.0	
	欠損値	999	4	2.1		
		合計	194	100.0		
一般	有効	はい	667	54.9	56.3	56.3
		いいえ	517	42.5	43.7	100.0
		合計	1184	97.4	100.0	
	欠損値	999	32	2.6		
		合計	1216	100.0		

外出・移動5(基本C⑭)(Q23-5)

調査の種類			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	1035	79.6	81.2	81.2
		いいえ	239	18.4	18.8	100.0
		合計	1274	98.0	100.0	
	欠損値	999	26	2.0		
		合計	1300	100.0		
元氣S	有効	はい	158	81.4	83.2	83.2
		いいえ	32	16.5	16.8	100.0
		合計	190	97.9	100.0	
	欠損値	999	4	2.1		
		合計	194	100.0		
一般	有効	はい	967	79.5	81.9	81.9
		いいえ	213	17.5	18.1	100.0
		合計	1180	97.0	100.0	
	欠損値	999	36	3.0		
		合計	1216	100.0		

外出頻度(基本C⑥) (Q24)

			度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	ほぼ毎日	803	61.8	62.6	62.8	
		週に2~3日	409	31.5	32.0	94.8	
	欠損値	週に1日程度	44	3.4	3.4	98.2	
		月に1~2日	19	1.5	1.5	99.7	
	合計	年に数回	2	0.2	0.2	99.8	
		外出していない	2	0.2	0.2	100.0	
		合計	1279	98.4	100.0		
	欠損値	999	21	1.6			
		合計	1300	100.0			
	元気S	有効	ほぼ毎日	103	53.1	53.6	53.6
週に2~3日			78	40.2	40.6	94.3	
欠損値		週に1日程度	11	5.7	5.7	100.0	
		合計	192	99.0	100.0		
合計		999	2	1.0			
		合計	194	100.0			
		合計	194	100.0			
一般		有効	ほぼ毎日	646	53.1	54.7	54.7
			週に2~3日	420	34.5	35.5	90.2
		欠損値	週に1日程度	81	6.7	6.9	97.0
	月に1~2日		27	2.2	2.3	99.3	
	合計	年に数回	4	0.3	0.3	99.7	
		外出していない	4	0.3	0.3	100.0	
		合計	1182	97.2	100.0		
	欠損値	999	34	2.8			
		合計	1216	100.0			

気持ち1(GDS1, R) (Q25-1)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	1128	86.8	88.9	88.9
		いいえ	141	10.8	11.1	100.0
	欠損値	合計	1269	97.6	100.0	
		999	31	2.4		
	合計	合計	1300	100.0		
合計		1300	100.0			
元気S	有効	はい	177	91.2	93.7	93.7
		いいえ	12	6.2	6.3	100.0
	欠損値	合計	189	97.4	100.0	
		999	5	2.6		
	合計	合計	194	100.0		
合計		194	100.0			
一般	有効	はい	992	81.6	84.2	84.2
		いいえ	186	15.3	15.8	100.0
	欠損値	合計	1178	96.9	100.0	
		999	38	3.1		
	合計	合計	1216	100.0		
合計		1216	100.0			

気持ち2(GDS12, R) (Q25-2)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	171	13.2	13.4	13.4
		いいえ	1104	84.9	86.6	100.0
	欠損値	合計	1275	98.1	100.0	
		999	25	1.9		
	合計	合計	1300	100.0		
合計		1300	100.0			
元気S	有効	はい	16	8.2	8.3	8.3
		いいえ	177	91.2	91.7	100.0
	欠損値	合計	193	99.5	100.0	
		999	1	0.5		
	合計	合計	194	100.0		
合計		194	100.0			
一般	有効	はい	169	13.9	14.4	14.4
		いいえ	1002	82.4	85.8	100.0
	欠損値	合計	1171	96.3	100.0	
		999	45	3.7		
	合計	合計	1216	100.0		
合計		1216	100.0			

気持ち3(GDS2, R) (Q25-3)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	162	12.5	12.7	12.7
		いいえ	1111	85.5	87.3	100.0
	欠損値	合計	1273	97.9	100.0	
		999	27	2.1		
	合計	合計	1300	100.0		
合計		1300	100.0			
元気S	有効	はい	14	7.2	7.3	7.3
		いいえ	178	91.8	92.7	100.0
	欠損値	合計	192	99.0	100.0	
		999	2	1.0		
	合計	合計	194	100.0		
合計		194	100.0			
一般	有効	はい	188	15.5	16.0	16.0
		いいえ	986	81.1	84.0	100.0
	欠損値	合計	1174	96.5	100.0	
		999	42	3.5		
	合計	合計	1216	100.0		
合計		1216	100.0			

気持ち4(GDS3, R) (Q25-4)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	154	11.8	12.1	12.1
		いいえ	1117	85.9	87.9	100.0
	欠損値	合計	1271	97.8	100.0	
		999	29	2.2		
	合計	合計	1300	100.0		
合計		1300	100.0			
元気S	有効	はい	12	6.2	6.3	6.3
		いいえ	179	92.3	93.7	100.0
	欠損値	合計	191	98.5	100.0	
		999	3	1.5		
	合計	合計	194	100.0		
合計		194	100.0			
一般	有効	はい	133	10.9	11.4	11.4
		いいえ	1037	85.3	88.6	100.0
	欠損値	合計	1170	96.2	100.0	
		999	46	3.8		
	合計	合計	1216	100.0		
合計		1216	100.0			

気持ち5(GDS4, R) (Q25-5)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	164	12.6	12.9	12.9
		いいえ	1105	85.0	87.1	100.0
	欠損値	合計	1269	97.6	100.0	
		999	31	2.4		
	合計	合計	1300	100.0		
合計		1300	100.0			
元気S	有効	はい	24	12.4	12.5	12.5
		いいえ	168	86.6	87.5	100.0
	欠損値	合計	192	99.0	100.0	
		999	2	1.0		
	合計	合計	194	100.0		
合計		194	100.0			
一般	有効	はい	210	17.3	17.9	17.9
		いいえ	960	78.9	82.1	100.0
	欠損値	合計	1170	96.2	100.0	
		999	46	3.8		
	合計	合計	1216	100.0		
合計		1216	100.0			

気持ち6(GDS5, R) (Q25-6)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	1159	89.2	91.8	91.8
		いいえ	103	7.9	8.2	100.0
	欠損値	合計	1262	97.1	100.0	
		999	38	2.9		
	合計	合計	1300	100.0		
合計		1300	100.0			
元気S	有効	はい	180	92.8	94.7	94.7
		いいえ	10	5.2	5.3	100.0
	欠損値	合計	190	97.9	100.0	
		999	4	2.1		
	合計	合計	194	100.0		
合計		194	100.0			
一般	有効	はい	1041	85.6	89.0	89.0
		いいえ	129	10.6	11.0	100.0
	欠損値	合計	1170	96.2	100.0	
		999	46	3.8		
	合計	合計	1216	100.0		
合計		1216	100.0			

気持ち7(GDS6, R) (Q25-7)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	198	15.2	15.8	15.8
		いいえ	1058	81.4	84.2	100.0
	欠損値	合計	1256	96.6	100.0	
		999	44	3.4		
	合計	合計	1300	100.0		
合計		1300	100.0			
元気S	有効	はい	26	13.4	13.8	13.8
		いいえ	163	84.0	86.2	100.0
	欠損値	合計	189	97.4	100.0	
		999	5	2.6		
	合計	合計	194	100.0		
合計		194	100.0			
一般	有効	はい	198	16.3	17.0	17.0
		いいえ	966	79.4	83.0	100.0
	欠損値	合計	1164	95.7	100.0	
		999	52	4.3		
	合計	合計	1216	100.0		
合計		1216	100.0			

気持ち8(GDS7, R) (Q25-8)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	1209	93.0	95.4	95.4
		いいえ	58	4.5	4.6	100.0
	欠損値	合計	1267	97.5	100.0	
		999	33	2.5		
	合計	合計	1300	100.0		
合計		1300	100.0			
元気S	有効	はい	186	95.9	97.9	97.9
		いいえ	4	2.1	2.1	100.0
	欠損値	合計	190	97.9	100.0	
		999	4	2.1		
	合計	合計	194	100.0		
合計		194	100.0			
一般	有効	はい	1093	89.9	92.9	92.9
		いいえ	84	6.9	7.1	100.0
	欠損値	合計	1177	96.8	100.0	
		999	39	3.2		
	合計	合計	1216	100.0		
合計		1216	100.0			

気持ち9(GDS8, R) (Q25-9)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	322	24.8	25.7	25.7
		いいえ	929	71.5	74.3	100.0
	欠損値	合計	1251	96.2	100.0	
		999	49	3.8		
	合計	合計	1300	100.0		
合計		1300	100.0			
元気S	有効	はい	34	17.5	17.9	17.9
		いいえ	156	80.4	82.1	100.0
	欠損値	合計	190	97.9	100.0	
		999	4	2.1		
	合計	合計	194	100.0		
合計		194	100.0			
一般	有効	はい	301	24.8	25.8	25.8
		いいえ	864	71.1	74.2	100.0
	欠損値	合計	1165	95.8	100.0	
		999	51	4.2		
	合計	合計	1216	100.0		
合計		1216	100.0			

気持ち10(GDS9, R) (Q25-10)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	325	25.0	26.0	26.0
		いいえ	927	71.3	74.0	100.0
	欠損値	合計	1252	96.3	100.0	
		999	48	3.7		
	合計	合計	1300	100.0		
合計		1300	100.0			
元気S	有効	はい	51	26.3	27.3	27.3
		いいえ	136	70.1		

気持ち11(GDS10, R) (Q25-11)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	163	12.5	12.9	12.9
		いいえ	1096	84.3	87.1	100.0
		合計	1259	96.8	100.0	
	欠損値	999	41	3.2		
合計			1300	100.0		
元気S	有効	はい	31	16.0	16.4	16.4
		いいえ	158	81.4	83.6	100.0
		合計	189	97.4	100.0	
	欠損値	999	5	2.6		
合計			194	100.0		
一般	有効	はい	134	11.0	11.5	11.5
		いいえ	1036	85.2	88.5	100.0
		合計	1170	96.2	100.0	
	欠損値	999	46	3.8		
合計			1216	100.0		

気持ち12(GDS11) (Q25-12)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	1104	84.9	89.2	89.2
		いいえ	134	10.3	10.8	100.0
		合計	1238	95.2	100.0	
	欠損値	999	62	4.8		
合計			1300	100.0		
元気S	有効	はい	176	90.7	93.1	93.1
		いいえ	13	6.7	6.9	100.0
		合計	189	97.4	100.0	
	欠損値	999	5	2.6		
合計			194	100.0		
一般	有効	はい	1008	82.9	87.5	87.5
		いいえ	144	11.8	12.5	100.0
		合計	1152	94.7	100.0	
	欠損値	999	64	5.3		
合計			1216	100.0		

気持ち13(GDS13) (Q25-13)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	762	58.6	61.7	61.7
		いいえ	473	36.4	38.3	100.0
		合計	1235	95.0	100.0	
	欠損値	999	65	5.0		
合計			1300	100.0		
元気S	有効	はい	108	55.7	57.4	57.4
		いいえ	80	41.2	42.6	100.0
		合計	188	96.9	100.0	
	欠損値	999	6	3.1		
合計			194	100.0		
一般	有効	はい	648	53.3	56.1	56.1
		いいえ	507	41.7	43.9	100.0
		合計	1155	95.0	100.0	
	欠損値	999	61	5.0		
合計			1216	100.0		

気持ち14(GDS14, R) (Q25-14)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	122	9.4	9.7	9.7
		いいえ	1130	88.9	90.3	100.0
		合計	1252	96.3	100.0	
	欠損値	999	48	3.7		
合計			1300	100.0		
元気S	有効	はい	11	5.7	5.8	5.8
		いいえ	179	92.3	94.2	100.0
		合計	190	97.9	100.0	
	欠損値	999	4	2.1		
合計			194	100.0		
一般	有効	はい	151	12.4	13.0	13.0
		いいえ	1012	83.2	87.0	100.0
		合計	1163	95.6	100.0	
	欠損値	999	53	4.4		
合計			1216	100.0		

気持ち15(GDS15, R) (Q25-15)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	324	24.9	26.4	26.4
		いいえ	902	69.4	73.6	100.0
		合計	1226	94.3	100.0	
	欠損値	999	74	5.7		
合計			1300	100.0		
元気S	有効	はい	40	20.6	22.2	22.2
		いいえ	140	72.2	77.8	100.0
		合計	180	92.8	100.0	
	欠損値	999	14	7.2		
合計			194	100.0		
一般	有効	はい	326	26.8	28.6	28.6
		いいえ	812	66.8	71.4	100.0
		合計	1138	93.6	100.0	
	欠損値	999	78	6.4		
合計			1216	100.0		

気持ち16(基本C2) (Q25-16)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	173	13.3	13.9	13.9
		いいえ	1076	82.8	86.1	100.0
		合計	1249	96.1	100.0	
	欠損値	999	51	3.9		
合計			1300	100.0		
元気S	有効	はい	13	6.7	7.0	7.0
		いいえ	174	89.7	93.0	100.0
		合計	187	96.4	100.0	
	欠損値	999	7	3.6		
合計			194	100.0		
一般	有効	はい	243	20.0	21.1	21.1
		いいえ	907	74.6	78.9	100.0
		合計	1150	94.6	100.0	
	欠損値	999	66	5.4		
合計			1216	100.0		

気持ち17(基本C2) (Q25-17)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	272	20.9	21.6	21.6
		いいえ	990	76.2	78.4	100.0
		合計	1262	97.1	100.0	
	欠損値	999	38	2.9		
合計			1300	100.0		
元気S	有効	はい	31	16.0	16.4	16.4
		いいえ	158	81.4	83.6	100.0
		合計	189	97.4	100.0	
	欠損値	999	5	2.6		
合計			194	100.0		
一般	有効	はい	304	25.0	26.1	26.1
		いいえ	861	70.8	73.9	100.0
		合計	1165	95.8	100.0	
	欠損値	999	51	4.2		
合計			1216	100.0		

気持ち18(基本C2) (Q25-18)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	746	57.4	58.9	58.9
		いいえ	520	40.0	41.1	100.0
		合計	1266	97.4	100.0	
	欠損値	999	34	2.6		
合計			1300	100.0		
元気S	有効	はい	116	59.8	60.7	60.7
		いいえ	75	38.7	39.3	100.0
		合計	191	98.5	100.0	
	欠損値	999	3	1.5		
合計			194	100.0		
一般	有効	はい	639	52.5	54.6	54.6
		いいえ	532	43.8	45.4	100.0
		合計	1171	96.3	100.0	
	欠損値	999	45	3.7		
合計			1216	100.0		

気持ち19(基本C2) (Q25-19)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	310	23.8	25.0	25.0
		いいえ	932	71.7	75.0	100.0
		合計	1242	95.5	100.0	
	欠損値	999	58	4.5		
合計			1300	100.0		
元気S	有効	はい	44	22.7	23.7	23.7
		いいえ	142	73.2	76.3	100.0
		合計	186	95.9	100.0	
	欠損値	999	8	4.1		
合計			194	100.0		
一般	有効	はい	312	25.7	27.0	27.0
		いいえ	844	69.4	73.0	100.0
		合計	1156	95.1	100.0	
	欠損値	999	60	4.9		
合計			1216	100.0		

気持ち20(基本C2) (Q25-20)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	はい	428	32.9	33.9	33.9
		いいえ	833	64.1	66.1	100.0
		合計	1261	97.0	100.0	
	欠損値	999	39	3.0		
合計			1300	100.0		
元気S	有効	はい	65	33.5	34.0	34.0
		いいえ	126	64.9	68.0	100.0
		合計	191	98.5	100.0	
	欠損値	999	3	1.5		
合計			194	100.0		
一般	有効	はい	416	34.2	35.7	35.7
		いいえ	748	61.5	64.3	100.0
		合計	1164	95.7	100.0	
	欠損値	999	52	4.3		
合計			1216	100.0		

ロコモティブシンドローム認知 (Q26)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	言葉の意味を知っている	615	47.3	49.1	49.1
		言葉は聞いたことがあるが、意味は分からない	468	36.0	37.4	86.4
		言葉も意味も知らない	170	13.1	13.6	100.0
	合計	1253	96.4	100.0		
欠損値	999	47	3.6			
合計			1300	100.0		
元気S	有効	言葉の意味を知っている	117	60.3	62.2	62.2
		言葉は聞いたことがあるが、意味は分からない	52	26.8	27.7	89.9
		言葉も意味も知らない	19	9.8	10.1	100.0
	合計	188	96.9	100.0		
欠損値	999	6	3.1			
合計			194	100.0		
一般	有効	言葉の意味を知っている	335	27.5	28.9	28.9
		言葉は聞いたことがあるが、意味は分からない	385	31.7	33.2	62.1
		言葉も意味も知らない	440	36.2	37.9	100.0
	合計	1160	95.4	100.0		
欠損値	999	56	4.6			
合計			1216	100.0		

情報SN:配偶者 (Q27-1)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	649	48.9	51.1
	1	620	47.7	48.9	51.1
	合計	1269	97.6	100.0	100.0
	欠損値	999	31	2.4	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	93	47.9	48.4
	1	99	51.0	51.6	100.0
	合計	192	99.0	100.0	
	欠損値	999	2	1.0	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	503	41.4	42.7
	1	675	55.5	57.3	100.0
	合計	1178	96.9	100.0	
	欠損値	999	38	3.1	
合計		1216	100.0		

情報SN:同居の子ども (Q27-2)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1004	77.2	79.1
	1	265	20.4	20.9	100.0
	合計	1269	97.6	100.0	
	欠損値	999	31	2.4	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	140	72.2	72.9
	1	52	28.8	27.1	100.0
	合計	192	99.0	100.0	
	欠損値	999	2	1.0	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	913	75.1	77.5
	1	265	21.8	22.5	100.0
	合計	1178	96.9	100.0	
	欠損値	999	38	3.1	
合計		1216	100.0		

情報SN:別居の子どもや親戚 (Q27-3)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	700	53.8	55.2
	1	569	43.8	44.8	100.0
	合計	1269	97.6	100.0	
	欠損値	999	31	2.4	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	107	55.2	55.7
	1	85	43.8	44.3	100.0
	合計	192	99.0	100.0	
	欠損値	999	2	1.0	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	704	57.9	59.8
	1	474	39.0	40.2	100.0
	合計	1178	96.9	100.0	
	欠損値	999	38	3.1	
合計		1216	100.0		

情報SN:きょうだい (Q27-4)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	794	61.1	62.6
	1	475	36.5	37.4	100.0
	合計	1269	97.6	100.0	
	欠損値	999	31	2.4	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	117	60.3	60.9
	1	75	38.7	39.1	100.0
	合計	192	99.0	100.0	
	欠損値	999	2	1.0	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	810	66.6	68.8
	1	388	30.3	31.2	100.0
	合計	1178	96.9	100.0	
	欠損値	999	38	3.1	
合計		1216	100.0		

情報SN:近隣の人 (Q27-5)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	943	72.5	74.3
	1	326	25.1	25.7	100.0
	合計	1269	97.6	100.0	
	欠損値	999	31	2.4	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	137	70.6	71.4
	1	55	28.4	28.6	100.0
	合計	192	99.0	100.0	
	欠損値	999	2	1.0	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	978	80.4	83.0
	1	200	16.4	17.0	100.0
	合計	1178	96.9	100.0	
	欠損値	999	38	3.1	
合計		1216	100.0		

情報SN:友人 (Q27-6)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	444	34.2	35.0
	1	825	63.5	65.0	100.0
	合計	1269	97.6	100.0	
	欠損値	999	31	2.4	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	69	35.6	35.9
	1	123	63.4	64.1	100.0
	合計	192	99.0	100.0	
	欠損値	999	2	1.0	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	557	45.8	47.3
	1	621	51.1	52.7	100.0
	合計	1178	96.9	100.0	
	欠損値	999	38	3.1	
合計		1216	100.0		

情報SN:職場・同業の人 (Q27-7)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1216	93.5	95.8
	1	53	4.1	4.2	100.0
	合計	1269	97.6	100.0	
	欠損値	999	31	2.4	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	188	96.9	97.9
	1	4	2.1	2.1	100.0
	合計	192	99.0	100.0	
	欠損値	999	2	1.0	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	1112	91.4	94.4
	1	66	5.4	5.6	100.0
	合計	1178	96.9	100.0	
	欠損値	999	38	3.1	
合計		1216	100.0		

情報SN:その他 (Q27-8)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1257	96.7	99.1
	1	12	0.9	0.9	100.0
	合計	1269	97.6	100.0	
	欠損値	999	31	2.4	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	191	98.5	99.5
	1	1	0.5	0.5	100.0
	合計	192	99.0	100.0	
	欠損値	999	2	1.0	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	1163	95.6	98.7
	1	15	1.2	1.3	100.0
	合計	1178	96.9	100.0	
	欠損値	999	38	3.1	
合計		1216	100.0		

情報SN:そのような人はいない (Q27-9)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1231	94.7	97.0
	1	38	2.9	3.0	100.0
	合計	1269	97.6	100.0	
	欠損値	999	31	2.4	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	188	96.9	97.9
	1	4	2.1	2.1	100.0
	合計	192	99.0	100.0	
	欠損値	999	2	1.0	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	1125	92.5	95.5
	1	53	4.4	4.5	100.0
	合計	1178	96.9	100.0	
	欠損値	999	38	3.1	
合計		1216	100.0		

情報SN(受):配偶者 (Q28-1)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	728	56.0	57.6
	1	536	41.2	42.4	100.0
	合計	1264	97.2	100.0	
	欠損値	999	36	2.8	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	108	55.7	57.1
	1	81	41.8	42.9	100.0
	合計	189	97.4	100.0	
	欠損値	999	5	2.6	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	554	45.6	47.4
	1	614	50.5	52.6	100.0
	合計	1168	96.1	100.0	
	欠損値	999	48	3.9	
合計		1216	100.0		

情報SN(受):同居の子ども (Q28-2)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1046	80.5	82.8
	1	218	16.8	17.2	100.0
	合計	1264	97.2	100.0	
	欠損値	999	36	2.8	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	155	79.9	82.0
	1	34	17.5	18.0	100.0
	合計	189	97.4	100.0	
	欠損値	999	5	2.6	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	939	77.2	80.4
	1	229	18.8	19.6	100.0
	合計	1168	96.1	100.0	
	欠損値	999	48	3.9	
合計		1216	100.0		

情報SN(受):別居の子どもや親戚 (Q28-3)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	779	59.9	61.8
	1	485	37.3	38.4	100.0
	合計	1264	97.2	100.0	
	欠損値	999	36	2.8	
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	111	57.2	58.7
	1	78	40.2	41.3	100.0
	合計	189	97.4	100.0	
	欠損値	999	5	2.6	
合計		194	100.0		
一般	有効	0	740	60.9	63.4
	1	428	35.2	36.6	100.0
	合計	1168	96.1	100.0	
	欠損値	999	48	3.9	
合計		1216	100.0		

情報SN(受):まようだい (Q28-4)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	790	60.8	62.5	62.5
		1	474	36.5	37.5	100.0
	合計	1264	97.2	100.0		
	欠損値	999	36	2.8		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	116	59.8	61.4	61.4
		1	73	37.6	38.6	100.0
	合計	189	97.4	100.0		
	欠損値	999	5	2.6		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	789	64.9	67.6	67.6
		1	379	31.2	32.4	100.0
	合計	1168	96.1	100.0		
	欠損値	999	48	3.9		
		合計	1216	100.0		

情報SN(受):近隣の人 (Q28-5)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	843	64.8	66.7	66.7
		1	421	32.4	33.3	100.0
	合計	1264	97.2	100.0		
	欠損値	999	36	2.8		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	117	60.3	61.9	61.9
		1	72	37.1	38.1	100.0
	合計	189	97.4	100.0		
	欠損値	999	5	2.6		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	932	76.6	79.8	79.8
		1	236	19.4	20.2	100.0
	合計	1168	96.1	100.0		
	欠損値	999	48	3.9		
		合計	1216	100.0		

情報SN(受):友人 (Q28-6)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	406	31.2	32.1	32.1
		1	858	68.0	67.9	100.0
	合計	1264	97.2	100.0		
	欠損値	999	36	2.8		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	86	34.0	34.9	34.9
		1	123	63.4	65.1	100.0
	合計	189	97.4	100.0		
	欠損値	999	5	2.6		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	543	44.7	46.5	46.5
		1	625	51.4	53.5	100.0
	合計	1168	96.1	100.0		
	欠損値	999	48	3.9		
		合計	1216	100.0		

情報SN(受):職場・同僚の人 (Q28-7)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1206	92.8	95.4	95.4
		1	58	4.5	4.6	100.0
	合計	1264	97.2	100.0		
	欠損値	999	36	2.8		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	186	95.9	98.4	98.4
		1	3	1.5	1.6	100.0
	合計	189	97.4	100.0		
	欠損値	999	5	2.6		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	1105	90.9	94.6	94.6
		1	63	5.2	5.4	100.0
	合計	1168	96.1	100.0		
	欠損値	999	48	3.9		
		合計	1216	100.0		

情報SN(受):その他 (Q28-8)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1253	96.4	99.1	99.1
		1	11	0.8	0.9	100.0
	合計	1264	97.2	100.0		
	欠損値	999	36	2.8		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	189	97.4	100.0	100.0
		1	5	2.6		
	合計	194	100.0			
	欠損値	999	5	2.6		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	1158	95.2	99.1	99.1
		1	10	0.8	0.9	100.0
	合計	1168	96.1	100.0		
	欠損値	999	48	3.9		
		合計	1216	100.0		

情報SN(受):そのような人はいない (Q28-9)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1226	94.3	97.0	97.0
		1	38	2.9	3.0	100.0
	合計	1264	97.2	100.0		
	欠損値	999	36	2.8		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	180	92.8	95.2	95.2
		1	9	4.6	4.8	100.0
	合計	189	97.4	100.0		
	欠損値	999	5	2.6		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	1096	90.1	93.8	93.8
		1	72	5.9	6.2	100.0
	合計	1168	96.1	100.0		
	欠損値	999	48	3.9		
		合計	1216	100.0		

手段SN:配偶者 (Q29-1)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	579	44.5	45.8	45.8
		1	690	53.1	54.4	100.0
	合計	1269	97.6	100.0		
	欠損値	999	31	2.4		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	85	43.8	44.5	44.5
		1	106	54.6	55.5	100.0
	合計	191	98.5	100.0		
	欠損値	999	3	1.5		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	445	36.6	37.8	37.8
		1	731	60.1	62.2	100.0
	合計	1176	96.7	100.0		
	欠損値	999	40	3.3		
		合計	1216	100.0		

手段SN:同居の子ども (Q29-2)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	909	69.9	71.6	71.6
		1	360	27.7	28.4	100.0
	合計	1269	97.6	100.0		
	欠損値	999	31	2.4		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	132	68.0	69.1	69.1
		1	59	30.4	30.9	100.0
	合計	191	98.5	100.0		
	欠損値	999	3	1.5		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	842	69.2	71.6	71.6
		1	334	27.5	28.4	100.0
	合計	1176	96.7	100.0		
	欠損値	999	40	3.3		
		合計	1216	100.0		

手段SN:別居の子どもや親戚 (Q29-3)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	672	51.7	53.0	53.0
		1	597	45.9	47.0	100.0
	合計	1269	97.6	100.0		
	欠損値	999	31	2.4		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	96	49.5	50.3	50.3
		1	95	49.0	49.7	100.0
	合計	191	98.5	100.0		
	欠損値	999	3	1.5		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	702	57.7	59.7	59.7
		1	474	39.0	40.3	100.0
	合計	1176	96.7	100.0		
	欠損値	999	40	3.3		
		合計	1216	100.0		

手段SN:まようだい (Q29-4)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1093	84.1	86.1	86.1
		1	176	13.5	13.9	100.0
	合計	1269	97.6	100.0		
	欠損値	999	31	2.4		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	165	85.1	86.4	86.4
		1	26	13.4	13.6	100.0
	合計	191	98.5	100.0		
	欠損値	999	3	1.5		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	1042	85.7	88.6	88.6
		1	134	11.0	11.4	100.0
	合計	1176	96.7	100.0		
	欠損値	999	40	3.3		
		合計	1216	100.0		

手段SN:近隣の人 (Q29-5)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1133	87.2	89.3	89.3
		1	136	10.5	10.7	100.0
	合計	1269	97.6	100.0		
	欠損値	999	31	2.4		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	172	88.7	90.1	90.1
		1	19	9.8	9.9	100.0
	合計	191	98.5	100.0		
	欠損値	999	3	1.5		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	1110	91.3	94.4	94.4
		1	66	5.4	5.8	100.0
	合計	1176	96.7	100.0		
	欠損値	999	40	3.3		
		合計	1216	100.0		

手段SN:友人 (Q29-6)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1079	83.0	85.0	85.0
		1	190	14.6	15.0	100.0
	合計	1269	97.6	100.0		
	欠損値	999	31	2.4		
		合計	1300	100.0		
元気S	有効	0	157	80.9	82.2	82.2
		1	34	17.5	17.8	100.0
	合計	191	98.5	100.0		
	欠損値	999	3	1.5		
		合計	194	100.0		
一般	有効	0	1087	89.4	92.4	92.4
		1	89	7.3	7.6	100.0
	合計	1176	96.7	100.0		
	欠損値	999	40	3.3		
		合計	1216	100.0		

手段SN:職場-同業の人(Q29-7)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1264	97.2	99.6	99.6
	1	1	5	0.4	0.4	100.0
	合計		1269	97.6	100.0	
	欠損値	999	31	2.4		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	191	98.5	100.0	100.0
	1	1	3	1.5		
	合計		194	100.0		
	欠損値	999				
	合計					
一般	有効	0	1172	96.4	99.7	99.7
	1	1	4	0.3	0.3	100.0
	合計		1176	96.7	100.0	
	欠損値	999	40	3.3		
	合計		1216	100.0		

手段SN:その他(Q29-8)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1256	96.6	99.0	99.0
	1	1	13	1.0	1.0	100.0
	合計		1269	97.6	100.0	
	欠損値	999	31	2.4		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	190	97.9	99.5	99.5
	1	1	1	0.5	0.5	100.0
	合計		191	98.5	100.0	
	欠損値	999	3	1.5		
	合計		194	100.0		
一般	有効	0	1172	96.4	99.7	99.7
	1	1	4	0.3	0.3	100.0
	合計		1176	96.7	100.0	
	欠損値	999	40	3.3		
	合計		1216	100.0		

手段SN:そのような人はいない(Q29-9)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1212	93.2	95.5	95.5
	1	1	57	4.4	4.5	100.0
	合計		1269	97.6	100.0	
	欠損値	999	31	2.4		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	184	94.8	96.3	96.3
	1	1	7	3.6	3.7	100.0
	合計		191	98.5	100.0	
	欠損値	999	3	1.5		
	合計		194	100.0		
一般	有効	0	1104	90.8	93.9	93.9
	1	1	72	5.9	6.1	100.0
	合計		1176	96.7	100.0	
	欠損値	999	40	3.3		
	合計		1216	100.0		

手段SN:配偶者(Q30-1)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	537	41.3	43.6	43.6
	1	1	696	53.5	56.4	100.0
	合計		1233	94.8	100.0	
	欠損値	999	67	5.2		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	79	40.7	43.2	43.2
	1	1	104	53.6	56.8	100.0
	合計		183	94.3	100.0	
	欠損値	999	11	5.7		
	合計		194	100.0		
一般	有効	0	421	34.6	36.4	36.4
	1	1	737	60.6	63.8	100.0
	合計		1158	95.2	100.0	
	欠損値	999	58	4.8		
	合計		1216	100.0		

手段SN(受):同居の子ども(Q30-2)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	917	70.5	74.4	74.4
	1	1	316	24.3	25.6	100.0
	合計		1233	94.8	100.0	
	欠損値	999	67	5.2		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	136	70.1	74.3	74.3
	1	1	47	24.2	25.7	100.0
	合計		183	94.3	100.0	
	欠損値	999	11	5.7		
	合計		194	100.0		
一般	有効	0	850	69.9	73.4	73.4
	1	1	308	25.3	26.6	100.0
	合計		1158	95.2	100.0	
	欠損値	999	58	4.8		
	合計		1216	100.0		

手段SN(受):同居の子どもや親戚(Q30-3)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	724	55.7	58.7	58.7
	1	1	509	39.2	41.3	100.0
	合計		1233	94.8	100.0	
	欠損値	999	67	5.2		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	111	57.2	60.7	60.7
	1	1	72	37.1	39.3	100.0
	合計		183	94.3	100.0	
	欠損値	999	11	5.7		
	合計		194	100.0		
一般	有効	0	766	63.0	66.1	66.1
	1	1	392	32.2	33.9	100.0
	合計		1158	95.2	100.0	
	欠損値	999	58	4.8		
	合計		1216	100.0		

手段SN(受):きょうだい(Q30-4)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	985	74.2	78.3	78.3
	1	1	288	20.6	21.7	100.0
	合計		1273	94.8	100.0	
	欠損値	999	67	5.2		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	146	75.3	79.8	79.8
	1	1	37	19.1	20.2	100.0
	合計		183	94.3	100.0	
	欠損値	999	11	5.7		
	合計		194	100.0		
一般	有効	0	986	79.4	83.4	83.4
	1	1	192	15.8	16.6	100.0
	合計		1178	95.2	100.0	
	欠損値	999	58	4.8		
	合計		1236	100.0		

手段SN(受):近親の人(Q30-5)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1059	81.5	85.9	85.9
	1	1	174	13.4	14.1	100.0
	合計		1233	94.8	100.0	
	欠損値	999	67	5.2		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	160	82.5	87.4	87.4
	1	1	23	11.9	12.6	100.0
	合計		183	94.3	100.0	
	欠損値	999	11	5.7		
	合計		194	100.0		
一般	有効	0	1081	88.9	93.4	93.4
	1	1	77	6.3	6.6	100.0
	合計		1158	95.2	100.0	
	欠損値	999	58	4.8		
	合計		1216	100.0		

手段SN(受):友人(Q30-6)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	996	76.6	80.8	80.8
	1	1	237	18.2	19.2	100.0
	合計		1233	94.8	100.0	
	欠損値	999	67	5.2		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	142	73.2	77.6	77.6
	1	1	41	21.1	22.4	100.0
	合計		183	94.3	100.0	
	欠損値	999	11	5.7		
	合計		194	100.0		
一般	有効	0	1038	85.4	89.6	89.6
	1	1	120	9.9	10.4	100.0
	合計		1158	95.2	100.0	
	欠損値	999	58	4.8		
	合計		1216	100.0		

手段SN(受):職場-同業の人(Q30-7)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1229	94.5	99.7	99.7
	1	1	4	0.3	0.3	100.0
	合計		1233	94.8	100.0	
	欠損値	999	67	5.2		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	183	94.3	100.0	100.0
	1	1	11	5.7		
	合計		194	100.0		
	欠損値	999				
	合計					
一般	有効	0	1152	94.7	99.5	99.5
	1	1	6	0.5	0.5	100.0
	合計		1158	95.2	100.0	
	欠損値	999	58	4.8		
	合計		1216	100.0		

手段SN(受):その他(Q30-8)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1223	94.1	99.2	99.2
	1	1	10	0.8	0.8	100.0
	合計		1233	94.8	100.0	
	欠損値	999	67	5.2		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	183	94.3	100.0	100.0
	1	1	11	5.7		
	合計		194	100.0		
	欠損値	999				
	合計					
一般	有効	0	1149	94.5	99.2	99.2
	1	1	9	0.7	0.8	100.0
	合計		1158	95.2	100.0	
	欠損値	999	58	4.8		
	合計		1216	100.0		

手段SN(受):そのような人はいない(Q30-9)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	1134	87.2	92.0	92.0
	1	1	99	7.6	8.0	100.0
	合計		1233	94.8	100.0	
	欠損値	999	67	5.2		
	合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	163	84.0	89.1	89.1
	1	1	20	10.3	10.9	100.0
	合計		183	94.3	100.0	
	欠損値	999	11	5.7		
	合計		194	100.0		
一般	有効	0	1041	85.6	89.9	89.9
	1	1	117	9.6	10.1	100.0
	合計		1158	95.2	100.0	
	欠損値	999	58	4.8		
	合計		1216	100.0		

組織参加:町内会・自治会 (Q31-1)

			度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	ほぼ毎日	13	1.0	1.0	1.0		
		週に2~3日	49	3.8	3.9	4.9		
		週に1日	60	4.6	4.8	9.7		
		月に2~3日	187	14.4	14.9	24.6		
		年に数回	352	27.1	28.0	52.5		
		参加していない	597	45.9	47.5	100.0		
		合計	1258	96.8	100.0			
		欠損値	999	42	3.2			
		合計	1300	100.0				
		元氣S	有効	ほぼ毎日	7	3.6	3.7	3.7
				週に2~3日	15	7.7	7.9	11.6
週に1日	31			16.0	16.4	28.0		
月に2~3日	40			20.6	21.2	49.2		
年に数回	42			21.6	22.2	71.4		
参加していない	54			27.8	28.6	100.0		
合計	189			97.4	100.0			
欠損値	999			5	2.6			
合計	194			100.0				
一般	有効			ほぼ毎日	12	1.0	1.0	1.0
				週に2~3日	25	2.1	2.2	3.2
		週に1日	41	3.4	3.6	6.8		
		月に2~3日	101	8.3	8.8	15.6		
		年に数回	327	26.9	28.5	44.0		
		参加していない	643	52.9	56.0	100.0		
		合計	1149	94.5	100.0			
		欠損値	999	67	5.5			
		合計	1216	100.0				

組織参加:老人クラブ (Q31-2)

			度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	ほぼ毎日	14	1.1	1.1	1.1		
		週に2~3日	47	3.6	3.7	4.8		
		週に1日	46	3.5	3.7	8.5		
		月に2~3日	124	9.5	9.9	18.4		
		年に数回	147	11.3	11.7	30.0		
		参加していない	880	67.7	70.0	100.0		
		合計	1258	96.8	100.0			
		欠損値	999	42	3.2			
		合計	1300	100.0				
		元氣S	有効	ほぼ毎日	6	3.1	3.2	3.2
				週に2~3日	9	4.0	4.8	7.9
週に1日	9			4.8	4.8	12.7		
月に2~3日	37			19.1	19.6	32.3		
年に数回	33			17.0	17.5	49.7		
参加していない	95			49.0	50.3	100.0		
合計	189			97.4	100.0			
欠損値	999			5	2.6			
合計	194			100.0				
一般	有効			ほぼ毎日	9	0.7	0.8	0.8
				週に2~3日	13	1.1	1.1	1.9
		週に1日	17	1.4	1.5	3.4		
		月に2~3日	47	3.9	4.1	7.5		
		年に数回	72	5.9	6.3	13.8		
		参加していない	991	81.5	86.2	100.0		
		合計	1149	94.5	100.0			
		欠損値	999	67	5.5			
		合計	1216	100.0				

組織参加:シルバー人材センター (Q31-3)

			度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	ほぼ毎日	1	0.1	0.1	0.1		
		週に2~3日	9	0.7	0.7	0.8		
		週に1日	8	0.6	0.6	1.4		
		月に2~3日	11	0.8	0.9	2.3		
		年に数回	12	0.9	1.0	3.3		
		参加していない	1217	93.8	96.7	100.0		
		合計	1258	96.8	100.0			
		欠損値	999	42	3.2			
		合計	1300	100.0				
		元氣S	有効	ほぼ毎日	1	0.5	0.5	0.5
				週に2~3日	1	0.5	0.5	1.1
週に1日	2			1.0	1.1	2.1		
月に2~3日	2			1.0	1.1	3.2		
年に数回	1			0.5	0.5	3.7		
参加していない	182			93.8	96.3	100.0		
合計	189			97.4	100.0			
欠損値	999			5	2.6			
合計	194			100.0				
一般	有効			ほぼ毎日	1	0.1	0.1	0.1
				週に2~3日	7	0.6	0.6	0.7
		週に1日	1	0.1	0.1	0.8		
		月に2~3日	9	0.7	0.8	1.6		
		年に数回	4	0.3	0.3	1.9		
		参加していない	1127	92.7	98.1	100.0		
		合計	1149	94.5	100.0			
		欠損値	999	67	5.5			
		合計	1216	100.0				

組織参加:業界団体・同業者団体 (Q31-4)

			度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	ほぼ毎日	3	0.2	0.2	0.2		
		週に2~3日	4	0.3	0.3	0.6		
		週に1日	6	0.5	0.5	1.0		
		月に2~3日	12	0.9	1.0	2.0		
		年に数回	43	3.3	3.4	5.4		
		参加していない	1190	91.5	94.6	100.0		
		合計	1258	96.8	100.0			
		欠損値	999	42	3.2			
		合計	1216	100.0				
		元氣S	有効	ほぼ毎日	1	0.5	0.5	0.5
				週に2~3日	1	0.5	0.5	1.1
週に1日	1			0.5	0.5	1.6		
月に2~3日	4			2.1	2.1	3.7		
年に数回	6			3.1	3.2	6.9		
参加していない	176			90.7	93.1	100.0		
合計	189			97.4	100.0			
欠損値	999			5	2.6			
合計	194			100.0				
一般	有効			ほぼ毎日	4	0.3	0.3	0.3
				週に2~3日	9	0.7	0.8	1.1
		週に1日	6	0.5	0.5	1.7		
		月に2~3日	16	1.3	1.4	3.0		
		年に数回	55	4.5	4.8	7.8		
		参加していない	1059	87.1	92.2	100.0		
		合計	1149	94.5	100.0			
		欠損値	999	67	5.5			
		合計	1216	100.0				

組織参加:ボランティア(ボラP除く) (Q31-5)

			度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	ほぼ毎日	18	1.4	1.4	1.4		
		週に2~3日	116	8.9	9.2	10.7		
		週に1日	165	12.7	13.1	23.8		
		月に2~3日	210	16.2	16.7	40.5		
		年に数回	128	9.8	10.2	50.6		
		参加していない	621	47.8	49.4	100.0		
		合計	1258	96.8	100.0			
		欠損値	999	42	3.2			
		合計	1300	100.0				
		元氣S	有効	ほぼ毎日	2	1.0	1.1	1.1
				週に2~3日	8	4.1	4.2	5.3
週に1日	6			3.1	3.2	8.5		
月に2~3日	24			12.4	12.7	21.2		
年に数回	15			7.7	7.9	29.1		
参加していない	134			69.1	70.9	100.0		
合計	189			97.4	100.0			
欠損値	999			5	2.6			
合計	194			100.0				
一般	有効			ほぼ毎日	4	0.3	0.3	0.3
				週に2~3日	22	1.8	1.9	2.3
		週に1日	17	1.4	1.5	3.7		
		月に2~3日	37	3.0	3.2	7.0		
		年に数回	38	3.1	3.3	10.3		
		参加していない	1031	84.8	89.7	100.0		
		合計	1149	94.5	100.0			
		欠損値	999	67	5.5			
		合計	1216	100.0				

組織参加:学習関係 (Q31-6)

			度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	ほぼ毎日	2	0.2	0.2	0.2		
		週に2~3日	21	1.6	1.7	1.8		
		週に1日	50	3.8	4.0	5.8		
		月に2~3日	109	8.4	8.7	14.5		
		年に数回	86	6.6	6.8	21.3		
		参加していない	990	76.2	78.7	100.0		
		合計	1258	96.8	100.0			
		欠損値	999	42	3.2			
		合計	1300	100.0				
		元氣S	有効	ほぼ毎日	1	0.5	0.5	0.5
				週に2~3日	5	2.6	2.6	3.2
週に1日	7			3.6	3.7	6.9		
月に2~3日	22			11.3	11.6	18.5		
年に数回	9			4.6	4.8	23.3		
参加していない	145			74.7	76.7	100.0		
合計	189			97.4	100.0			
欠損値	999			5	2.6			
合計	194			100.0				
一般	有効			ほぼ毎日	5	0.4	0.4	0.4
				週に2~3日	15	1.2	1.3	1.7
		週に1日	27	2.2	2.3	4.1		
		月に2~3日	42	3.5	3.7	7.7		
		年に数回	47	3.9	4.1	11.8		
		参加していない	1013	83.3	88.2	100.0		
		合計	1149	94.5	100.0			
		欠損値	999	67	5.5			
		合計	1216	100.0				

組織参加:スポーツ関係 (Q31-7)

調査の種類	度数	%	有効%	累積%
ボラP 有効	ほぼ毎日	29	2.2	2.3
	週に2~3日	172	13.2	13.7
	週に1日	165	12.7	13.1
	月に2~3日	140	10.8	11.1
	年に数回	61	4.7	4.8
	参加していない	691	53.2	54.9
	合計	1258	96.8	100.0
	欠損値 999	42	3.2	
	合計	1300	100.0	
	元気S 有効	ほぼ毎日	12	6.2
週に2~3日		24	12.4	12.7
週に1日		49	25.3	25.9
月に2~3日		24	12.4	12.7
年に数回		3	1.5	1.6
参加していない		77	39.7	40.7
合計		189	97.4	100.0
欠損値 999		5	2.6	
合計		194	100.0	
一般 有効		ほぼ毎日	53	4.4
	週に2~3日	135	11.1	11.7
	週に1日	97	8.0	8.4
	月に2~3日	47	3.9	4.1
	年に数回	52	4.3	4.5
	参加していない	765	62.9	66.6
	合計	1149	94.5	100.0
	欠損値 999	67	5.5	
	合計	1216	100.0	

組織参加:趣味関係 (Q31-8)

調査の種類	度数	%	有効%	累積%
ボラP 有効	ほぼ毎日	15	1.2	1.2
	週に2~3日	128	9.8	10.2
	週に1日	198	15.2	15.7
	月に2~3日	368	28.3	29.3
	年に数回	111	8.5	8.8
	参加していない	438	33.7	34.8
	合計	1258	96.8	100.0
	欠損値 999	42	3.2	
	合計	1300	100.0	
	元気S 有効	ほぼ毎日	3	1.5
週に2~3日		15	7.7	7.9
週に1日		22	11.3	11.6
月に2~3日		51	26.3	27.0
年に数回		16	8.2	8.5
参加していない		82	42.3	43.4
合計		189	97.4	100.0
欠損値 999		5	2.6	
合計		194	100.0	
一般 有効		ほぼ毎日	21	1.7
	週に2~3日	82	6.7	7.1
	週に1日	91	7.5	7.9
	月に2~3日	199	16.4	17.3
	年に数回	114	9.4	9.9
	参加していない	642	52.8	55.9
	合計	1149	94.5	100.0
	欠損値 999	67	5.5	
	合計	1216	100.0	

組織参加:その他 (Q31-9)

調査の種類	度数	%	有効%	累積%
ボラP 有効	ほぼ毎日	16	1.2	1.3
	週に2~3日	39	3.0	3.1
	週に1日	58	4.5	4.6
	月に2~3日	115	8.8	9.1
	年に数回	112	8.6	8.9
	参加していない	918	70.6	73.0
	合計	1258	96.8	100.0
	欠損値 999	42	3.2	
	合計	1300	100.0	
	元気S 有効	ほぼ毎日	2	1.0
週に2~3日		7	3.6	3.7
週に1日		10	5.2	5.3
月に2~3日		16	8.2	8.5
年に数回		21	10.8	11.1
参加していない		133	68.6	70.4
合計		189	97.4	100.0
欠損値 999		5	2.6	
合計		194	100.0	
一般 有効		ほぼ毎日	13	1.1
	週に2~3日	36	3.0	3.1
	週に1日	28	2.3	2.4
	月に2~3日	63	5.2	5.5
	年に数回	130	10.7	11.3
	参加していない	879	72.3	76.5
	合計	1149	94.5	100.0
	欠損値 999	67	5.5	
	合計	1216	100.0	

組織参加5年or2年以内:町内会・自治会 (Q32-1)

調査の種類	度数	%	有効%	累積%
ボラP 有効	0	879	67.6	89.7
	1	101	7.8	10.3
	合計	980	75.4	100.0
	欠損値 999	320	24.6	
合計	1300	100.0		
元気S 有効	0	114	58.8	83.8
	1	22	11.3	16.2
	合計	136	70.1	100.0
	欠損値 999	58	29.9	
合計	194	100.0		
一般 有効	0	859	70.6	87.6
	1	122	10.0	12.4
	合計	981	80.7	100.0
	欠損値 999	235	19.3	
合計	1216	100.0		

組織参加5年or2年以内:老人クラブ (Q32-2)

調査の種類	度数	%	有効%	累積%
ボラP 有効	0	886	68.2	90.4
	1	94	7.2	96.6
	合計	980	75.4	100.0
	欠損値 999	320	24.6	
合計	1300	100.0		
元気S 有効	0	118	60.8	86.8
	1	18	9.3	13.2
	合計	136	70.1	100.0
	欠損値 999	58	29.9	
合計	194	100.0		
一般 有効	0	939	77.2	95.7
	1	42	3.5	4.3
	合計	981	80.7	100.0
	欠損値 999	235	19.3	
合計	1216	100.0		

組織参加5年or2年以内:シルバー人材センター (Q32-3)

調査の種類	度数	%	有効%	累積%
ボラP 有効	0	971	74.7	99.1
	1	9	0.7	0.9
	合計	980	75.4	100.0
	欠損値 999	320	24.6	
合計	1300	100.0		
元気S 有効	0	135	69.6	99.3
	1	1	0.5	0.7
	合計	136	70.1	100.0
	欠損値 999	58	29.9	
合計	194	100.0		
一般 有効	0	974	80.1	99.3
	1	7	0.6	0.7
	合計	981	80.7	100.0
	欠損値 999	235	19.3	
合計	1216	100.0		

組織参加5年or2年以内:業界団体・自業者団体 (Q32-4)

調査の種類	度数	%	有効%	累積%
ボラP 有効	0	967	74.4	98.7
	1	13	1.0	1.3
	合計	980	75.4	100.0
	欠損値 999	320	24.6	
合計	1300	100.0		
元気S 有効	0	134	69.1	98.5
	1	2	1.0	1.5
	合計	136	70.1	100.0
	欠損値 999	58	29.9	
合計	194	100.0		
一般 有効	0	966	79.4	98.5
	1	15	1.2	1.5
	合計	981	80.7	100.0
	欠損値 999	235	19.3	
合計	1216	100.0		

組織参加5年or2年以内:ボランティア(ボラP除く) (Q32-5)

調査の種類	度数	%	有効%	累積%
ボラP 有効	0	862	66.3	88.0
	1	118	9.1	12.0
	合計	980	75.4	100.0
	欠損値 999	320	24.6	
合計	1300	100.0		
元気S 有効	0	125	64.4	91.9
	1	11	5.7	8.1
	合計	136	70.1	100.0
	欠損値 999	58	29.9	
合計	194	100.0		
一般 有効	0	945	77.7	96.3
	1	36	3.0	3.7
	合計	981	80.7	100.0
	欠損値 999	235	19.3	
合計	1216	100.0		

組織参加5年or2年以内:学習関係 (Q32-6)

調査の種類	度数	%	有効%	累積%
ボラP 有効	0	921	70.8	94.0
	1	59	4.5	6.0
	合計	980	75.4	100.0
	欠損値 999	320	24.6	
合計	1300	100.0		
元気S 有効	0	127	65.5	93.4
	1	9	4.6	6.8
	合計	136	70.1	100.0
	欠損値 999	58	29.9	
合計	194	100.0		
一般 有効	0	948	78.0	96.6
	1	33	2.7	3.4
	合計	981	80.7	100.0
	欠損値 999	235	19.3	
合計	1216	100.0		

組織参加5年or2年以内:スポーツ関係 (Q32-7)

調査の種類	度数	%	有効%	累積%
ボラP 有効	0	819	63.0	83.6
	1	161	12.4	16.4
	合計	980	75.4	100.0
	欠損値 999	320	24.6	
合計	1300	100.0		
元気S 有効	0	110	56.7	80.9
	1	26	13.4	19.1
	合計	136	70.1	100.0
	欠損値 999	58	29.9	
合計	194	100.0		
一般 有効	0	872	71.7	88.9
	1	109	9.0	11.1
	合計	981	80.7	100.0
	欠損値 999	235	19.3	
合計	1216	100.0		

組織参加5年or2年以内:趣味関係 (Q32-8)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	709	54.5	72.3
	1	271	20.8	27.7	72.3
	合計	980	75.4	100.0	100.0
	欠損値	320	24.6		
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	98	50.5	72.1
	1	38	19.6	27.9	72.1
	合計	136	70.1	100.0	100.0
	欠損値	58	29.9		
合計		194	100.0		
一般	有効	0	785	64.6	80.0
	1	196	16.1	20.0	80.0
	合計	981	80.7	100.0	100.0
	欠損値	235	19.3		
合計		1216	100.0		

組織参加5年or2年以内:その他 (Q32-9)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	937	72.1	95.6
	1	43	3.3	4.4	95.6
	合計	980	75.4	100.0	100.0
	欠損値	320	24.6		
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	130	67.0	95.6
	1	6	3.1	4.4	95.6
	合計	136	70.1	100.0	100.0
	欠損値	58	29.9		
合計		194	100.0		
一般	有効	0	927	76.2	94.5
	1	54	4.4	5.5	94.5
	合計	981	80.7	100.0	100.0
	欠損値	235	19.3		
合計		1216	100.0		

組織参加5年or2年以内:いずれもあてはまらない (Q32-10)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	565	43.5	57.7
	1	415	31.9	42.3	57.7
	合計	980	75.4	100.0	100.0
	欠損値	320	24.6		
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	80	41.2	58.8
	1	56	28.9	41.2	58.8
	合計	136	70.1	100.0	100.0
	欠損値	58	29.9		
合計		194	100.0		
一般	有効	0	450	37.0	45.9
	1	531	43.7	54.1	45.9
	合計	981	80.7	100.0	100.0
	欠損値	235	19.3		
合計		1216	100.0		

新規希望:仕事 (Q33-1)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	922	70.9	96.7
	1	31	2.4	3.3	96.7
	合計	953	73.3	100.0	100.0
	欠損値	347	26.7		
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	118	60.8	93.7
	1	8	4.1	6.3	93.7
	合計	126	64.9	100.0	100.0
	欠損値	68	35.1		
合計		194	100.0		
一般	有効	0	953	78.4	95.6
	1	44	3.6	4.4	95.6
	合計	997	82.0	100.0	100.0
	欠損値	219	18.0		
合計		1216	100.0		

新規希望:健康、スポーツ (Q33-2)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	684	52.6	71.8
	1	269	20.7	28.2	71.8
	合計	953	73.3	100.0	100.0
	欠損値	347	26.7		
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	85	43.8	67.5
	1	41	21.1	32.5	67.5
	合計	126	64.9	100.0	100.0
	欠損値	68	35.1		
合計		194	100.0		
一般	有効	0	700	57.6	70.2
	1	297	24.4	29.8	70.2
	合計	997	82.0	100.0	100.0
	欠損値	219	18.0		
合計		1216	100.0		

新規希望:趣味 (Q33-3)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	732	56.3	76.8
	1	221	17.0	23.2	76.8
	合計	953	73.3	100.0	100.0
	欠損値	347	26.7		
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	98	50.5	77.8
	1	28	14.4	22.2	77.8
	合計	126	64.9	100.0	100.0
	欠損値	68	35.1		
合計		194	100.0		
一般	有効	0	784	64.5	78.6
	1	213	17.5	21.4	78.6
	合計	997	82.0	100.0	100.0
	欠損値	219	18.0		
合計		1216	100.0		

新規希望:ボランティア (Q33-4)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	842	64.8	88.4
	1	111	8.5	11.6	88.4
	合計	953	73.3	100.0	100.0
	欠損値	347	26.7		
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	117	60.3	92.9
	1	9	4.6	7.1	92.9
	合計	126	64.9	100.0	100.0
	欠損値	68	35.1		
合計		194	100.0		
一般	有効	0	917	75.4	92.0
	1	80	6.6	8.0	92.0
	合計	997	82.0	100.0	100.0
	欠損値	219	18.0		
合計		1216	100.0		

新規希望:学習、資格取得 (Q33-5)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	899	69.2	94.3
	1	54	4.2	5.7	94.3
	合計	953	73.3	100.0	100.0
	欠損値	347	26.7		
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	123	63.4	97.6
	1	3	1.5	2.4	97.6
	合計	126	64.9	100.0	100.0
	欠損値	68	35.1		
合計		194	100.0		
一般	有効	0	957	78.7	96.0
	1	40	3.3	4.0	96.0
	合計	997	82.0	100.0	100.0
	欠損値	219	18.0		
合計		1216	100.0		

新規希望:地域行事 (Q33-6)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	880	67.7	92.3
	1	73	5.6	7.7	92.3
	合計	953	73.3	100.0	100.0
	欠損値	347	26.7		
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	117	60.3	92.9
	1	9	4.6	7.1	92.9
	合計	126	64.9	100.0	100.0
	欠損値	68	35.1		
合計		194	100.0		
一般	有効	0	931	76.6	93.4
	1	66	5.4	6.6	93.4
	合計	997	82.0	100.0	100.0
	欠損値	219	18.0		
合計		1216	100.0		

新規希望:その他 (Q33-7)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	940	72.3	98.6
	1	13	1.0	1.4	98.6
	合計	953	73.3	100.0	100.0
	欠損値	347	26.7		
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	125	64.4	99.2
	1	1	0.5	0.8	99.2
	合計	126	64.9	100.0	100.0
	欠損値	68	35.1		
合計		194	100.0		
一般	有効	0	987	81.2	99.0
	1	10	0.8	1.0	99.0
	合計	997	82.0	100.0	100.0
	欠損値	219	18.0		
合計		1216	100.0		

新規希望:いずれもあてはまらない (Q33-8)

		度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	0	562	43.2	59.0
	1	391	30.1	41.0	59.0
	合計	953	73.3	100.0	100.0
	欠損値	347	26.7		
合計		1300	100.0		
元気S	有効	0	76	39.2	60.3
	1	50	25.8	39.7	60.3
	合計	126	64.9	100.0	100.0
	欠損値	68	35.1		
合計		194	100.0		
一般	有効	0	551	45.3	55.3
	1	446	36.7	44.7	55.3
	合計	997	82.0	100.0	100.0
	欠損値	219	18.0		
合計		1216	100.0		

主観的幸福 (Q34)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	幸せ	728	56.0	58.0	58.0
		やや幸せ	429	33.0	34.2	92.1
		どちらでもない	89	6.8	7.1	99.2
		やや不幸せ	8	0.6	0.6	99.8
		不幸せ	2	0.2	0.2	100.0
		合計	1266	96.6	100.0	
		欠損値 999	44	3.4		
合計			1300	100.0		
元氣S	有効	幸せ	122	62.9	65.2	65.2
		やや幸せ	59	30.4	31.6	96.8
		どちらでもない	3	1.5	1.6	98.4
		やや不幸せ	3	1.5	1.6	100.0
		合計	187	96.4	100.0	
		欠損値 999	7	3.6		
		合計			194	100.0
一般	有効	幸せ	619	50.9	51.8	51.8
		やや幸せ	416	34.2	34.8	86.5
		どちらでもない	134	11.0	11.2	97.7
		やや不幸せ	18	1.5	1.5	99.2
		不幸せ	9	0.7	0.8	100.0
		合計	1196	98.4	100.0	
		欠損値 999	20	1.6		
合計			1216	100.0		

SOC1 (Q35-1)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	よくあてはまる	378	29.1	33.0	33.0
		2	252	19.4	22.0	55.0
		3	252	19.4	22.0	77.0
		4	181	13.9	15.8	92.8
		5	38	2.9	3.3	96.2
		6	28	2.2	2.4	98.6
		まったくあてはまらない	16	1.2	1.4	100.0
合計	1145	88.1	100.0			
欠損値 999	155	11.9				
合計			1300	100.0		
元氣S	有効	よくあてはまる	57	29.4	34.5	34.5
		2	46	23.7	27.9	62.4
		3	33	17.0	20.0	82.4
		4	20	10.3	12.1	94.5
		5	4	2.1	2.4	97.0
		6	4	2.1	2.4	99.4
		まったくあてはまらない	1	0.5	0.6	100.0
合計	165	85.1	100.0			
欠損値 999	29	14.9				
合計			194	100.0		
一般	有効	よくあてはまる	368	30.3	32.9	32.9
		2	224	18.4	20.0	52.9
		3	257	21.1	22.9	75.8
		4	172	14.1	15.4	91.2
		5	48	3.9	4.3	95.4
		6	21	1.7	1.9	97.3
		まったくあてはまらない	30	2.5	2.7	100.0
合計	1120	92.1	100.0			
欠損値 999	96	7.9				
合計			1216	100.0		

SOC2 (Q35-2)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	よくあてはまる	323	24.8	28.5	28.5
		2	285	21.9	25.1	53.6
		3	274	21.1	24.1	77.7
		4	180	13.8	15.9	93.6
		5	30	2.3	2.6	96.2
		6	22	1.7	1.9	98.1
		まったくあてはまらない	21	1.6	1.9	100.0
合計	1135	87.3	100.0			
欠損値 999	165	12.7				
合計			1300	100.0		
元氣S	有効	よくあてはまる	54	27.8	32.7	32.7
		2	45	23.2	27.3	60.0
		3	34	17.5	20.6	80.6
		4	20	10.3	12.1	92.7
		5	5	2.6	3.0	95.8
		6	4	2.1	2.4	98.2
		まったくあてはまらない	3	1.5	1.8	100.0
合計	165	85.1	100.0			
欠損値 999	29	14.9				
合計			194	100.0		
一般	有効	よくあてはまる	325	26.7	29.1	29.1
		2	246	20.2	22.0	51.1
		3	253	20.8	22.6	73.8
		4	192	15.8	17.2	91.0
		5	36	3.0	3.2	94.2
		6	38	3.1	3.4	97.6
		まったくあてはまらない	27	2.2	2.4	100.0
合計	1117	91.9	100.0			
欠損値 999	99	8.1				
合計			1216	100.0		

SOC3 (Q35-3)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	よくあてはまる	258	19.8	22.7	22.7
		2	243	18.7	21.4	44.1
		3	291	22.4	25.6	69.8
		4	214	16.5	18.9	88.6
		5	59	4.5	5.2	93.8
		6	36	2.8	3.2	97.0
		まったくあてはまらない	34	2.6	3.0	100.0
合計	1135	87.3	100.0			
欠損値 999	165	12.7				
合計			1300	100.0		
元氣S	有効	よくあてはまる	42	21.6	25.8	25.8
		2	37	19.1	22.7	48.5
		3	38	19.6	23.3	71.8
		4	31	16.0	19.0	90.8
		5	7	3.6	4.3	95.1
		6	5	2.6	3.1	98.2
		まったくあてはまらない	3	1.5	1.8	100.0
合計	183	84.0	100.0			
欠損値 999	31	16.0				
合計			194	100.0		
一般	有効	よくあてはまる	300	24.7	27.0	27.0
		2	228	18.8	20.5	47.5
		3	241	19.8	21.7	69.2
		4	205	16.9	18.4	87.6
		5	57	4.7	5.1	92.7
		6	40	3.3	3.6	96.3
		まったくあてはまらない	41	3.4	3.7	100.0
合計	1112	91.4	100.0			
欠損値 999	104	8.6				
合計			1216	100.0		

信頼1 (Q36-1)

			度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	そう思う	529	40.7	43.4	43.4		
		ややそう思う	599	46.1	49.1	92.5		
		あまりそう思わない	85	6.5	7.0	99.4		
		そう思わない	7	0.5	0.6	100.0		
		合計	1220	93.8	100.0			
		欠損値 999	80	6.2				
		合計			1300	100.0		
元氣S	有効	そう思う	70	36.1	39.8	39.8		
		ややそう思う	96	49.5	54.5	94.3		
		あまりそう思わない	10	5.2	5.7	100.0		
		合計	176	90.7	100.0			
		欠損値 999	18	9.3				
		合計			194	100.0		
		一般	有効	そう思う	387	31.8	33.1	33.1
ややそう思う	646			53.1	55.3	88.4		
あまりそう思わない	112			9.2	9.6	98.0		
そう思わない	23			1.9	2.0	100.0		
合計	1168			96.1	100.0			
欠損値 999	48			3.9				
合計				1216	100.0			

信頼2 (Q36-2)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	275	21.2	22.7	22.7
		ややそう思う	664	51.1	54.7	77.3
		あまりそう思わない	247	19.0	20.3	97.7
		そう思わない	28	2.2	2.3	100.0
		合計	1214	93.4	100.0	
		欠損値 999	86	6.6		
		合計			1300	100.0
元氣S	有効	そう思う	45	23.2	28.0	28.0
		ややそう思う	89	45.9	51.4	77.5
		あまりそう思わない	34	17.5	19.7	97.1
		そう思わない	5	2.6	2.9	100.0
		合計	173	89.2	100.0	
		欠損値 999	21	10.8		
		合計			194	100.0
一般	有効	そう思う	202	16.6	17.5	17.5
		ややそう思う	592	48.7	51.2	68.7
		あまりそう思わない	306	25.2	26.5	95.2
		そう思わない	56	4.6	4.8	100.0
		合計	1156	95.1	100.0	
		欠損値 999	60	4.9		
		合計			1216	100.0

信頼3 (Q36-3)

			度数	%	有効%	累積%
ボラP	有効	そう思う	321	24.7	26.4	26.4
		ややそう思う	700	53.8	57.6	84.0
		あまりそう思わない	171	13.2	14.1	98.1
		そう思わない	23	1.8	1.9	100.0
		合計	1215	93.5	100.0	
		欠損値 999	85	6.5		
		合計			1300	100.0
元氣S	有効	そう思う	47	24.2	26.6	26.6
		ややそう思う	103	53.1	58.2	84.7
		あまりそう思わない	21	10.8	11.9	96.6
		そう思わない	6	3.1	3.4	100.0
		合計	177	91.2	100.0	
		欠損値 999	17	8.8		
		合計			194	100.0
一般	有効	そう思う	236	19.4	20.2	20.2
		ややそう思う	669	55.0	57.3	77.5
		あまりそう思わない	223	18.3	19.1	96.7
		そう思わない	39	3.2	3.3	100.0
		合計	1167	96.0	100.0	
		欠損値 999	49	4.0		
		合計			1216	100.0

信濃4町内 (Q36-4)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	230	17.7	19.1	19.1	
		722	55.5	59.8	78.9	
		224	17.2	18.6	97.4	
		31	2.4	2.6	100.0	
		合計	1207	92.8	100.0	
		999	93	7.2		
元気S	有効	43	22.2	24.0	24.0	
		112	57.7	62.6	86.6	
		23	11.9	12.8	99.4	
		1	0.5	0.6	100.0	
		合計	179	92.3	100.0	
		999	15	7.7		
一般	有効	187	15.4	16.1	16.1	
		693	57.0	59.8	75.9	
		236	19.4	20.4	96.3	
		43	3.5	3.7	100.0	
		合計	1159	95.3	100.0	
		999	57	4.7		
合計		1216	100.0			

考え1:地域活動は義務 (Q37-1)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	279	21.5	23.5	23.5	
		614	47.2	51.7	75.2	
		235	18.1	19.8	94.9	
		60	4.6	5.1	100.0	
		合計	1188	91.4	100.0	
		999	112	8.6		
元気S	有効	42	21.6	24.3	24.3	
		92	47.4	53.2	77.5	
		28	14.4	16.2	93.6	
		11	5.7	6.4	100.0	
		合計	173	89.2	100.0	
		999	21	10.8		
一般	有効	218	17.9	19.0	19.0	
		559	48.0	48.8	67.9	
		294	24.2	25.7	93.5	
		74	6.1	6.5	100.0	
		合計	1145	94.2	100.0	
		999	71	5.8		
合計		1216	100.0			

考え2:高齢者より子育て (Q37-2)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	153	11.8	13.1	13.1	
		514	39.5	44.0	57.2	
		408	31.4	35.0	92.1	
		92	7.1	7.9	100.0	
		合計	1167	89.8	100.0	
		999	133	10.2		
元気S	有効	28	13.4	15.3	15.3	
		86	44.3	50.6	65.9	
		48	24.7	28.2	94.1	
		10	5.2	5.9	100.0	
		合計	170	87.6	100.0	
		999	24	12.4		
一般	有効	161	13.2	14.2	14.2	
		507	41.7	44.7	59.0	
		373	30.7	32.9	91.9	
		92	7.6	8.1	100.0	
		合計	1133	93.2	100.0	
		999	83	6.8		
合計		1216	100.0			

寛容性1 (Q37-3)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	194	14.9	16.5	16.5	
		550	42.3	46.6	63.1	
		357	27.5	30.3	93.4	
		78	6.0	6.8	100.0	
		合計	1179	90.7	100.0	
		999	121	9.3		
元気S	有効	32	16.5	18.8	18.8	
		84	43.3	49.4	68.2	
		44	22.7	25.9	94.1	
		10	5.2	5.9	100.0	
		合計	170	87.6	100.0	
		999	24	12.4		
一般	有効	142	11.7	12.6	12.6	
		437	35.9	38.8	51.5	
		431	35.4	38.3	89.8	
		115	9.5	10.2	100.0	
		合計	1125	92.5	100.0	
		999	91	7.5		
合計		1216	100.0			

寛容性2 (Q37-4)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	209	16.1	17.4	17.4	
		620	47.7	51.6	69.0	
		301	23.2	25.1	94.1	
		71	5.5	5.9	100.0	
		合計	1201	92.4	100.0	
		999	99	7.6		
元気S	有効	37	19.1	20.9	20.9	
		93	47.9	52.5	73.4	
		41	21.1	23.2	96.6	
		6	3.1	3.4	100.0	
		合計	177	91.2	100.0	
		999	17	8.8		
一般	有効	155	12.7	13.5	13.5	
		530	43.6	46.2	59.8	
		367	30.2	32.0	91.8	
		94	7.7	8.2	100.0	
		合計	1146	94.2	100.0	
		999	70	5.8		
合計		1216	100.0			

寛容性3 (Q37-5)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	375	28.8	31.2	31.2	
		615	47.3	51.2	82.4	
		183	14.1	15.2	97.7	
		28	2.2	2.3	100.0	
		合計	1201	92.4	100.0	
		999	99	7.6		
元気S	有効	59	30.4	33.5	33.5	
		92	47.4	52.3	85.8	
		21	10.8	11.9	97.7	
		4	2.1	2.3	100.0	
		合計	176	90.7	100.0	
		999	18	9.3		
一般	有効	327	26.9	28.0	28.0	
		590	48.5	50.6	78.6	
		206	16.9	17.7	96.3	
		43	3.5	3.7	100.0	
		合計	1166	95.9	100.0	
		999	50	4.1		
合計		1216	100.0			

考え6:最後まで自宅で過ごしたい (Q37-6)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	618	47.5	50.8	50.8	
		316	24.3	28.0	76.7	
		199	15.3	16.4	93.1	
		84	6.5	6.9	100.0	
		合計	1217	93.6	100.0	
		999	83	6.4		
元気S	有効	95	49.0	51.9	51.9	
		43	22.2	23.5	75.4	
		32	16.5	17.5	92.9	
		13	6.7	7.1	100.0	
		合計	183	94.3	100.0	
		999	11	5.7		
一般	有効	561	46.1	48.0	48.0	
		345	28.4	29.5	77.6	
		190	15.6	16.3	93.8	
		72	5.9	6.2	100.0	
		合計	1168	96.1	100.0	
		999	48	3.9		
合計		1216	100.0			

被援助1:身近に一緒に出来る人が欲しい (Q38-1)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	386	29.7	32.4	32.4	
		425	32.7	35.7	68.1	
		262	20.2	22.0	90.1	
		67	5.2	5.6	95.7	
		合計	1191	91.6	100.0	
		999	109	8.4		
元気S	有効	56	28.9	32.6	32.6	
		47	24.2	27.3	59.9	
		52	26.8	30.2	90.1	
		9	4.6	5.2	95.3	
		合計	172	88.7	100.0	
		999	22	11.3		
一般	有効	306	25.2	28.7	28.7	
		403	33.1	35.1	61.8	
		298	24.5	28.0	87.7	
		69	5.7	6.0	93.7	
		合計	1148	94.4	100.0	
		999	68	5.6		
合計		1216	100.0			

被援助2: 行政から助言や援助が欲しい (Q38-2)

		度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	あてはまる	328	25.2	27.5	27.5	
		ややあてはまる	422	32.5	35.4	63.0	
		どちらでもない	320	24.6	26.9	69.8	
		あまりあてはまらない	68	5.2	5.7	95.5	
		あてはまらない	53	4.1	4.5	100.0	
	合計	1191	91.6	100.0			
	欠損値	999	109	8.4			
	合計	1300	100.0				
	元氣S	有効	あてはまる	49	25.3	28.0	28.0
			ややあてはまる	51	26.3	29.1	57.1
どちらでもない			53	27.3	30.3	67.4	
あまりあてはまらない			13	6.7	7.4	94.9	
あてはまらない			9	4.6	5.1	100.0	
合計		175	90.2	100.0			
欠損値		999	19	9.8			
合計		194	100.0				
一般		有効	あてはまる	243	20.0	21.1	21.1
			ややあてはまる	386	31.7	33.6	54.7
	どちらでもない		141	11.6	12.1	67.1	
	あまりあてはまらない		81	6.7	6.9	90.0	
	あてはまらない		1168	96.1	100.0		
	合計	48	3.9				
	欠損値	999	48	3.9			
	合計	1216	100.0				

被援助3: 身近からの援助に抵抗がある (Q38-3)

		度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	あてはまる	63	4.8	5.3	5.3	
		ややあてはまる	228	17.5	19.1	24.4	
		どちらでもない	519	39.9	43.4	67.8	
		あまりあてはまらない	244	18.8	20.4	88.2	
		あてはまらない	141	10.8	11.8	100.0	
	合計	1195	91.9	100.0			
	欠損値	999	105	8.1			
	合計	1300	100.0				
	元氣S	有効	あてはまる	5	2.6	2.9	2.9
			ややあてはまる	34	17.5	19.7	22.5
どちらでもない			75	38.7	43.4	65.9	
あまりあてはまらない			41	21.1	23.7	89.6	
あてはまらない			18	9.3	10.4	100.0	
合計		173	89.2	100.0			
欠損値		999	21	10.8			
合計		194	100.0				
一般		有効	あてはまる	70	5.8	6.1	6.1
			ややあてはまる	200	16.4	17.3	23.4
	どちらでもない		523	43.0	45.4	68.8	
	あまりあてはまらない		213	17.5	18.5	87.3	
	あてはまらない		147	12.1	12.7	100.0	
	合計	1153	94.8	100.0			
	欠損値	999	63	5.2			
	合計	1216	100.0				

被援助4: 公的機関からの援助に抵抗がある (Q38-4)

		度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	あてはまる	73	5.6	6.2	6.2	
		ややあてはまる	152	11.7	12.9	19.1	
		どちらでもない	496	38.2	42.0	61.1	
		あまりあてはまらない	265	20.4	22.5	83.6	
		あてはまらない	194	14.9	16.4	100.0	
	合計	1180	90.8	100.0			
	欠損値	999	120	9.2			
	合計	1300	100.0				
	元氣S	有効	あてはまる	5	2.6	2.9	2.9
			ややあてはまる	23	11.9	13.3	16.2
どちらでもない			78	40.2	45.1	61.3	
あまりあてはまらない			39	20.1	22.5	83.8	
あてはまらない			28	14.4	16.2	100.0	
合計		173	89.2	100.0			
欠損値		999	21	10.8			
合計		194	100.0				
一般		有効	あてはまる	60	4.9	5.2	5.2
			ややあてはまる	151	12.4	13.2	18.4
	どちらでもない		525	43.2	45.7	64.1	
	あまりあてはまらない		227	18.7	19.8	83.9	
	あてはまらない		185	15.2	16.1	100.0	
	合計	1148	94.4	100.0			
	欠損値	999	68	5.6			
	合計	1216	100.0				

被援助5: 人に相談することはない (Q38-5)

		度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	あてはまる	222	17.1	18.4	18.4	
		ややあてはまる	344	26.5	26.5	46.8	
		どちらでもない	379	29.2	31.3	78.2	
		あまりあてはまらない	160	12.3	13.2	91.4	
		あてはまらない	104	8.0	8.6	100.0	
	合計	1209	93.0	100.0			
	欠損値	999	91	7.0			
	合計	1300	100.0				
	元氣S	有効	あてはまる	28	14.4	15.7	15.7
			ややあてはまる	56	28.9	31.5	47.2
どちらでもない			52	26.8	29.2	76.4	
あまりあてはまらない			22	11.3	12.4	88.8	
あてはまらない			20	10.3	11.2	100.0	
合計		178	91.8	100.0			
欠損値		999	16	8.2			
合計		194	100.0				
一般		有効	あてはまる	227	18.7	19.4	19.4
			ややあてはまる	367	30.2	31.4	50.9
	どちらでもない		352	28.9	30.1	81.0	
	あまりあてはまらない		141	11.6	12.1	93.1	
	あてはまらない		81	6.7	6.9	100.0	
	合計	1168	96.1	100.0			
	欠損値	999	48	3.9			
	合計	1216	100.0				

婚姻状況 (Q42)

		度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	結婚している	746	57.4	60.7	60.7	
		死別した	411	31.6	33.4	94.1	
		離別した	36	2.8	2.9	97.0	
		一度も結婚していない	37	2.8	3.0	100.0	
		合計	1230	94.6	100.0		
	欠損値	999	70	5.4			
	合計	1300	100.0				
	元氣S	有効	結婚している	107	55.2	59.8	59.8
			死別した	67	34.5	37.4	97.2
			離別した	4	2.1	2.2	99.4
一度も結婚していない			1	0.5	0.6	100.0	
合計			179	92.3	100.0		
欠損値		999	15	7.7			
合計		194	100.0				
一般		有効	結婚している	809	66.5	69.6	69.6
			死別した	259	21.3	22.3	91.8
			離別した	50	4.1	4.3	96.1
	一度も結婚していない		45	3.7	3.9	100.0	
	合計		1163	95.6	100.0		
	欠損値	999	53	4.4			
	合計	1216	100.0				

同居者数 (Q43-a)

		度数	%	有効%	累積%	
ボラP	有効	1	324	24.9	26.5	26.5
		2	595	45.8	48.6	75.1
		3	176	13.5	14.4	89.5
		4	52	4.0	4.2	93.7
		5	44	3.4	3.6	97.3
		6	28	2.2	2.3	99.6
		7	5	0.4	0.4	100.0
	合計	1224	94.2	100.0		
	欠損値	999	76	5.8		
	合計	1300	100.0			
元氣S	有効	1	39	20.1	21.9	21.9
		2	90	46.4	50.6	72.5
		3	32	16.5	18.0	90.4
		4	5	2.6	2.8	93.3
		5	8	4.1	4.5	97.8
		6	4	2.1	2.2	100.0
		合計	178	91.8	100.0	
	欠損値	999	16	8.2		
	合計	194	100.0			
	一般	有効	1	245	20.1	21.0
2			563	46.3	48.3	69.4
3			221	18.2	19.0	88.3
4			59	4.9	5.1	93.4
5			43	3.5	3.7	97.1
6			21	1.7	1.8	98.9
7			11	0.9	0.9	99.8
8		2	0.2	0.2	100.0	
合計		1165	95.8	100.0		
欠損値		999	51	4.2		
合計	1216	100.0				

子どもの人数 (Q43-b)

		度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	0	68	5.2	6.1	6.1	
		1	169	13.0	15.2	21.3	
		2	649	49.9	58.4	79.7	
		3	200	15.4	18.0	97.7	
		4	23	1.8	2.1	99.7	
		5	1	0.1	0.1	99.8	
		6	1	0.1	0.1	99.9	
		11	1	0.1	0.1	100.0	
		合計	1112	85.5	100.0		
		欠損値	999	188	14.5		
合計	1300	100.0					
元氣S	有効	0	11	5.7	6.7	6.7	
		1	24	12.4	14.5	21.2	
		2	89	45.9	53.9	75.2	
		3	38	19.6	23.0	98.2	
		4	3	1.5	1.8	100.0	
		合計	165	85.1	100.0		
		欠損値	999	29	14.9		
	合計	194	100.0				
	一般	有効	0	78	6.4	7.5	7.5
			1	201	16.5	19.3	26.8
2			591	48.6	56.8	83.6	
3			151	12.4	14.5	98.1	
4			16	1.3	1.5	99.6	
5			2	0.2	0.2	99.8	
6			1	0.1	0.1	99.9	
7		1	0.1	0.1	100.0		
合計		1041	85.6	100.0			
欠損値		999	175	14.4			
合計	1216	100.0					

子どもの住まいの場所 (Q44)

		度数	%	有効%	累積%			
ボラP	有効	同居、同じ敷地	330	25.4	32.4	32.4		
		同じ区内	168	12.9	16.5	48.9		
		区は違うが横浜市内	232	17.8	22.8	71.7		
		横浜市以外の神奈川県	133	10.2	13.1	84.8		
		関東甲信越	124	9.5	12.2	97.0		
		それ以外	31	2.4	3.0	100.0		
		合計	1018	78.3	100.0			
		欠損値	888	68	5.2			
			999	66	5.1			
			システム欠損値	148	11.4			
			合計	282	21.7			
			合計	1300	100.0			
		元気S	有効	同居、同じ敷地	50	25.8	33.3	33.3
				同じ区内	32	16.5	21.3	54.7
				区は違うが横浜市内	43	22.2	28.7	83.3
横浜市以外の神奈川県	12			6.2	8.0	91.3		
関東甲信越	9			4.6	6.0	97.3		
それ以外	4			2.1	2.7	100.0		
合計	150			77.3	100.0			
欠損値	888			11	5.7			
	999			9	4.6			
	システム欠損値			24	12.4			
	合計			44	22.7			
	合計			194	100.0			
一般	有効			同居、同じ敷地	341	28.0	35.7	35.7
				同じ区内	164	13.5	17.2	52.8
				区は違うが横浜市内	222	18.3	23.2	76.0
		横浜市以外の神奈川県	107	8.8	11.2	87.2		
		関東甲信越	88	7.2	9.2	96.4		
		それ以外	34	2.8	3.6	100.0		
		合計	956	78.6	100.0			
		欠損値	888	78	6.4			
			999	154	12.7			
			システム欠損値	28	2.3			
			合計	260	21.4			
			合計	1216	100.0			

住まいの種類 (Q45)

		度数	%	有効%	累積%			
ボラP	有効	持ち家戸建て	832	64.0	68.4	68.4		
		持ち家集合住宅	276	21.2	22.7	91.0		
		賃貸戸建て	6	0.5	0.5	91.5		
		賃貸集合住宅	98	7.5	8.1	99.6		
		その他	5	0.4	0.4	100.0		
		合計	1217	93.6	100.0			
		欠損値	999	83	6.4			
			合計	1300	100.0			
			合計	1300	100.0			
		元気S	有効	持ち家戸建て	146	75.3	81.1	81.1
				持ち家集合住宅	22	11.3	12.2	93.3
				賃貸集合住宅	10	5.2	5.6	98.9
				その他	2	1.0	1.1	100.0
				合計	180	92.8	100.0	
				欠損値	999	14	7.2	
合計	194				100.0			
合計	194				100.0			
一般	有効			持ち家戸建て	715	58.8	61.5	61.5
				持ち家集合住宅	313	25.7	26.9	88.4
				賃貸戸建て	15	1.2	1.3	89.7
				賃貸集合住宅	118	9.5	10.0	99.7
				その他	4	0.3	0.3	100.0
				合計	1163	95.6	100.0	
				欠損値	999	53	4.4	
		合計	1216		100.0			
		合計	1216		100.0			

世帯収入 (Q46)

		度数	%	有効%	累積%			
ボラP	有効	100万円未満	43	3.3	3.9	3.9		
		100～199万円	188	14.5	16.9	20.7		
		200～299万円	285	21.9	25.6	46.3		
		300～399万円	269	20.7	24.1	70.4		
		400～599万円	176	13.5	15.8	86.2		
		600～799万円	76	5.8	6.8	93.0		
		800～999万円	40	3.1	3.6	96.6		
		1000～1499万円	24	1.8	2.2	98.7		
		1500万円以上	14	1.1	1.3	100.0		
		合計	1115	85.8	100.0			
		欠損値	999	185	14.2			
			合計	1300	100.0			
			合計	1300	100.0			
		元気S	有効	100万円未満	4	2.1	2.6	2.6
				100～199万円	19	9.8	12.3	14.8
200～299万円	31			16.0	20.0	34.8		
300～399万円	43			22.2	27.7	62.6		
400～599万円	38			19.6	24.5	87.1		
600～799万円	8			4.1	5.2	92.3		
800～999万円	8			4.1	5.2	97.4		
1000～1499万円	2			1.0	1.3	98.7		
1500万円以上	2			1.0	1.3	100.0		
合計	155			78.9	100.0			
欠損値	999			39	20.1			
	合計			194	100.0			
	合計			194	100.0			
一般	有効			100万円未満	39	3.2	3.7	3.7
				100～199万円	138	11.3	13.2	16.9
		200～299万円	205	16.9	19.6	36.5		
		300～399万円	252	20.7	24.1	60.6		
		400～599万円	220	18.1	21.0	81.6		
		600～799万円	97	8.0	9.3	90.8		
		800～999万円	47	3.9	4.5	95.3		
		1000～1499万円	31	2.5	3.0	98.3		
		1500万円以上	18	1.5	1.7	100.0		
		合計	1047	86.1	100.0			
		欠損値	999	169	13.9			
			合計	1216	100.0			
			合計	1216	100.0			

就労状況2019 (Q47)

		度数	%	有効%	累積%			
ボラP	有効	現在仕事をしている	76	5.8	6.5	6.5		
		休職中	4	0.3	0.3	6.9		
		過去に仕事をしたことがあり、今は仕事を探している	12	0.9	1.0	7.9		
		過去に仕事をしていて、今は引退している	1031	79.3	88.6	96.5		
		仕事をしたことは、人生で一度もない	41	3.2	3.5	100.0		
		合計	1164	89.5	100.0			
		欠損値	999	136	10.5			
			合計	1300	100.0			
			合計	1300	100.0			
		元気S	有効	現在仕事をしている	10	5.2	5.9	5.9
				過去に仕事をしたことがあり、今は仕事を探している	2	1.0	1.2	7.1
				過去に仕事をしていて、今は引退している	150	77.3	88.2	95.3
				仕事をしたことは、人生で一度もない	8	4.1	4.7	100.0
				合計	170	87.6	100.0	
				欠損値	999	24	12.4	
合計	194				100.0			
合計	194				100.0			
一般	有効			現在仕事をしている	218	17.9	19.2	19.2
				休職中	2	0.2	0.2	19.3
				過去に仕事をしたことがあり、今は仕事を探している	15	1.2	1.3	20.7
				過去に仕事をしていて、今は引退している	871	71.6	76.5	97.2
				仕事をしたことは、人生で一度もない	32	2.6	2.8	100.0
				合計	1138	93.6	100.0	
				欠損値	999	78	6.4	
		合計	1216		100.0			
		合計	1216		100.0			

現職:労働日数 (Q48)

		度数	%	有効%	累積%			
ボラP	有効	それ以下	6	0.5	7.9	7.9		
		1日	16	1.2	21.1	28.9		
		2日	16	1.2	21.1	50.0		
		3日	17	1.3	22.4	72.4		
		4日	9	0.7	11.8	84.2		
		5日	10	0.8	13.2	97.4		
		毎日	2	0.2	2.6	100.0		
		合計	76	5.8	100.0			
		欠損値	999	6	0.5			
			システム欠損値	1218	93.7			
			合計	1224	94.2			
		合計	合計	1300	100.0			
			合計	1300	100.0			
			合計	1300	100.0			
		元気S	有効	それ以下	1	0.5	10.0	10.0
1日	2			1.0	20.0	30.0		
2日	1			0.5	10.0	40.0		
4日	2			1.0	20.0	60.0		
5日	2			1.0	20.0	80.0		
毎日	2			1.0	20.0	100.0		
合計	10			5.2	100.0			
欠損値	システム欠損値			184	94.8			
	合計			194	100.0			
	合計			194	100.0			
一般	有効			それ以下	10	0.8	4.7	4.7
				1日	17	1.4	8.0	12.7
				2日	36	3.0	16.9	29.6
				3日	42	3.5	19.7	49.3
				4日	31	2.5	14.6	63.8
		5日	49	4.0	23.0	86.9		
		毎日	28	2.3	13.1	100.0		
		合計	213	17.5	100.0			
		欠損値	999	7	0.6			
			システム欠損値	996	81.9			
			合計	1003	82.5			
		合計	合計	1216	100.0			
			合計	1216	100.0			
			合計	1216	100.0			

現職:従業員上の地位 (Q49)

		度数	%	有効%	累積%			
ボラP	有効	経営者・役員	4	0.3	5.5	5.5		
		派遣社員・嘱託社員・パート・アルバイト	43	3.3	58.9	64.4		
		自営業主・自由業者	13	1.0	17.8	82.2		
		その他	13	1.0	17.8	100.0		
		合計	73	5.6	100.0			
		欠損値	999	9	0.7			
			システム欠損値	1218	93.7			
			合計	1227	94.4			
		合計	合計	1300	100.0			
			合計	1300	100.0			
			合計	1300	100.0			
		元気S	有効	経営者・役員	1	0.5	10.0	10.0
				派遣社員・嘱託社員・パート・アルバイト	4	2.1	40.0	50.0
				自営業主・自由業者	4	2.1	40.0	90.0
				その他	1	0.5	10.0	100.0
合計	10			5.2	100.0			
欠損値	システム欠損値			184	94.8			
	合計			194	100.0			
	合計			194	100.0			
一般	有効			経営者・役員	27	2.2	12.5	12.5
				正社員・公務員	5	0.4	2.3	14.8
				派遣社員・嘱託社員・パート・アルバイト	106	8.7	49.1	63.9
				自営業主・自由業者	57	4.7	26.4	90.3
				その他	21	1.7	9.7	100.0
				合計	216	17.8	100.0	
				欠損値	999	4	0.3	
		システム欠損値	996		81.9			
		合計	1000		82.2			
		合計	合計	1216	100.0			
			合計	1216	100.0			
			合計	1216	100.0			

現職:職業 (Q50)

		度数	%	有効%	累積%		
ボラP	有効	農林漁業者	2	0.2	2.8	2.8	
		技能・労務・作業系	11	0.8	15.5	18.3	
		販売・サービス系	30	2.3	42.3	60.6	
		事務的職業	2	0.2	2.8	63.4	
		管理的職業	3	0.2	4.2	67.6	
		専門的職業	18	1.4	25.4	93.0	
		その他	5	0.4	7.0	100.0	
		合計	71	5.5	100.0		
	欠損値	999	10	0.8			
		システム欠損値	1219	93.8			
		合計	1229	94.5			
	合計	1300	100.0				
	元気S	有効	技能・労務・作業系	1	0.5	10.0	10.0
販売・サービス系			2	1.0	20.0	30.0	
事務的職業			4	2.1	40.0	70.0	
専門的職業			2	1.0	20.0	90.0	
その他			1	0.5	10.0	100.0	
合計			10	5.2	100.0		
欠損値			999	184	94.8		
			システム欠損値	194	100.0		
		合計	194	100.0			
一般		有効	農林漁業者	12	1.0	5.6	5.6
			技能・労務・作業系	43	3.5	20.2	25.8
			販売・サービス系	76	6.3	35.7	61.5
			事務的職業	22	1.8	10.3	71.8
	管理的職業		11	0.9	5.2	77.0	
	専門的職業		41	3.4	19.2	96.2	
	その他		8	0.7	3.8	100.0	
	合計		213	17.5	100.0		
	欠損値	999	7	0.6			
		システム欠損値	996	81.9			
		合計	1003	82.5			
	合計	1216	100.0				

報告書

調査の種類	年齢(第4波調査時点)	身長	体重	子どもの人数	
ボラP	平均値	79.38	154.059	52.398	1.96
	標準偏差	4.133	7.1785	8.8292	0.888
	度数	1300	1247	1247	1112
元気S	平均値	79.65	153.995	53.070	1.99
	標準偏差	5.576	7.1084	8.3915	0.848
	度数	194	188	188	165
一般	平均値	79.28	158.241	56.149	1.85
	標準偏差	5.257	8.6473	10.2385	0.856
	度数	1216	1194	1194	1041
合計	平均値	78.90	155.954	54.150	1.91
	標準偏差	4.809	8.144	9.553	0.863
	度数	2710	2629	2629	2318

**(3) 「地域での活動と健康に関する調査」
おたより No.1～No.6**

「地域での活動と健康に関する調査」への

(平成25年10月～11月に実施)

ご協力ありがとうございました。

横浜市健康福祉局 介護保険課 高齢在宅支援課

横浜市では、高齢者の方の健康づくり施策や社会参加・生きがいづくり施策をより効果的なものとするため、国際長寿センター（日本）と連携して国庫補助事業「地域での活動と健康に関するアンケート調査」を行いました。

この調査では、多くの皆さまにご回答をいただき、おかげさまで大変貴重な調査結果を得ることができました。

本日、簡単ではありますが、結果報告の一部をお送りします。

「地域での活動と健康に関する調査」は、これからも中期的な観点での調査の実施を企画しております。次回調査においても、ぜひともご協力くださいますようお願いいたします。

2014年3月

【調査主体】

一般財団法人 長寿社会開発センター 国際長寿センター（担当：大上、鹿嶋）

調査についてのお問い合わせ先：03-5470-6767（月～金 10時～17時）

〒105-8446 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル8階

【調査協力】

横浜市健康福祉局介護保険課・高齢在宅支援課

公益社団法人かながわ福祉サービス振興会

「地域での活動と健康に関する調査」

調査目的：高齢者の方がより健康に過ごすための施策の資料とします。

調査期間：平成25年10月～11月

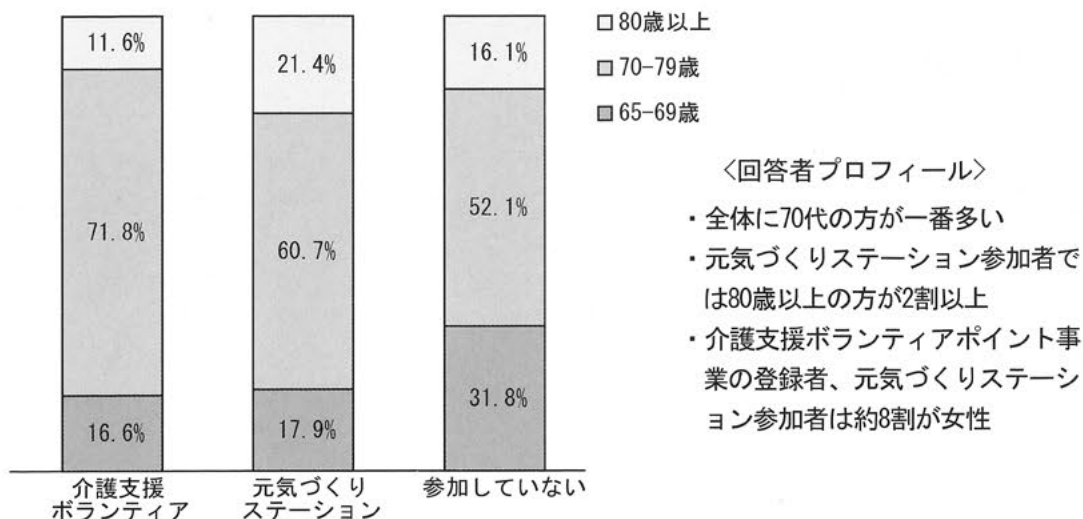
調査対象者と回収数：

65歳以上で横浜市在住の介護支援ボランティアポイント事業の登録者の方、「元気づくりステーション」参加の方、そしてこれらのいずれも参加していない方を対象としています。

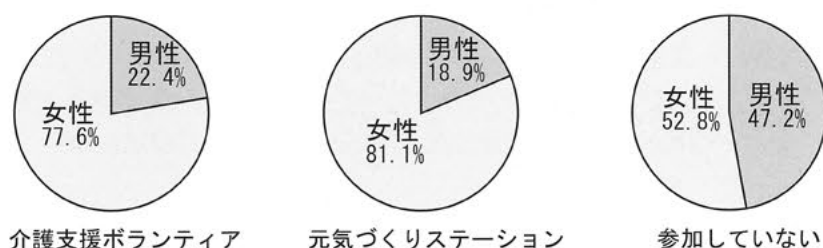
	調査対象者	有効回収数(有効回収率)
■ 介護支援ボランティアポイント事業の登録者の方	1,900人	1,745人 (91.8%)
■ 「元気づくりステーション」参加の方	309人	267人 (86.4%)
■ いずれも参加していない方	2,800人	1,933人 (69.0%)

(今回の調査では通常の調査よりも回収率が非常に高くなっています。多くの皆様のご協力に心より感謝します)

回答者の年齢別割合



回答者の性別割合

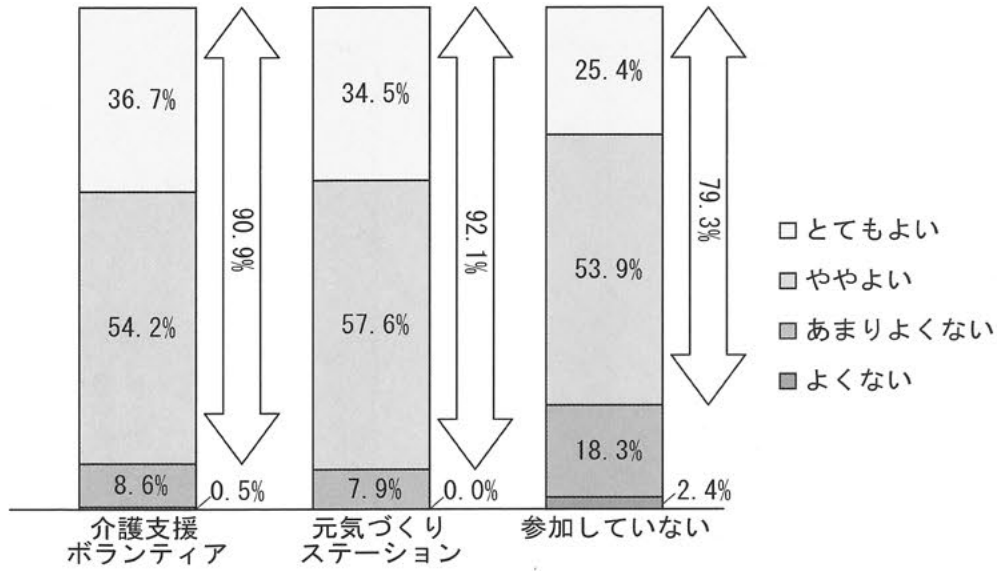


健康状態

健康状態は「よい」「ややよい」と答えた方が一番多い。

特に介護支援ボランティアポイント事業の登録者、元気づくりステーション参加者では9割近くと高くなっています。

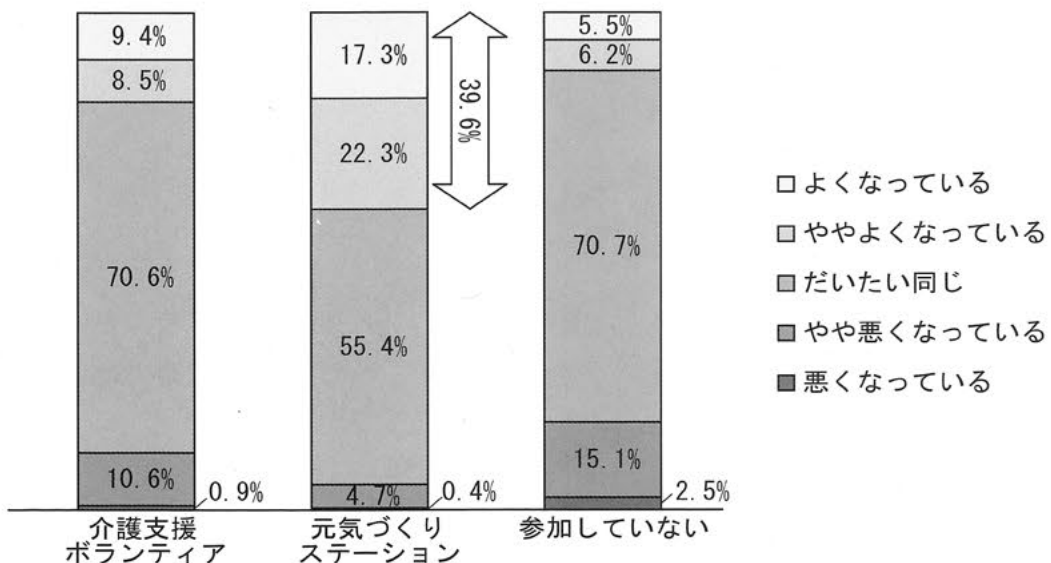
いまの健康状態はいかがですか？



健康状態は「1年前とだいたい同じ」と答えた方が一番多い。

特に元気づくりステーション参加者では「よくなっている」「ややよくなっている」と答えた方の合計は4割近くと高くなっています。

健康状態は1年前より良くなっていますか

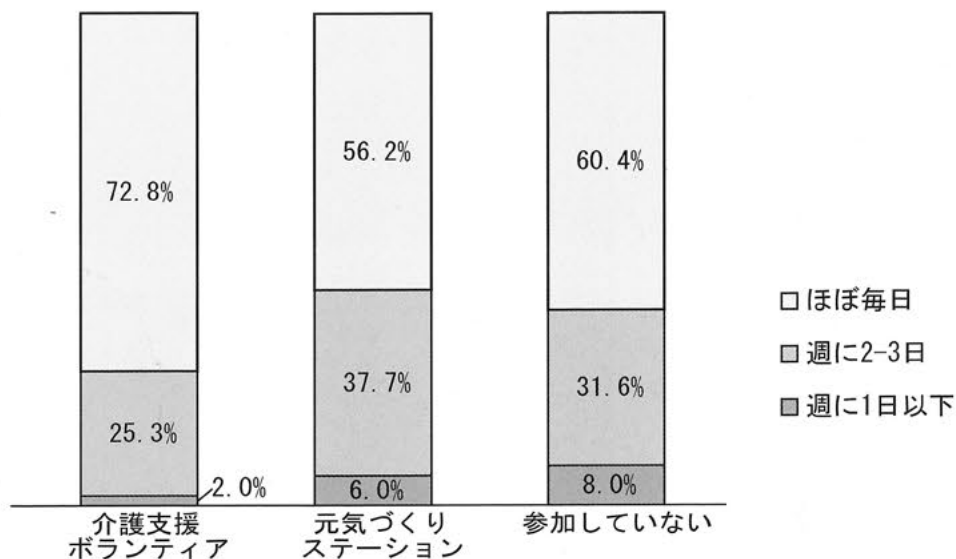


外出頻度、活動への参加

外出頻度は「ほぼ毎日外出する」と答えた方が一番多い。

特に介護支援ボランティアポイント事業の登録者では、7割以上の方が「ほぼ毎日」と答えています。

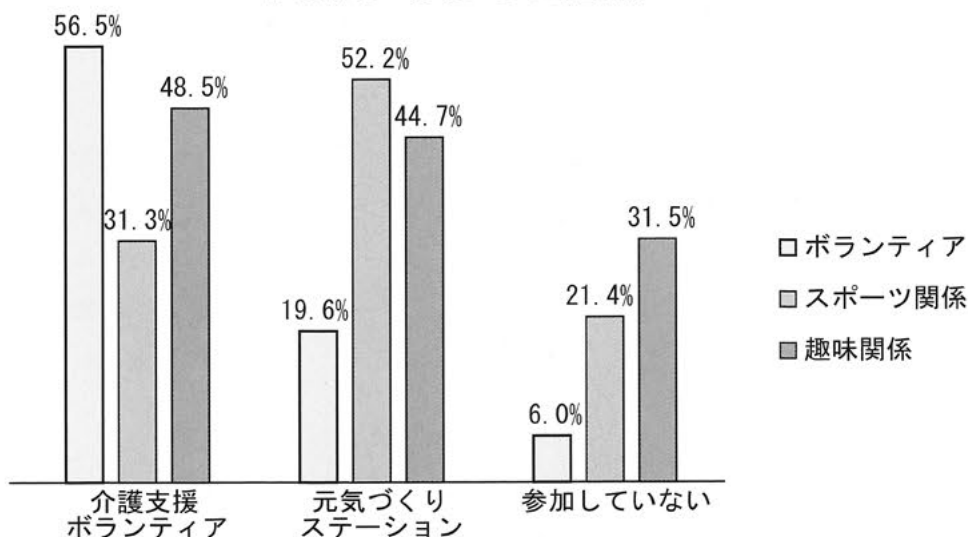
外出頻度



最近（この5年以内）新しく活動に参加し始めた方も多い。

特に介護支援ボランティアポイント事業の登録者、元気づくりステーション参加者の方は5年以内に活動を始めたという方の割合が高くなっています。

5年以内に参加した活動



「地域での活動と健康に関する調査」から

(平成25年10～11月に実施)

わかったことをお知らせします。

横浜市健康福祉局 介護保険課・高齢在宅支援課

横浜市は、高齢者の方の健康づくり施策や社会参加・生きがいづくり施策をより効果的なものとするため、国際長寿センター（日本）と連携して国庫補助事業「地域での活動と健康に関するアンケート調査」を行い、市民のみなさまのご協力により大変貴重な調査結果を得ることができました。

平成26年3月にこの調査の結果報告の一部をお送りしましたが、引き続き第2弾の結果報告をお送りします。

次回の「地域での活動と健康に関する調査」は、本年秋季に実施の予定です。

平成27年2月

【調査主体】

一般財団法人 長寿社会開発センター 国際長寿センター（担当：おおがみ かしま大上、鹿嶋）
調査についてのお問い合わせ先：03-5470-6767（月～金 10時～17時）

【調査協力】

横浜市健康福祉局介護保険課・高齢在宅支援課
公益社団法人かながわ福祉サービス振興会

「地域での活動と健康に関する調査」

調査目的 高齢者の方がより健康に過ごすための施策の資料とします。

調査期間 平成25年10月～11月(次回は平成27年秋に実施予定)

調査対象者と回収数 65歳以上で横浜市在住のよこはまシニアボランティアポイント事業の登録者の方、元気づくりステーション事業参加の方、そしてこれらのいずれも参加していない方を対象としています。

	調査対象者	有効回収数(有効回収率)
よこはまシニアボランティアポイント事業の登録者の方	1,900人	1,745人(91.8%)
元気づくりステーション事業参加の方	309人	267人(86.4%)
いずれも参加していない方	2,800人	1,933人(69.0%)

よこはまシニア

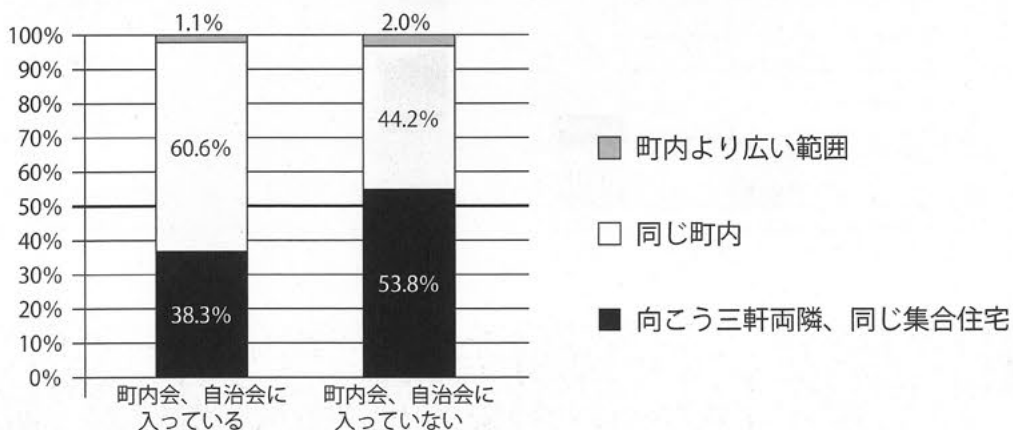
ボランティアポイント事業：元気な高齢者が介護施設などでボランティア活動を行うとポイントがたまり、寄附や換金ができます。かながわ福祉サービス振興会(☎045-671-0296)にお問合わせください。

元気づくりステーション事業：高齢者が主体的・継続的に介護予防に取り組む「グループ活動」です。身近な場所で「楽しく」「仲間と」健康づくりを続けることができます。各区役所の高齢・障害支援課にお問合わせください。

町内会、自治会に入っている方は「ご近所」を広く考えている

町内会、自治会に入っているかどうかで、「ご近所」の範囲が異なるようです。入っている方は「おなじ町内」までの広さが「ご近所」と考える人が多いのですが、入っていない方はより狭い範囲を近所と考えているようです。最近のご近所力の重要さが指摘されています。改めて近所とは何かを思い浮かべてみてはいかがでしょうか。

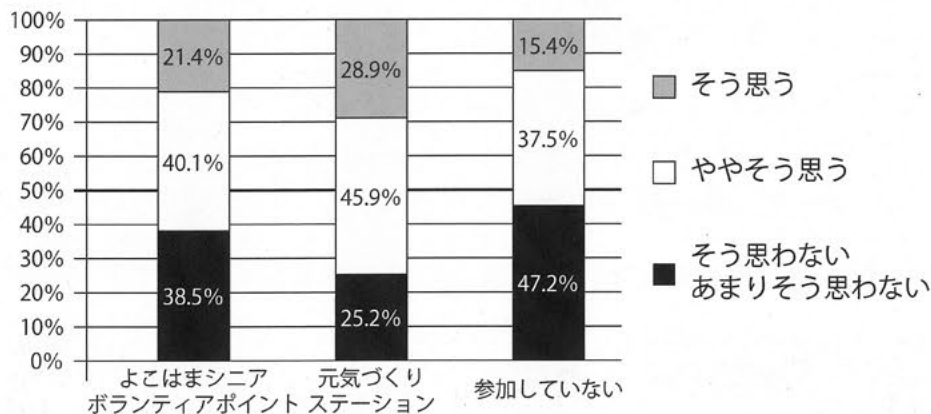
「ご近所」ということばでどの範囲を思い浮かべますか？



よこはまシニアボランティアポイントや元気づくりステーション事業に参加している方は、地域との一体感が強い。

よこはまシニアボランティアポイント、元気づくりステーション事業に参加している方と、参加していない方とで近所への感じ方は違っているのでしょうか？調査結果から見ると、参加している方はより強く一体感を感じているようです。ご近所とのつながりを持つ1つの方法としても、元気づくりステーションを訪れてはいかがでしょうか。

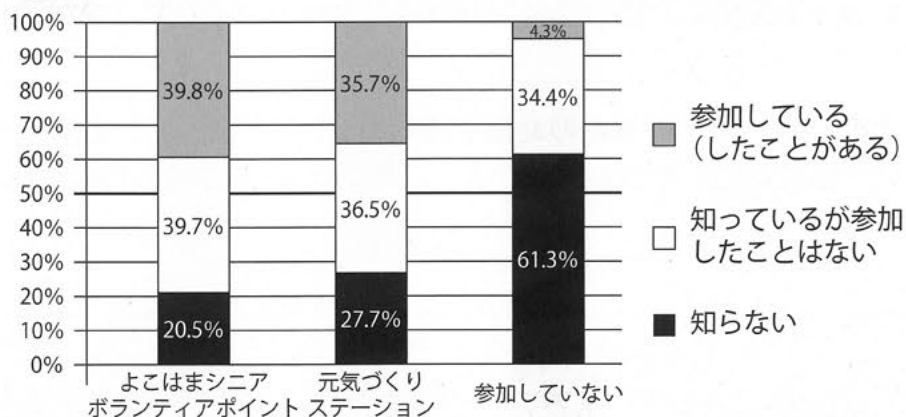
近所の住民はみな一体感があると思いますか？



よこはまシニアボランティアポイントや元気づくりステーション事業に参加している方は、認知症についての関心が高い。

「認知症サポーター」は地域の中で認知症の人をあたたく見守り支援する応援者です。横浜市では、112,985人(平成26年3月末時点)の市民の方が養成講座を受講してサポーターになっています。よこはまシニアボランティアポイント、元気づくりステーションの事業活動に参加していない方は、この講座についてご存じない方が多いようです。養成講座は無料です。ご関心のある方はぜひお問い合わせください。

認知症サポーター養成講座に参加したことがありますか？



「認知症サポーター養成講座」については横浜市健康福祉局高齢在宅支援課 ☎(045-671-4129)にお問い合わせください。

ボランティアをしている方にうかがったお話から

「地域での活動と健康に関する調査」では、アンケート以外に、よこはまシニアボランティアポイント事業登録者の方にお会いして、ボランティアを始めたきっかけや続けるためには何が大切かなどをうかがっています。

ボランティアを始めた理由は、「恩返し」と「誘われて」

【女性は、近親者の介護で通っていた施設に恩返しをしたいという思いから始めた人が多い】

Aさん(女性)「認知症の義理の母の介護で毎日のように施設に通っていたんです。その母が亡くなって、お手伝い、恩返しじゃないけど、そういうことをしたいと思って。」

【男性は、定年退職後に地元の老人会や任意の寄合などへの参加の縁でボランティアを開始】

Bさん(男性)「(老人会のような集まりで)その時にボランティアをされている方がいて、誘われて始めたのがきっかけです。」

ボランティアを続けているのは、「感謝される」と「健康づくり」

【男性女性にかかわらず感謝されるよこびと健康づくりのために続ける人が多い】

Cさん(女性)「今日もあなたの笑顔が見えて良かったわって、こう手を出して握ってくださるとか、そういうことはやっぱり嬉しい。」

Dさん(男性)「ボランティアに来て歌うからには、やっぱり自分でもトレーニングしなきゃいけないって、ボイストレーニングも欠かさずやっているのが一つの元気のもと。」

定年退職した男性からは、現役時代にほとんどつながりの無かった地域で知人が増えたというお話をうかがいました。また、活動を通じて地域ケアプラザ(様々な福祉サービスを提供する横浜市の福祉拠点)などの施設を知ることができたというお話もありました。

他人のために尽くすというイメージを持たれがちなボランティア活動ですが、それだけではなくご自身の生きがいや健康づくり、地域のなかの人々とのつながりをつくるためにも活動が役に立っているようです。

「地域での活動と健康に関する調査」から

(2013年10月、2015年10月に実施)

わかったことをお知らせします。

横浜市健康福祉局 介護保険課・高齢在宅支援課

横浜市は、高齢者の方の健康づくり施策や社会参加・生きがいづくり施策をより効果的なものとするため、国際長寿センター(日本)と連携して国庫補助事業「地域での活動と健康に関するアンケート調査」を行い、市民のみなさまのご協力により大変貴重な調査結果を得ることができました。

この度は、第3弾の結果報告をお送りします。

次回の「地域での活動と健康に関する調査」は、
2017年秋に実施の予定です。

2016年3月

【調査主体】

一般財団法人 長寿社会開発センター 国際長寿センター(担当:大上、鹿^{おおがみ} かしま 鳶)

調査についてのお問い合わせ先:03-5470-6767(月~金 10時~17時)

〒105-8446東京都港区西新橋3-3-1 西新橋TSビル6階

【調査協力】

横浜市健康福祉局介護保険課・高齢在宅支援課
公益社団法人かながわ福祉サービス振興会

「地域での活動と健康に関する調査」

調査目的： 高齢者の方がより健康に過ごすための施策の資料とします。

調査期間： 2013年秋、2015年秋(次回は2017年秋に実施予定)

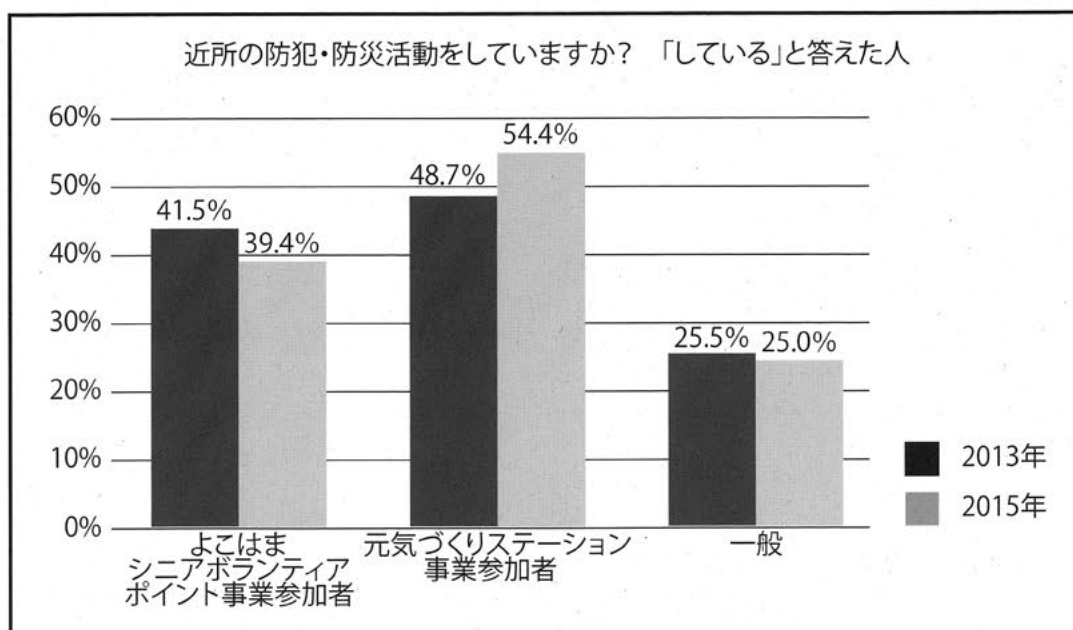
調査対象者と回収数： 65歳以上で横浜市在住のよこはまシニアボランティアポイント事業の登録者の方、元気づくりステーション事業参加の方、そしてこれらのいずれも参加していない方を対象としています。

	調査対象者	有効回収数 (有効回収率)
■ よこはまシニアボランティアポイント事業の登録者の方	1,728人	1,578人(91.4%)
■ 元気づくりステーション事業参加の方	275人	237人(86.2%)
■ いずれも参加していない方(一般)	1,885人	1,537人(81.6%)

- よこはまシニアボランティアポイント事業：
元気な高齢者が介護施設などでボランティア活動を行うとポイントがたまり、寄付や換金ができます。よこはまシニアボランティアポイント事務局(☎045-671-0296)にお問合わせください。
- 元気づくりステーション事業：
高齢者が主体的・継続的に介護予防に取り組む「グループ活動」です。身近な場所で「楽しく」「仲間と」健康づくりを続けることができます。各区役所の高齢・障害支援課にお問合わせください。

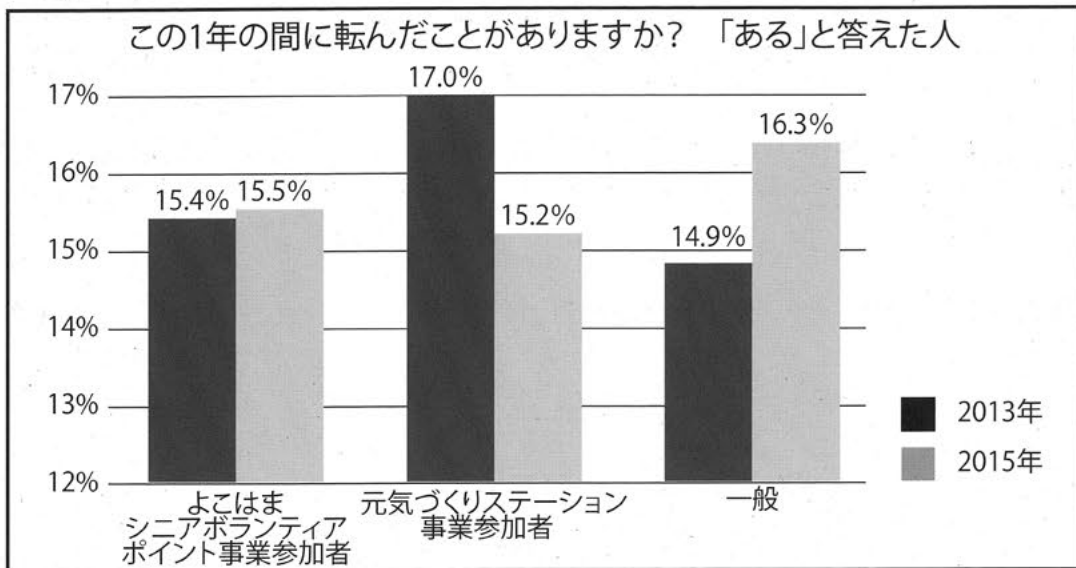
ボランティア、元気づくりを行っている方は「近所の活動」に積極的

ボランティア活動や地域活動と近所の活動の結びつきは強いものがあります。近所の防犯・防災活動を「よくしている」「ときどきしている」と答えた人の比率をみると、一般に比べてよこはまシニアボランティアポイント事業に参加するボランティアの方や、元気づくりステーション事業に参加されている方は参加度が高く、さらに元気づくりステーション事業に参加されている人は年をとってもさらに活動率が高まっています。地域活動の相乗効果が起きています。



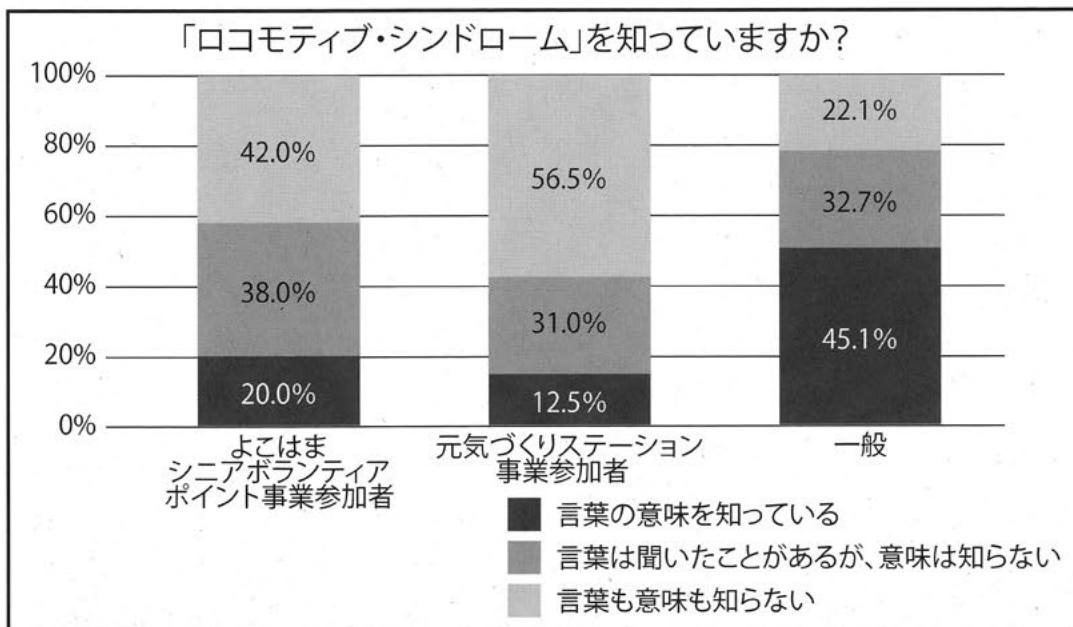
ボランティア活動、元気づくりに参加している方は一般と比べ転倒が増えない

転んだ経験について前回の調査と今回の調査の結果を比べてみると、一般の方は増えています。よこはまシニアボランティアポイント事業に参加するボランティアの方は転ぶ経験にほとんど変わりはなく、元気づくりステーション事業に参加されている方は転ぶ経験が減っています。



ボランティア活動、元気づくりを行っている方は、健康についての知識が豊富

ロコモティブ・シンドロームは、運動器の障害であり、介護リスクをたかめる疾病です。このロコモティブ・シンドロームの知識について2015年の調査で質問したところ、以前からよこはまシニアボランティアポイント事業や、元気づくりステーション事業に参加されている方は、どちらも参加していない一般の方に比べて、この言葉をよくご存じでした。



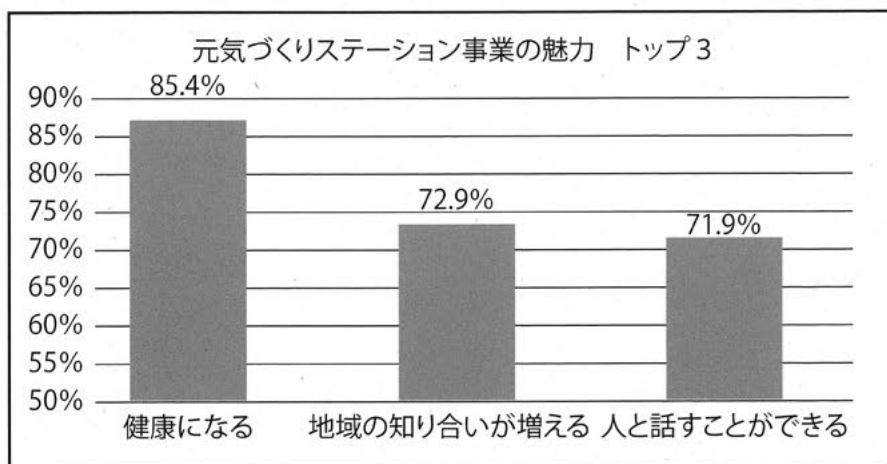
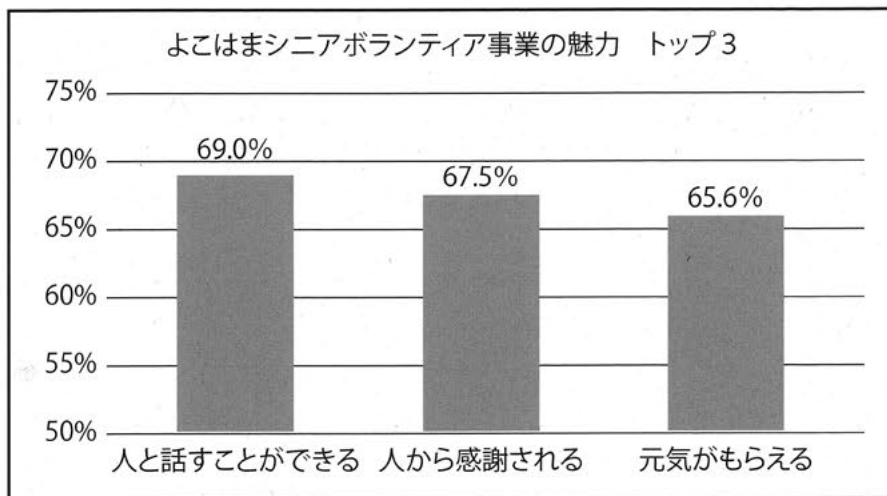
＜ロコモティブ・シンドローム(略称:ロコモ、和名:運動器症候群)とは＞
 筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、あるいは複数に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態をいいます。進行すると介護が必要になるリスクが高くなります。いつまでも自分の足で歩き続けるために、運動器を長持ちさせ、ロコモを予防し、健康寿命を延ばしていくことが大切です。

よこはまシニアボランティア事業、元気づくりステーション事業の魅力とは？

よこはまシニアボランティアポイント事業の活動、元気づくりステーション事業に参加している方はどのような魅力を感じているのでしょうか？調査結果から見ると、両方に共通していることは「人と話すことができる」という答えで示されているように、人とのふれあいが得られるということです。

また、よこはまシニアボランティアポイント事業の活動では、「人から感謝される」「元気がもらえる」も多く、元気づくりステーション事業では「健康になる」が第1位になっています。

よこはまシニアボランティアポイント事業、元気づくりステーション事業の魅力は何ですか？



「よこはまシニアボランティアポイント」に参加しませんか♪

介護施設、地域ケアプラザ、病院、子育て支援、障害者支援拠点でのボランティア活動を行った場合にポイントがたまり、ポイントに応じて、寄付・換金できる仕組みです。

まずは、登録研修会にご参加ください。(研修会は月2回程度、開催)

《登録研修会の申込み先》

よこはまシニアボランティアポイント事務局《TEL》045-671-0296



「地域での活動と健康に関する調査」から

(第1回 2013年10月、第2回2015年10月。第3回は本年10月に実施予定)

わかったことをお知らせします。

横浜市健康福祉局 介護保険課 高齢在宅支援課

横浜市は、高齢者の方の健康づくり施策や社会参加・生きがいづくり施策をより効果的なものとするため、国際長寿センター（日本）と連携して国庫補助事業「地域での活動と健康に関するアンケート調査」を行い、市民のみなさまのご協力により大変貴重な調査結果を得ることができました。

2014年3月、2015年2月、2016年3月にこの調査の結果報告の一部をお送りしましたが、引き続き第4弾の結果報告をお送りします。

次回の「地域での活動と健康に関する調査」は、本年の10月に実施の予定です。ぜひともご協力くださいますようお願いいたします。

2017年9月

【調査主体】

一般財団法人 長寿社会開発センター 国際長寿センター（担当：大上、鹿嶋）

調査についてのお問い合わせ先：03-5470-6767（月～金 10時～17時）

〒105-8446東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル6階

【調査協力】

横浜市健康福祉局介護保険課・高齢在宅支援課

公益社団法人かながわ福祉サービス振興会

「地域での活動と健康に関する調査」

調査目的： 高齢者の方がより健康に過ごすための施策の資料とします。

調査期間： 2013年秋、2015年秋（次回は2017年秋に実施予定）

調査対象者と回収数：

65歳以上で横浜市在住のよこはまシニアボランティアポイント事業の登録者の方、元気づくりステーション事業参加の方、そしてこれらのいずれも参加していない方を対象としています。

	調査対象者	有効回収数(有効回収率)
■ よこはまシニアボランティアポイント事業の登録者の方	1,728人	1,583人 (91.7%)
■ 元気づくりステーション事業参加の方	275人	242人 (80.0%)
■ いずれも参加していない方（一般）	1,885人	1,539人 (81.7%)

● よこはまシニアボランティアポイント事業：

元気な高齢者が介護施設などでボランティア活動を行うとポイントがたまり、寄付や換金ができます。かながわ福祉サービス振興会(☎045-671-0296)にお問合わせください。

● 元気づくりステーション事業：

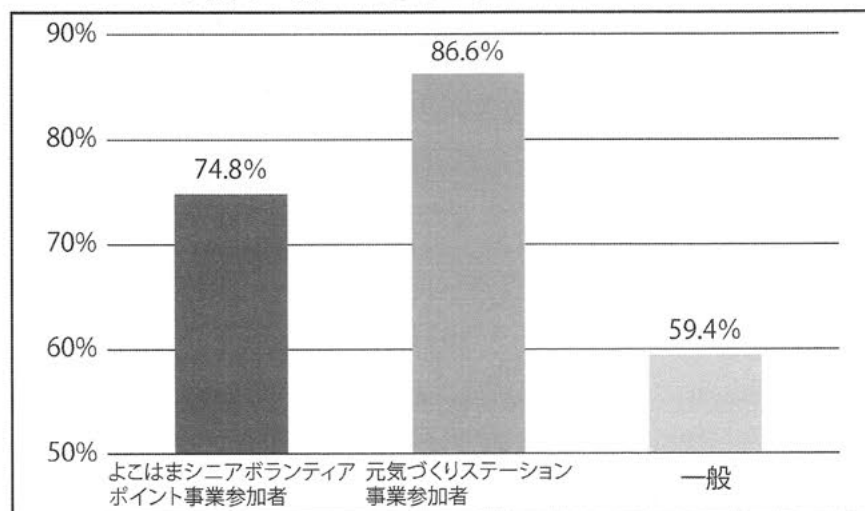
高齢者が主体的・継続的に介護予防に取り組む「グループ活動」です。身近な場所で「楽しく」「仲間と」健康づくりを続けることができます。各区役所の高齢・障害支援課にお問合わせください。

ボランティア、元気づくりを行っている方は「新しい活動」にも積極的

ボランティア活動や地域活動をしている方はチャレンジ精神が旺盛です。

2015年度の調査で、この2年以内に新しい活動を始めたと答えた方の割合です。一般に比べてよこはまシニアボランティアポイント事業に参加するボランティアの方や、元気づくりステーション事業に参加されている方は新しい活動にチャレンジする意欲を持っています。

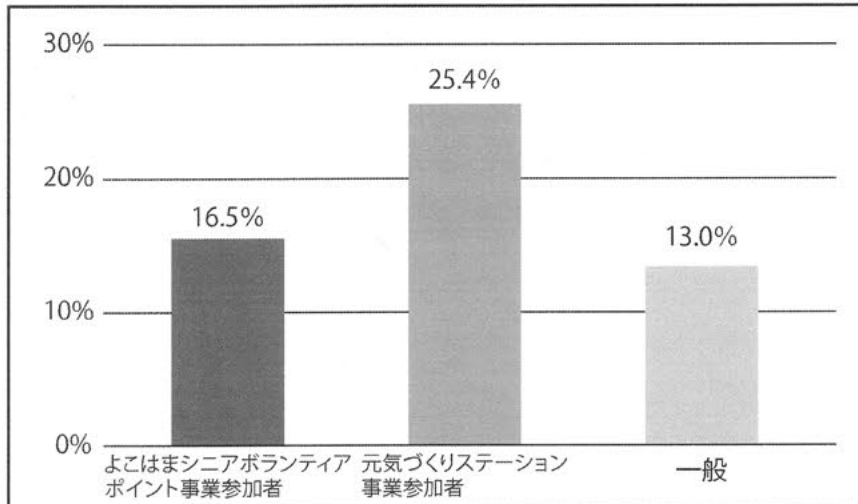
「この2年以内に新しい活動に参加し始めた」と答えた人



ボランティア活動、元気づくりに参加している方は、比較的多く健康状態がよくなっていると回答

「現在の健康状態は1年前よりもよくなっていると思いますか」という質問に、「よくなっている」「ややよくなっている」と答えた方の合計です。2015年度の調査では、一般の方に比べて、よこはまシニアボランティアポイント事業に参加するボランティアの方や、元気づくりステーション事業に参加されている方はよくなっていると答えた割合が多くなっています。

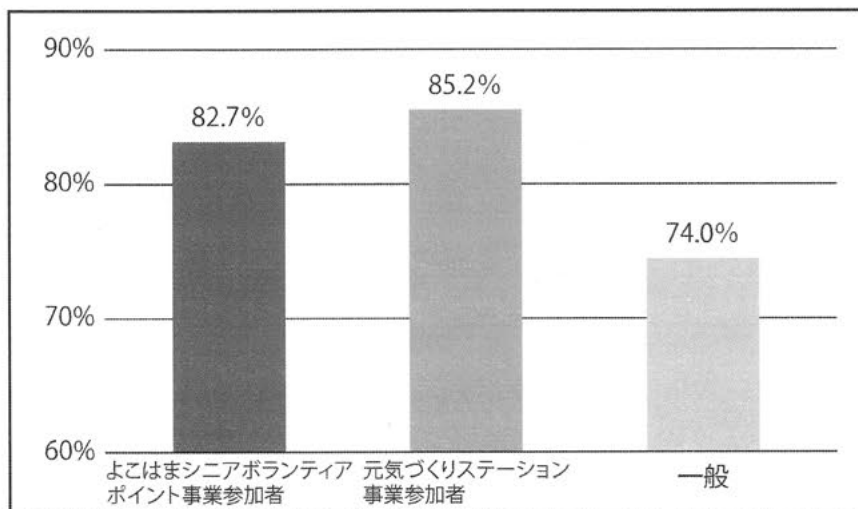
健康状態は1年前より「よくなっている」と「ややよくなっている」の合計



ボランティア活動、元気づくりを行っている方は、外出回数はあまり減らない

「昨年と比べて外出の回数は減っていますか」という質問に「いいえ(減っていない)」と答えた方の割合です。2015年度の調査では、一般の方に比べて、よこはまシニアボランティアポイント事業に参加するボランティアの方や、元気づくりステーション事業に参加されている方の外出回数はあまり減っていません。

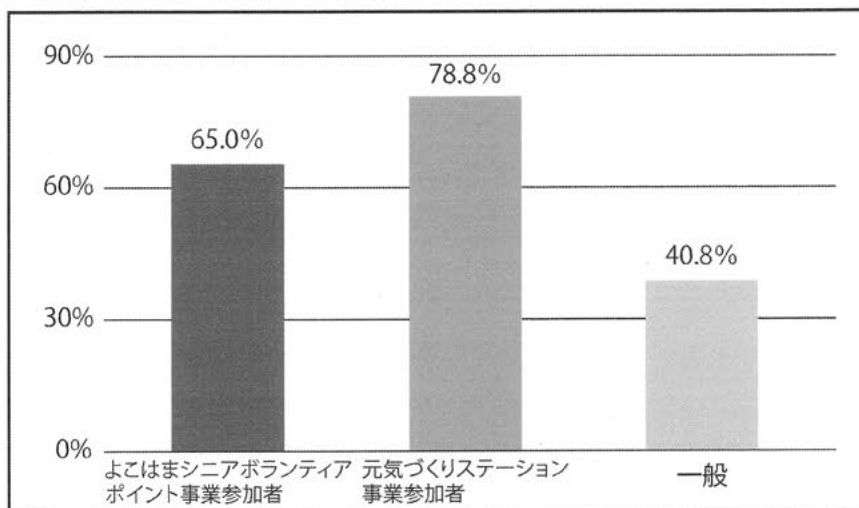
「外出回数は減っていない」と答えた人



よこはまシニアボランティア事業、元気づくりステーション事業に参加している方はお祭りや行事にも積極参加

2015年度の調査では、よこはまシニアボランティアポイント事業の活動、元気づくりステーション事業に参加している方は地域のお祭りや行事にも積極的に参加しています。

地域のお祭り・行事への参加（よくしている、ときどきあるの合計）



よこはまシニアボランティアポイント事業、元気づくりステーション事業

今回の通信では、元気づくりステーションの世話役さんやボランティアポイント受け入れ施設職員から伺った、シニアの方々の継続活動に対するお考えをご紹介します。

■元気づくりステーションの世話役さん

【グループA】「最近では体操についてこられない人も出てきているが、大事なものは、週に1回通ってきて、仲間と一緒に身体を動かそうという気持ちだと思っている。」

【グループB】「メンバーそれぞれに特技があり、それを提案してもらっている。でも全て一人で行うのは大変だし、それを重く考えて意見も出なくなってしまう。なので、提案してくれたことを必要に応じて、できる人で分担する様にしている。」

■ボランティアポイント事業受け入れ施設の担当者さん

【高齢者施設の施設長】「来ていただけること、続けていただけることが大事、活動したいという意志を持っている限りは来ていただきたい、やっていただけることは必ずあると思っている。」

【障がい者施設ボランティア担当】「ボランティアさんは、職員と違って継続して入所者に関わってくれる得難い存在。職員にできないことをボランティアさんが担ってくれて、必要不可欠。」



「地域での活動と健康に関する調査」から

(第1回 2013年10月、第2回 2015年10月、第3回 2017年10月に実施)

わかったことをお知らせします。

横浜市健康福祉局 介護保険課・地域包括ケア推進課

横浜市は、高齢者の方の健康づくり施策や社会参加・生きがいづくり施策をより効果的なものとするため、国際長寿センター（日本）と連携して国庫補助事業「地域での活動と健康に関するアンケート調査」を行い、市民のみなさまのご協力により大変貴重な調査結果を得ることができました。

2014年3月から2017年9月までのこの調査の結果報告の一部を4回お送りしましたが、引き続き第5弾の結果報告をお送りします。

次回の「地域での活動と健康に関する調査」は、来年の10月に実施の予定です。今後ともご協力くださいますようお願いいたします。

2018年11月

【調査主体】

一般財団法人 長寿社会開発センター 国際長寿センター（担当：大上、福原）

調査についてのお問い合わせ先：03-5470-6767（月～金 10時～17時）

〒105-8446 東京都港区西新橋 3-3-1 KDX 西新橋ビル 6階

【調査協力】

横浜市健康福祉局介護保険課・地域包括ケア推進課

公益社団法人かながわ福祉サービス振興会

「地域での活動と健康に関する調査」

調査目的	: 高齢者の方がより健康に過ごすための施策の資料とします。
調査時期	: 2013年から2017年までに3回の調査を実施しました。
調査対象者と回収数	: 65歳以上で横浜市在住のよこはまシニアボランティアポイント事業の登録者の方、元気づくりステーション事業参加者の方、そしてこれらのいずれも参加していない方を対象としています。

	調査対象者	有効回収数	有効回収率	平均年齢	
				【男】	【女】
■よこはまシニアボランティアポイント事業の登録者（ボラP）	1,680人	1,463人	88.0%	77.4歳	76.4歳
■元気づくりステーション事業参加者（元気S）	269人	223人	83.2%	79.1歳	76.8歳
■いずれも参加していない方（一般）	1,815人	1,394人	77.8%	75.8歳	75.4歳

●よこはまシニアボランティアポイント事業

元気な高齢者が介護施設などでボランティア活動を行うとポイントがたまり、寄付や換金ができます。かながわ福祉サービス振興会（Tel045-671-0296）にお問合わせください。

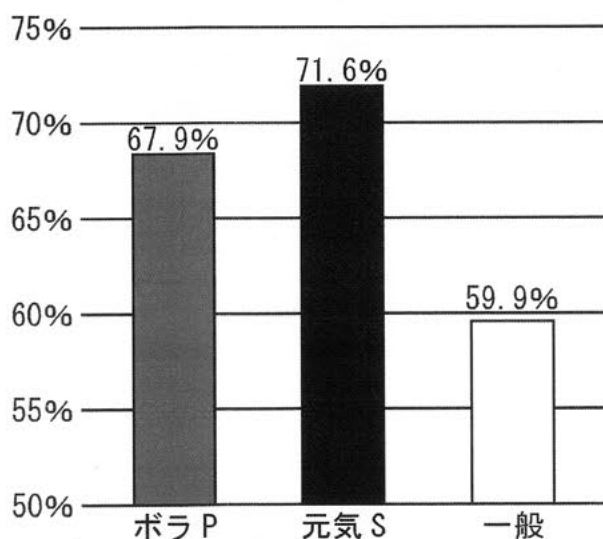
●元気づくりステーション事業：

高齢者が主体的・継続的に介護予防に取り組む「グループ活動」です。身近な場所で「楽しく」「仲間と」健康づくりを続けることができます。各区役所の高齢・障害支援課にお問合わせください。

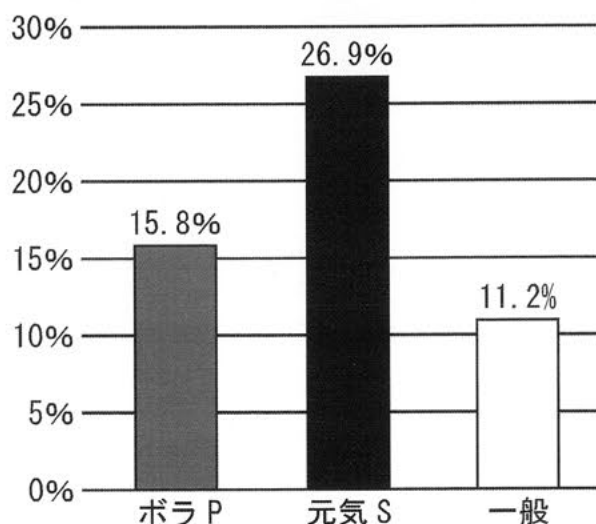
ボランティア活動、元気づくりに参加している方は、健康診断や人間ドックをしっかりと受けており、健康状態も1年前よりよくなっている

一般の方に比べて、よこはまシニアボランティアポイント事業に参加するボランティアの方や、元気づくりステーション事業に参加されている方は1年以内に健康診断や人間ドックを受けた方が多く、健康状態は1年前よりよくなっていると答えた割合が多くなっています。特に元気づくりステーション事業に参加されている方は健康状態が向上しています。（2017年）

1年以内に健康診断や人間ドックを受けた



健康状態は1年前より「よくなっている」と「ややよくなっている」の合計

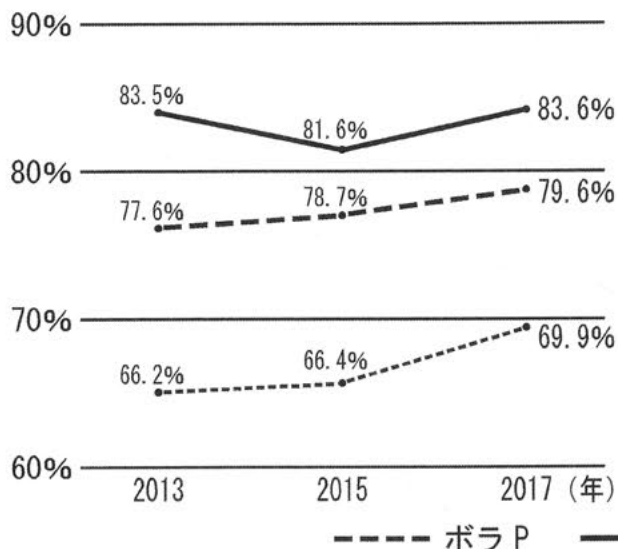


近所に知っている人が多いと安心

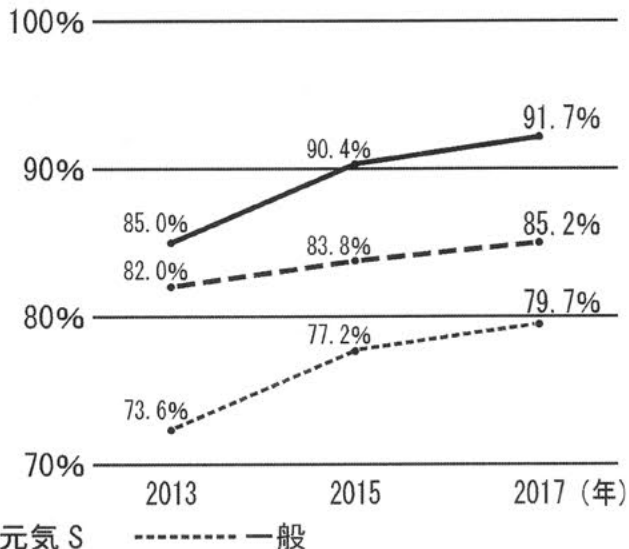
ボランティア活動や地域活動に参加している方は活動範囲が広く、近所の多くの人を知っています。いざという時、近所に知り合いがあると安心ですね。

実際に、ボランティア活動や地域活動に参加している方は近所に知り合いが多いために「非常時には助け合える」と答えています。

「近所にどのような人が住んでいるか知っている」と答えた人



「非常時には助け合える」と答えた人

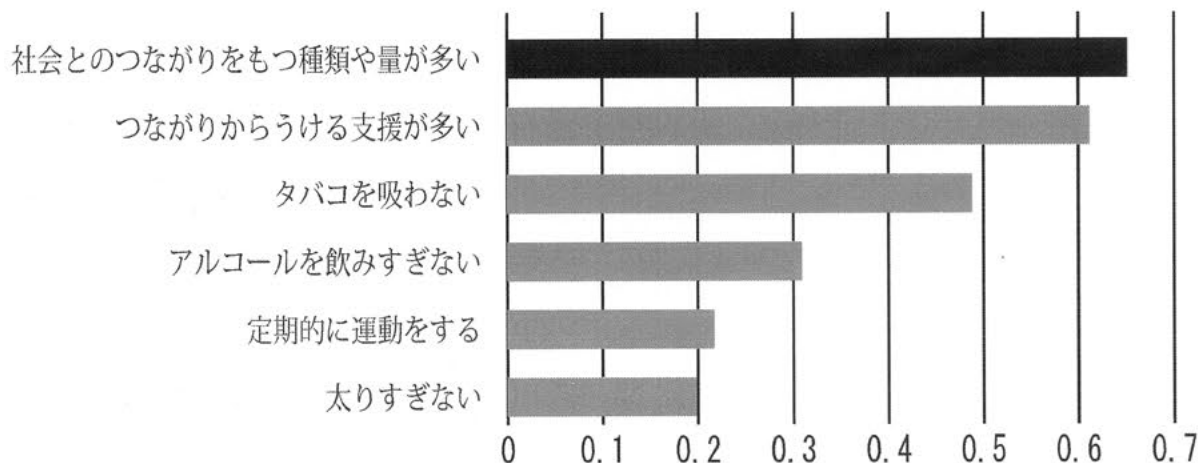


【日ごろからできること】

日ごろから、住民同士のコミュニケーションを図ることを心がけましょう。地域には、高齢者や障害者などの災害時要援護者をはじめ、さまざまな事情のある人がいます。隣近所の人や地域の人と、声をかけあえる関係をつくりましょう。（『防災よこはま』(横浜市)より）

また、長生きの秘訣として、海外の調査でも、「禁煙」や「禁酒」、「運動」や「太りにすぎに注意すること」よりも「**社会とのつながりがある**」ことが重要であるとの結果が出ています。

長生きに効果的なライフスタイル



Holt-Lunstad J, Smith TB, Layton JB (2010) Social Relationship and Mortality Risk: A Meta-analytic Review. Plos Med 7(7)

※数値は対数オッズ比であり、1に近づくほど長生きに対する影響が強いことを表す。

「よこはまシニアボランティアポイント事業」「元気づくりステーション事業」の魅力
参加している方が選ぶベスト5（2017年）

【よこはまシニアボランティア
ポイント事業の魅力】

人と話すことができる	71.4%
元気がもらえる	71.2%
人から感謝される	69.3%
知り合いが増える	61.0%
ポイントが貯まる	46.9%

【元気づくりステーション事業の魅力】

健康になる	85.2%
人と話すことができる	79.7%
地域の知り合いが増える	78.6%
気持ちが明るくなる	58.2%
生活にメリハリがつく	56.6%

「よこはまシニアボランティアポイント事業」「元気づくりステーション事業」
活動をしている方にお話をうかがいました

「地域での活動と健康についての調査」では、アンケート以外に、よこはまシニアボランティアポイント事業登録者の方、元気づくりステーション参加者の方のお話もうかがっています。

【よこはまシニアボランティアポイント事業】

- ボランティアをするのは「奉仕」ではなく自分のため、生活の一部になっている
- 感謝をされて嬉しい気持ちになる。また来るために健康に気を付けるようになり、自分のための活動と考えている
- 月に1～4回、決まった時間に活動を行うことで、生活にメリハリがついている
- やむをえない事情で活動を休止している期間も、たまたま会えば仲間が「いつでも待っているよ」と声をかけてくれる

【元気づくりステーション事業】

- しばらくお休みをしても大丈夫
- 他の活動が忙しいという理由で来なくなる人も少なくないが、いつでも戻ってこられる雰囲気づくりをするグループも存在
- 介護で来られなくなっている仲間に、道で見かけた時には声を掛けていたら、1年後にまた参加してくれるようになった
- 世話役が訪問や電話をするとプレッシャーになるので、気付いた人、仲の良い人が電話をかける



「地域での活動と健康に関する調査」から

(第1回 2013年10月、第2回 2015年10月、第3回 2017年10月に実施)

わかったことをお知らせします。

横浜市健康福祉局 介護保険課・地域包括ケア推進課

横浜市は、高齢者の方の健康づくり施策や社会参加・生きがいづくり施策をより効果的なものとするため、国際長寿センター（日本）と連携して国庫補助事業「地域での活動と健康に関するアンケート調査」を行い、市民のみなさまのご協力により大変貴重な調査結果を得ることができました。

2014年3月から2017年9月までのこの調査の結果報告の一部を5回お送りしましたが、引き続き第6弾の結果報告をお送りします。

次回の「地域での活動と健康に関する調査」は、今年の10月に実施の予定です。ご協力くださいますようお願いいたします。

2019年9月

【調査主体】

一般財団法人 長寿社会開発センター 国際長寿センター（日本）

調査についてのお問い合わせ先：03-5470-6767（月～金 10時～17時）

〒105-8446 東京都港区西新橋 3-3-1 KDX 西新橋ビル 6階

（担当：大上、福原）

【調査協力】

横浜市健康福祉局介護保険課・地域包括ケア推進課

公益社団法人かながわ福祉サービス振興会

「地域での活動と健康に関する調査」

調査目的	: 高齢者の方がより健康に過ごすための施策の資料とします。
調査時期	: 2013年から2017年までに3回の調査を実施しました。
調査対象者と回収数	: 65歳以上で横浜市在住のよこはまシニアボランティアポイント事業の登録者の方（ボラP）、元気づくりステーション事業参加者の方（元気S）、そしてこれらのいずれも参加していない方（一般）を対象としています。

	調査対象者	有効回収数	有効回収率	平均年齢	
				【男】	【女】
■よこはまシニアボランティアポイント事業の登録者の方（ボラP）	1,680人	1,463人	88.0%	77.4歳	76.4歳
■元気づくりステーション事業参加の方（元気S）	269人	223人	83.2%	79.1歳	76.8歳
■いずれも参加していない方（一般）	1,815人	1,394人	77.8%	75.8歳	75.4歳

●よこはまシニアボランティアポイント事業

元気な高齢者が介護施設などでボランティア活動を行うとポイントがたまり、寄付や換金ができます。横浜市健康福祉局介護保険課にお問合わせください。

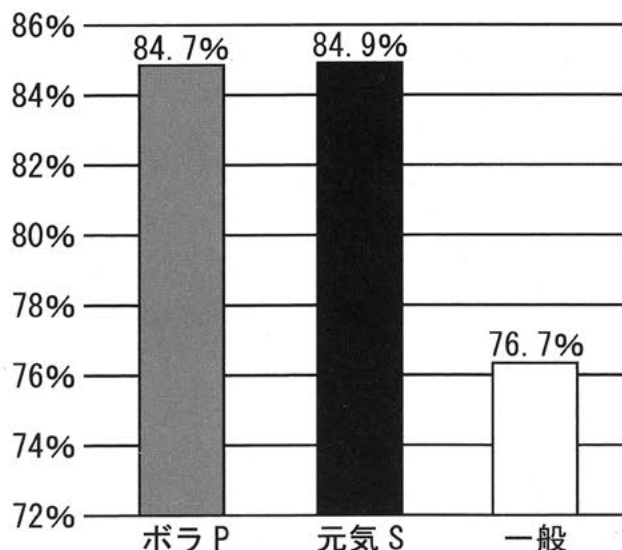
●元気づくりステーション事業

高齢者が主体的・継続的に介護予防に取り組む「グループ活動」です。身近な場所で「楽しく」「仲間と」健康づくりを続けることができます。各区役所の高齢・障害支援課にお問合わせください。

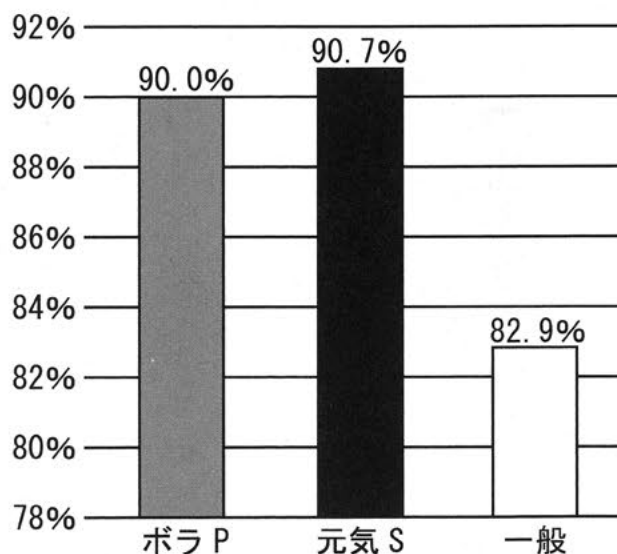
ボラP・元気S参加者は8割以上が健康で、9割が今の生活に満足。

横浜市の高齢者は、7割以上の方が健康状態が「とてもよい」あるいは「ややよい」、また8割以上の方が「今の生活に満足している」と回答しています。その中でも、ボラPおよび元気S参加者は特に健康状態が良く、今の生活に非常に満足しています。

現在の健康状態「とてもよい」「ややよい」の合計（2017年）



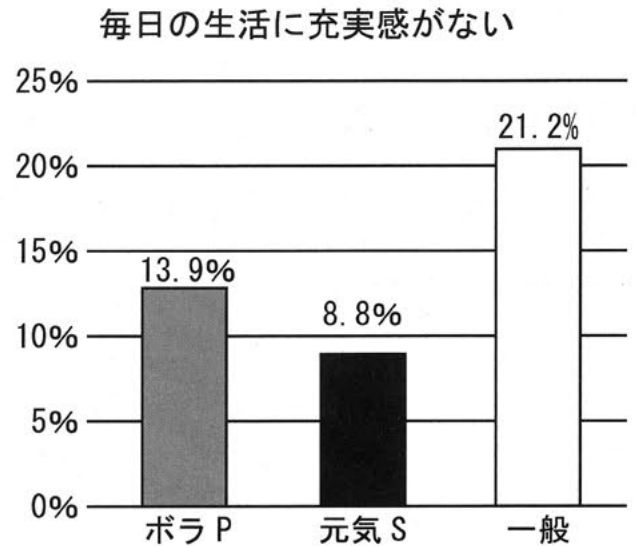
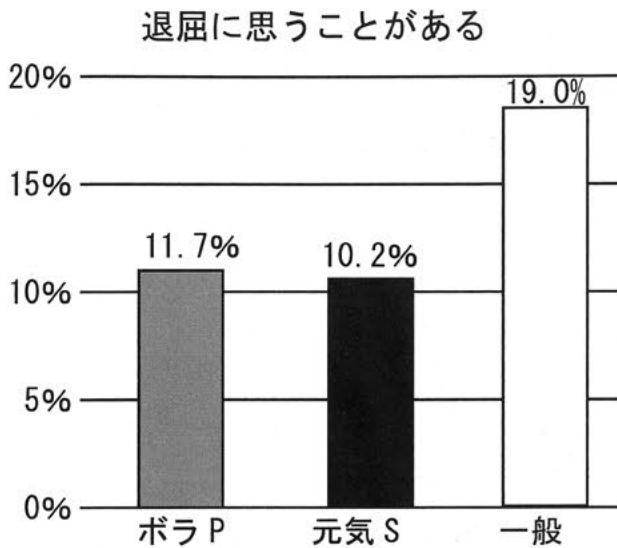
今の生活に満足していますか「はい」の合計（2017年）



ボラP・元気S参加者は、日々の生活で「退屈に思う」ことや「充実感がない」と感じている人はわずか1割

横浜市の高齢者は、全般的に日々の生活で「退屈に思う」ことや「充実感がない」と感じることは少ないようです。特にボラP・元気S参加者は、どちらにも参加していない人に比べると、約半分の1割程度になっています。

「退屈に思うことがある」と答えた人(2017年) 「毎日の生活に充実感がない」と答えた人(2017年)

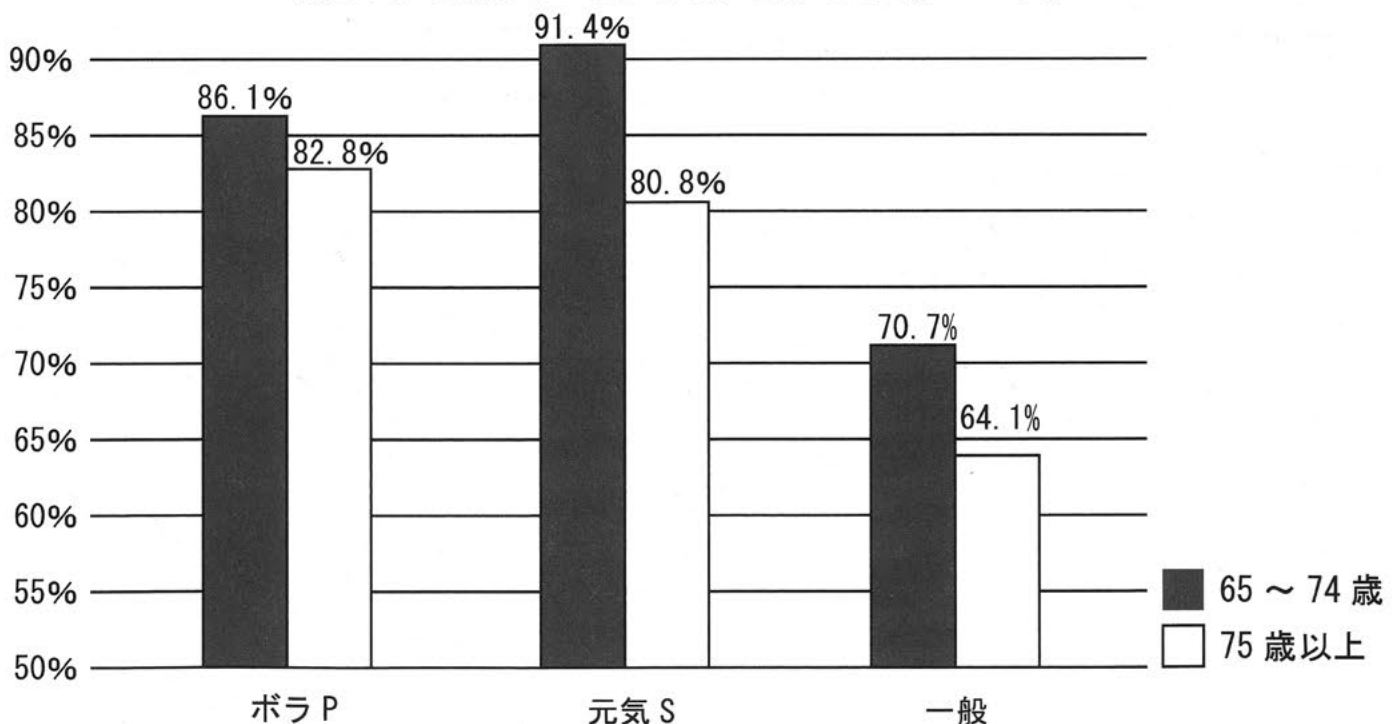


ボラP・元気S参加者は、後期高齢者になってもよく友人を訪ねている

2017年の調査結果によると、横浜市の高齢者の半数以上は「ほぼ毎日外出」しています（ボラP 66.7% 元気S 56.1% 一般 56.9%）が、行先には差があるようです。

ボラPや元気Sに参加している人の多くは、友達の家を訪ねています。後期高齢者になっても8割以上が友達の家を訪ね、人とのつながりを大切にしています。

「友達の家を訪ねることがある」と答えた人(2017年)



「よこはまシニアボランティアポイント事業」「元気づくりステーション事業」に参加したことで起きた変化ベスト4

「そう思う」「ややそう思う」の合計（2017年）

【よこはまシニアボランティアポイント事業】

健康に気をつかうようになった	94.1%
生活にメリハリを感じるようになった	90.9%
介護を必要とする時を考えるようになった	87.2%
社会に役立っていると感じるようになった	86.6%

【元気づくりステーション事業】

健康に気をつかうようになった	99.5%
気持ちが前向きになった	94.9%
生活にメリハリを感じるようになった	88.8%
地域活動にもっと参加したいと思うようになった	79.1%

「よこはまシニアボランティアポイント事業」「元気づくりステーション事業」活動が続いている方にお話をうかがいました

「地域での活動と健康についての調査」では、よこはまシニアボランティアポイント事業参加者の方、元気づくりステーション参加者の方にインタビュー調査も行っています。

調査に協力頂いた方のなかには、体力低下や要介護認定を受けるなど、活動を止めてしまうかもしれない人がいらっしゃいました。それでも続ける、続けたいと思う理由として「その場の一員として、できる範囲でのゆるやかな関わり方ができること」が語られました。

【よこはまシニアボランティアポイント事業】

「ここ数年は体力が落ちて気持ちが落ち込んでいる。でも、続けていることが大事で、今はできることをそれなりに続けている。やれることは必ずあると思っている」（80代女性）

「がんになる前の半分以下しか活動できないけれど、やっぱり喜んでもらえるから、健康に気を付けながら続けている」（80代男性）

【元気づくりステーション事業】

「ついていけないし止めようと思うこともある。でも、皆が、私がおこに来てできる範囲で身体を動かす姿を見せてくれることで、我々も頑張らなきゃと刺激をもらっていると言ってくれるから続けている」（90代女性）

「デイサービスに通えば通うほど受け身になって、自信がなくなっていった。でも、ここでは皆でやろうという雰囲気があり、やりたい、やらなければと頑張れる」（80代女性）



(4) 港北区生活支援コーディネーター向け
ボランティアポイント研修における講演



数値でみるボランティアポイント事業の 影響と効果

「地域での活動と健康に関する調査」結果より

成蹊大学 渡邊大輔 (dwatanabe@fh.seikei.ac.jp)

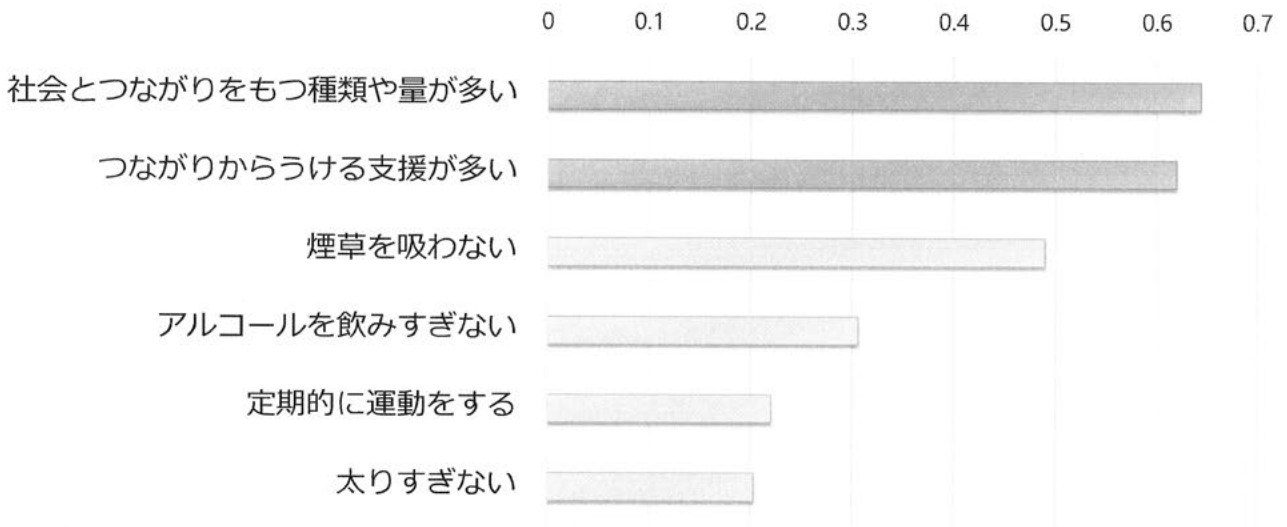
Copyright © Daisuke WATANABE 2019 all Rights Reserved.

長生きに効果的なライフスタイル

▶ どのようなライフスタイルが長寿に影響している
と思いますか？

1. 煙草を吸わない
2. アルコールを飲みすぎない
3. 太りすぎない
4. 社会とつながりをもつ種類や量が多い
5. つながりから受ける支援が多い
6. 定期的に運動をする

長生きに効果的なライフスタイル



※数値は対数オッズ比 (0の場合、影響がない)

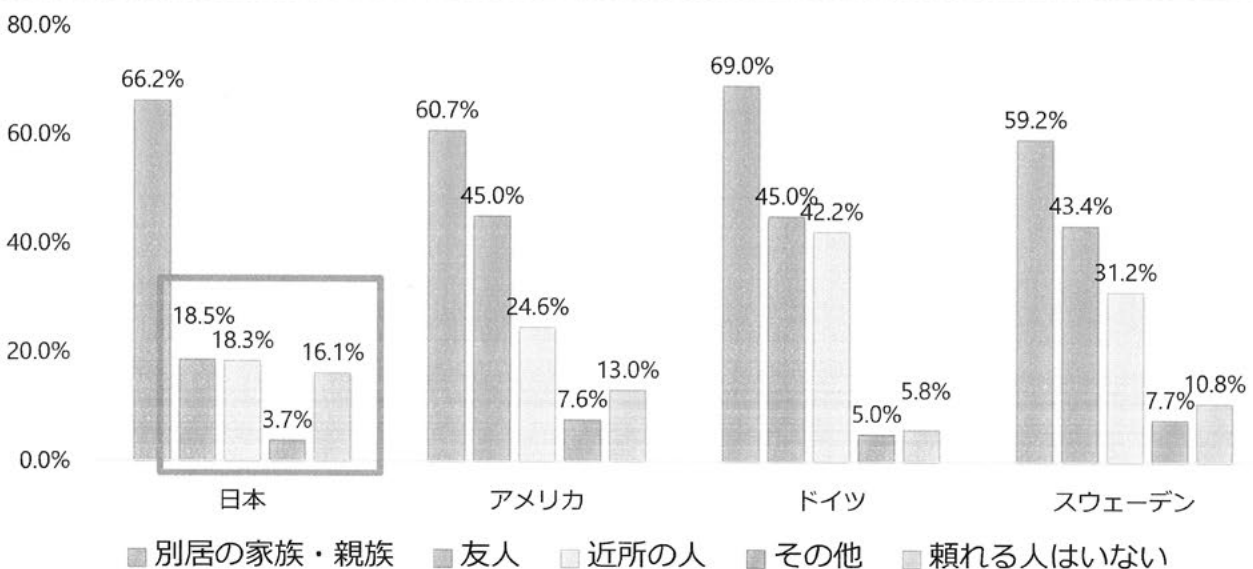
Holt-Lunstad J, Smith TB, Layton JB (2010) Social Relationships and Mortality Risk: A Meta-analytic Review. PLoS Med 7(7)



▶ 3

国際比較

～頼れる友人が少ない日本の高齢者



▶ 4

内閣府「第8回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査結果」(2015年)より作成



介護支援ボランティアポイント制度

- ▶ 介護予防等を目的とした、高齢者が介護施設や病院等でボランティアをした際に換金・寄付ができるポイントを付与できる制度
 - ▶ 2006年から、介護保険法の介護予防事業として実施
- ▶ 特徴
 - ▶ 有償とすることで活動へのインセンティブを付与
 - ▶ 一次予防としての介護予防効果を強調
 - ▶ 介護現場という、これまでボランティアの活用があまり進んでこなかった空間でのボランティア推進

個人レベル
+
社会レベル
の効果

▶ 5



ボラPと元気S



- ▶ よこはまシニアボランティアポイント
 - ▶ 活動促進を志向する介護予防事業
 - ▶ ボランティアをすることで換金可能なポイントを与える
 - ▶ 登録者は19,000人以上
 - ▶ 介護だけでなく障害、育児分野なども対象となっている
 - ▶ 492事業所で活躍（2016末）
- ▶ 元気づくりステーション
 - ▶ 地域づくり型の介護予防事業
 - ▶ 地域での自主グループによる活動であり、区役所と確認書を取り交わす
 - ▶ 無断欠席者への連絡など見守り活動にもなっている
 - ▶ 279グループ（2018.3.5現在）

- ▶ 質がまったく異なる横浜市の事業
- ▶ だが、介護予防という観点では共通の目標がある

▶ 6



このセクションの目的

- ▶ 調査データから、数字をもちいてシニアボランティアポイント事業の効果を把握する
 - ▶ 一般高齢者や、ボランティアポイント事業参加者との比較を行うことで、事業の効果や事業の質の違いを考える
- ▶ 調査結果を踏まえ、つぎのポイント探る
 - ▶ 略記について
 - ▶ 元気づくりステーション：元気S
 - ▶ よこはまシニアボランティアポイント事業：ボラP
 - ▶ 比較対象(統制群)となる65歳以上で要介護にない方：一般
 - ▶ 2013年のベースライン調査：W1，2015年の第2波調査：W2，2015年の第2波調査：W3

▶ 7



データ：地域での活動と健康にかんする調査

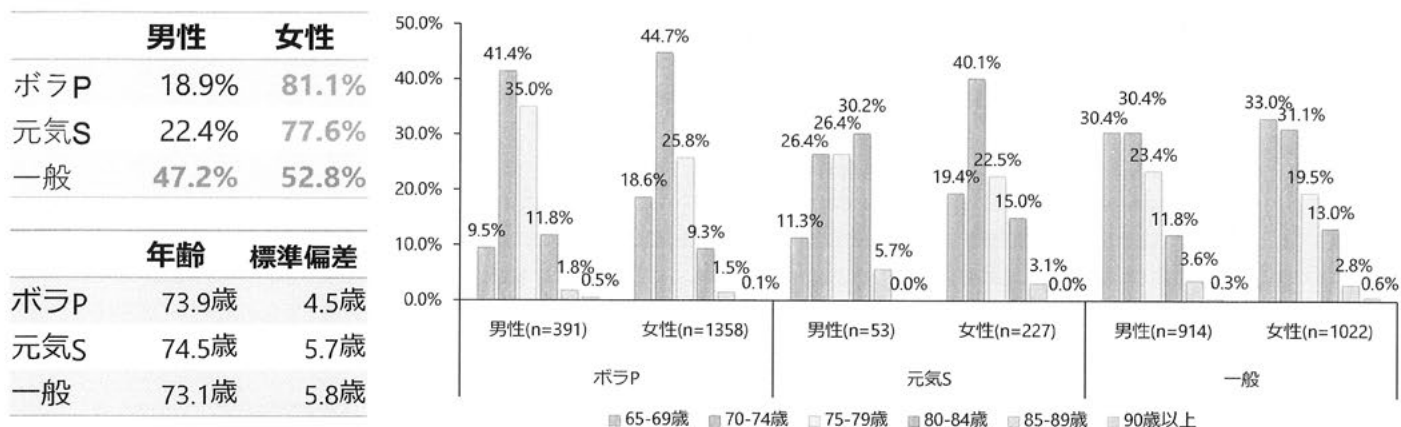
- ▶ 実施者：国際長寿センター
- ▶ 協力：横浜市健康福祉局，かながわ福祉サービス振興会
- ▶ 追跡調査による郵送質問紙調査
 - ▶ 謝礼はW1~3いずれもペンのみ！

驚異の回収率！

	W1 計画標本	W1有効 回収数・率	W2有効 回収数・率	W3有効 回収数・率	W1⇒W3 有効回収率
ボラP	1,900人	1,749人, 92.1%	1,578人, 91.4%	1,486人, 88.0%	77.6%
元気S	309人	267人, 86.4%	237人, 86.2%	227人, 83.2%	72.4%
一般	2,800人	1,936人, 69.2%	1,537人, 81.2%	1,394人, 77.8%	50.3%

だれが参加しているのか？ ～基本属性（W1）

- ▶ 元気S，ボラPとも女性中心
- ▶ 年齢層は多様だが，元気Sにやや年長者が多い



▶ 9



一般に比べてだれが参加しているのか？（W1）結果要約

- ▶ ボラP
 - ▶ 女性，年齢が高い，最長職が正規，等価所得が低い，健康，ボランティアをしている，趣味の団体に入っている，近所に一体感を感じていない人
- ▶ 元気S
 - ▶ 女性，年齢が高い，自治会に参加，ボランティアに参加，スポーツ団体に参加している人
- ▶ ボラPは元気で目的的な団体に参加し，地域との関連は薄い
- ▶ 元気Sは組織参加が地域や活動志向
 - ▶ 元気SとボラPは介護予防活動という側面では類似しているが，対象が異なっている

▶ 10



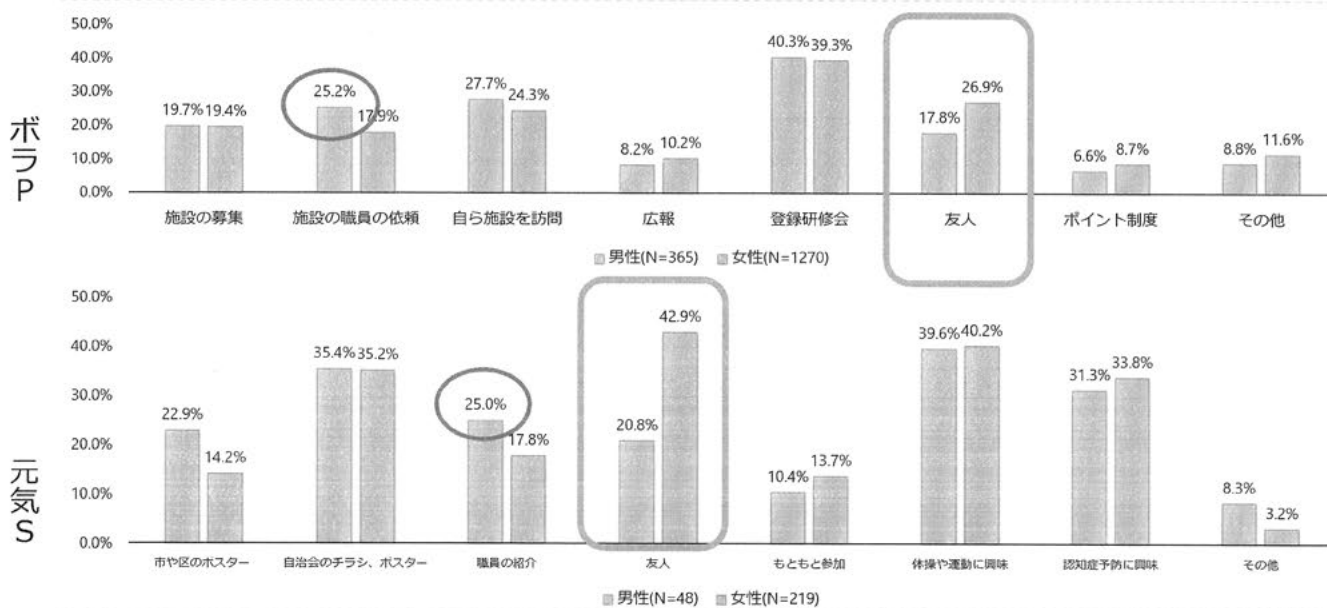
▶ 個人の関心をベースにしたボラP

▶ 地域のつながりをベースにした元気S

▶ 11



参加のきっかけ (W1)

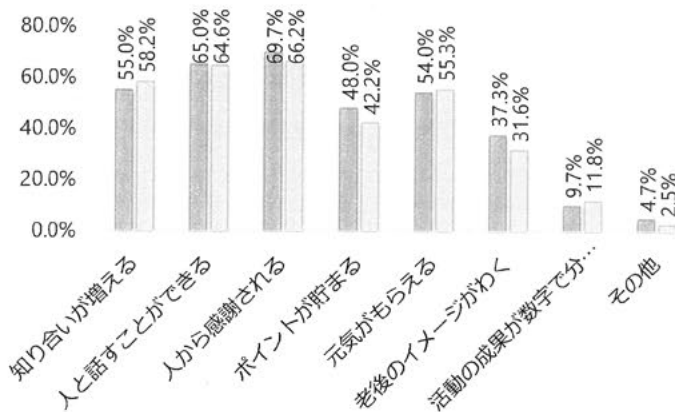


▶ 12



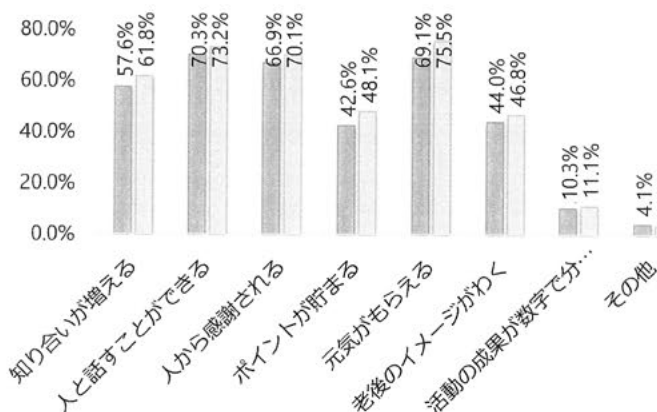
ボラPの魅力

▶ ポイント自体よりも、人と話すことや感謝されることに魅力を感じている



男性

■ 2015 □ 2017



女性

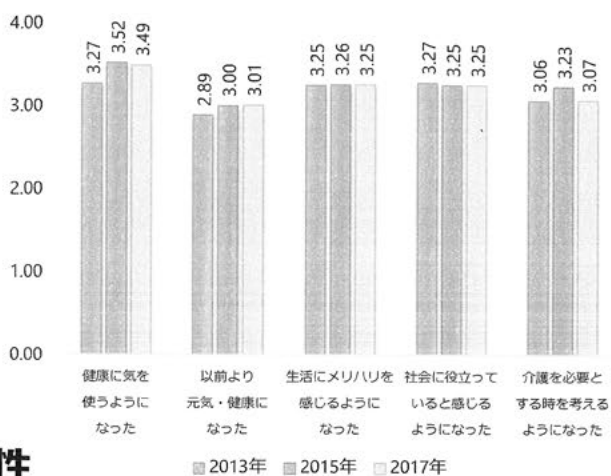
■ 2015 □ 2017

▶ 13

SEIKEI

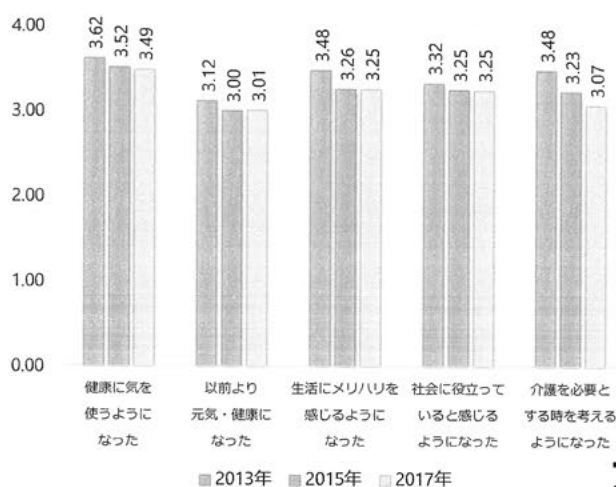
(参考) ボラPによる変化の経験 (W1⇒W3)

▶ 4年間、高水準の評価を維持



男性

■ 2013年 ■ 2015年 □ 2017年



女性

■ 2013年 ■ 2015年 □ 2017年

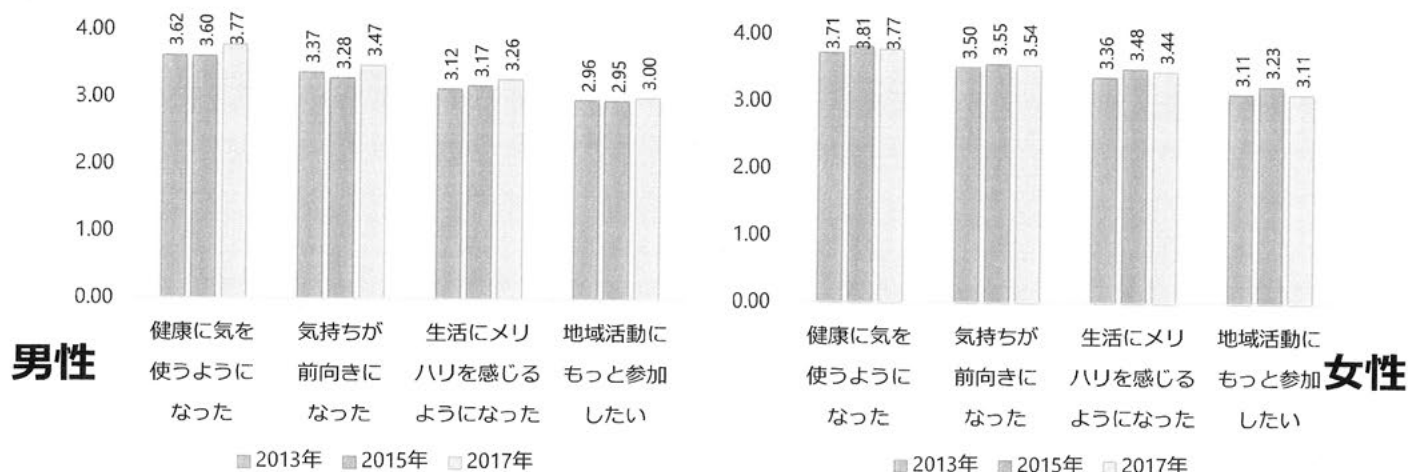
▶ 14

そう思う4点～そう思わない1点の平均点

SEIKEI

(参考) 元気Sによる変化の経験 (W1⇒W3)

▶ 4年間、高水準の評価を維持

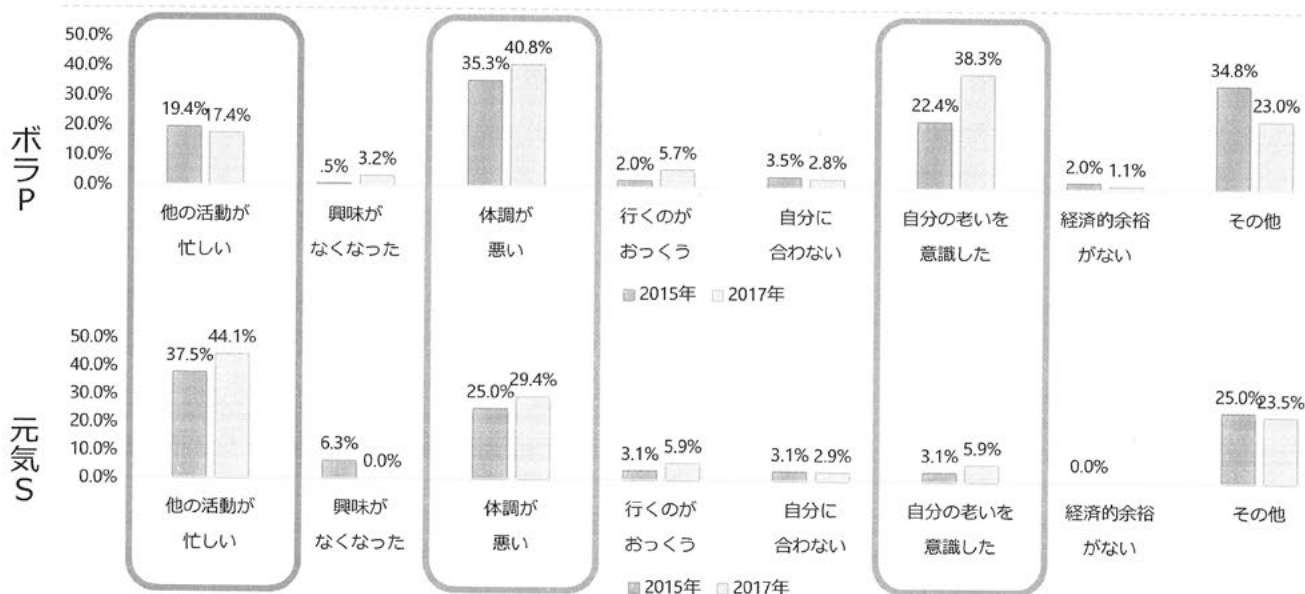


▶ 15

そう思う4点～そう思わない1点の平均点



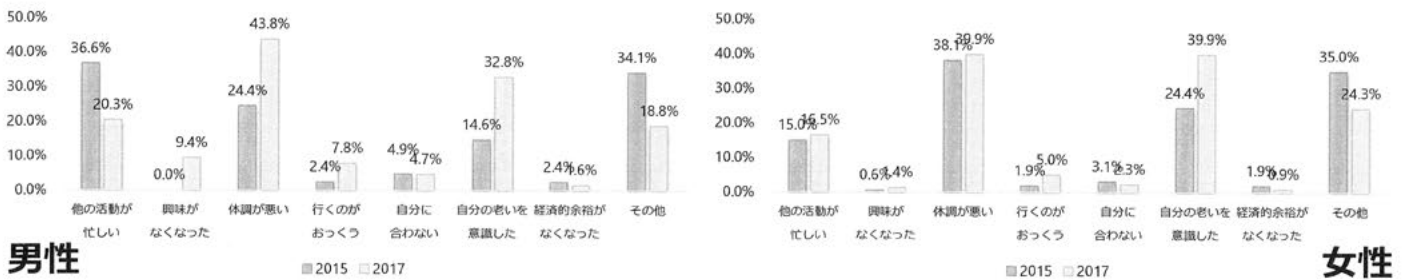
なぜボラP/元気Sの活動を中止したのか？



▶ 16



なぜボラPの活動を中止したのか？



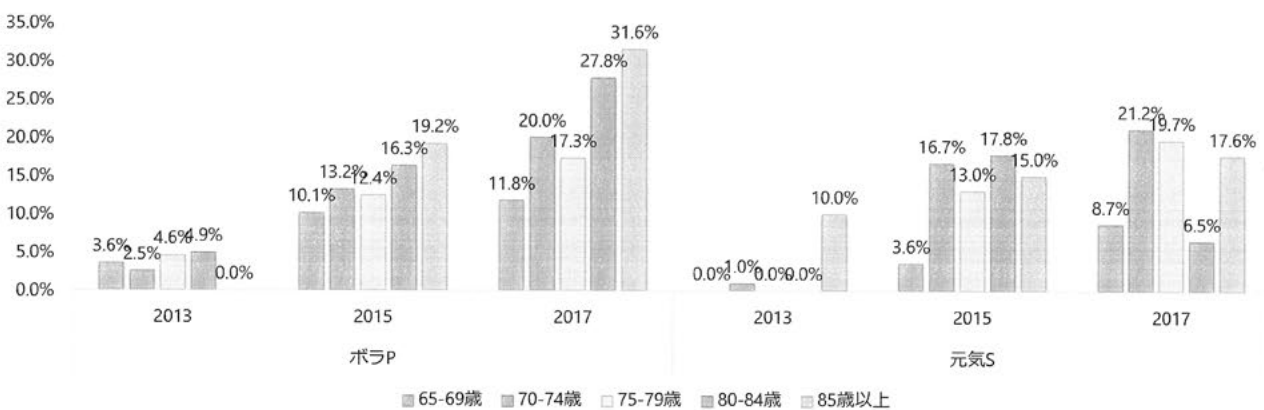
- ▶ ボラPの活動の中止理由は、他の活動や体調、自分の老いへの意識
- ▶ とくに男性については、2017年調査で体調や老いを意識する傾向にある
- ▶ 80歳を一つの契機にする人が多い

▶ 17



現在は活動していない人はだれか

- ▶ ボラPの離脱率は元気Sより高い
- ▶ ボラPは加齢による影響が大きい（年齢効果）、関係の継続よりも貢献できることを重視しているからか



▶ 18



だれが活動を継続しているのか？

▶ ボラP

- ▶ 男性は、他のボランティアをしている人
- ▶ 女性は、学歴、健康、他のボランティア参加、近所の一体感を感じている人が活動を継続

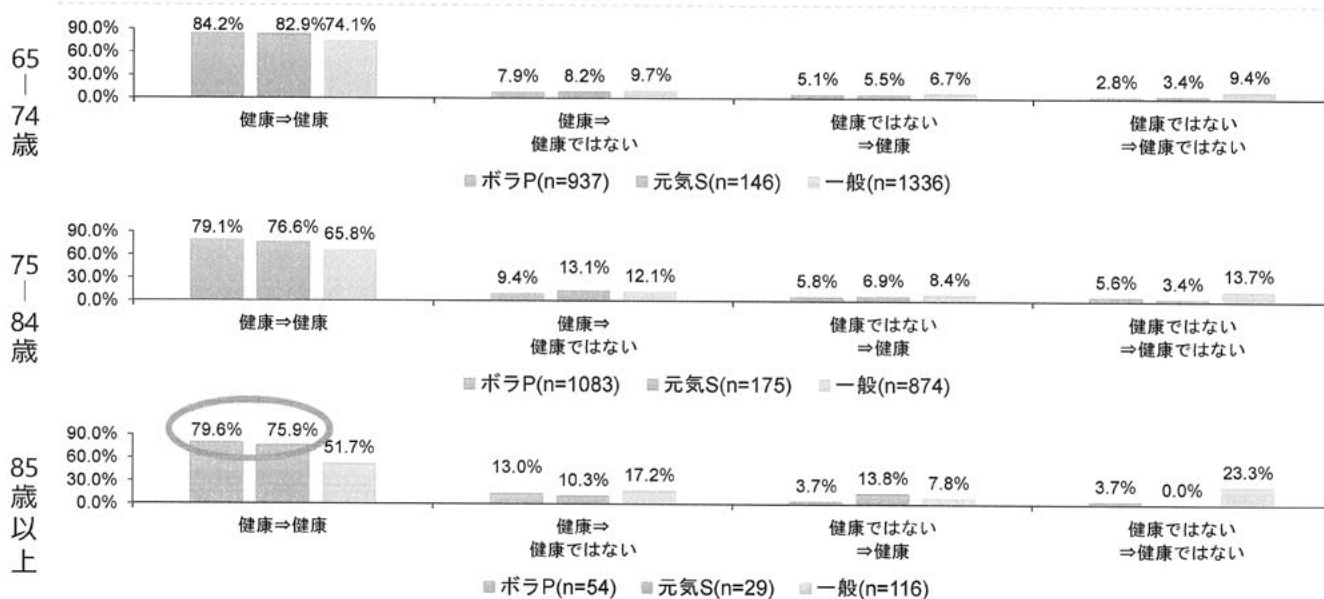
▶ 元気S

- ▶ 自治会に参加している、近所に一体感を感じている人が活動継続傾向がある

▶ 19



ボラPは健康に効果があるのか？

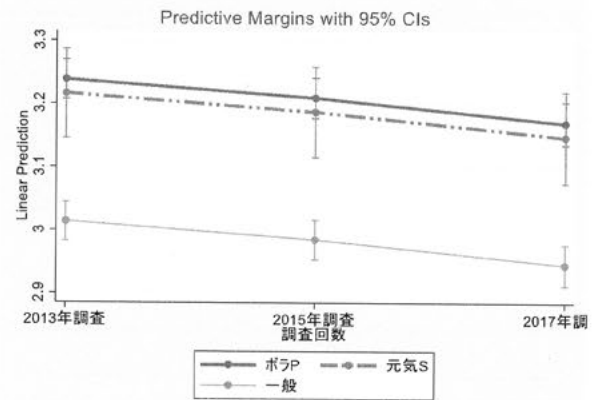


▶ 20



ボラPは健康に効果があるのか？（健康度自己評価）

- ▶ ボラPと元気Sの健康度自己評価に対する影響はほぼ変わらない
- ▶ 一般に対しては、ボラP、元気Sともに健康と答える傾向にある



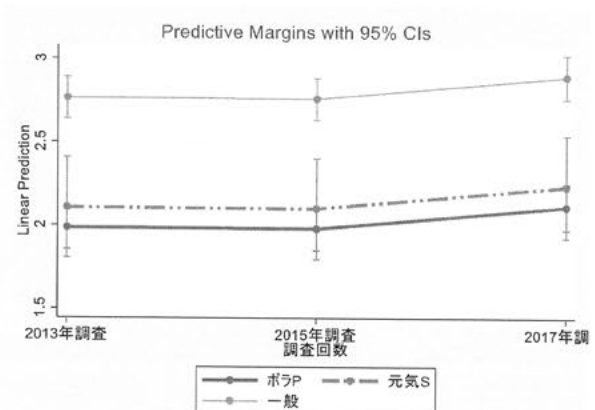
従属変数は健康度自己評価（値が高いほど健康）
年齢、性別、等価所得、
他のボランティア活動を調整済み

▶ 21



ボラPは健康に効果があるのか？（精神的健康）

- ▶ ボラPと元気Sの精神的健康（老年期うつ尺度）に対する影響もほぼ変わらない
- ▶ 一般に対しては、ボラP、元気Sともに精神的健康が高い



従属変数は老年期うつ尺度（値が低いほど健康）
年齢、性別、等価所得、
他のボランティア活動を調整済み

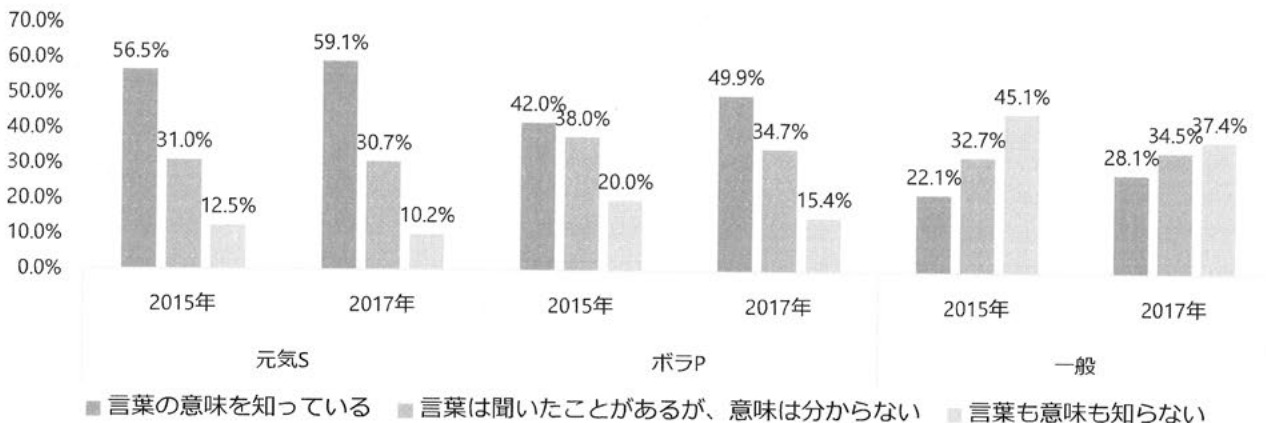
▶ 22



ロコモティブシンドロームの認知度 (W2,3)

▶ 元気S、ボラPともに高い認知度

- ▶ 元気Sは保健師・生活支援コーディネータによる介入あり
- ▶ ボラPは施設での活動や配布での資料等によって知識をえている。また、もともと関心がある人が活動に参加している可能性もある

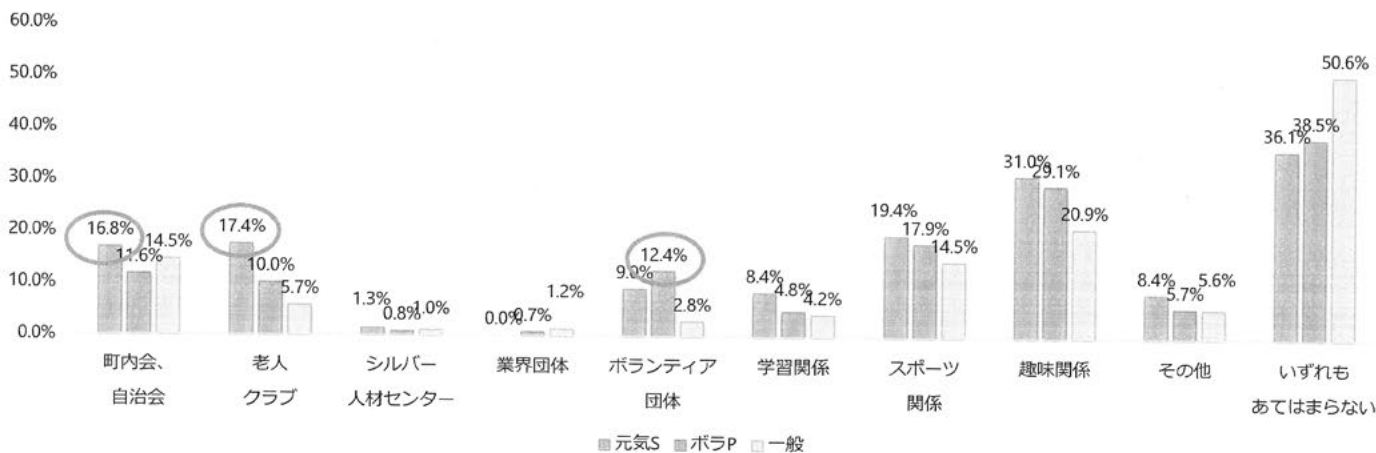


▶ 23



プロダクティブな老後 ~2年以内に参加しはじめた団体 (W3)

- ▶ ボラPは、61.5%の人がこの2年以内に新しい団体に参加
- ▶ 平均年齢が77歳だが、アクティブさは継続

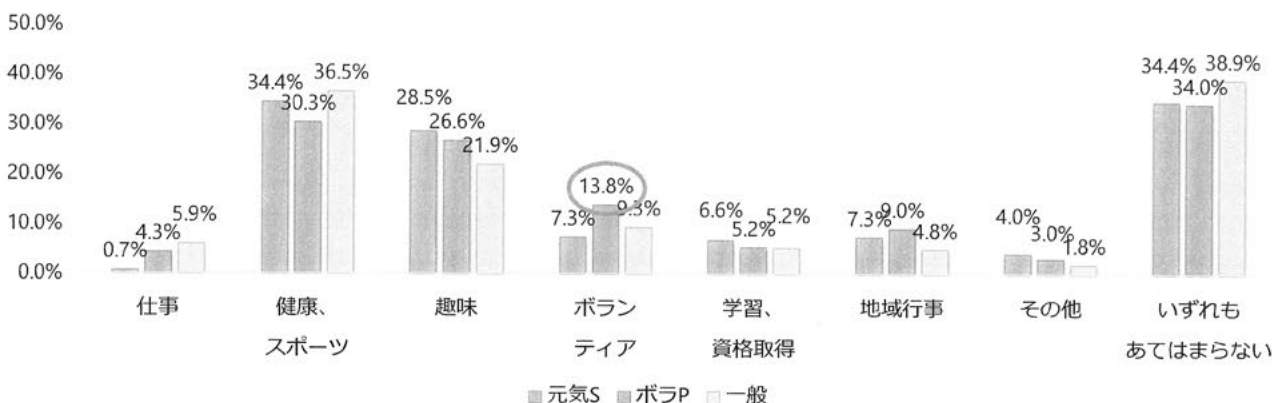


▶ 24



プロダクティブな老後 ～今後、新しく始めたい活動（W3）

- ▶ 3人に2人は、今後も新しく始めたい活動がある！
- ▶ 老後でも新しい挑戦は続く



▶ 25



議論のまとめ

- ▶ ボラP, 元気Sともに**健康に対して肯定的な効果**がある
- ▶ ボラPは、個人的な関心をテコに、活動を誘発する事業となっている → さらに、新たなボランティア活動などへの興味関心も見られる
- ▶ ボラPと元気Sは、一見同じような効果があるように見えるが、参加者の属性は異なっており、**同時並行で2つのプロジェクトが動くことの意義**が示された

▶ 26



つぎへのチャレンジに向けて

- ▶ ボラPは一定年齢に達すると活動をやめる傾向が元気Sより高い
 - ▶ ある程度虚弱になっても継続するための方策が重要となる
- ▶ ボラPは、近所に一体感を感じていない人のほうが参加する傾向にあるが、ボラP活動の継続は近所に一体感を感じている人が継続している
 - ▶ 地域とのつながりがない人を、社会貢献活動や介護予防につなげる可能性がボラPにはある。
 - ▶ 同時に継続には地域との関係が鍵となる
- ▶ たとえ年をとっても、活動中に地域との一体感を感じるような仕組みが継続につながる。このための取り組みや支援が重要となる

▶ 27



今後の調査へのご協力をお願い

- ▶ いずれの調査も現在進行形のものです
 - ▶ アンケート調査は7年間の追跡を行うことを計画しており、**2019年10月を第4次調査（最終調査）をおこないます！**
- ▶ ぜひともご協力をお願いいたします

▶ 28



ご清聴ありがとうございました！
お気軽にご質問ください。





高齢者の心理と活動につなげる為のヒント :ボラポ登録者インタビューから



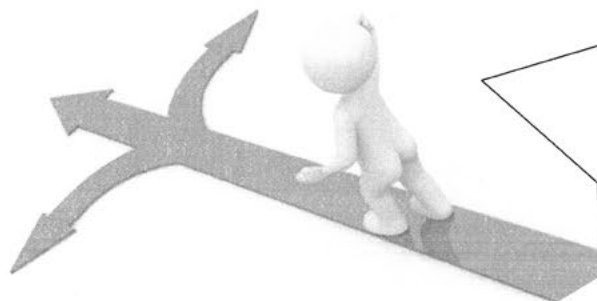
(公財)ダイヤ高齢社会研究財団
澤岡詩野

sawaoka@dia.or.jp

令和元年_港北区コーディネーター研修_澤岡詩野

1

急増中の人生100年時代に疲れたシニア よく聴かされる話 その①

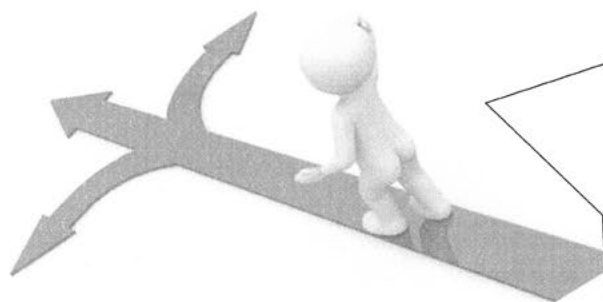


人生100年って、
よくわからない…
年金2000万円とか、
社会保障が先細り
とかきくけど、
そんな大きなこと
言われてもね…
でも一つ言えるのは、
健康, なるべく介護
になりたくない!
色々聞くけど, なに
をすればよいの?

令和元年_港北区コーディネーター研修_澤岡詩野

2

急増中の人生100年時代に疲れたシニア よく聴かされる話 その②



■「健康」的な
食習慣や運動が
大事👉

➡わかっているけど、
大変なのは無理
三日坊主だし

■地域と
「つながろう」
「役割」をもとう👉
➡全部わかっている
地域って面倒
同調圧力にも感じる
役割なんていわれ
てもね～

令和元年_港北区コーディネーター研修_澤岡詩野

3

杉並区健康長寿モニター事業から 「健康長寿」の秘訣(健康編)👉

- 「80歳時に健康だった人」は、その後も健康長寿である可能性が高い。
 - 比較的健康的な人たちのなかでも、80歳時により健康な人は、その後も健康長寿を維持している
(主観的健康感、生活機能、移動能力が高い人、日常生活を快適に感じている人は、そうでない人に比べて、死亡率と要介護・要支援認定率が低く、月平均医療費が低い)
 - 外出頻度の高い人は健康を維持している
(移動能力に問題ない人のなかで、外出している人は健康を維持している)

80歳になっても健康と日常生活の自立性を維持できるように、「なるべく早いうち」「元気なうち」から健康に気を付け、より生活習慣を維持することが重要
運動まではいかななくても日々の「外出」も効果的
➡「小さな積み重ね」と「継続」することが大事

4

杉並区健康長寿モニター事業から 「健康長寿」の秘訣(つながりと役割編)

- 「活動的な人」は、健康長寿を実現できる可能性が高い。
 - 調査の対象者は、他者との交流をもとからもつ人たち
 - 大事なものは、そんな交流をもつ人の中でも、80歳時につながりを持ち、活動的な生活と関心を維持している人は、それ以降の健康長寿を実現できる可能性が高い
 - 例えば、70歳を過ぎてから新しく始めた活動がある人は、要介護・要支援認定率が低く、月平均医療費も低い。
 - 長寿応援ポイント参加者は、男性では健康を維持している傾向が強い

虚弱化と共に、つながりや活動を閉じていけば
80代以降は不健康長寿になっていく
-早いうちからつながりを持ち「つながり続ける」こと
-小さなことでも「新たな活動を始める」こと
-特に男性は、「ちょっとした貢献」を続けていること

5

つながりは「ゆるやか」がよい

横浜市在住の一般高齢者を対象にしたアンケート調査から
地域との関わりの代名詞でもある「町内会・自治会活動」

■町会・自治会活動への参加状況は

- 「月数回以上」11.9%
- 「年に数回程度」28.8%
- 「参加していない」59.3%



■活動に「全く参加していない人」より

- 「年に数回程度でも参加している人」の方が
「定住意識」、「非常時の助け合い」、「ふだんの支えあい」
といった地域に対する意識が高い

「年に数回程度」の参加とは、お祭りや催し、防災訓練
ここから深く関わってもらう事は難しい...
でも、少しでも「ゆるやか」に関わって貰える人を増やす
ことが大事

変わりつつある「つながり」の価値観

75歳以上のひとり暮らし=ある程度は元気でも虚弱化, 不安は沢山

	男性	女性
子ども・行き来のある兄弟親戚がいない	10.8%	4.1%
近隣に用事・手伝いを頼める人がいない	74.3%	59.9%
近所付き合いは煩わしい	31.5%	24.4%
災害などの非常時には助けて欲しい	60.3%	63.0%
1日誰とも言葉を交わさない	13.5%	10.7%
外出頻度が週1~2回以下	18.1%	14.6%
介護保険の認定を受けている	21.6%	29.7%
抑うつ傾向にある(うつ病になりやすい)	54.2%	50.4%
1年間の収入が150万円未満	12.5%	15.8%

増える
向こう三軒両
隣との関係に
悩む人

介護保険
の認定,
生活保護
の対象=
誰かとな
がっている

- ・地域から孤立してしまうのは高年齢, 男性が多い(孤独死も…)
- ・一人で複数の問題を抱えている場合が多い

いわゆるボランティアではなく 「プロダクティブ」

『プロダクティブ・エイジング』

- アメリカの老年学バトラー博士(Butler, R. N.) が提唱
- 高齢者を自立した, 様々な生産的な活動に寄与する存在と位置付けた
- 生産的活動とは, 支払いのない, 家族や地域に対するボランティアの活動も含む
- ⇒自宅周辺のゴミ拾い, サークルでのお茶出しも含む

	抑うつ傾向		自尊感情	
	男性	女性	男性	女性
有償労働	↓↓			↑↑
ボランティア活動	↓		↑	↑↑
家庭内無償労働	↓			↑

出典) Sugihara, et al. (2007)、杉原 (2005)

ボランティア活動:

- 死亡や身体機能低下のリスクを軽減
- 抑うつ気分の抑制, 健康度自己評価, 生活満足度, 幸福感 自尊感情の維持向上

「ちょっと」のプロダクティブがよい

横浜市の介護予防事業「元気づくりステーション事業」参加者を対象にしたアンケート調査から活動への「関わり方」と関わることで感じる「魅力」

- 活動への関わり方は
 - 「活動にだけ参加する」58.9%
 - 「知人や友人を誘う」34.9%
 - 「当日のお手伝いをする」23.4%
- 能動的な参加のなかでも、「知人や友人を誘う」程度の人でも「活動にだけ参加する」人よりも「地域の知り合いが増える」、「生活にメリハリがつく」といった魅力を活動を通して感じていた。

今の時代、地域で増やすべきは、スーパーボランティア、カリスマ自治会長、担い手ではなく、「自分の為」に「ちょっと」だけ「プロダクティブ」な人

一番大事なのは マイペースに「長く続ける」こと

- 高齢者施設でボランティアとして活動するAさん(男性70代):
「退職してなにかしたいなと思って、近所の方が職員をしていて、なにかありませんかと聞いたらどうぞということで楽しく6年間」
- 障がい者施設でボランティアとして活動するBさん(男性70代):
「散歩ならと思って週に1回3時間だけ。あと小さいころに川で泳でいたから、去年はプール(入所者のプール)も手伝ったり。」
- 障がい者としてサービスを受けるBさん(女性・80代):
「サービスを受ける側と与える側の境界線は曖昧がいい。ボランティアとして活動する、活動する為に色々やることがリハビリ。」
- 在宅でサービスを受けるCさん(女性・80代):
「かつては外出支援をしていたが、寝たきりになった今は季節の手紙を書くのを手伝っている。人は最後までできることがあると思う」

「シニアボランティアポイント制度」とは？



定期的に「外出」
新たに「始められる」
ちょっとした「貢献」
ゆるやかに地域に
「つながれる」
地域に関わる人の
すそ野を拡げること
ができるかもしれない

そんなキーワードを
実現できるのが
『シニアボランティア
ポイント制度』

「プロダクティブ」に関わり続ける場 としてのボラポ ポイント①

- 気負わず、できることをできる範囲で「自分の為に」
 - 貢献ではなく、これ位ならという意識で登録し、活動を始める人が多い
 - ➡ 子育てから高齢者、障がい者、病院など選択肢から選べることも大事
 - そこから当事者やその施設のある地域への理解を深めている
 - ➡ ガーデニング、手芸、食事づくりの補助など、得意な事を活かせるかなという気軽さ、以前(もとおにぎり屋さんのパートなど)の経験から求められている事をイメージしやすい事で活動している
 - ボランティアするのは「自分の為」で、生活の一部になっている
 - ➡ 感謝をされて嬉しい気持ちになり、続けるために健康に気を付ける様にもなって感謝しているなど、自分の為の活動と考えている
 - ➡ 活動を休止している期間も道であれば仲間が「いつでも待っている」と声をかけてくれたり、活動を再開することで配偶者との死別から早くに立ち直れたという人もいる(ゆるやかなセーフティネットワーク)

👉 自分の為、少しでも続ける事の重要性をシニアに啓蒙する必要がある

「プロダクティブ」に関わり続ける場としてのボラポ ポイント②

- 施設職員からの声掛けが「プライスレスな報酬」に
 - お茶会などに加え、日常的な声かけや気遣い(ボランティアが帰る時に感謝を伝える, ジュースをさしいれる)が, 継続するモチベーション
 - 職員の補助ではなく, ボランティアは「パートナー」という意識が大事
 - ➡ボランティアにしかできないことや, やらなくてよい事を明確にしている
 - ➡職員ができないことをやっているパートナーとしての感謝が、日々の会話から伝えられている
 - ➡ボランティアは業務を助けてくれるだけではなく, 密室になりがちな施設に風を通してくれる重要な存在と職員が意識し, 職員の働き方などへの意見を意味ある情報として聞いている
 - ➡今の活動ができなくなっても変わらずに貴重な存在, 負荷の少ない活動内容や回数を調整して, 可能な限り活躍して欲しいと伝えている
- 👉この重要性を理解していない施設も多く, 啓蒙していく必要がある

「多様な」シニアを巻き込むために求められる二つの視点①

- 「ボランティアや地域貢献活動に対する意識の変化」
 - ボランティアや地域貢献活動といえば, 他者のために自分の生活を犠牲にして取り組むものという認識が強かった
 - ボラポ登録者の語りからは, 健康づくりや楽しみ, 自己の成長といった自身への効用が語られた
 - スティックに滅私奉公で活動するのは後期高齢者が多い
 - 団塊世代よりも若い層は, 楽しくマイペースに活動したい
 - ポイントは「励みになる」「可視化される」など, 継続の後押しに
 - ご褒美のランチ, 交通費, 寄付など, その人の生活を豊かにする「+α」にもなっている
- ➡ボランティアポイント制度を広報などで知り, 貢献や地域への関心ではなく, 「登録位ならしてよいか」と考えるシニアが少なくない (タイミングがあわない, 遠いなどの理由で気持ちが途絶える人も)
- ➡はじめてみて, そこから地元の施設を知り, 自然に地域に目が向いて行ったという人も少なくない (登録研修でケアプラを知る, 活動して地元の特養やデイを知る)

「多様な」シニアを巻き込むために 求められる二つの視点②

■「段階的なアプローチの必要性」

- 活動への意識が変化するなかで、地域活動やボランティア活動を全面に打ち出しての誘い掛けには限界がきている
- これならできそう、楽しそうというゆるやかな働きかけから始めることが重用
- 何かしたいという気持ちはあれど、なにができる、なにがしたいという明確な意識をもつ人はわずかで、段階的に自主性を高めていくことが求められている

➡研修会に参加して、促されるまま登録したけれど、「あとはどうぞご自由に」というその後の展開に動けないままの人は少なくない

➡登録したけれど、今が活動したいタイミングとは限らず、程よい距離感で継続した働きかけが必要(ボランティア担当のいない施設もあり、相談にのれる存在が求められる)

➡区域での研修は地元にならずに気楽でヨイ、でもその後の展開には限界がある(ケアプラにつなぐという仕掛けもあり?)

(5) インタビュー調査一覧 2012～2019

2012年度～2019年度 横浜インタビュー調査一覧

年度	種類	団体名	訪問日	対象者	住所
2019年度 (2)	ボラP	サニーステージ中山 (介護付き有料老人ホーム)	2019年9月	ボランティア、施設長、職員	都筑区
	ボラP	みんなの家 横浜金が谷 (グループホーム)	2019年9月	ボランティア、施設長	旭区
2018年度 (3)	ボラP	「泉の郷上飯田」(グループホーム)	2019年1月	施設長	泉区
	ボラP	「新吉田地域ケアプラザ」(独自ボラP研修会実施)	2019年2月	職員	港北区
	ボラP	「銀の会」(大場地域ケアプラザ)	2019年2月	代表、副代表、職員	青葉区
2017年度 (6)	ボラP	「愛成園」(特養)	2017年12月	ボランティア2	瀬谷区
	ボラP	「サポートセンター連」	2017年12月	ボランティア2	旭区
	ボラP	横浜市民病院	20017年12月	ボランティア1	保土ヶ谷区
	ボラP	「いっぽ」(子育て拠点)	2017年12月	ボランティア	緑区
	ボラP	善了寺「還る家とともに」(デイサービス)	2018年1月	ボランティア、職員	戸塚区
	ボラP	「とつかわかば」(中途障害者地域活動センター)	2018年1月	ボランティア、職員	戸塚区

※元気づくりステーションは澤岡先生を中心に実施

*2016年度は以前インタビューをしたことのある場所を再訪し、その後の経過と課題を調査
元気づくりステーション

調査日	調査年度	調査対象・会場	調査協力者
2016/12/21	2014年度	青葉区「体育クラブひまわり」	世話役、保健師、地域包括看護師、体操リーダー
2017/1/6	2014年度	緑区「元気づくりのひろば」	世話役、保健師、地域包括看護師
2017/1/11	2015年度	磯子区「レインボー」	世話役、ブルーウェーブ世話役、自治会長
2017/1/16	2013年度	港北区「綱島」	世話役、保健師、地域包括看護師
2017/1/16	2015年度	磯子区「ふくろう会」	世話役、保健師
2017/1/17	2015年度	磯子区、「ひまわり会」	世話役、保健師、地域包括看護師
2017/1/18	2014年度	都筑区「ほこふれんず」	世話役、保健師
2017/1/23	2014年度	緑区「なかよし会」	世話役、保健師、地域包括看護師
2017/1/26	2014年度	青葉区、「桂田西熟年健康クラブ」	世話役、保健師

ボランティアポイント

調査日	調査年度	調査対象・会場	調査協力者
2017/2/2	2015年度	神奈川区「かなーちえ」(地域子育て拠点)	ボランティア、職員
2017/2/2	2015年度	泉区「横浜市松風学園」(知的障害者入所施設)	ボランティア、施設職員
2017/2/3	2015年度	緑区「いっぽ」(地域子育て拠点)	ボランティア、職員
2017/2/10	2015年度	泉区「横浜市松風学園」(知的障害者入所施設)	ボランティア
2017/2/10	2015年度	米区「径(みち)」(地域活動ホーム)	径ボランティア、ケアボランティア、施設長、職員、ケアボランティア ティア担当
2017/2/16	2015年度	磯子区「芭蕉苑」(特別養護老人ホーム)	ボランティア、施設長、職員
2017/2/27	2015年度	緑区「さわやか苑」(特別養護老人ホーム)	ボランティア、職員

年度	種類	団体名	訪問日	対象者	住所
2015年度 (14)	元気S	久良岐ヶ丘水曜会	2015年9月	世話役5、自治会長、保健師2	磯子区
	元気S	レインボー	2015年9月	世話役3、保健師1	磯子区
	元気S	お達者道場	2015年9月	世話役3、保健師1	磯子区
	元気S	ひまわり会	2015年9月	世話役5、地域包括看護師1	磯子区
	元気S	エンジヨイ滝頭	2015年9月	代表(講師)	磯子区
	元気S	ふくろう会	2015年10月	世話役、保健師1	磯子区
	ボラP	「芭蕉苑」(特養)	2015年9月	ボランティア2	磯子区
	ボラP	「横浜市松風学園」(知的障害者入所施設)	2015年10月	ボランティア4、施設職員1	泉区
	ボラP	「新横浜さわやか苑」(特養)	2016年1月	ボランティア7、職員	港北区
	ボラP	地域子育て拠点「かなーちえ」	2016年2月	ボランティア3、職員	神奈川区
	ボラP	子育て拠点「いっほ」	2016年1月	ボランティア3、職員	緑区
	ボラP	地域活動ホーム「径(みち)」	2016年1月	ボラ3、施設長、職員1、ケアプラ職員2	栄区
	ボラP研修会	南公会堂	2015年9月		南区
	ボラP研修会	磯子公会堂	2015年11月		磯子区
2014年度 (14)	ボラP	社福試行会 青葉台地域ケアプラザ	2014年12月	施設長、事業担当コーディネーター	青葉区
	ボラP	社福緑成会 特養 緑の郷	2015年1月	施設長、職員2、ボランティア3	青葉区
	元気S	なかよし会 中山地域ケアプラザ	2015年1月	保健師2、ボランティア・参加者3	緑区
	元気S	荏西小学校	2015年1月	保健師、ボランティア・参加者10超	青葉区
	元気S	体育クラブひまわり 大場地域ケアプラザ	2015年1月	保健師、ボランティア・参加者	青葉区
	元気S	ポコふれんず しいの木台ハイツ集会所	2015年1月	服部保健師、ボランティア・参加者5	都筑区
	元気S	元気づくりの広場 ふれあいさろん竹多久	2015年1月	保健師2	緑区
	元気S	ねこの手 新栄地区ケアプラザ	2015年2月	保健師、ケアプラザ職員、ボランティア3	都筑区
	地域資源	NPO 法人いこいの家 夢みん	2014年12月	理事長	戸塚区
	地域資源	NPO 法人ワークーズ わくわく	2014年12月	理事	瀬谷区
	地域資源	NPO 法人ふらっとステーション・ドリーム	2014年12月	理事長	戸塚区
	地域資源	NPO 法人積み木	2014年12月	理事長、他3	栄区
	地域資源	NPO 法人横浜移動サービス協議会	2014年12月	副理事長、他3	中区
	地域資源	NPO 法人ワークーズ・コレクティブ たすけあいぐっひい	2015年1月	理事長、理事	西区
2013年度 (3)	ボラP	横浜市阿久和地域ケアプラザ	2014年1月	担当者2	瀬谷区
	ボラP	(福)聖母会 聖母の園	2014年1月	担当者1、ボランティア3	戸塚区
	元気S	「元気づくりステーション綱島」	2014年2月	保健師、ボランティア3	港北区
2012年度 (7)		NPO 法人 キーバーソン21(高齢者起業支援)			川崎市
		川崎市(シニア関連施策)			川崎市
		川崎市商工会議所(高齢者就業マッチング)	(2012年10月 ~2013年1月)		川崎市
		横浜市健康福祉局(ボラP制度等)			横浜市
		あおば学校支援ネットワーク(学校支援)			横浜市
		市民セクター横浜(中間支援組織)			横浜市
		LLP あおばフレンズ(まちづくり事業)			横浜市